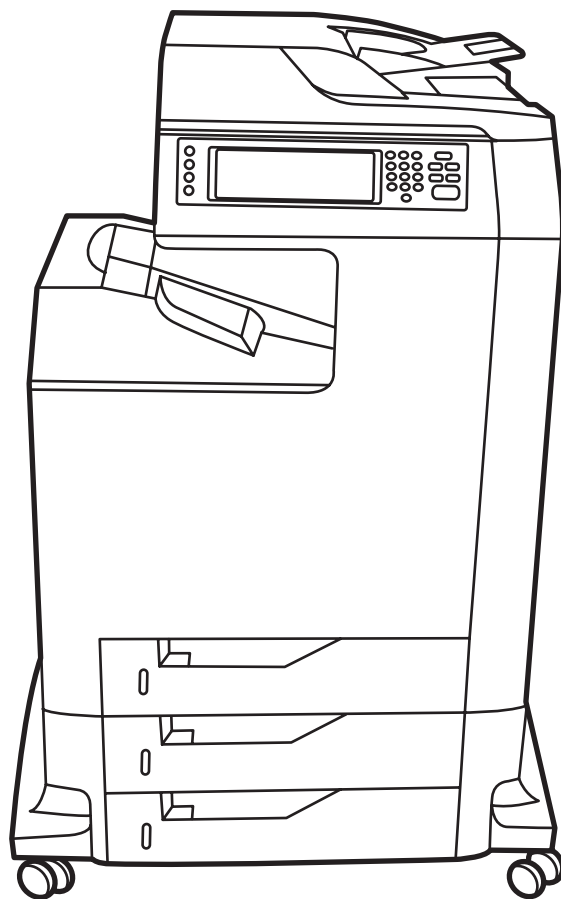


HP Color LaserJet 4730mfp

ユーザーズ ガイド



HP Color LaserJet 4730mfp シリーズ

ユーザーズ ガイド



著作権およびライセンス

© 2005 Copyright Hewlett-Packard Development Company, L.P.

著作権法で許可されている場合を除き、事前の許可なしに複製、翻案、または翻訳を行うことは禁止されています。

本書に記載されている情報は、断りなく変更される場合があります。

HP 製品およびサービスの唯一の保証は、当該製品およびサービスに付属の保証書に規定されています。本書に記載されている内容は一切追加保証とはなりません。HP は、本書に記載されている内容の誤りや記載漏れについて一切責任を負いません。

製品番号 Q7517-91001

Edition 1, 11/2005

商標に関して

Adobe®は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Corel® および CorelDRAW™ は Corel Corporation または Corel Corporation Limited の商標または登録商標です。

Energy Star® および Energy Star logo® は、米国環境保護局の米国における登録商標です。

Microsoft® は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

Netscape Navigator は、Netscape Communications の米国における商標です。

生成された PANTONE® カラーは PANTONE の標準色と一致しない場合があります。正確な色については PANTONE の最新の出版物で確認してください。PANTONE® およびその他の Pantone, Inc. の商標は、Pantone, Inc. の所有物です。© Pantone, Inc., 2000.

PostScript® は、Adobe Systems の商標です。

TrueType™ は、Apple Computer, Inc. の米国における商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

Windows®, MS Windows®, および Windows NT® は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

HP カスタマ ケア

オンライン サービス

インターネットから 24 時間アクセス可能です。

WWW：HP プリンタ ソフトウェア、製品、サポートに関する最新情報、および複数の言語のプリンタ ドライバを、<http://www.hp.com/support/clj4730mfp> から入手できます (このサイトは英語です)。

オンライン トラブルシューティング ツール

HP Instant Support Professional Edition (ISPE) は、デスクトップ コンピューティングおよび印刷用製品向けの一連の Web ベースのトラブルシューティング ツールです。ISPE は、コンピューティングと印刷に関する問題のすばやい識別、診断、および解決に役立ちます。ISPE ツールは <http://instantsupport.hp.com> から入手できます。

電話サポート

Hewlett-Packard Company では、保証期間中に無料電話サポートを提供しています。電話サポートに待機する対応チームが、お客様のご質問にお答えします。お客様の居住する国/地域の電話サポート番号については、製品に同梱のリーフレットを参照するか、<http://www.hp.com/support> をご覧ください。電話でお問い合わせいただく前に、製品名およびシリアル番号、購入日、問題の発生状況などの情報をご用意ください。

サポート関連情報は、<http://www.hp.com> でも入手することができます。[support & drivers] ブロックをクリックしてください。

ソフトウェア ユーティリティ、ドライバ、およびオンライン情報

http://www.hp.com/go/clj4730mfp_software をご覧ください (このサイトは英語ですが、プリンタ ドライバは複数の言語でダウンロードできます)。

電話でのお問い合わせについては、MFP に同梱のリーフレットを参照してください。

アクセサリおよびサプライ品の HP へのご注文

次の Web サイトからのサプライ品の注文：

米国：<http://www.hp.com/sbso/product/supplies>

カナダ：<http://www.hp.ca/catalog/supplies>

ヨーロッパ：<http://www.hp.com/go/supplies>

アジア太平洋：<http://www.hp.com/paper/>

アクセサリは、<http://www.hp.com/support/clj4730mfp> から注文してください。詳細については、「[部品、サプライ品、アクセサリなどの注文方法](#)」を参照してください。

電話でサプライ品またはアクセサリを注文するには、次の番号におかけください。

米国内の大企業/法人のお客様：800-282-6672

米国内の中小企業のお客様：800-888-9909

米国内の個人のお客様：800-752-0900

カナダ：800-387-3154

他の国/地域の電話番号については、MFP に同梱のリーフレットを参照してください。

HP サービス情報

米国またはカナダの HP 認定販売店情報については、800-243-9816 (米国) または 800-387-3867 (カナダ) にお問い合わせください。または、<http://www.hp.com/go/cposupportguide> をご覧ください。

他の国/地域における HP 製品のサービスについては、お客様の居住する国/地域のカスタマ サポート窓口までお問い合わせください。電話番号については、MFP に同梱のリーフレットを参照してください。

HP サービス契約

問い合わせ先：800-HPINVENT [800-474-6836 (米国)] または 800-268-1221 (カナダ)

契約対象外のサービス：800-633-3600

その他のサービス：問い合わせ先：800-HPINVENT [800-474-6836 (米国)] または 800-268-1221 (カナダ) または、HP Care Pack サービスの Web サイト、<http://www.hpexpress-services.com> をご覧ください。

Macintosh コンピュータに関する HP のサポートおよび情報

Mac OS X サポート情報およびドライバ更新用の HP サブスクリプション サービスについては、<http://www.hp.com/go/macosex> をご覧ください。

Macintosh ユーザー用に特別に設計されている製品については、<http://www.hp.com/go/mac-connect> にアクセスしてください。

目次

1 MFP の基本

HP Color LaserJet 4730mfp シリーズの構成	2
HP Color LaserJet 4730mfp (Q7517A - 基本モデル)	2
HP Color LaserJet 4730x mfp (Q7518A)	3
HP Color LaserJet 4730xs mfp (Q7519A)	3
HP Color LaserJet 4730xm mfp (Q7520A)	4
多機能周辺機器 (MFP) の機能と利点	5
機能一覧	5
MFP の部品とアクセサリ	9
MFP の部品の識別	9
アクセサリとサプライ品	10
インタフェース ポート	11
MFP の移動	12
ソフトウェア	13
オペレーティング システムと MFP コンポーネント	13
ソフトウェア機能	14
ドライバの自動設定	14
今すぐ更新	14
HP Driver Preconfiguration (HP ドライバのプレコンフィギュレーション)	14
印刷システム ソフトウェアのインストール	14
Windows 印刷システム ソフトウェアのインストール (直接接続)	15
Windows 印刷システム ソフトウェアのインストール (ネットワーク)	15
Windows の共有機能を使用してネットワーク MFP を使用できるように Windows コンピュータを設定するには	16
パラレル ケーブルまたは USB ケーブル接続後のソフトウェアのインストール	16
MFP ソフトウェアのアンインストール	17
Windows OS からソフトウェアを削除するには	17
ネットワーク用のソフトウェア	18
HP ネットワーク ソリューションの概要	18
HP Web Jetadmin	18
UNIX	19
ユーティリティ	19
MFP ユーティリティ	19
HP Easy Printer Care Software	19
内蔵 Web サーバー	19
機能	20
その他のコンポーネントおよびユーティリティ	20

Macintosh コンピュータ用ソフトウェア	21
Macintosh 用印刷システム ソフトウェアのインストール (ネットワーク)	21
Macintosh 用印刷システム ソフトウェアのインストール (直接接続、USB)	22
Macintosh OS からソフトウェアを削除するには	23
プリンタ ドライバ	24
対応プリンタ ドライバ	24
追加ドライバ	24
適切なプリンタ ドライバの選択	25
プリンタ ドライバのヘルプ	25
プリンタ ドライバへのアクセス	25
Macintosh コンピュータ用プリンタ ドライバ	28
対応プリンタ ドライバ	28
プリンタ ドライバへのアクセス	28
インストール チェックリスト	30

2 コントロール パネルの使用

コントロール パネルのレイアウト	34
コントロール パネルの機能	35
ホーム画面の移動	36
ヘルプ システム	37
What is This? ヘルプ	37
Show Me How ヘルプ	37
メニュー マップ	38
ジョブ取得メニュー	39
情報メニュー	40
ファックス メニュー	42
用紙処理メニュー	43
デバイスの設定メニュー	46
原稿サブメニュー	46
コピー サブメニュー	47
画像処理サブメニュー	48
送信サブメニュー	48
印刷サブメニュー	49
PCL サブメニュー	51
印字品質サブメニュー	53
システムのセットアップ サブメニュー	54
コピーおよび送信の設定	58
MBM 3 設定サブメニュー	59
ステイプラ/スタッカ サブメニュー	59
I/O サブメニュー	60
内蔵 Jetdirect サブメニュー	61
リセット サブメニュー	64
診断メニュー	66
サービス メニュー	70

3 I/O 設定

ネットワークの設定	72
TCP/IP パラメータの設定	72
MFP コントロール パネルから TCP/IP パラメータを手作業で設定するには ...	72

IP アドレスの設定	72
サブネット マスクの設定	73
デフォルト ゲートウェイの設定	73
ネットワーク プロトコルの無効化 (オプション)	74
DLC/LLC を無効にするには	74
パラレル設定	75
USB 構成	76
補助接続構成	77
HP Jetdirect プリント サーバー	78
NetWare ネットワーク	78
Windows ネットワーク	78
AppleTalk ネットワーク	78
UNIX/Linux ネットワーク	78
ワイヤレス印刷	79
IEEE 802.11 規格	79
Bluetooth	79

4 印刷作業

印刷ジョブの制御	82
ソース	82
タイプおよびサイズ	82
印刷設定の優先度	82
印刷メディアの選択	84
仕様対象外のメディア	84
MFP に損傷を与える可能性がある用紙	84
メディア タイプの自動感知 (自動感知モード)	86
トレイ 1 感知	86
トレイ 2-N 感知	87
給紙トレイの設定	88
MFP からプロンプトが表示された場合のトレイの設定	88
用紙をセットする際にトレイを設定するには	88
印刷ジョブ設定と一致するようにトレイを設定するには	89
[用紙処理] メニューを使用したトレイの設定	89
カスタム用紙サイズ用のトレイ 2、3、または 4 の設定	90
トレイ 1 (汎用トレイ) を使用した印刷	91
トレイ 1 への用紙のセット	91
トレイ 1 を使用した封筒の印刷	92
トレイ 1 に封筒をセットするには	93
封筒の印刷	94
トレイ 2、3、または 4 を使用した印刷	94
トレイ 2、3、または 4 に検出できる標準サイズのメディアをセットするには	94
トレイ 2、3、および 4 に検出できない標準サイズのメディアをセットするには	97
トレイ 2 にカスタムサイズのメディアをセットするには	100
特殊なメディアへの印刷	103
OHP フィルム	103
光沢紙	103
カラー用紙	104
封筒	104
ラベル紙	104

厚手用紙	105
HP LaserJet 耐久紙	105
印刷済みフォームおよびレターヘッド用紙	106
再生紙	106
自動両面印刷	107
自動両面印刷のコントロール パネル設定	108
MFP のコントロール パネルから両面印刷を有効または無効にするには	108
両面印刷ジョブの綴じ込みオプション	109
手差し両面印刷	109
ブックレットの印刷	110
ドキュメントのステイプル留め	111
アプリケーションでステイプラーを選択するには (Windows)	111
コントロール パネルでのステイプラーを選択するには	111
ステイプルのセット	112
ステイプラーをセットするには	112
特殊な印刷条件	114
ドキュメントの最初のページに違うメディアを使用する	114
ブランクのバック カバーの印刷	114
カスタムサイズ メディアへの印刷	114
印刷要求の停止	115
MFP のコントロール パネルから現在の印刷ジョブを取り消すには	115
ソフトウェア アプリケーションから現在の印刷ジョブを取り消すには	115
排紙ビンの選択	116
3 ビン メールボックス排紙ビン	116
排紙位置の選択	117
コントロール パネルで排紙位置を選択するには	117
ジョブ保存機能	118
ジョブの試し刷りと保留	118
保存ジョブの印刷	118
保存ジョブの消去	118
ジョブのクイック コピー	119
プライベート ジョブ	119
プライベート ジョブの印刷	120
プライベート ジョブの消去	120
印刷ジョブの保存	120
MOPIER モード	121
メモリの管理	122
プリンタ ドライバでの各機能の使用	123
クイック設定の作成と使用	123
透かしの作成と使用	124
文書のサイズ変更	124
プリンタ ドライバからのユーザー定義用紙サイズの設定	125
別の用紙/表紙の使用	125
最初のページの白紙印刷	125
1 枚の用紙に複数ページを印刷する	126
用紙の両面印刷	126
両面印刷アクセサリを使用して両面印刷するには	127
手差しで両面印刷するには	127
両面印刷のレイアウト オプション	127
ステイプル留めオプションの設定	128

カラー オプションの設定	129
[HP Digital Imaging オプション] ダイアログ ボックスの使用	129
[サービス] タブの使用	130
Macintosh プリンタ ドライバでのプリンタ機能の使用	131
Mac OS X でのプリセットの作成と使用	131
表紙の印刷	131
1 枚の用紙に複数のページを印刷する	132
用紙の両面に印刷する	132
カラー品質の設定	133

5 コピー

コピー画面の操作	136
"キャンセル" ボタン	136
"OK" ボタン	136
基本的なコピー手順	137
デフォルト設定を使用したコピー	137
デフォルト設定を使用してコピーするには	137
ユーザー定義の設定を使用したコピー	137
デフォルト以外の設定を使用してコピーするには	137
スキャナ ガラスを使用したコピー	139
ADF を使用したコピー	139
ジョブ モードの使用	139
現在のジョブのコピー設定の修正	141
コピーの明るさの調整	141
コピーの縮小または拡大	141
背景の削除	141
鮮明度	141
さまざまなサイズの下稿のコピー	142
保存コピー ジョブの作成	143

6 スキャンと電子メール送信

SMTP とは	146
LDAP とは	147
電子メールの設定	148
電子メールの自動設定	148
電子メールの手動による設定	148
電子メール プログラムを使用してゲートウェイを検索するには	149
電子メール画面の移動	150
ヘルプ ボタン	150
From: フィールド	150
To:, CC:, および BCC: フィールド	150
Clear All ボタン	151
電子メールの基本	152
ドキュメントのセット	152
ドキュメントの送信	152
ドキュメントを送信するには	152
オートコンプリート機能の使用	153
アドレス帳の使用	154
受信者一覧の作成	154

ローカル アドレス帳の使用	154
ローカル アドレス帳に電子メール アドレスを追加するには	155
ローカル アドレス帳から電子メール アドレスを削除するには	155
追加の電子メール機能	156
セカンダリ電子メール	156
フォルダへの送信	156
ワークフローに送信	156

7 ファックス送信

アナログ ファックス送信	158
ファックス アクセサリのインストール	158
電話回線へのファックス アクセサリの接続	162
ファックス機能の設定および使用	163
デジタル ファックス送信	164

8 カラー

カラーの使用	166
HP ImageREt 3600	166
カラー ロックアウト	166
用紙選択	167
カラー オプション	167
sRGB	167
4 色印刷 – CMYK	168
CMYK インク セット エミュレーション (PostScript のみ)	168
カラー マッチング	169
PANTONE® カラー マッチング	169
色見本のカラー マッチング	169
カラー サンプルの印刷	170
Windows コンピュータでのプリンタのカラー オプションの管理	171
グレースケールでの印刷	171
RGB カラー (色域)	171
色の自動または手動の調整	172
手動カラー オプション	172
カラー印刷の制限	174
Macintosh コンピュータでのプリンタのカラー品質の管理	175
グレースケールでの印刷	175
手動カラー オプション	175
ハーフトーン オプション	175
グレー中間色	175
RGB カラー	176
輪郭コントロール	176

9 オプションの出力デバイス

出力アクセサリ ブリッジ	180
3 ビン メールボックス	181
メールボックス モード	181
スタッカ モード	181
機能別モード	181

3 ビン メールボックス/ステイプラ/スタッカを認識させるためのプリンタ ドライバの設定	181
Windows	181
Macintosh	182
コントロール パネルで動作モードを選択するには	182
コントロール パネルで排紙ビンを設定するには (メールボックス モードと機能別モード)	182
プリンタ ドライバで動作モードを選択するには (Windows 2000 および Windows XP)	182
Windows 98、Windows Me、および Windows NT 4.0	183
Mac OS X	183
ステイプラ/スタッカ アクセサリ	184
オプションのステイプラ/スタッカを認識させるためにプリンタ ドライバを設定するには	184
Windows	184
Macintosh	185
印刷したジョブについてコントロール パネルでステイプラを選択するには	185
印刷したジョブについてプリンタ ドライバでステイプラを選択するには (Windows)	185
印刷ジョブについてプリンタ ドライバでステイプラを選択するには (Mac)	185
すべてのコピー ジョブについてコントロール パネルでステイプラを設定するには	186
1つのコピー ジョブについてコントロール パネルでステイプラを設定するには	186
ステイプル カートリッジが空になった時点で処理を停止するか継続するかを MFP に設定するには	186
出力アクセサリのトラブルシューティング	187

10 セキュリティ機能

内蔵 Web サーバーのセキュリティ保護	190
内蔵 Web サーバーのセキュリティを保護するには	190
Foreign Interface Harness (FIH)	191
要件	191
FIH の使用	191
FIH ポータルを有効にするには	191
FIH ポータルを無効にするには	192
Secure Disk Erase	193
影響を受けるデータ	193
Secure Disk Erase 機能へのアクセス	193
補足情報	193
ジョブ保存機能	194
DSS 認証	195
コントロール パネル メニューのロック	196
フォーマッタ ケージのロック	197

11 MFP の管理と保守

内蔵 Web サーバーの使用	200
内蔵 Web サーバーの起動	200
[Information] タブ	201
[Settings] タブ	201
[Digital Sending] タブ	202

ネットワーク タブ	202
その他のリンク	203
HP Easy Printer Care Software の使用	204
対応オペレーティング システム	204
HP Easy Printer Care Software を使用するには	204
HP Easy Printer Care Software のセクション	204
HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用	206
Macintosh 用 HP Printer ユーティリティの使用	207
HP Printer ユーティリティを開く	207
クリーニング ページの印刷	207
設定ページの印刷	207
サプライ用品のステータスの表示	208
サプライ用品のオンライン注文およびその他のサポート機能の使用	208
ファイルをプリンタにアップロードする	208
フォントをプリンタにアップロードする	209
ファームウェアのアップデート	209
両面印刷モードの有効化	209
EconoMode 印刷モードの有効化	209
トナー濃度の変更	210
解像度設定の変更	210
プリンタ記憶装置のロック/ロック解除	210
ジョブの保存/保存ジョブの印刷	211
トレイの設定	211
ネットワーク設定の変更	211
内蔵 Web サーバを開く	212
電子メール警告の設定	212
IP アドレスの設定と確認	213
TCP/IP の割り当て	213
自動検出	213
Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP)	213
TCP/IP 設定の確認	213
IP アドレスの変更	213
HP Web Jetadmin を使用して IP アドレスを変更するには	213
内蔵 Web サーバを使用して IP アドレスを変更するには	214
コントロール パネルを使用して IP アドレスを変更するには	214
リアルタイム クロックの設定	216
日付と時刻の設定	216
日付形式を設定するには	216
日付を設定するには	216
時刻形式を設定するには	216
時刻を設定するには	217
スリープ復帰時刻を設定するには	217
スリープ復帰時刻を設定するには	217
スリープ遅延の設定	218
スリープ遅延を設定するには	218
警報の設定	219
MFP 設定の確認	220
情報ページを印刷するには	220
メニュー マップ	220
設定ページ	220

HP Jetdirect ページ	221
サプライ品ステータス ページ	222
使用状況ページ	223
PCL または PS フォント リスト	224
ファームウェアのアップグレード	226
ファームウェアの現在のレベルの確認	226
HP の Web サイトからの新しいファームウェアのダウンロード	226
MFP への新しいファームウェアの転送	226
FTP を使用したブラウザによるファームウェアのアップロード	226
ブラウザを使用してファームウェアを更新するには	226
FTP を使用したネットワーク接続でのファームウェアのアップグレード	227
FTP を使用してネットワーク接続でファームウェアをアップグ レードするには	227
HP Web Jetadmin を使用したファームウェアのアップグレード	228
MS-DOS コマンドを使用したファームウェアのアップグレード	229
HP Jetdirect ファームウェアの使用	229
プリント カートリッジの管理	231
HP プリント カートリッジ	231
HP 以外のプリント カートリッジ	231
プリント カートリッジの認証	231
カスタマ ケア センタ	231
プリント カートリッジの保管	232
プリント カートリッジの寿命	232
プリント カートリッジの寿命の確認	232
MFP のコントロール パネルの使用	232
内蔵 Web サーバーの使用	232
HP Easy Printer Care Software の使用	233
HP Web Jetadmin の使用	233
プリント カートリッジの交換	233
プリント カートリッジを交換するには	233
サプライ品の交換	237
サプライ品の識別	237
サプライ品交換のガイドライン	237
MFP の周囲にサプライ品を交換するための間隔を空ける	238
サプライ品の交換予定時期	238
予防保守の実行	239
ADF 保守キット	239
MFP のクリーニング	240
MFP の外側のクリーニング	240
タッチスクリーンのクリーニング	240
スキャナ ガラスをクリーニングするには	240
ADF 給紙システムのクリーニング	241
ADF 給紙システムをクリーニングするには	241
ADF ローラーをクリーニングするには	242
Mylar フィルムのクリーニング	245
Mylar フィルムをクリーニングするには	245
スキャナのキャリブレーション	247
キャリブレーション ターゲットを印刷するには	247

12 問題の解決

一般的な問題の解決	250
トラブルシューティングのチェックリスト	250
MFP の問題の特定	252
トラブルシューティング情報ページ	253
設定ページ	253
用紙経路テスト ページ	253
レジストレーション ページ	253
イベント ログ	254
コントロール パネルのメッセージの種類	255
ステータス メッセージ	255
警告メッセージ	255
エラー メッセージ	255
致命的エラー メッセージ	255
コントロール パネルのメッセージ	256
メッセージの一覧	256
紙詰まり	288
紙詰まりの解除	289
紙詰まり解除機能を無効にするには	289
紙詰まりの除去	290
右カバーの紙詰まりの除去	290
トレイ 1 の紙詰まり	295
トレイ 2、3、または 4 の紙詰まり	295
ステイプラ/スタッカの紙詰まり	297
詰まったステイプル	298
3 ビン メールボックスの紙詰まり	300
排紙アクセサリ ブリッジのその他の紙詰まり	302
ADF の紙詰まり	304
メディアの取り扱いに関する問題	306
プリンタが複数枚の用紙を給紙する	306
間違ったページ サイズが給紙される	306
間違ったトレイから給紙される	307
メディアが自動的に給紙されない	307
トレイ 2、3、または 4 からメディアが給紙されない	307
OHP フィルムまたは光沢紙が給紙されない	308
封筒の紙詰まり、または封筒が MFP に給紙されない	309
印刷出力がめくれている、またはしわが寄っている	309
両面印刷しないか、または正しく両面印刷しない	310
MFP のメッセージについて	311
MFP ヘルプ システムの使い方	311
メッセージが消えない場合	311
3 ビン メールボックスとステイプラ/スタッカのアクセサリ ランプについて	312
アクセサリ ランプ	312
アクセサリまたはアクセサリ 部品の交換	313
フォーマッタのランプについて	315
HP Jetdirect LED	315
電源確認 LED	315
ファックス LED	316
カラー印刷の問題	317
印刷出力カラー エラー	317

陰影が印刷される	317
印刷されない色がある	317
カートリッジ エラー	318
カラー マッチング エラー	318
印字品質とコピー品質に関する問題の解決	319
メディアに関連する印字品質の問題	319
OHP フィルムの欠陥	319
環境に関連する印字品質の問題	320
紙詰まりに関連する印字品質の問題	320
印字品質トラブルの解決ページ	320
印字品質のトラブルシューティング ツール	320
イメージの欠陥の例	321
スキャナ ガラス面のクリーニング	325
MFP のキャリブレーション	326
連続した欠陥の定規	327
電子メールの問題の解決	329
SMTP ゲートウェイ アドレスを確認するには	329
LDAP ゲートウェイ アドレスを確認するには	329
ネットワーク接続に関する問題の解決	330
ネットワーク印刷に関する問題のトラブルシューティング	330
ネットワーク上の通信の確認	330
ネットワーク上の通信を確認するには	331
Macintosh で発生する一般的な問題の解決	332
Mac OS バージョン 9.x での問題の解決	332
Mac OS X での問題の解決	334

付録 A メモリ カードとプリント サーバー カードの扱い方

プリンタのメモリとフォント	340
メモリとフォントのインストール	341
DDR メモリ DIMM をインストールするには	341
フラッシュ メモリ カードを装着するには	345
メモリの有効化	349
Windows 98 および Me でメモリを有効にするには	349
Windows 2000 および XP でメモリを有効にするには	350
HP Jetdirect プリント サーバー カードの取り付け	351
HP Jetdirect プリント サーバー カードを取り付けるには	351
EIO カードの取り付け	354
EIO カードを取り付けるには	354

付録 B サプライ品とアクセサリ

部品、サプライ品、アクセサリなどの注文方法	358
HP に直接注文する方法	358
サービスまたはサポート プロバイダを通して注文する方法	358
内蔵 Web サーバーを介して直接注文する方法 (ネットワークに接続しているプリンタの場合)	358
内蔵 Web サーバーを介して直接注文するには	358
製品番号	359
アクセサリ	359
プリント カートリッジ	359

保守キット	360
交換可能なユニット	360
メモリ	360
ケーブルおよびインターフェース	360
印刷メディア	360

付録 C サービスおよびサポート

Hewlett-Packard 限定保証書条項	364
プリント カートリッジ限定保証条項	365
フューザおよびトランスファー ユニット限定保証条項	366
利用可能なサポートおよびサービス	367
HP 社保守契約	368
オンサイト サービス契約	368
優先オンサイト サービス	368
翌日オンサイト サービス	368
週間 (ボリューム) オンサイト サービス	368

付録 D MFP の仕様

物理仕様	370
電氣的仕様	371
稼動音仕様	372
環境仕様	373

付録 E メディア仕様

印刷メディアの仕様	376
印刷および用紙保管環境	376
封筒	377
合わせ目が両側にある封筒	377
接着剤付きテープや蓋が付いた封筒	378
封筒のマージン	378
封筒の保管	378
ラベル紙	378
ラベル紙の形状	378
OHP フィルム	379
印刷メディアの重量とサイズ	380
使用可能なメディアの重量とサイズ	380

付録 F 規制に関する情報

はじめに	386
FCC 規格	387
Compliance with FCC regulations	387
テレコム	388
ファックス通信	388
環境製品スチュワードシップ プログラム	389
環境の保護	389
オゾン放出	389
消費電力	389
HP LaserJet 用サプライ品	389

欧州連合における一般家庭ユーザーによる不要機器の廃棄	391
材料の安全性データシート	391
詳細について	392
テスト構成 (HP Color LaserJet 4730mfp)	393
国/地域ごとの安全規定	394
レーザーの安全規定	394
カナダ DOC 規定	394
日本 VCCI 規格	394
日本コードセット宣言	394
Korean EMI statement	395
台湾レーザー安全規定	395
フィンランドのレーザー安全規定	396
Australia	396

索引	397
----------	-----

1 MFP の基本

HP Color LaserJet 4730mfp をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。まだセットアップを行っていない場合は、多機能周辺機器 (MFP) に付属の『*HP Color LaserJet 4730mfp* セットアップガイド』のセットアップ手順を参照してください。

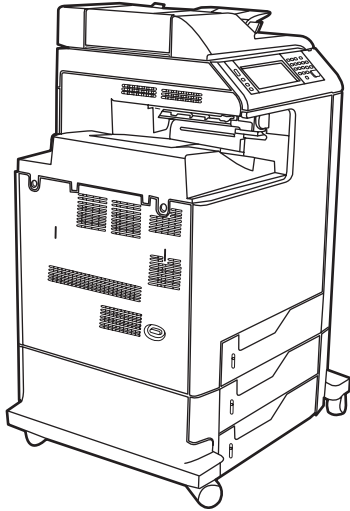
MFP をセットアップして使用する準備ができれば、MFP を理解するのに時間はかかりません。この章では、次の項目について説明します。

- [HP Color LaserJet 4730mfp シリーズの構成](#)
- [多機能周辺機器 \(MFP\) の機能と利点](#)
- [MFP の部品とアクセサリ](#)
- [ソフトウェア](#)
- [Macintosh コンピュータ用ソフトウェア](#)
- [プリンタドライバ](#)
- [Macintosh コンピュータ用プリンタ ドライバ](#)
- [インストール チェックリスト](#)

HP Color LaserJet 4730mfp シリーズの構成

HP Color LaserJet 4730mfp シリーズは、次の構成で販売されています。

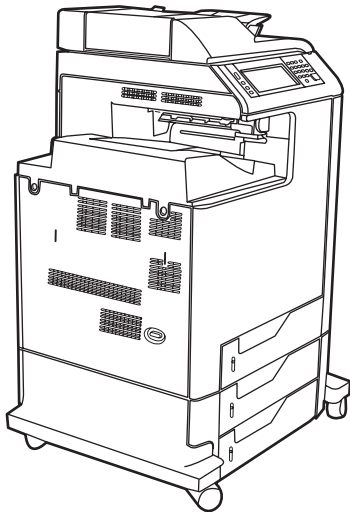
HP Color LaserJet 4730mfp (Q7517A - 基本モデル)



HP Color LaserJet 4730mfp の標準装備は次のとおりです。

- 100 枚多目的給紙トレイ (トレイ 1) × 1
- 500 枚給紙トレイ × 3
- 50 ページまでセットできる自動ドキュメント フィーダ (ADF)
- 10/100Base-TX ネットワークに接続するための HP Jetdirect 内蔵プリント サーバー
- 256 MB の同期ダイナミック ランダム アクセス メモリ (SDRAM)
- 両面印刷ユニット
- ハード ドライブ

HP Color LaserJet 4730x mfp (Q7518A)



HP Color LaserJet 4730x mfp には、基本モデルの機能に加えて、アナログ ファックス アクセサリが付いています。

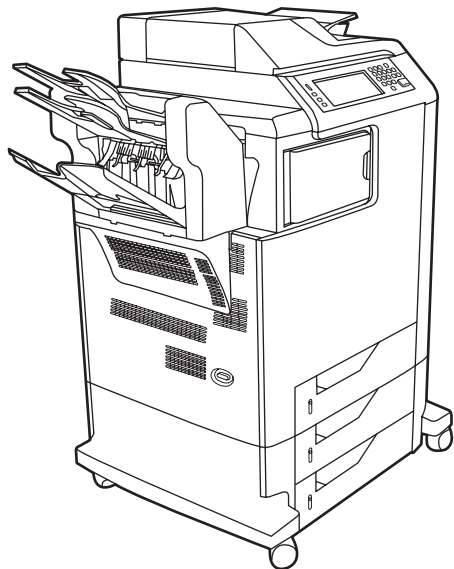
HP Color LaserJet 4730xs mfp (Q7519A)



HP Color LaserJet 4730xs mfp には、基本モデルの機能に加えて、次の付属品があります。

- アナログ ファックス アクセサリ
- 排紙アクセサリ ブリッジ
- ステイプラ/スタッカ アクセサリ

HP Color LaserJet 4730xm mfp (Q7520A)



HP Color LaserJet 4730xm mfp には、基本モデルの機能に加えて、次の付属品があります。

- 排紙アクセサリ ブリッジ
- アナログ ファックス アクセサリ
- 3 ビン メールボックス アクセサリ

多機能周辺機器 (MFP) の機能と利点

HP Color LaserJet 4730mfp シリーズは、ワークグループで共有するように設計されています。MFP を使用して、カラー ドキュメントとモノクロ ドキュメントのコピー、印刷、またはデジタル送信を行います。MFP は、コンピュータへの接続を必要としないスタンドアロンのコピー機です。オプションの HP LaserJet Analog Fax Accessory 300 (一部のモデルでは標準装備) を使用すると、MFP でファックスを送受信できます。

機能一覧

機能

- 両面コピー (両面印刷)
- 画像修正
- カラー デジタル送信
- 両面ドキュメント仕上げ
- ネットワーク印刷

速度とスループット

- レターサイズ of 用紙 of コピー時および印刷時は 31 ページ/分 (ppm)、A4 サイズ of 用紙 of コピー時および印刷時は 30 ppm
- スキャナ ガラス使用時は 25 ~ 400% の倍率変更
- 自動ドキュメント フィーダ (ADF) 使用時は 25 ~ 200% の倍率変更
- 最初のページを印刷するまでの時間は 10 秒以内
- Transmit Once, Raster Image Processing (RIP) ONCE テクノロジー
- デューティ サイクルは最大 85,000 ページ/月
- 533 MHz のマイクロプロセッサ

解像度

- Resolution Enhancement technology (REt) を使用すると 600 dpi
- この製品は、フル エンジン スピードで 1200 × 1200 dpi 相当の HP FastRes および Resolution Enhancement technology (REt) を特長としています。

メモリ

- 256 MB のランダム アクセス メモリ (RAM)、業界標準の 100 ピン ダブル データ レート デュアル インライン メモリ モジュール (DDR DIMM) を使用すると 512 MB まで拡張可能
- RAM をより有効に使用するためにデータを自動的に圧縮する MEt (Memory Enhancement technology : メモリ強化テクノロジー)

ユーザー インタフェース

- コントロール パネルのグラフィック ディスプレイ
- サポートへのアクセスおよびサプライ品の注文を行う内蔵 Web サーバー (ネットワーク接続プリンタ用)
- HP Easy Printer Care Software (ステータス情報の表示やトラブルシューティングを行うための Web ベース ツール)
- HP Easy Printer Care Software を使用したインターネット対応のサプライ品注文機能

言語とフォント

- HP プリンタ制御言語 (PCL) 6
- HP PCL 5e (互換性のため)
- プリンタ管理言語
- PDF
- XHTML
- 80 種類のスケラブルな TrueType 書体
- HP PostScript® 3 エミュレーション (PS)

コピーと送信

- テキスト、グラフィック、およびテキストとグラフィックの混合用のモード
- ジョブ中断機能 (コピー区切りで)
- 1 枚の用紙に複数ページを印刷
- オペレータ介入アニメーション (たとえば、紙詰まり除去など)
- 電子メールの互換性
- エネルギーを節約するスリープ機能
- 自動両面スキャン

プリント カートリッジ (4 個)

- 印字率 5% で最大 12,000 ページ印刷
- 装着時に振る必要のないカートリッジ設計
- HP プリント カートリッジの信頼性チェック
- 自動トナー ストリップ リムーバ

用紙ハンドリング

● 給紙

- **トレイ 1 (汎用トレイ)**：普通紙、OHP フィルム、ラベル、および封筒用の多目的トレイ。普通紙は 100 枚まで、封筒は 20 枚までセットできます。
- **トレイ 2、3、および 4**：500 枚給紙トレイ。これらのトレイではリーガルまでの標準用紙サイズを自動的に検出し、カスタム サイズの用紙に印刷できます。
- **自動ドキュメント フィーダ (ADF)**：50 枚までの用紙をセットできます。
- **両面印刷およびコピー**：両面印刷およびコピー (用紙の両面に印刷) を行います。
- **ADF 両面スキャン**：ADF には、両面ドキュメントをスキャンするための自動両面印刷ユニットがあります。

● 排紙

- **標準排紙ビン**：標準排紙ビンは MFP の左側にあります。500 枚までの用紙を収容できます。
- **ADF 排紙ビン**：ADF 排紙ビンは ADF 給紙トレイの下にあります。50 枚までの用紙を収容でき、ビンがいっぱいになると MFP は自動的に停止します。
- **オプションのステイプラ/スタッカ**：ステイプラ/スタッカでは、30 枚までのドキュメントをステイプルで留め、500 枚まで収容します。
- **オプションの 3 ビン メールボックス**：1 つのビンは 500 枚まで、他の 2 つのビンはそれぞれ 100 枚まで、合計 700 枚まで収容します。

接続性

- IEEE 1284C 準拠パラレル接続
- 他のデバイスに接続するための Foreign Interface Harness (FIH) 接続 (AUX)
- 内蔵 HP Jetdirect プリント サーバー用のローカル エリア ネットワーク (LAN) コネクタ (RJ-45)
- オプションのアナログ ファックス カード
- オプションの HP Digital Sending Software (DSS)
- オプションの拡張 I/O (EIO) カード
- USB 2.0
- ACC ポート (USB ホスト機能を備えたアクセサリ ポート)
- アクセサリ ポート (サードパーティ製デバイス接続用)

環境への配慮

- スリープ設定によってエネルギーを節約します (ENERGY STAR® ガイドライン バージョン 1.0 に適合)。



注記 詳細については、「[環境の保護](#)」を参照してください。

セキュリティ機能

- Foreign Interface Harness (FIH)
- 安全なディスク消去
- セキュリティ ロック
- ジョブ保留
- DSS 認証

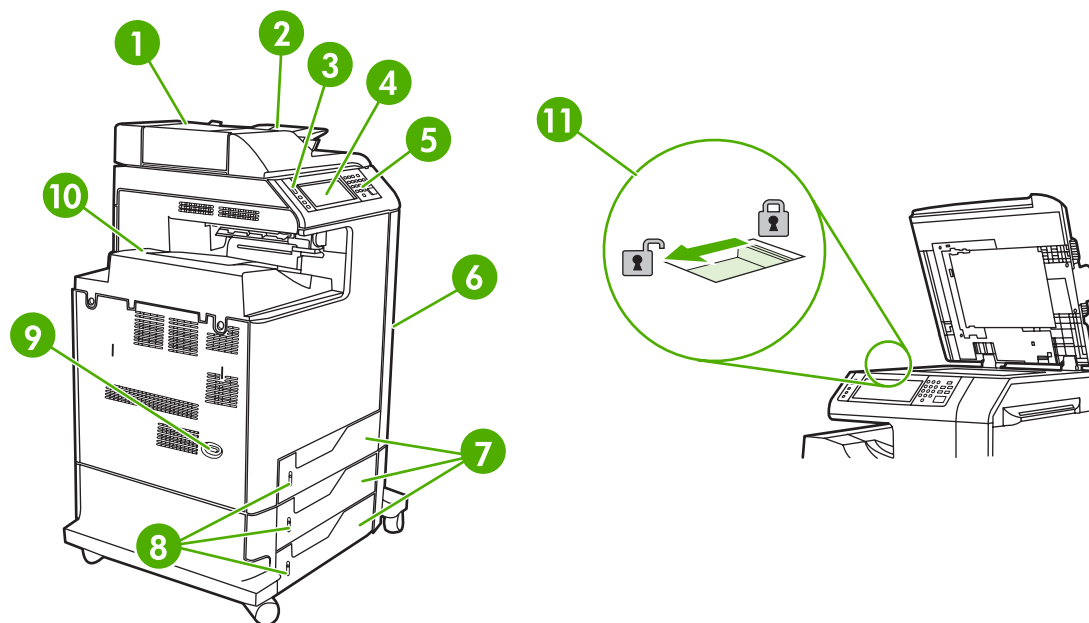
システム要件

電子メール機能を使用するには、MFP を、Simple Mail Transfer Protocol (SMTP) サーバーがある IP ベースのネットワークに接続する必要があります。SMTP サーバーは、ローカル エリア ネットワーク上、または外部のインターネット サービス プロバイダ (ISP) のいずれかに配置できます。MFP を SMTP サーバーと同じローカル エリア ネットワーク (LAN) 上に配置することをお勧めします。ISP を使用する場合は、デジタル加入者線 (DSL) 接続を使用して ISP に接続する必要があります。ISP から 電子メール サービスを受ける場合は、ISP に正しい SMTP アドレスを提供するように依頼してください。ダイヤルアップ接続はサポートされていません。ネットワーク上に SMTP サーバーがない場合は、SMTP サーバーを作成できるサードパーティ製ソフトウェアを利用できます。ただし、このソフトウェアの購入およびサポートは、お客様の責任において行ってください。

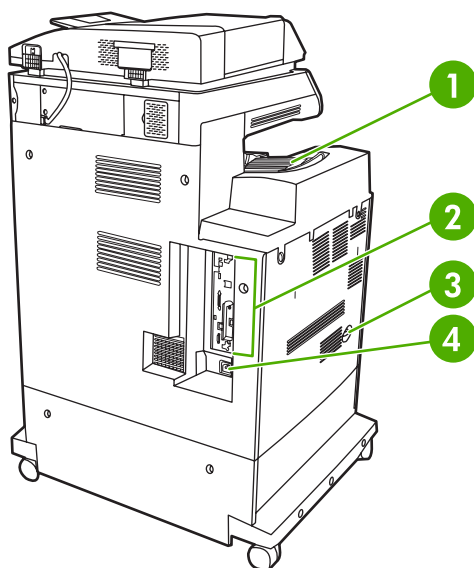
MFP の部品とアクセサリ

MFP の部品の識別

MFP を使用する前に、MFP の部品を知っておく必要があります。



1	ADF 上部カバー
2	コピー/スキャン/ファックス原稿用の自動ドキュメント フィーダ (ADF) 給紙トレイ
3	コントロール パネルのステータス ランプ
4	タッチスクリーン機能を備えたコントロール パネル ディスプレイ
5	コントロール パネル キーパッド
6	右側カバー (プリント カートリッジや他の消耗品へのアクセスを提供)
7	トレイ 2、3、および 4
8	用紙レベル表示
9	オン/オフ スイッチ
10	排紙ビン
11	スキャナ ロック



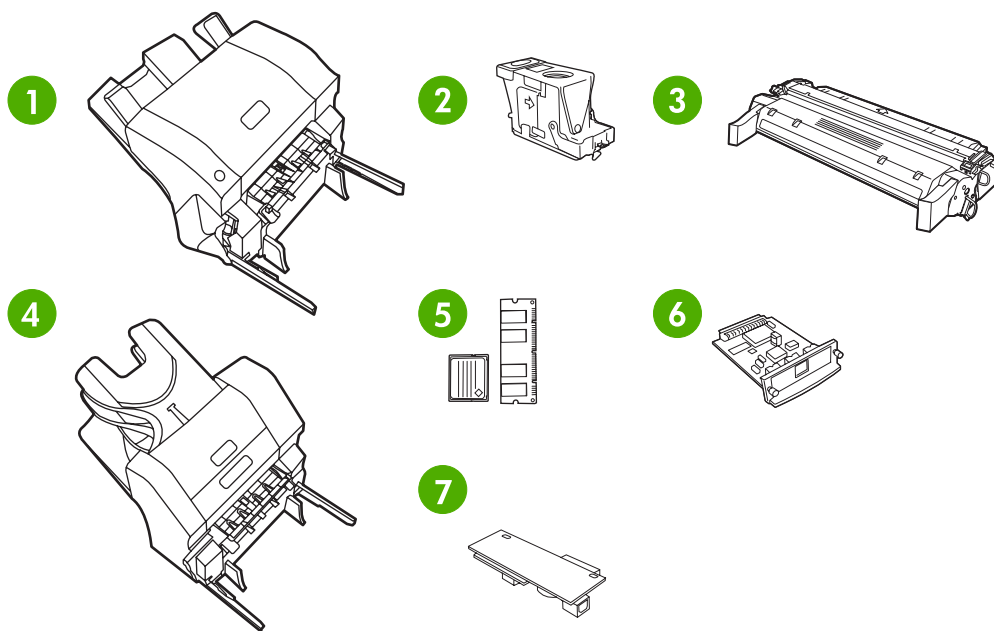
- | | |
|---|--------------|
| 1 | 排紙ビン |
| 2 | インターフェース ポート |
| 3 | オン/オフ スイッチ |
| 4 | 電源接続 |

アクセサリとサプライ品

オプションのアクセサリを追加すると、MFP の機能を強化できます。アクセサリとサプライ品の注文の詳細については、「[部品、サプライ品、アクセサリなどの注文方法](#)」を参照してください。



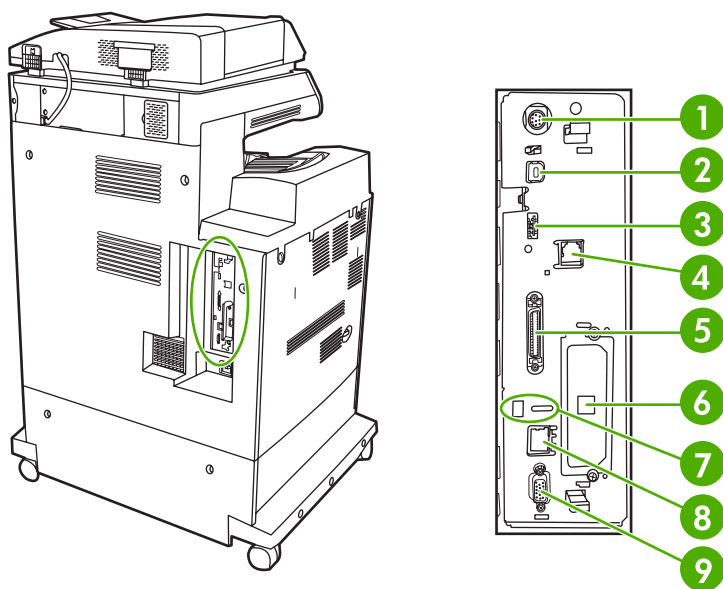
注記 最適な性能を得るために、MFP 専用のアクセサリおよびサプライ品を使用してください。



1	ステイブラ/スタッカ (Q7521A)。このアクセサリには排紙アクセサリ ブリッジが含まれています。
2	ステイプル カートリッジ (C8091A)
3	プリント カートリッジ (4 個) (Q6460A、Q6461A、Q6462A、および Q6463A)
4	3 ビン メールボックス (Q7523A)。このアクセサリには排紙アクセサリ ブリッジが含まれています。
5	メモリ DIMM とフラッシュ メモリ カード
6	HP Jetdirect プリント サーバー (EIO カード)
7	HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 300 (Q3701A)

インタフェース ポート

MFP には、コンピュータやネットワークに接続するためのポートが 5 つあります。これらのポートは MFP の背面の左隅にあります。



1	Foreign Interface Harness (FIH)
2	USB 2.0
3	ACC (アクセサリ ポートではホスト USB プロトコルを使用します)
4	ファックス接続 (オプションのアナログ ファックス アクセサリの接続用)
5	パラレル ポート
6	EIO インタフェース拡張スロット
7	Kensington ロック用アクセス ポート
8	ネットワーク接続 (内蔵 HP Jetdirect プリント サーバー)
9	AUX ポート

MFP の移動

MFP を移動する前に、スキャナを確実にロックしてください。スキャナ ロックは、スキャナ蓋の下
のスキャナ ガラスの左側にあります。

ソフトウェア

MFP には、プリンタ ドライバやオプションのソフトウェアなど、役に立つソフトウェアが付属しています。MFP を簡単にセットアップしてその機能をフルに活用するために、付属のソフトウェアをインストールすることをお勧めします。

その他のソフトウェアおよび言語については、MFP に付属の CD-ROM に収録されているインストール ノートおよび ReadMe ファイルを参照してください。一部の言語では、HP ソフトウェアを使用できません。

オペレーティング システムと MFP コンポーネント

MFP に付属の CD-ROM には、ユーザーおよびネットワーク管理者用のソフトウェア コンポーネントとドライバが収録されています。MFP の機能をフルに活用するには、CD-ROM に収録されているプリンタ ドライバをインストールする必要があります。他のプログラムもお勧めしますが、必須ではありません。詳細については、MFP に付属の CD-ROM に収録されているインストール ノートおよび ReadMe ファイルを参照してください。

CD-ROM には、次の環境で使用しているエンド ユーザーやネットワーク管理者向けのソフトウェアが収録されています。

- Microsoft® Windows® 98 および Windows Millennium Edition (Me)
- Microsoft Windows 2000、Windows XP、および Windows Server 2003
- Apple Mac OS X バージョン 10.2 以降

サポートされているすべてのオペレーティング システム用の最新のプリンタ ドライバは、http://www.hp.com/go/clj4730mfp_software から入手できます。インターネットにアクセスできない場合は、MFP に同梱されているサポートに関するリーフレットの最新ソフトウェアの入手方法を参照してください。

次の表は、MFP で使用可能なソフトウェアを示しています。

ソフトウェア	Windows 98/ Me	Windows 2000/ XP/Server 2003	Mac OS	UNIX*	Linux ²	OS/2
Windows インストーラ	x	x				
PCL 5 ³	x	x				
PCL 6	x	x				
PostScript エミュレーション ³	x	x	x			
HP Web Jetadmin ¹		x		x		
Macintosh インストーラ			x			
Macintosh PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイル			x			
IBM ドライバ ¹						x
モデル スクリプト ²				x		

¹ インターネットからのみ入手可能です。

² Linux ドライバは、<http://hpinkjet.sourceforge.net> から入手できます。すべての LaserJet 用の Linux PPD ファイルは、<http://linuxprinting.org> から入手できます。

³ [Custom Install] を使用してインストールします。



注記 デジタル ファックス機能を提供するオプションの HP Digital Sending Software も購入できます。詳細については、<http://www.hp.com/go/digitalsending> をご覧ください。

ソフトウェア機能

MFP では、自動設定、"今すぐ更新"、およびプレコンフィギュレーション機能を使用できます。

ドライバの自動設定

Windows 対応 HP LaserJet PCL 6 および PCL 5c ドライバ、Windows 2000 および Windows XP 対応 PS ドライバは、インストール時にプリンタ アクセサリを自動的に検出して設定する機能があります。ドライバの自動設定がサポートされているアクセサリとしては、両面印刷ユニット、オプションの用紙トレイ、およびデュアル インライン メモリ モジュール (DIMM) があります。双方向通信がサポートされている環境では、標準インストールおよびカスタム インストール時、インストール可能なコンポーネントとしてドライバの自動設定機能をデフォルトで利用できます。

今すぐ更新

インストール後に HP Color LaserJet 4730mfp シリーズの設定を変更した場合、双方向通信をサポートしている環境では、ドライバを新しい設定に自動的に更新できます。新しいドライバ設定を自動的に反映させるには、**[Update Now]** ボタンをクリックします。



注記 共有されている Windows 2000 クライアントまたは Windows XP クライアントが Windows 2000 ホストまたは Windows XP ホストに接続されている環境では、"今すぐ更新" 機能はサポートされていません。

HP Driver Preconfiguration (HP ドライバのプレコンフィギュレーション)

HP Driver Preconfiguration (HP ドライバのプレコンフィギュレーション機能) はソフトウェア アーキテクチャで、管理された社内印刷環境で HP ソフトウェアをカスタマイズし配布できるようにする一連のツールです。HP Driver Preconfiguration (HP ドライバのプレコンフィギュレーション機能) を使用すると、情報技術 (IT) 管理者は、ネットワーク環境にドライバをインストールする前に HP プリンタ ドライバの印刷デフォルト値およびデバイス デフォルト値を事前設定できます。詳細については、<http://www.hp.com/support/clj4730mfp> で公開されている『*HP Driver Preconfiguration Support Guide (HP ドライバ プレコンフィギュレーション サポート ガイド)*』を参照してください。

印刷システム ソフトウェアのインストール

次のセクションでは、印刷システム ソフトウェアのインストール手順について説明します。

MFP CD-ROM には印刷システム ソフトウェアとプリンタ ドライバが収録されています。MFP の機能をフルに活用するには、CD-ROM に収録されている印刷システム ソフトウェアをインストールする必要があります。

CD-ROM ドライブがない場合は、<http://www.hp.com/support/clj4730mfp> から印刷システム ソフトウェアをダウンロードしてください。



注記 UNIX® (HP-UX®, Sun Solaris) のモデル スクリプトのサンプルは、<http://www.hp.com/go/unixmodelscripts> からダウンロードできます。Linux ネットワークのモデル スクリプトのサンプルは、<http://linuxprinting.org> からダウンロードできます。

最新のソフトウェアは、<http://www.hp.com/support/clj4730mfp> から無償でダウンロードできます。

Windows 印刷システム ソフトウェアのインストール (直接接続)

このセクションでは、Microsoft Windows 98、Windows Me、Windows 2000、および Windows XP の印刷システム ソフトウェアをインストールする方法について説明します。

直接接続環境で印刷ソフトウェアをインストールする際は必ず、印刷ソフトウェアをインストールしてからパラレル ケーブルや USB ケーブルを接続してください。ソフトウェアをインストールする前にパラレル ケーブルや USB ケーブルが既に接続されている場合は、「[パラレル ケーブルまたは USB ケーブル接続後のソフトウェアのインストール](#)」を参照してください。

直接接続にはパラレル ケーブルまたは USB ケーブルのいずれかを使用できます。ただし、パラレル ケーブルと USB ケーブルを同時に使用することはできません。パラレル ポートについては IEEE 1284 互換ケーブルを、USB ケーブルについては標準 2 m USB ケーブルを使用してください。

印刷システム ソフトウェアをインストールするには

1. 実行中のすべてのソフトウェア プログラムを終了します。
2. MFP CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。
ようこそ画面が表示されない場合は、次の手順に従って画面を起動します。
 - **[スタート]** メニューから **[ファイル名を指定して実行]** をクリックします。
 - 「X:\SETUP」と入力します。ここで、「X」は CD-ROM ドライブのドライブ文字を表します。
 - **[OK]** をクリックします。
3. プロンプトが表示されたら、**[Install Printer]** をクリックし、画面の指示に従います。
4. インストールが完了したら **[Finish]** をクリックします。
5. コンピュータを再起動します。
6. テスト ページを印刷するか、任意のソフトウェア プログラムでページを印刷して印刷システム ソフトウェアが正常にインストールされていることを確認します。

インストールが失敗した場合は、ソフトウェアをインストールし直してください。それでもインストールできない場合は、MFP CD-ROM に収録されているインストール ノートまたは ReadMe ファイルを参照するか、MFP に同梱されているリーフレットを調べるか、あるいは <http://www.hp.com/support/clj4730mfp> にアクセスして原因を特定してください。

Windows 印刷システム ソフトウェアのインストール (ネットワーク)

MFP CD-ROM に収録されているソフトウェアは、Microsoft ネットワークでのネットワーク インストールをサポートしています。その他のオペレーティング システムへのネットワーク インストールについては、<http://www.hp.com/support/clj4730mfp> をご覧ください。

HP Color LaserJet 4730mfp に内蔵の HP Jetdirect プリント サーバーには、10/100 Base-TX ネットワーク ポートが付いています。別のタイプのネットワーク ポートが装備された HP Jetdirect プリント サーバーが必要な場合は、「[部品、サプライ品、アクセサリなどの注文方法](#)」を参照するか、または <http://www.hp.com/support/clj4730mfp> をご覧ください。

インストーラは、Novell サーバーに MFP をインストールし、MFP オブジェクトを作成することはできません。Windows コンピュータと MFP を直結した場合のネットワーク インストールのみをサポートしています。Novell サーバーに MFP をインストールし、MFP オブジェクトを作成するには、HP ユーティリティ (HP Web Jetadmin など) または Novell ユーティリティ (NWAdmin など) を使用します。

印刷システム ソフトウェアをインストールするには

1. Windows 2000 または Windows XP 上にソフトウェアをインストールするには、管理者権限が必要です。
2. 設定ページを印刷して HP Jetdirect プリント サーバーでネットワークが正しく設定されていることを確認します (「[設定ページ](#)」を参照)。その次のページで、MFP の IP アドレスを確認します。このアドレスは、ネットワーク インストールを実行する場合に必要になります。
3. 実行中のすべてのソフトウェア プログラムを終了します。
4. MFP CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。

ようこそ画面が表示されない場合は、次の手順に従って画面を起動します。

- **[スタート]** メニューから **[ファイル名を指定して実行]** をクリックします。
 - 「X:\SETUP」と入力します。ここで、「X」は CD-ROM ドライブのドライブ文字を表します。
 - **[OK]** をクリックします。
5. プロンプトが表示されたら、**[Install Printer]** をクリックし、画面の指示に従います。
 6. インストールが完了したら、**[Finish]** をクリックします。
 7. コンピュータを再起動します。
 8. テスト ページを印刷するか、任意のソフトウェア プログラムでページを印刷して印刷システムソフトウェアが正常にインストールされていることを確認します。

インストールが失敗した場合は、ソフトウェアをインストールし直してください。それでもインストールできない場合は、MFP CD-ROM に収録されているインストール ノートまたは ReadMe ファイルを参照するか、MFP に同梱されているリーフレットを調べるか、あるいは <http://www.hp.com/support/clj4730mfp> にアクセスして原因を特定してください。

Windows の共有機能を使用してネットワーク MFP を使用できるように Windows コンピュータを設定するには

MFP をコンピュータに直結すると、ネットワーク ユーザー間でネットワーク上の MFP を共有して印刷できるようになります。

Windows 共有機能を有効にする方法については、Windows のマニュアルを参照してください。MFP 共有の準備ができたなら、MFP を共有するすべてのコンピュータ上に MFP ソフトウェアをインストールします。

パラレル ケーブルまたは USB ケーブル接続後のソフトウェアのインストール

パラレル ケーブルまたは USB ケーブルで既に Windows コンピュータに接続されている場合、コンピュータの電源を入れると、**[New Hardware Found]** というダイアログ ボックスが表示されます。

Windows 98 または Windows Me にソフトウェアをインストールするには

1. **[New Hardware Found]** ダイアログ ボックスで、**[Search CD-ROM drive]** をクリックします。
2. **[Next]** をクリックします。

3. 画面に表示される指示に従います。
4. テスト ページを印刷するか、任意のソフトウェア プログラムでページを印刷して印刷システムソフトウェアが正常にインストールされていることを確認します。

インストールが失敗した場合は、ソフトウェアをインストールし直してください。それでもインストールできない場合は、MFP CD-ROMに収録されているインストール ノートまたは ReadMe ファイルを参照するか、MFP に同梱されているリーフレットを調べるか、あるいは <http://www.hp.com/support/clj4730mfp> にアクセスして原因を特定してください。

Windows 2000 または Windows XP にソフトウェアをインストールするには

1. **[New Hardware Found]** ダイアログ ボックスで、**[Search]** をクリックします。
2. **[Locate Driver Files]** 画面で、**[Specify a Location]** チェックボックスをオンにし、それ以外のすべてのチェックボックスをオフにし、**[Next]** をクリックします。
3. ルート ディレクトリのドライブ文字を入力します。たとえば「X:\」と入力します (ここで "X" は CD-ROM ドライブのルート ディレクトリのドライブ文字です)。
4. **[Next]** をクリックします。
5. 画面に表示される指示に従います。
6. インストールが完了したら、**[Finish]** をクリックします。
7. 言語を選択し、画面に表示される指示に従います。
8. テスト ページを印刷するか、任意のソフトウェア プログラムでページを印刷して印刷システムソフトウェアが正常にインストールされていることを確認します。

インストールが失敗した場合は、ソフトウェアをインストールし直してください。それでもインストールできない場合は、MFP CD-ROMに収録されているインストール ノートまたは ReadMe ファイルを参照するか、MFP に同梱されているリーフレットを調べるか、あるいは <http://www.hp.com/support/clj4730mfp> にアクセスして原因を特定してください。

MFP ソフトウェアのアンインストール

このセクションでは、印刷システム ソフトウェアのアンインストール方法について説明します。

Windows OS からソフトウェアを削除するには

Windows HP 印刷システム コンポーネントを選択して削除するには、プログラム グループ [HP Color LaserJet 4730mfp] の [ツール] 内のアンインストーラを使用します。

1. **[スタート]** から **[プログラム]** をポイントします。
2. **[HP Color LaserJet 4730mfp]** をポイントします。
3. **[Uninstaller]** をクリックします。
4. **[Yes]** をクリックします。
5. 画面に表示される手順に従ってアンインストールを実行します。

ネットワーク用のソフトウェア

HP ネットワーク ソリューションの概要

HP ネットワーク インストールおよび設定ソフトウェア ソリューションの概要については、『HP Jetdirect プリント サーバー管理者用ガイド』を参照してください。このガイドは MFP に同梱の CD-ROM に収録されています。

HP Web Jetadmin

HP Web Jetadmin を使用すると、イントラネット内の HP Jetdirect に接続されているプリンタをブラウザで管理できます。HP Web Jetadmin はブラウザベースの管理ツールです。このツールはネットワーク管理サーバーにのみインストールしてください。HP Web Jetadmin は、次のシステムにインストールして実行できます。

- Fedora Core および SuSE Linux
- Windows 2000 Professional、Server、および Advanced Server
- Windows Server 2003
- Windows XP Professional Service Pack 1

HP Web Jetadmin をホスト サーバーにインストールすると、クライアントは、サポートされている Web ブラウザ (Microsoft Internet Explorer 5.5 および 6.0 以降、または Netscape Navigator 7.0) を介して HP Web Jetadmin にアクセスできます。

HP Web Jetadmin には次の特長があります。

- タスク主体のユーザー インタフェースを使用して表示を構成できるので、ネットワーク管理者は大幅に時間を節約することができます。
- ネットワーク管理者はカスタマイズ可能なユーザー プロファイルを使用して、表示または使用する機能を限定することができます。
- ハードウェアの故障、サプライ品残量報告などの MFP の問題を即座に通知する電子メールをさまざまなユーザーに転送できるようになりました。
- 標準の Web ブラウザだけを使用すると、どのクライアントからでもリモート インストールおよび管理が可能です。
- 高度な自動検出機能によってネットワーク上の周辺機器が検出されるので、各プリンタを手作業でデータベースに入力する必要はありません。
- エンタープライズ管理パッケージに簡単に統合可能です。
- IP アドレス、カラー機能、モデル名などのパラメータに基づいて周辺機器を速やかに検出できます。
- 周辺機器を簡単に論理グループに構成し、仮想オフィス マップを使用して簡単に操作することができます。
- 一度に複数のプリンタを管理して設定できます。

HP Web Jetadmin の現在のバージョンをダウンロードし、サポートされているホスト システムの最新リストを確認するには、HP カスタマ ケア <http://www.hp.com/go/webjetadmin> をご覧ください。

UNIX

HP Jetdirect Printer Installer for UNIX は、HP-UX および Solaris ネットワーク用のシンプルなプリンタ インストール ユーティリティです。このユーティリティは、HP カスタマ ケア http://www.hp.com/support/net_printing からダウンロードすることができます。

ユーティリティ

MFP ユーティリティ

HP Color LaserJet 4730mfp シリーズには、ネットワーク接続された MFP を管理および監視するためのいくつかのユーティリティが付属しています。

HP Easy Printer Care Software

HP Easy Printer Care Software は、次のタスクに使用できるソフトウェア プログラムです。

- 色の使用情報の表示
- プリンタのステータスの確認
- サプライ品のステータスの確認
- 警報の設定
- プリンタのマニュアルの表示
- トラブルシューティング ツールと保守ツールへのアクセス

プリンタがコンピュータに直接接続されている場合、またはプリンタがネットワークに接続されている場合は、HP Easy Printer Care Software を表示することができます。HP Easy Printer Care Software を使用するには、ソフトウェアの完全インストールを実行します。詳細については、「<http://www.hp.com/go/easyprintercare>」を参照してください。

内蔵 Web サーバー

この MFP には、MFP およびネットワークのアクティビティに関する情報にアクセスできる内蔵 Web サーバーが装備されています。Web サーバーには、PC 上で Windows のようなオペレーティング システムを使用して Web プログラムを実行するのと同ほとんど同じ環境があります。これらのプログラムの出力を Microsoft Internet Explorer または Netscape Navigator のような Web ブラウザに表示できます。

内蔵 Web サーバーは、ネットワーク サーバーでロードされるソフトウェアではなく、ハードウェア デバイス (プリンタなど) 上またはファームウェア内にあるサーバーを意味します。

内蔵 Web サーバーには、ネットワークに接続されている PC または標準 Web ブラウザから MFP にアクセスできるという利点があります。特殊なソフトウェアのインストールや設定は必要ありません。HP 内蔵 Web サーバーの詳細については、『内蔵 Web サーバー ユーザーズ ガイド』を参照してください。このガイドは MFP に同梱の CD-ROM に収録されています。

機能

HP 内蔵 Web サーバーでは、MFP およびネットワーク カード ステータスを表示し、PC を使用して印刷機能を管理できます。HP 内蔵 Web サーバーを使用して、次の操作を行うことができます。

- MFP ステータス情報の表示
- サプライ品すべての寿命の確認と新しいサプライ品の注文
- トレイ設定の表示と変更
- MFP のコントロール パネル メニューの設定の表示と変更
- 内部ページの表示と印刷
- MFP およびサプライ品のイベント通知の受信
- 他の Web サイトへのリンクの追加またはカスタマイズ
- 内蔵 Web サーバー ページを表示する言語の選択
- ネットワーク設定の表示と変更

内蔵 Web サーバーの機能に関する詳細については、「[内蔵 Web サーバーの使用](#)」を参照してください。

その他のコンポーネントおよびユーティリティ

Windows、Mac OS ユーザー、およびネットワーク管理者は、複数のソフトウェア アプリケーションを使用できます。

Windows	Mac OS	ネットワーク管理者
<ul style="list-style-type: none">● ソフトウェア インストーラ – 印刷システムのインストールを自動化します。● オンライン Web 登録	<ul style="list-style-type: none">● PostScript プリンタ記述ファイル (PPD) – Mac OS 付属の Apple PostScript ドライバと共に使用します。● HP LaserJet Utility (インターネットから入手可能) – Mac OS ユーザーのためのプリンタ管理ユーティリティ	<ul style="list-style-type: none">● HP Web Jetadmin – ブラウザベースのシステム管理ツール。最新の HP Web Jetadmin ソフトウェアについては、http://www.hp.com/go/webjetadmin を参照してください。● HP Jetdirect Printer Installer for UNIX – http://www.hp.com/support/net_printing からダウンロードすることができます。

Macintosh コンピュータ用ソフトウェア

HP インストーラでは、PostScript® プリンタ記述 (PPD) ファイル、プリンタ ダイアログ機能拡張 (PDE)、および Macintosh コンピュータで使用する HP プリンタ ユーティリティが利用できます。

プリンタと Macintosh コンピュータの両方がネットワークに接続されている場合は、プリンタ内蔵 Web サーバ (EWS) を使用してプリンタを設定してください。詳細については、「[内蔵 Web サーバーの使用](#)」を参照してください。

Macintosh 用印刷システム ソフトウェアのインストール (ネットワーク)

このセクションでは、Macintosh 用印刷システム ソフトウェアのインストール方法について説明します。印刷システム ソフトウェアは、Mac OS バージョン 9.1 以降および Mac OS X バージョン 10.2 以降に対応しています。

印刷システム ソフトウェアには次のコンポーネントが含まれています。

- **[PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイル]**

PPD は Apple PostScript プリンタ ドライバと組み合わせることで、プリンタ機能にアクセスできます。PPD およびその他のソフトウェアのインストール プログラムは、プリンタに付属の CD-ROM に収録されています。コンピュータに付属の Apple PostScript プリンタ ドライバを使用してください。

- **[HP Printer ユーティリティ]**

HP Printer ユーティリティを使用すると、プリンタ ドライバでは使用できない機能にアクセスできます。HP Printer ユーティリティの図解入りの画面から、プリンタ機能を選択したり、プリンタについて次の作業を実行したりできます。

- プリンタの名前付け
- ネットワーク上のゾーンへのプリンタの割り当て
- プリンタへの IP の割り当て
- ファイルおよびフォントのダウンロード
- プリンタの IP または AppleTalk 印刷機能の設定

HP Printer ユーティリティは、プリンタでユニバーサル シリアル バス (USB) を使用している場合、またはプリンタが TCP/IP ベースのネットワークに接続されている場合に使用できます。



注記 HP Printer ユーティリティは、Mac OS X バージョン 10.2 以降に対応しています。

HP Printer ユーティリティの使用の詳細については、[Macintosh 用 HP Printer ユーティリティの使用](#)を参照してください。

Mac OS バージョン 9.1 以降用のプリンタ ドライバをインストールするには

1. HP Jetdirect プリント サーバとコンピュータのネットワーク ポートをネットワーク ケーブルで接続します。
2. CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。CD-ROM メニューが自動的に実行されます。CD-ROM メニューが自動的に実行されない場合は、デスクトップ上の CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

3. HP LaserJet インストーラ フォルダ内の **[インストーラ]** アイコンをダブルクリックします。
4. 画面に表示される指示に従います。
5. コンピュータのハードディスクから、**[アプリケーション]**、**[ユーティリティ]** の順に選択し、**[デスクトッププリンタユーティリティ]** を開きます。
6. **[プリンタ (AppleTalk)]** をダブルクリックします。
7. **[AppleTalk のプリンタ選択]** の隣にある **[変更]** をクリックします。
8. プリンタを選択し、**[自動設定]** をクリックし、**[作成]** をクリックします。



注記 デスクトップ上のアイコンがジェネリック アイコンになります。すべてのプリント パネルが各ソフトウェア プログラムの印刷ダイアログに表示されます。

Mac OS X バージョン 10.2 以降用のプリンタ ドライバをインストールするには

1. HP Jetdirect プリント サーバとコンピュータのネットワーク ポートをネットワーク ケーブルで接続します。
2. CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。
CD-ROM メニューが自動的に実行されます。CD-ROM メニューが自動的に実行されない場合は、デスクトップ上の CD-ROM アイコンをダブルクリックします。
3. HP LaserJet インストーラ フォルダ内の **[インストーラ]** アイコンをダブルクリックします。
4. 画面に表示される指示に従います。
5. コンピュータのハードディスクから、**[アプリケーション]**、**[ユーティリティ]** の順に選択し、**[プリントセンター]** または **[プリンタ設定ユーティリティ]** を開きます。



注記 Mac OS X v10.4 をお使いの場合、**[Print Center]** は **[Printer Setup Utility]** に取って代わられています。

6. **[プリンタを追加]** をクリックします。
7. 接続タイプとして **[Rendezvous]** を選択します。
8. リストから使用するプリンタを選択します。
9. **[プリンタを追加]** をクリックします。
10. 左上隅の **[閉じる]** ボタンをクリックして、プリントセンターまたはプリンタ設定ユーティリティを終了します。

Macintosh 用印刷システム ソフトウェアのインストール (直接接続、USB)



注記 Macintosh コンピュータは、パラレル ポート接続をサポートしていません。

このセクションでは、Mac OS バージョン 9.1 以降および Mac OS X バージョン 10.2 以降の印刷システム ソフトウェアのインストール方法について説明します。

PPD ファイルを使用するには、Apple PostScript ドライバをインストールする必要があります。Apple PostScript ドライバは Macintosh コンピュータに同梱のものを使用します。

印刷システム ソフトウェアをインストールするには

1. プリンタの USB ポートとコンピュータの USB ポートを USB ケーブルで接続します。標準の 2 m USB ケーブルを使用します。
2. プリンタ CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入し、インストーラを実行します。

CD-ROM メニューが自動的に実行されます。CD-ROM メニューが自動的に実行されない場合は、デスクトップ上の CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

3. HP LaserJet インストーラ フォルダ内の **[インストーラ]** アイコンをダブルクリックします。
4. 画面に表示される指示に従います。
5. Mac OS バージョン 9.1 以降の場合
 - a. コンピュータのハードディスクから、**[アプリケーション]**、**[ユーティリティ]** の順に選択し、**[プリントセンター]** を開きます。
 - b. **[プリンタ (USB)]** をダブルクリックし、**[OK]** をクリックします。
 - c. **[USB プリンタの選択]** の隣にある **[変更]** をクリックします。
 - d. プリンタを選択し、**[OK]** をクリックします。
 - e. **[Postscript プリンタ記述 (PPD) ファイル]** の隣にある **[自動設定]** をクリックし、**[作成]** をクリックします。
 - f. **[プリント]** メニューで、**[デフォルトプリンタの設定]** をクリックします。

Mac OS X バージョン 10.2 以降の場合 プリンタがコンピュータに接続されている場合、USB キューは自動的に作成されます。ただし、USB ケーブルを接続する前にインストーラを実行していないと、キューには一般的な PPD が使用されます。キュー PPD を変更するには、プリントセンターまたはプリンタ設定ユーティリティを開き、正しいプリンタ キューを選択し、**[情報を見る]** をクリックして **[プリンタ情報]** ダイアログ ボックスを表示します。ポップアップメニューで、**[プリンタの機種]** を選択し、**[一般]** を選択したポップアップメニューで、プリンタ用の正しい PPD を選択します。

6. テスト ページを印刷するか、任意のソフトウェア プログラムでページを印刷して、印刷システム ソフトウェアが正常にインストールされていることを確認します。

インストールが失敗した場合は、ソフトウェアを再インストールしてください。それでもインストールできない場合は、プリンタ CD-ROM に収録されているインストール ノートまたは ReadMe ファイルを参照するか、プリンタに同梱されている説明書を調べるか、あるいは <http://www.hp.com/support/clj4700> にアクセスして原因を特定してください。



注記 Mac OS バージョン 9.x デスクトップ上のアイコンがジェネリック アイコンになります。すべてのプリント パネルが各ソフトウェア プログラムの印刷ダイアログに表示されます。

Macintosh OS からソフトウェアを削除するには

Macintosh コンピュータからソフトウェアを削除するには、PPD ファイルをゴミ箱にドラッグします。

プリンタドライバ

本製品に付属のソフトウェアを使用すると、コンピュータと本製品がプリンタ言語を介して通信できるようになります。このソフトウェアはプリンタドライバと呼ばれます。プリンタドライバによって、ユーザー定義サイズ用の紙への印刷、文書の印刷サイズの変更、透かし印刷などのプリンタ機能を使用できます。

対応プリンタドライバ

以下のプリンタドライバが本製品に対応しています。必要なプリンタドライバが製品CD-ROMに収録されていない場合や、www.hp.comから入手できない場合は、使用するドライバの製造元または発売元に問い合わせ、製品のドライバを請求してください。



注記 最新ドライバは www.hp.com で入手できます。Windows コンピュータの設定にもよりますが、本製品のソフトウェアのインストール時に、インターネット経由で最新ドライバを入手する必要があるかどうかコンピュータを自動的にチェックします。

オペレーティングシステム ¹	PCL 6 プリンタドライバ	PCL 5 プリンタドライバ	PS プリンタドライバ	PPD ² プリンタドライバ
Microsoft Windows 98	X	X	X	
Windows Me	X	X	X	
Windows 2000	X	X	X	
Windows XP	X	X	X	
Windows Server 2003	X	X	X	
Mac OS 9.1 以降			X	X
Mac OS 10.2 以降			X	X

¹ ドライバやオペレーティングシステムによっては、使用できない製品機能があります。利用可能な機能については、プリンタドライバの状況依存ヘルプを参照してください。

² PostScript (PS) プリンタ記述ファイル (PPD)

追加ドライバ

以下のドライバは CD-ROM には含まれていません。インターネットからダウンロードしてください。

- OS/2 PCL プリンタドライバ
- OS/2 PS プリンタドライバ
- UNIX モデル スクリプト
- Linux ドライバ
- HP OpenVMS ドライバ



注記 OS/2 ドライバは IBM から入手可能です。

UNIX® および Linux 用のモデル スクリプトは、インターネットからダウンロードするか、または HP の正規サービスまたはサポート プロバイダに請求して入手できます。Linux のサポートについて

は、www.hp.com/go/linux を参照してください。UNIX のサポートについては、www.hp.com/go/jetdirectunix_software を参照してください。

適切なプリンタ ドライバの選択

プリンタ ドライバは、使用するオペレーティング システムと製品の用途に基づいて選択します。利用可能な機能については、プリンタ ドライバのヘルプを参照してください。プリンタ ドライバのヘルプへのアクセス方法については、「プリンタ ドライバのヘルプ」を参照してください。

- プリンタの性能全体とプリンタ機能を最大限利用するには、PCL 6 プリンタ ドライバを使用します。
- 一般的な業務のモノクロ印刷とカラー印刷の場合は、PCL 5 プリンタ ドライバをお勧めします。
- 基本的に Adobe PhotoShop® や CorelDRAW® などの PostScript を利用するプログラムで印刷を行ったり、PostScript Level 3 のニーズとの互換性を確保したり、PS フラッシュ フォントを追加したりする場合は、PostScript (PS) ドライバを使用します。



注記 PS プリンタ言語と PCL プリンタ言語の切り替えは本製品によって自動的に行われます。

プリンタ ドライバのヘルプ

プリンタ ドライバのヘルプとプログラムのヘルプはそれぞれ別個のものです。プリンタ ドライバのヘルプには、プリンタ ドライバで使用するボタン、チェック ボックス、ドロップダウン リストについての説明があります。また、一般的な印刷作業を実行する手順の説明もあります。たとえば、用紙の両面に印刷する方法、1 枚の用紙に複数のページを印刷する方法、最初のページつまり表紙を別の種類の用紙に印刷する方法などです。


プリンタ ドライバのヘルプ画面を表示するには、次のいずれかの方法に従います。

- **[ヘルプ]** ボタンをクリックします。
- コンピュータのキーボードの **F1** キーを押します。
- プリンタ ドライバ画面の右上隅の疑問符 (?) をクリックします。
- ドライバ画面内の項目を右クリックし、次に **[ヘルプ]** をクリックします。

プリンタ ドライバへのアクセス

コンピュータからプリンタ ドライバを開くには、次のいずれかの方法に従います。

オペレーティング システム	すべての印刷ジョブの設定を変更する (ソフトウェア プログラムが終了するまで有効)	印刷ジョブのデフォルト設定を変更する (たとえば、デフォルトで両面印刷機能をオンにする)	構成設定を変更する (たとえば、トレイを追加したり、手差し両面印刷を有効または無効にする)
Windows 98 および Windows Me	<ol style="list-style-type: none"> 1. ソフトウェア プログラムの [ファイル] メニューで、[印刷] をクリックします。 2. HP Color LaserJet 4730mfp を選択し、[プロパティ] をクリックします。 <p>手順は変わることがあり、共通ではありません。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. [スタート] をクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。 2. HP Color LaserJet 4730mfp アイコンを右クリックし、[プロパティ] (Windows 98 および Me)、または [ドキュメントの既定値] (Windows NT 4.0) を選択します。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. [スタート] をクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。 2. HP Color LaserJet 4730mfp アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択します。 3. [設定] タブをクリックします。
Windows 2000、XP、および Server 2003	<ol style="list-style-type: none"> 1. ソフトウェア プログラムの [ファイル] メニューで、[印刷] をクリックします。 2. HP Color LaserJet 4730mfp を選択し、[プロパティ] または [基本設定] をクリックします。 <p>手順は変わることがあり、共通ではありません。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. [スタート] をクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] または [プリンタとファックス] をクリックします。 2. HP Color LaserJet 4730mfp アイコンを右クリックし、[印刷設定] を選択します。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. [スタート] をクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] または [プリンタとファックス] をクリックします。 2. HP Color LaserJet 4730mfp アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択します。 3. [デバイスの設定] タブをクリックします。
Mac OS 9.1 以降	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ファイル] メニューで、[プリント] をクリックします。 2. さまざまなポップアップメニューで設定を変更します。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ファイル] メニューで、[プリント] をクリックします。 2. ポップアップメニューで設定を変更するときは、[設定の保存] をクリックします。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. デスクトップのプリンタ アイコンをクリックします。 2. [プリント] メニューで、[設定の変更] をクリックします。

オペレーティング システム	すべての印刷ジョブの設定を変更する (ソフトウェア プログラムが終了するまで有効)	印刷ジョブのデフォルト設定を変更する (たとえば、デフォルトで両面印刷機能をオンにする)	構成設定を変更する (たとえば、トレイを追加したり、手差し両面印刷を有効または無効にする)
Mac OS 10.2	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ファイル] メニューで、[プリント] をクリックします。 2. さまざまなポップアップ メニューで設定を変更します。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ファイル] メニューで、[プリント] をクリックします。 2. さまざまなポップアップ メニューで設定を変更します。 3. [プリセット] ポップアップ メニューで [別名で保存] をクリックし、プリセットの名前を入力します。 <p>これらの設定が [プリセット] メニューに追加されます。新しい設定を使用するには、プログラムを起動して印刷するたびに、保存したプリセット オプションを選択する必要があります。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. Finder の [移動] メニューで、[アプリケーション] をクリックします。 2. [ユーティリティ] を開き、[Print Center] を起動します。 3. 印刷キューをクリックします。 4. [プリンタ] メニューから [情報を見る] をクリックします。 5. [インストール可能なオプション] メニューをクリックします。
<div>  注記 Classic モードでは構成設定を変更できない場合があります。 </div>			
Mac OS 10.3	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ファイル] メニューで、[プリント] をクリックします。 2. さまざまなポップアップ メニューで設定を変更します。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ファイル] メニューで、[プリント] をクリックします。 2. さまざまなポップアップ メニューで設定を変更します。 3. [プリセット] ポップアップ メニューで [別名で保存] をクリックし、プリセットの名前を入力します。 <p>これらの設定が [プリセット] メニューに追加されます。新しい設定を使用するには、プログラムを起動して印刷するたびに、保存したプリセット オプションを選択する必要があります。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ハードディスク ドライブを選択して [プリンタ設定ユーティリティ] を開き、[アプリケーション]、[ユーティリティ] の順にクリックし、[プリンタ設定ユーティリティ] をダブルクリックします。 2. 印刷キューをクリックします。 3. [プリンタ] メニューから [情報を見る] をクリックします。 4. [インストール可能なオプション] メニューをクリックします。

Macintosh コンピュータ用プリンタ ドライバ

プリンタには、プリンタ言語を使用してプリンタと通信するプリンタドライバソフトウェアが付属しています。プリンタドライバによって、ユーザー定義サイズ用の紙への印刷、書類のサイズ変更、透かしの挿入などのプリンタ機能を使用できます。

対応プリンタ ドライバ

Macintosh プリンタドライバおよび必要な PPD ファイルは、プリンタに付属しています。必要なプリンタドライバがプリンタ CD がない場合は、プリンタ CD-ROM に収録されているインストールノートまたは ReadMe ファイルを調べて、プリンタドライバがサポートされているかどうかを確認してください。プリンタドライバがサポートされていない場合は、使用しているソフトウェアプログラムの製造元または販売代理店に問い合わせの上、プリンタ用のドライバを請求してください。



注記 ほとんどの最新ドライバは www.hp.com から入手できます。

プリンタドライバへのアクセス

コンピュータからプリンタドライバにアクセスするには、次のいずれかの方法に従います。

オペレーティングシステム	ソフトウェアプログラムを終了するまですべてのプリントジョブの設定を変更する	プリントジョブのデフォルト設定 (デフォルトで [両面にプリントする] をオンにするなど) を変更する	コンフィギュレーション設定 (トレイなどの物理オプションの追加、ドライバ機能のオン/オフなど) を変更する
Mac OS バージョン 9.1 以降	<ol style="list-style-type: none">1. [ファイル] メニューで、[プリント] をクリックします。2. 各種ポップアップメニューで必要な設定を変更します。	<ol style="list-style-type: none">1. [ファイル] メニューで、[プリント] をクリックします。2. ポップアップメニューで設定を変更し、[設定の保存] をクリックします。	<ol style="list-style-type: none">1. デスクトップ プリンタアイコンをクリックします。2. [印刷] メニューで、[設定の変更] をクリックします。

オペレーティング システム	ソフトウェア プログラムを終了するまですべてのプリント ジョブの設定を変更する	プリント ジョブのデフォルト設定 (デフォルトで [両面にプリントする] をオンにするなど) を変更する	コンフィギュレーション設定 (トレイなどの物理オプションの追加、ドライバ機能のオン/オフなど) を変更する
Mac OS X バージョン 10.2	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ファイル] メニューで、[プリント] をクリックします。 2. 各種ポップアップメニューで必要な設定を変更します。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ファイル] メニューで、[プリント] をクリックします。 2. 各種ポップアップメニューで必要な設定を変更し、[リセット] ポップアップメニューで [別名で保存] をクリックして、プリセットの名前を入力します。 <p>これらの設定は [プリセット] メニューに保存されます。新しい設定を使用するには、プログラムを開いて印刷するたびに、保存されたプリセットを選択する必要があります。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. Finder の [移動] メニューで、[アプリケーション] をクリックします。 2. [ユーティリティ] を開き、[プリントセンター] を開きます。 3. プリント キューをクリックします。 4. [プリンタ] メニューで、[情報を見る] をクリックします。 5. [インストール可能なオプション] メニューをクリックします。
Mac OS X バージョン 10.3	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ファイル] メニューで、[プリント] をクリックします。 2. 各種ポップアップメニューで必要な設定を変更します。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ファイル] メニューで、[プリント] をクリックします。 2. 各種ポップアップメニューで必要な設定を変更し、[リセット] ポップアップメニューで [別名で保存] をクリックして、プリセットの名前を入力します。 <p>これらの設定は [プリセット] メニューに保存されます。新しい設定を使用するには、プログラムを開いて印刷するたびに、保存されたプリセットを選択する必要があります。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ハードディスクを選択して [プリンタ設定ユーティリティ] を開き、[アプリケーション]、[ユーティリティ] の順にクリックし、[プリンタ設定ユーティリティ] をダブルクリックします。 2. プリント キューをクリックします。 3. [プリンタ] メニューで、[情報を見る] をクリックします。 4. [インストール可能なオプション] メニューをクリックします。



注記 コンフィギュレーション設定は、Classic モードでは使用できない場合があります。

インストール チェックリスト

次の表は、HP Color LaserJet 4730mfp シリーズのインストール チェックリストです。

表 1-1 HP Color LaserJet 4730mfp

✓	項目	説明
	MFP は適切な電源に接続されていますか。	10A (110V) または 5A (220V) 以上の回路が必要です。テーブルタップを使用しないでください。同じ電源に接続されたデバイスによって、間欠故障が発生するおそれがあります。
	MFP の周囲に十分な空間が確保されていますか。	MFP に前後左右からアクセスできるように十分な空間が必要です。空間に余裕がないと、紙詰まりの除去や点検の際に装置にアクセスできなくなります。
	MFP は平らな場所に設置されていますか。	MFP が水平で安定した場所に設置されていることを確認します。キャストがロックされていることを確認します。
	すべてのオレンジ色のテープと梱包材料が取り外されていますか。	詳細については、『 <i>HP Color LaserJet 4730mfp シリーズ セットアップガイド</i> 』を参照してください。
	MFP にトナー カートリッジと用紙がセットされていますか。	良質の用紙を使用します。
	スキャナをロック解除する前に、スキャナ ガラスをクリーニングします。ガラスは、少し湿らせた清潔な柔らかい布でそっと拭きます。	詳細については、「 スキャナ ガラスをクリーニングするには 」を参照してください。『 <i>HP Color LaserJet 4730mfp シリーズ セットアップガイド</i> 』も参照してください。
	スキャナの搬送用ロックが、ロック解除の位置になっていますか。	詳細については、『 <i>HP Color LaserJet 4730mfp シリーズ セットアップガイド</i> 』を参照してください。
	言語と日時は正しく設定されていますか。	詳細については、『 <i>HP Color LaserJet 4730mfp シリーズ セットアップガイド</i> 』を参照してください。
	電子メール ゲートウェイを設定してください。	Menu を押し、スクロールして CONFIGURE DEVICE、SENDING、E-MAIL、FIND SEND GATEWAYS の順に押します。電子メール ゲートウェイが自動的に検出されない場合は、ネットワーク管理者からアドレスを入手して MFP に手作業で設定します。
	ファックス アクセサリをインストールした場合は、ファックス アクセサリが正しく設定されていますか。	Menu を押し、スクロールして FAX、FAX SETUP SETTINGS の順に押します。日時、場所、およびファックス ヘッダー情報を入力します。詳細については、『 <i>HP LaserJet Analog Analog Fax Accessory 300 ユーザーズガイド</i> 』を参照してください。
	設定ページを印刷してください。	Menu、 INFORMATION、PRINT CONFIGURATION の順に押します。
	設定ページの印刷出力で、次の項目を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> LDAP ゲートウェイ アドレスの表示 SMTP ゲートウェイ アドレスの表示 	HP Color LaserJet 4730mfp Information & Training (情報およびトレーニング) CD には、設定ページの見方に関する詳細な情報が収録されています。

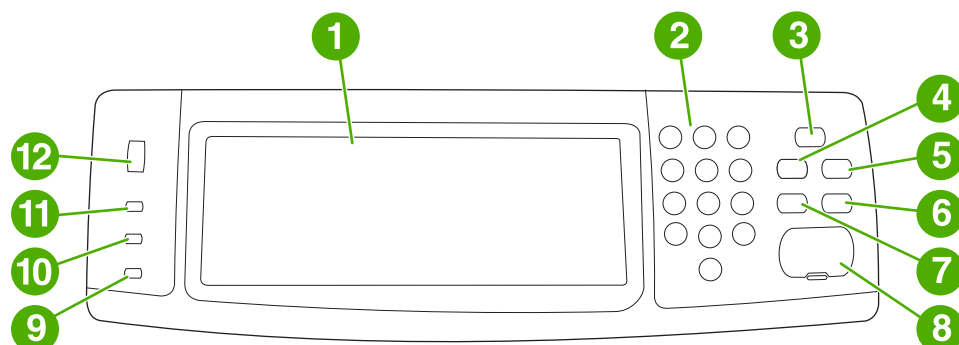
表 1-1 HP Color LaserJet 4730mfp (続き)

✓	項目	説明
	<ul style="list-style-type: none"> すべてのオプション デバイス (たとえば、ステイブラ/スタッカや 3 ビン メールボックスなど) の表示 ファックス アクセサリをインストールした場合は、モデム ステータスが <i>Operational/Enabled</i> になっていること。 内蔵 JetDirect のページで、ステータスが <i>I/O Card Ready</i> になっており、有効な IP アドレスがあること。 	
	MFP のスキャナ ガラスからコピーできますか。	表を下にして設定ページをスキャナ ガラス上に置き、 Start を押します。
	自動ドキュメント フィーダ (ADF) からコピーできますか。	ADF に表を上にして設定ページを置き、 Start を押します。
	MFP からファックスを送信できますか。	ADF に表を上にしてドキュメントを置き、キーパッドを使用して有効なファックス番号に送信します。
	電子メールを送信できますか。	ADF に表を上にしてドキュメントを置き、キーパッドを使用して電子メール アドレスを入力します (LDAP で機能するように設定されている必要があります)。
	MFP に印刷を出力できますか。	ネットワーク接続されたコンピュータで印刷システム ソフトウェアをロードした後に、ドライバからテスト ページを印刷します。
	日付と時刻が設定されていることを確認します。	MFP では、日付と時刻を設定するまで印刷は実行されません。詳細については、「 リアルタイムクロックの設定 」を参照してください。
	すべてのユーザーが User Training にアクセスできますか。	http://www.hp.com/go/usemymfp

2 コントロール パネルの使用

コントロールパネルのレイアウト

コントロールパネルには、タッチスクリーン グラフィック ディスプレイ、ジョブコントロール ボタン、数字キーパッド、3つの LED ステータス ランプが付いています。



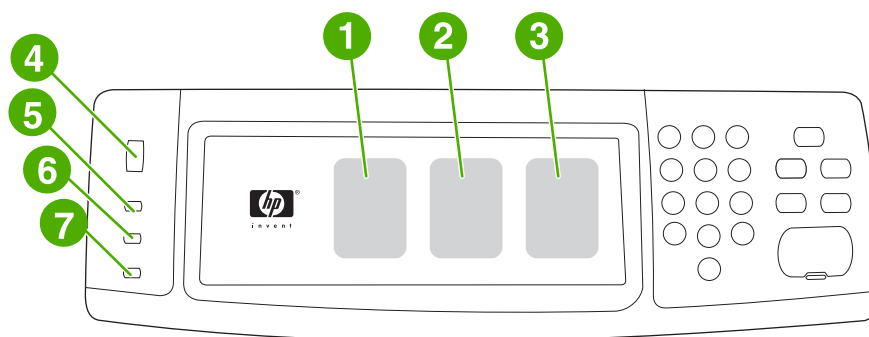
1	タッチスクリーン グラフィック ディスプレイ
2	数字キーパッド
3	Sleep ボタン
4	Menu ボタン
5	Status ボタン
6	Stop ボタン
7	Reset ボタン
8	Start ボタン
9	[Attention]ランプ
10	[Data] ランプ
11	[Ready] ランプ
12	コントラスト調整の表示

コントロール パネルの機能

機能/ボタン名	機能
	[What is This?] 、 [Show Me How] 、および [ステータスに関するヘルプ] にアクセスできます。この機能は、タッチスクリーンのメニューに組み込まれています。
Reset	ジョブ設定を工場出荷時のデフォルト値またはユーザー定義のデフォルト値にリセットします。
Stop	アクティブ ジョブをキャンセルします。
Start	コピー ジョブやデジタル送信を開始したり、中断したジョブを継続したりします。
数字キーパッド	必要なコピー部数やその他の数値を入力できます。
Sleep	MFP を長時間使用しないと、自動的にスリープ モードになります。MFP をスリープ モードにしたり、MFP を再びアクティブにしたりするには、 Sleep ボタンを押します。
Status	[SUPPLIES STATUS] メニューを開きます。このメニューでプリント カートリッジ、フューザ、トランスファー ユニットのステータスを確認できます。
Menu	MFP メニューを開きます。

ホーム画面の移動

MFP 機能にアクセスするには、コントロール パネルにある次のグラフィック ディスプレイ要素を使用します。



- | | |
|---|---|
| 1 | コピー画面を使用するには、ここを押します。詳細については、「 コピー画面の操作 」を参照してください。 |
| 2 | 電子メール画面を使用するには、ここを押します。詳細については、「 電子メール画面の移動 」を参照してください。 |
| 3 | ファックス画面を使用するには、ここを押します。詳細については、「 ファックス送信 」および『 <i>HP LaserJet Analog Fax Accessory 300 ユーザーズガイド</i> 』を参照してください。 |
| 4 | 画面の明るさを調整するには、このダイヤルを回します。 |
| 5 | [Ready] ランプは、MFP が使用可能であることを示します。 |
| 6 | [Data] ランプは、MFP がデータを受信中であることを示します。 |
| 7 | [Attention] ランプは、MFP に問題が発生し、ユーザーの介入が必要であることを示します。 |



注記 オプションの HP Digital Sending Software (DSS) をインストールすると、コントロールパネルのディスプレイに追加のフィールドが表示されます。すべてのフィールドを表示するには、下方にスクロールします。

ヘルプ システム

② を押すことによって、グラフィック ディスプレイのタッチスクリーン上のヘルプ システムにいつでもアクセスできます。

[What is This?] ヘルプ

MFP では、グラフィック ディスプレイのタッチスクリーン上のトピックに関する情報を見ることができます。

ディスプレイの上部の画面で、② (ヘルプ ボタン) を押し、**What is This?** を押します。項目を押すと、ポップアップ ダイアログ ボックスが開き、押した項目に関する情報が表示されます。情報を読み終えた後に画面の他の領域を押すと**[What is This?]** ポップアップ ダイアログ ボックスが非表示になります。

その他の階層のタッチスクリーンでは、各画面の左上隅にある ② (ヘルプ ボタン) を押してヘルプ システムにアクセスできます。

[Show Me How]ヘルプ

[Show Me How] ヘルプには、MFP 機能の使用法に関する情報が含まれています。

1. コントロール パネルのタッチスクリーン グラフィック ディスプレイで② (ヘルプ ボタン) を押します。
2. **Show Me How** を押します。項目を押して、**[What is This?]** 画面からトピックを選択します。スクロール バーを使用すると、その他のトピックを表示できます。項目を押すと、手順シートが印刷されます。
3. メイン ウィンドウに戻るには、**OK** を押します。

選択した項目が手順を含んでいる機能の場合は、**[What is This?]** ポップアップ ダイアログ ボックスに**[Show Me How]** も表示されます。たとえば、**What is This?** ヘルプを押し、**mopies** を押すと、ポップアップ ダイアログ ボックスに **Show Me How** ボタンが表示されます。コピー部数を増やす方法の詳細については、**Show Me How** ボタンを押します。

メニュー マップ

コントロール パネルで利用できるメニューと項目の現在の設定を確認するには、コントロール パネルのメニュー マップを印刷します。

1. **Menu** を押します。
2. **INFORMATION** を押します。
3. **PRINT MENU MAP** を押します。

以上の値の多数は、ドライバやプログラムによって無効にできます。後で参考にできるようにメニュー マップを MFP の近くに保管すると便利です。

メニュー マップの内容は、MFP に現在インストールされているオプションによって異なります。コントロール パネルの項目と可能な値の一覧については、この章の各メニューに関するセクションを参照してください。



ジョブ取得メニュー

ジョブ取得メニューには、試し刷りおよび保留ジョブ、プライベート ジョブ、クイックコピー ジョブ、保存ジョブを取得するためのオプションがあります。次の表にジョブ取得メニューのオプションを示します。

項目	値	説明
[USER]	[JOB]	取得するジョブを選択できます。ジョブを選択すると、 PRINT および DELETE オプションが表示されます。コピー部数を入力するには、 PRINT を選択します。ジョブを削除するには、 DELETE を選択します。保護されたジョブを取得する際は、 PRINT および DELETE オプションの両方に PIN (暗証番号) の入力を求めるダイアログ ボックスが表示されます。



注記 プライベート ジョブ、保存ジョブ、クイックコピー ジョブ、試し刷りおよび保留ジョブが MFP ハード ディスクにも RAM メモリにも保存されていない場合は、メニュー選択時に **[NO STORED JOBS]** メッセージが表示されます。

1. ユーザー名の一覧がコントロール パネルのディスプレイに表示されます。
2. **Menu** を押します。
3. **RETRIEVE JOB** を押します。
4. ユーザー名を押すと、そのユーザーの保存ジョブの一覧が表示されます。
5. ジョブ名を押したら、ジョブを印刷するか削除します。印刷ジョブで PIN 番号が要求される場合は、 (鍵のマーク) が **[PRINT]** コマンドの隣に表示され、PIN を指定する必要があります。削除ジョブで PIN 番号が要求される場合は、 (鍵のマーク) が **[DELETE]** コマンドの隣に表示され、PIN を指定する必要があります。
6. **PRINT** を押すと、印刷するコピー部数 (1 ~ 32,000) の指定を求めるプロンプトが表示されます。

情報メニュー

情報ページを印刷するには、スクロールして目的の情報ページを押します。

項目	説明
[PRINT MENU MAP]	コントロール メニュー項目のレイアウトと現在の設定を説明したメニュー マップを印刷します。 ページ出力が終了すると、[Ready] 状態に戻ります。
[PRINT CONFIGURATION]	MFP の現在の設定について詳しく説明したページを印刷します。 ページ出力が終了すると、オンラインの [Ready] 状態に戻ります。
[PRINT SUPPLIES STATUS PAGE]	MFP の各サプライ品について残っているページの数に関する情報を印刷します。 ページ出力が終了すると、オンラインの [Ready] 状態に戻ります。
[SUPPLIES STATUS]	このページは印刷されません。ステータスが表示されるだけです。
[PRINT USAGE PAGE]	コスト計算に利用できる情報が記載されたページを印刷します。 ページ出力が終了すると、オンラインの [Ready] 状態に戻ります。
[PRINT DEMO]	デモンストレーション ページを印刷します。 ページ出力が終了すると、オンラインの [Ready] 状態に戻ります。
[PRINT RGB SAMPLES]	RGB カラー ページを印刷します。 ページ出力が終了すると、オンラインの [Ready] 状態に戻ります。
[PRINT CMYK SAMPLES]	CMYK カラー ページを印刷します。 ページ出力が終了すると、オンラインの [Ready] 状態に戻ります。
[PRINT FILE DIRECTORY]	インストールされたすべてのマス ストレージ デバイスに関する情報が記載されたディレクトリ ページを印刷します。 ページ出力が終了すると、オンラインの [Ready] 状態に戻ります。
[PRINT PCL FONT LIST]	MFP に用意されているすべての PLC フォントの一覧を印刷します。 ページ出力が終了すると、オンラインの [Ready] 状態に戻ります。

項目	説明
[PRINT PS FONT LIST]	<p>MFP に用意されているすべての PS フォントの一覧を印刷します。</p> <p>ページ出力が終了すると、オンラインの [Ready] 状態に戻ります。</p>

ファックス メニュー

このメニューは、HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 300 が取り付けられている場合にのみ表示されます。ファックス メニューの詳細については、「[ファックス送信](#)」および『*HP LaserJet Analog Fax Accessory 300 ユーザーズ ガイド*』を参照してください。HP LaserJet 4730x mfp、HP LaserJet 4730xs mfp、および HP LaserJet 4730xm mfp には、このガイドの印刷版が付属しています。

用紙処理メニュー

コントロール パネルを使用して用紙処理が正しく設定されている場合は、プリンタ ドライバまたはソフトウェア アプリケーションから用紙のタイプおよびサイズを選択して印刷できます。詳細については、「[印刷メディアの選択](#)」を参照してください。

このメニューの一部の項目 (手差し両面印刷など) は、ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバ (適切なプリンタ ドライバがインストールされている場合) からアクセスできます。プリンタ ドライバおよびソフトウェア プログラムの設定内容は、コントロール パネルの設定内容より優先します。



注記 アスタリスク (*) が付いている項目はデフォルト値です。

項目	値	説明
[TRAY 1 SIZE]	[ANY SIZE]*	トレイ 1 のメディア サイズを設定できます。
	[LETTER]	
	[LEGAL]	
	[EXECUTIVE]	
	[STATEMENT]	
	[8.5X13]	
	[A4]	
	[A5]	
	[B5(JIS)]	
	[EXECUTIVE(JIS)]	
	[DPOSTCARD(JIS)]	
	[DPOSTCARD (JIS)]	
	[16K]	
	[ENVELOPE #10]	
	[ENVELOPE MONARCH]	
	[ENVELOPE C5]	
	[ENVELOPE DL]	
	[ENVELOPE B5]	
	[CUSTOM]	
[TRAY 1 TYPE]	[ANY TYPE]*	トレイ 1 のメディアのタイプを指定できます。
	[PLAIN]	
	[PREPRINTED]	
	[LETTERHEAD]	
	[TRANSPARENCY]	

項目	値	説明
	[PREPUNCHED]	
	[LABELS]	
	[BOND]	
	[RECYCLED]	
	[COLOR]	
	[LIGHT <75 G/M2]	
	[INTERMEDIATE90-104]	
	[HEAVY 105-119 G/M2]	
	[EXTRA HEAVY120-163]	
	[CARDSTOCK >163]	
	[ROUGH 90-105 G/M2]	
	[GLOSSY 75-105 G/M2]	
	[HEAVY GLOSSY120-160]	
	[EXTRA HEAVY GLOSSY]	
	[TOUGH PAPER]	
	[ENVELOPE]	
[TRAY <N> SIZE]	[LETTER]*	トレイ 2、トレイ 3、およびトレイ 4 のメディア サイズを設定できます。<N> はトレイ番号です。
	[LEGAL]	
	[EXECUTIVE]	
	[8.5X13]	
	[A4]	
	[A5]	
	[B5(JIS)]	
	[EXECUTIVE(JIS)]	
	[16K]	
	[CUSTOM]	
	[ANY CUSTOM]	
[TRAY <N> TYPE]	[PLAIN]*	各トレイのメディアのタイプを指定でき ます。<N> はトレイ番号です。
	[PREPRINTED]	
	[LETTERHEAD]	
	[TRANSPARENCY]	
	[PREPUNCHED]	
	[LABELS]	

項目	値	説明
	[BOND]	
	[RECYCLED]	
	[COLOR]	
	[LIGHT <75 G/M2]	
	[INTERMEDIATE90-104]	
	[HEAVY 105-119 G/M2]	
	[ROUGH 90-105 G/M2]	
	[GLOSSY 75-105 G/M2]	
	[TOUGH PAPER]	

デバイスの設定メニュー

このメニューには、すべての管理機能が含まれています。




注記 アスタリスク (*) が付いている項目はデフォルト値です。

原稿サブメニュー



各項目にはタッチスクリーン グラフィック ディスプレイを使用してアクセスできますが、MFP メニューから項目のコピーや送信を選択することもできます。このメニューにアクセスするには、**CONFIGURE DEVICE** を押し、**ORIGINALS** を押します。

項目	値	説明
[PAPER SIZE]	[EXECUTIVE]	原稿の用紙サイズを設定します。
	[LETTER]*	
	[LEGAL]	
	[A5]	
	[A4]	
	[B5(JIS)]	
	[8.5X13]	
	[STATEMENT]	
[NUMBER OF SIDES]	[MIXED LTR/LGL]	原稿の片面をスキャンするか、両面をスキャンするかを指定します。
	1*	
	2	
[ORIENTATION]	2 を選択して原稿をフラットベッドに置くと、原稿を裏返すようにプロンプトが表示されます。	原稿の向きを縦向き (短辺が上部) か、横向き (長辺が上部) に指定します。
[CONTENT]	[PORTRAIT]*	原稿の画像のタイプを指定します。
	[LANDSCAPE]	
	[TEXT]	
	[PHOTO]	
	[GLOSSY PHOTO]	
	[MIXED]*	連続階調原稿の場合は、 GLOSSY PHOTO を選択します。
		原稿にグラフィックとテキストが含まれている場合は、 MIXED を選択します。0 ~ 8 の値を使用して [Text/Photo Mix] を指定します。ここで、 0 は原稿の大部分がテキストであることを表し、 8 は大部分がグラフィックであることを表します。

項目	値	説明
		 注記 コピー画面を使用して、特定のジョブの上記の設定を無効にできます。
[DENSITY]	0 ~ 8 デフォルト=4	画像のコントラストと明るさを指定します。9段階の数値から選択できます。 0=最も暗くなります。 8=最も明るくなります。

コピー サブメニュー

このメニューにアクセスするには、**CONFIGURE DEVICE** を押し、**COPYING** を押します。

項目	値	説明
[COLOR MODE]	[COLOR COPIES] [BLACK COPIES]	カラー印刷するか、モノクロ印刷するかを指定します。
[NUMBER OF SIDES]	1* 2	画像を片面にコピーするか、両面にコピーするかを指定します。
[COLLATE]	[OFF] [ON]*	丁合いして (部単位でページ順に並べて) コピーするかどうかを指定します。
[PAPER DESTINATION]	[OUTPUT BIN 1]* [OUTPUT BIN 2]* [OUTPUT BIN 3]*	3 ピン メールボックス (オプション) の排紙ビンを選択します。 排紙ビン 1 はコピー用のデフォルト ビンです。 排紙ビン 2 はファックス用のデフォルト ビンです。 排紙ビン 3 は印刷用のデフォルト ビンです。
		 注記 この項目は、オプションの 3 ピン メールボックスが取り付けられている場合にのみ表示されます。
[COPIES]	1-999	数字キーでコピー部数を選択せずに Start が押されたときに、自動作成するコピーの部数を示します。
[STAPLE]	[NONE]* [1-EDGE]	ステイプル留めを有効にするには、 [1-EDGE] を選択します。
		 注記 この項目は、ステイブラ/スタッカが取り付けられている場合にのみ表示されます。
[FIRST COPY SPEED]	[NO EARLY WARM UP]* [EARLY WARM UP]	Fast First Copy 機能を無効にするには、 NO EARLY WARM UP を選択します。Fast First Copy 機能を使用すると、MFP の磨耗の原因となる場合があります。これがデフォルト設定です。

項目	値	説明
		Fast First Copy 機能を有効にするには、EARLY WARM UP を選択します。この機能は、MFP がアイドル状態になってからコピーするまでに要する時間を短縮します。

画像処理サブメニュー


このメニューにアクセスするには、CONFIGURE DEVICE を押し、ENHANCEMENT を押します。

項目	値	説明
[SHARPNESS]	0 ~ 4	鮮明度を指定します。 0=鮮明度は最小になります。 4=鮮明度は最大になります。 デフォルト=2
[BACKGROUND REMOVAL]	0 ~ 8	原稿の背景素材の量を制御して片面に素材が写らないようにします。背景の排除は、両面コピーの際に一方の面に印刷された背景素材が他方の面に写らないようにするときに便利です。 0=背景を最低限排除します (背景が写りやすくなります)。 8=背景を最大限排除します (背景が写りにくくなります)。 デフォルト=2

送信サブメニュー

このメニューにアクセスするには、CONFIGURE DEVICE を押し、SENDING を押します。

項目	値	オプション	説明
[E-MAIL]	[SCAN PREFERENCE]	[BLACK AND WHITE]	文書をカラーでスキャンするか、モノクロでスキャンするかを指定します。
		[COLOR]*	
	[FILE TYPE]	[PDF]*	電子メールの添付書類のファイル形式を指定します。
		[M-TIFF]	
		[TIFF]	
	[FILE SIZE]	[JPEG]	ファイルの圧縮形式を指定します。圧縮形式によってファイルサイズが決まります。
		[SMALL]	
		[STANDARD]*	
		[LARGE]	

項目	値	オプション	説明
	[RESOLUTION]	[75 dpi] [150 dpi]* [200 dpi] [300 dpi]	ドキュメントや画像の解像度を指定します。DPI 値が小さいとファイル サイズは小さくなりますが、画質は低下する場合があります。
	[ADDRESS VALIDATION]	[OFF] [ON]*	電子メールのシンタックスをチェックできるようにします。有効な電子メール アドレスには "@" 記号と 1 つ以上の "." が必要です。
	[FIND SEND GATEWAYS]		MFP が電子メールの送信に使用できる SMTP および LDAP ゲートウェイをネットワーク上で検索します。
	[SMTP GATEWAY]		電子メールの送信に使用する SMTP サーバーの IP アドレス。
	[LDAP GATEWAY]		MFP が電子メール情報の検索に使用する LDAP ゲートウェイの IP アドレス。
	[TEST SEND GATEWAYS]		正常に機能していることを確認するために、設定済みのゲートウェイをテストします。
[REPLICATE MFP]			1 台の MFP から他の MFP に送信の設定内容をコピーします。
			 注記 この機能は、古い機種 of MFP では使用できない場合があります。

印刷サブメニュー

印刷サブメニューの一部の項目には、ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバ (適切なプリンタ ドライバがインストールされている場合) からアクセスできます。プリンタ ドライバおよびソフトウェア プログラムの設定内容は、コントロール パネルの設定内容より優先します。

このメニューにアクセスするには、**CONFIGURE DEVICE** を押し、**PRINTING** を押します。


項目	値	説明
[COPIES]	1 ~ 32,000	1 ~ 32,000 の任意の数を選択してデフォルトのコピー部数を設定します。コピー部数を選択するには数字キーを使用します。

項目	値	説明
		 注記 コピー部数は、プリンタドライバまたはソフトウェアプログラムで設定するようにお勧めします (プリンタドライバとソフトウェアプログラムの設定内容はコントロールパネルの設定内容より優先します)。
[DEFAULT PAPER SIZE]	[LETTER]* [LEGAL] [EXECUTIVE] [STATEMENT] [8.5X13] [A4] [A5] [B5(JIS)] [EXECUTIVE(JIS)] [16K] [ENVELOPE #10] [ENVELOPE MONARCH] [ENVELOPE C5] [ENVELOPE DL] [ENVELOPE B5] [CUSTOM]	用紙と封筒のデフォルトの画像サイズを設定します (サイズをスクロールしていくと、項目名が [paper] から [ENVELOPE] に変化します)。
[DEFAULT CUSTOM PAPER SIZE]	[UNIT OF MEASURE] [X DIMENSION] [Y DIMENSION]	装着されているいずれかのトレイのカスタム用紙サイズを設定できます。 <N> はトレイ番号です。カスタム用紙サイズの X の寸法と Y の寸法を選択します。X の寸法は 76 ~ 216 mm です。Y の寸法は 127 ~ 356 mm です。
[PAPER DESTINATION]	[OUTPUT BIN 1]* [OUTPUT BIN 2] [OUTPUT BIN 3]	3 ビン メールボックス (オプション) の排紙ビンを選択します。  注記 この項目は、オプションの 3 ビン メールボックスが取り付けられている場合とスタッカモードが設定されていない場合にのみ表示されます。
[DUPLEX]	[OFF] [ON]* [DUPLEX BINDING]	両面に印刷するには [ON] を設定し、片面に印刷するには [OFF] を設定します。 [DUPLEX BINDING] の選択肢には LONG EDGE または SHORT EDGE *

項目	値	説明
		<p>があります。この項目は、[DUPLEX] が [ON] に設定されている場合に表示されます。</p> <p>詳細については、「自動両面印刷」を参照してください。</p>
[OVERRIDE A4/LETTER]	[NO] [YES]*	<p>A4 ジョブが送信されても A4 サイズのメディアが MFP にセットされていない場合にレターサイズのメディアに印刷する場合、または、レターサイズのジョブが送信されてもレターサイズのメディアが MFP にセットされていない場合は、このコマンドが使用されません。</p>
[MANUAL FEED]	[OFF]* [ON]	<p>自動的にトレイから給紙されるのではなく、トレイ 1 から用紙を手差し給紙します。[MANUAL FEED=ON] で、トレイ 1 に用紙がセットされていない場合、MFP は印刷ジョブ受信時にオフラインになります。次に [MANUALLY FEED <PAPER SIZE>] と表示されます。</p> <p>詳細については、「手差し両面印刷」を参照してください。</p>
[COURIER FONT]	[REGULAR]* [DARK]	<p>使用する Courier フォントのバージョンを選択します。</p> <p>[REGULAR]: HP LaserJet 4 シリーズプリンタに内蔵されている Courier フォント。</p> <p>[DARK]: HP LaserJet III シリーズプリンタに内蔵されている Courier フォント。</p> <p>両方のフォントを同時に使用することはできません。</p>
[WIDE A4]	[NO]* [YES]	<p>Wide A4 は、A4 用紙の 1 行に印刷できる文字の数を変更します。</p> <p>[YES]: 10 ピッチの文字を 1 行に 80 文字まで印刷できます。</p> <p>[NO]: 10 ピッチの文字を 1 行に 78 文字まで印刷できます。</p>
[PRINT PS ERRORS]	[OFF]* [ON]	<p>PS エラーが発生したときに PS エラーページを印刷するには、ON を選択します。</p>
[PRINT PDF ERRORS]	[OFF]* [ON]	<p>PDF エラーが発生したときに PDF エラーページを印刷するには、ON を選択します。</p>
[PCL]		<p>このオプションの詳細については、「PCL サブメニュー」を参照してください。</p>

PCL サブメニュー

このメニューにアクセスするには、**CONFIGURE DEVICE**、**PRINTING**、**PCL サブメニュー**の順に押します。

項目	値	説明
[FORM LENGTH]	5 ~ 128 デフォルト=60	デフォルトの用紙サイズに対する縦の間隔を 5 ~ 128 行に設定します。数字キーを使用して値を入力します。
[ORIENTATION]	[PORTRAIT]* [LANDSCAPE]	デフォルトのページの向きを選択します。  注記 ページの向きは、プリンタ ドライバまたはソフトウェア プログラムで設定するようにお勧めします (プリンタドライバとソフトウェア プログラムの設定内容はコントロール パネルの設定内容より優先します)。
[FONT SOURCE]	[INTERNAL X]* [CARD SLOT X]	[INTERNAL X]: 内蔵フォント。 [CARD SLOT 1]、[CARD SLOT 2]、または [CARD SLOT 3]: 3 基のフラッシュ メモリ スロットのいずれかに内蔵されているフォント。
[FONT NUMBER]	0 ~ 102	MFP は、各フォントに番号を割り当て、PCL フォント リストにその番号を表示します (「 MFP 設定の確認 」を参照)。フォント番号は、印刷出力の フォント番号 列に表示されます。
[FONT PITCH]	0.44 ~ 99.99	値を入力するには、数字キーを使用します。この項目は選択されたフォントによっては表示されない場合があります。 デフォルト=10.00
[FONT POINT SIZE]	4.00 ~ 999.75	値を入力するには、数字キーを使用します。 デフォルト=12.00
[SYMBOL SET]	利用可能なシンボル セットの種類	利用可能なシンボル セットの 1 つを MFP のコントロール パネルで選択します。1 つのシンボル セットは固有のグループで、1 つのフォントの中の全文字が含まれます。 PC-8 または PC-850 が罫線用文字として推奨されています。
[APPEND CR TO LF]	[NO]* [YES]	旧バージョンと互換性のある PCL ジョブ (テキストのみ、ジョブ コントロールなし) では、 YES を選択すると、改行の後に行頭に戻る動作が追加されます。UNIX などの一部の環境では、改行制御コード (Line Feed) だけを使用して改行を指示します。このオプションによって改行の後に行頭に戻る動作を追加できます。
[SUPPRESS BLANK PAGES]	[NO]* [YES]	[YES] に設定すると、ページが空白の場合に紙送りが無視されます。
[MEDIA SOURCE MAPPING]	[STANDARD]* [CLASSIC]	PCL5 の [MEDIA SOURCE MAPPING] コマンドは利用可能なトレイやフィーダに割り当てられた番号を使用して給紙トレイを選択します。

印字品質サブメニュー

このメニューの一部の項目は、ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバ (適切なプリンタ ドライバがインストールされている場合) からアクセスできます (プリンタ ドライバとソフトウェア プログラムの設定内容はコントロール パネルの設定内容より優先します)。

このメニューにアクセスするには、**CONFIGURE DEVICE** を押し、**PRINT QUALITY** を押します。

項目	値	説明
[ADJUST COLOR]	[HIGHLIGHTS]	この項目を使用すると、+5 ~ -5 の段階で色調を調整できます。
	[MIDTONES]	
	[SHADOWS]	各値を指定して、[CYAN DENSITY]、[MAGENTA DENSITY]、[YELLOW DENSITY]、および [BLACK DENSITY] を調整できます。
	[RESTORE COLOR VALUES]	
		[RESTORE COLOR VALUES] は、カラー調整を解除して色調を元の値に戻します。
[SET REGISTRATION]	[PRINT TEST PAGE]	印刷ページのイメージをセンタリングするためにマージンの位置を上から下へ、左から右へとシフトします。また、表側の印刷イメージと裏側の印刷イメージの位置を合わせることもできます。
	[SOURCE]	
	[ADJUST TRAY N]	
[AUTO SENSE MODE]	[TRAY 1 SENSING]	トレイにセットされた用紙のタイプが自動的に検出されるように設定できます。
	[TRAY 2-N SENSING]	
[PRINT MODES]	[PLAIN]	各メディア タイプと特定の印刷モードを関連付けることができます。
	[PREPRINTED]	
	[LETTERHEAD]	
	[TRANSPARENCY]	
	[PREPUNCHED]	
	[LABELS]	
	[BOND]	
	[RECYCLED]	
	[COLOR]	
	[LIGHT <75 G/M2]	
	[INTERMEDIATE90-104]	
	[HEAVY 105-119 G/M2]	
	[EXTRA HEAVY120-163]	
	[CARDSTOCK >163]	
	[ROUGH 90-105 G/M2]	
	[GLOSSY 75-105 G/M2]	
	[HEAVY GLOSSY120-160]	

項目	値	説明
	[EXTRA HEAVY GLOSSY] [TOUGH PAPER] [ENVELOPE] [RESTORE MODES]	
[OPTIMIZE]	[EXTRA HEAVY120-163] [HIGH GLOSS IMAGES] [BACKGROUND 1] [BACKGROUND 2] [TRANSPARENCY] [MEDIA TYPE] [REGISTRATION] [LONG PAPER] [PRE-ROTATION] [RE-TRANSFER] [FUSER TEMP] [TRAY1] [RESTORE OPTIMIZE]	この項目は、メディア タイプ別でなくすべてのジョブについて MFP パラメータを最適化します。各値のデフォルト設定は [OFF] です。 [RESTORE OPTIMIZE] は、すべての最適化パラメータをデフォルト設定にリセットします。
[QUICK CALIBRATE NOW]	該当せず	簡単なプリンタ キャリブレーションを実行します。
[FULL CALIBRATE NOW]	該当せず	本格的なプリンタ キャリブレーションを実行します。
[COLOR RET]	[OFF] [ON]*	[COLOR RET] メニュー項目を使用して、プリンタの REt (Resolution Enhancement Technology) のオン/オフを切り替えることができます。デフォルトは [ON] です。

システムのセットアップ サブメニュー

このメニューの項目は MFP の機能に影響を与えます。印刷ニーズに従って MFP を設定してください。

このメニューにアクセスするには、**CONFIGURE DEVICE** を押し、**SYSTEM SETUP** を押します。

項目	値	説明
[Date/Time]	[DATE] [DATE FORMAT] [TIME]	MFP の開始日および時刻を設定します。 [DATE] の形式は YEAR (2004 ~ 2087); MONTH (JAN, FEB, MAR など); DAY (1 ~ 31) です。

項目	値	説明
	[TIME FORMAT]	<p>[DATE FORMAT] は YYYY/MMM/DD*、MMM/DD/YYYY、DD/MMM/YYYY です。</p> <p>[TIME] の形式は、HOUR (1 ~ 12), MINUTE (0 ~ 59), AM または PM です。</p> <p>[TIME FORMAT] は 12 HR または 24 HR です。この項目は、デフォルトで 12 HR となっています。</p>
[JOB STORAGE LIMIT]	1 ~ 100	<p>MFP ハードディスク アクセサリに保存できるクイックコピー ジョブと試し刷りおよび保存ジョブの数を指定します。</p> <p>デフォルト=32</p>
[JOB HELD TIMEOUT]	[OFF]* [1 HOUR] [4 HOURS] [1 DAY] [1 WEEK]	<p>クイックコピー ジョブと試し刷りおよび保存ジョブをキューから自動的に削除する前に保存しておく時間量を設定します。</p> <p>Job Held Time 値を変更した場合は、この変更後に保存されたジョブだけが変更の影響を受けます。値を変更する前に保存されていたジョブでは、元のタイムアウト設定が維持されます。</p>
[SHOW ADDRESS]	[AUTO] [OFF]*	<p>この項目は、コントロール パネル ディスプレイの [Ready] メッセージの隣に IP アドレスを表示するかどうかを指定します。</p> <p>デフォルト設定は [OFF] です。</p>
[COLOR/BLACK MIX]	[AUTO]* [MOSTLY COLOR PAGES] [MOSTLY BLACK PAGES]	<p>このメニュー項目は、性能を最大限に発揮し、プリントカートリッジを長持ちさせるために、プリンタのカラー印刷とモノクロ印刷 (白黒) を切り替える方法を設定します。</p> <p>[AUTO] は、プリンタが出荷時のデフォルト設定にリセットします。デフォルトは [AUTO] です。</p> <p>カラー印刷が占める割合が非常に高い場合は、MOSTLY COLOR PAGES を選択します。</p> <p>ほとんどをモノクロで印刷するか、あるいはカラーとモノクロを組み合わせて印刷する場合は、MOSTLY BLACK PAGES を選択します。</p>
[TRAY BEHAVIOR]	[USE REQUESTED TRAY] [MANUALLY FEED PROMPT] [PS DEFER MEDIA] [SIZE/TYPE PROMPT] [USE ANOTHER TRAY]	<p>どのトレイから印刷するかを指示することによってトレイの動作を指定します。</p> <p>[USE REQUESTED TRAY] は、指定したジョブについて MFP が印刷するときのトレイを設定します。このメニュー項目の値は [EXCLUSIVELY] (デフォルト) または [FIRST] です。</p>

項目	値	説明
	[DUPLEX BLANK PAGES] [IMAGE ROTATION]	<p>[MANUALLY FEED PROMPT] は、ジョブが、要求された設定済みトレイと一致しない場合に、ユーザーにプロンプトを表示するかどうかを指定します。このメニュー項目の値は [Always] (デフォルト) または [UNLESS LOADED] です。</p> <p>[PS DEFER MEDIA] は、PostScript ルールに基づいて用紙処理モデルを指定するか、HP ルールに基づいて用紙処理モデルを指定するかを決めます。このメニュー項目の値は [ENABLED] (HP ルールに基づく) または [Disabled] です。</p> <p>[SIZE/TYPE PROMPT] は、それまでトレイにセットされていたものとは違うタイプまたはサイズのトレイを設定しようとしたときに、設定メッセージとプロンプトを表示するかどうかを指定します。</p> <p>[USE ANOTHER TRAY] は、指定トレイが空の場合に別のトレイの用紙を使用するかどうかを指定します。</p> <p>[DUPLEX BLANK PAGES] は、空白ページを両面印刷するかどうかを指定します。</p> <p>[IMAGE ROTATION] は、画像を回転するかどうかを指定します。デフォルトは [STANDARD] です。</p>
[SLEEP DELAY]	[1 MINUTE] [15 MINUTES] [30 MINUTES] [45 MINUTES] [60 MINUTES]* [90 MINUTES] [2 HOURS] [4 HOURS]	<p>MFP がアイドル状態になってからスリープモードに入るまでの時間を設定します。スリープモードには次の利点があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アイドル中の MFP が消費する電力量を最小限に抑えます。 ● MFP の電子部品の磨耗が減ります。 <p> 注記 スリープモードでは、画面の文字が読める状態のままディスプレイのバックライトが消えます。</p> <p>印刷ジョブの送信、用紙トレイの開閉、ファックス受信を行ったり、コントロールパネルのボタンやタッチスクリーンを押したり、スキャナの蓋を開けたり、ADF にメディアをセットしたりすると、スリープモードは自動的に終了します。</p> <p>スリープモードを有効または無効にする方法については、「リセット サブメニュー」を参照してください。</p>
[WAKE TIME]	曜日の一覧 [OFF]*	<p>MFP のスリープモードが自動的に終了する時刻を設定します。曜日ごとに時刻を設定できます。すべての曜日に同じ設</p>

項目	値	説明
	[CUSTOM]	<p>定を適用する場合は、APPLY TO ALL DAYS を設定します。</p> <p>曜日ごとに、時 1 ～ 12、分 0 ～ 59、AM、および PM が表示されます。</p>
[COPY SEND SETTINGS]	これらの設定の詳細については、別表「 コピーおよび送信の設定 」を参照してください。	
[PERSONALITY]	[AUTO]* [PCL] [PDF] [PS]	<p>デフォルトの MFP 言語 (パーソナリティ) を選択します。可能な値は、MFP にインストールされている有効な言語によって決まります。</p> <p>通常は、製品の言語を変更しないでください (デフォルトは [AUTO] です)。特定の製品言語に設定を変更しても MFP の言語は自動的に切り替わりません。その場合は、具体的なソフトウェア コマンドを MFP に送信して MFP の言語を切り替える必要があります。</p>
[CLEARABLE WARNINGS]	[JOB]* [ON]	<p>解除可能な警告を MFP コントロール パネルに表示する時間量を設定します。</p> <p>[JOB]: 警告メッセージは、メッセージが表示されたジョブが完了するまでコントロール パネルに表示されます。</p> <p>[ON]: コントロール パネル上の警告メッセージを消すには、警告メッセージを解除する必要があります。</p>
[AUTO CONTINUE]	[OFF] [ON]*	<p>この項目は、エラーが発生したときの MFP の動作を指定します。</p> <p>[OFF]: エラーによって印刷が中断すると、画面にこのメッセージが表示されます。CONTINUE を押すまで印刷は再開されません。</p> <p>[ON]: エラーによって印刷が中断するとメッセージが表示され、MFP は 10 秒間のオフライン状態後にオンラインに戻ります。</p>
[REPLACE SUPPLIES]	[STOP AT OUT]* [STOP AT LOW] [OVERRIDE AT OUT]	<p>カートリッジの残量が少なくなったときのプリンタの動作を設定します。デフォルトは [STOP AT OUT] です。このオプションを選択すると、カラー サプライがなくなるまで印刷を続けることができます。[STOP AT LOW] に設定されていると、カラー サプライが交換されるまで印刷が一時停止します。[OVERRIDE AT OUT] に設定されていると、カラー サプライが切れても印刷を継続しますが、サプライがなくなっているという警告が表示されます。</p>
[ORDER AT]	0-100	デフォルト=15
[COLOR SUPPLY OUT]	[STOP]*	トナーがなくなったときの MFP の動作を指定します。

項目	値	説明
	[AUTOCONTINUE AT BLACK]	<p>[STOP]: MFP がオフラインになり、カートリッジが交換されるまで待機します。</p> <p>[AUTOCONTINUE AT BLACK]: カートリッジが交換されるまで [REPLACE CARTRIDGE] メッセージが表示されず。印刷は継続されます。</p>
[JAM RECOVERY]	[AUTO]* [OFF] [ON]	<p>紙詰まりが発生した場合の MFP の動作を指定します。</p> <p>[AUTO]: 紙詰まりの解消に最適なモードが自動的に選択されます (通常は [ON])。デフォルト設定は “AUTO” です。</p> <p>[OFF]: 紙詰まりの解除後にページを再印刷しません。この設定では、印刷性能が改善する場合があります。</p> <p>[ON]: 紙詰まり解除後にページを自動的に再印刷します。</p>
[LANGUAGE]	利用可能な言語の一覧	コントロール パネルの言語を設定します。

コピーおよび送信の設定

次の表に、[SYSTEM SETUP] サブメニューとして含まれている [COPY SEND SETTINGS] の利用可能なオプションの一覧を示します。

項目	値	説明
[INACTIVITY TIMEOUT]	10-300 秒	<p>コントロール パネル アクティビティの完了後にコピー設定をデフォルト設定に戻すまでの時間量を指定します。MFP をリセットすると、デフォルト値にリセットされます。</p> <p>デフォルト=60</p>
[AUTO SETTINGS RESET]	[OFF]* [ON]	<p>指定されたタイムアウト時間が経過した後、コピーおよび送信の設定を自動的にリセットします。[OFF] に設定した場合、設定をリセットするか、同じ設定で印刷を継続するかを指定するようにプロンプトが表示されます。この項目を [ON] に設定した場合、各送信ジョブ後に設定が自動的にリセットされます。デフォルトは [OFF] です。</p>
[TIMEOUT AFTER SEND]	10 ~ 300 秒	<p>コントロール パネル アクティビティの完了後に送信設定をデフォルト設定に戻すまでの時間量を指定します。この項目は、[AUTO SETTINGS RESET] が [OFF] の場合にのみ表示されます。</p> <p>デフォルト=20</p>
[HOLD OFF PRINT JOB]	[OFF] [ON]*	<p>コピー完了後の指定時間の間、ネットワーク印刷ジョブの開始を保留します。</p>
[HOLD OFF TIME]	0-300 秒	[HOLD OFF PRINT JOB] が [ON] に設定されている場合に、印刷ジョブが待機する時間量を指定します。

項目	値	説明
		デフォルト=15
[SCAN AHEAD]	[OFF] [ON]*	別のジョブの印刷中でも、コピー ジョブをスキャンできるようにします。コピー ジョブをスキャンし、印刷可能になるまで保留されます。この設定を [OFF] に設定した場合は、印刷ジョブが完了してからコピー ジョブをスキャンします。
[AUTO JOB INTERRUPT]	[OFF]* [ON]	現在印刷中のネットワーク印刷ジョブに自動的にコピー ジョブを割り込ませます。現在印刷中のジョブの途中に割り込んで実行されます。この設定を [OFF] に設定すると、印刷ジョブのすべてのコピーが完了してからコピー ジョブが印刷されます。
[COPY JOB INTERRUPT]	[OFF]* [ON]	現在のコピー ジョブを中断して別のコピー ジョブを行えるようにします。Start ボタンを押すと、現在のコピー ジョブを中断するかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。
[AUDIBLE FEEDBACK]	[OFF] [ON]*	ボタンを押したりタッチスクリーンのインタラクティブ領域を押したりするときの音声指示を指定します。
[COLOR COPY OPTION]	[ENABLE]* [DISABLE]	管理者は、カラー ロックアウト機能を設定できます。


MBM 3 設定サブメニュー

3 ビン メールボックスの排紙ピンをセットアップするには、このメニューの項目を使用します。

このメニューにアクセスするには、CONFIGURE DEVICE を押し、MBM-3 CONFIGURATION を押します。



注記 このメニューは、3 ビン メールボックスが取り付けられている場合に表示されます。

項目	値	説明
[OPERATION MODE]	[JOB SEPARATION MODE]* [MAILBOX MODE] [STACKER MODE]	使用する動作モードを選択します。詳細については、「3 ビン メールボックス」を参照してください。
		 注記 動作モードが変更されるたびに MFP は自動的に再起動します。


ステイプラ/スタッカ サブメニュー

ステイプル留めオプションを設定するには、このメニューの項目を使用します。

このメニューにアクセスするには、CONFIGURE DEVICE を押し、STAPLER/STACKER を押します。



注記 このメニューはステイプラ/スタッカが取り付けられている場合に表示されます。

項目	値	説明
[STAPLES]	[NONE]* [ONE]	ステイプル留めを有効にするには、 [ONE] を選択します。  注記 プリンタ ドライバの設定内容は、コントロールパネルの設定内容より優先します。
[STAPLES OUT]	[STOP] [CONTINUE]*	ステイプル カートリッジが空の場合に MFP を停止するか、継続するかを設定するには、この項目を使用します。 [CONTINUE] を選択した場合は、ジョブが排紙ビンにスタックされますが、ステイプル留めはされません。 デフォルト=15

I/O サブメニュー

I/O (入出力) サブメニューの項目は、MFP とコンピュータ間の通信に影響を与えます。

このメニューにアクセスするには、**CONFIGURE DEVICE** を押し、**I/O** を押します。

項目	値	説明
[I/O TIMEOUT]	5 ~ 300	秒単位で I/O タイムアウト時間を選択するには、この項目を使用します (I/O タイムアウトとは、印刷ジョブが終了するまでの MFP の待機時間です)。 最高の結果を得られるようにタイムアウトを調整するには、この設定を使用します。印刷ジョブの最中に他のポートからのデータが表示された場合は、タイムアウト値を上げてください。 デフォルト=15
[PARALLEL INPUT]	[HIGH SPEED] [ADVANCED FUNCTIONS]	[HIGH SPEED] は、新しい機種種のコンピュータとの接続に使用される高速なパラレル通信を受け入れます。この項目には NO および YES* オプションがあります。 [ADVANCED FUNCTIONS] は、双方向パラレル通信のオンおよびオフを切り替えます。双方向パラレル ポート (IEEE-1284) にはデフォルトが設定されています。この設定では、ステータス リードバック メッセージを MFP からコンピュータに送信できます (パラレルの Advanced Functions をオンにすると、言語切り替えに時間がかかる場合があります)。この項目には OFF および ON* オプションがあります。
[FIND SEND GATEWAYS]	値の選択なし	この項目は、電子メールの送信に使用できる SMTP および LDAP ゲートウェイをネットワーク上で検索します。

項目	値	説明
[SMTP GATEWAY]	値の選択なし	電子メールの送信に使用される SMTP ゲートウェイの IP アドレスです。
[LDAP GATEWAY]	値の選択なし	電子メール アドレス情報の検索に使用される LDAP ゲートウェイの IP アドレスです。
[JETDIRECT]	次のサブメニューを参照してください。	[JETDIRECT] では、ネットワークを設定できます。
[TEST SEND GATEWAYS]	値の選択なし	正常に機能していることを確認するために、設定済みのゲートウェイをテストします。

内蔵 Jetdirect サブメニュー

このメニューにアクセスするには、**CONFIGURE DEVICE**、**I/O**、**JETDIRECT** の順に押します。

項目	オプション	値	説明
[TCP/IP]	[ENABLE]	[ON]	[ON]: (デフォルト) TCP/IP プロトコルを有効にします。
		[OFF]	[OFF]: TCP/IP プロトコルを無効にします。
	[HOST NAME]		デバイスの識別に使用される 32 文字までの英数文字列。この名前は、Jetdirect 設定ページに表示されます。デフォルトのホスト名は NPIxxxxxx です。ここで、xxxxxx は LAN ハードウェア (MAC) アドレスの最後の 6 桁です。
	[CONFIG METHOD]	[BOOTP]	BootP サーバーから設定を自動取得するには、 BOOTP (ブートストラップ プロトコル) を選択します。
		[DHCP]*	
		[AUTO IP]	DHCP サーバーから設定を自動取得するには、 DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) を選択します。
		[MANUAL]	リンク ローカル IP アドレスを自動指定するには、 AUTO IP を選択します。169.254.x.x という形式のアドレスが自動的に割り当てられます。
			TCIP/IP パラメータを設定するには、 [MANUAL] 設定メニューを使用します。
	[DHCP RELEASE]	[YES]	DHCP を使用しており、DHCP リースがある場合は、 [NO] を選択すると、現在のリースが保存されます。
		[NO]*	[YES] を選択すると、現在の DHCP リースとリースされている IP アドレスが解放されます。

項目	オプション	値	説明
	[DHCP RENEW]	[YES] [NO]*	<p>このメニューは、[CONFIGURE METHOD] が [DHCP] に設定され、プリントサーバーの [DHCP] リースが存在する場合に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [NO] (デフォルト): 現在の DHCP リースが保存されます。 ● [YES]: 現在の DHCP リースが、リースされている IP アドレスと共に解放されます。
[MANUAL SETTINGS]			<p>(([CONFIG METHOD] が [MANUAL] に設定されている場合のみ) プリンタのコントロールパネルからパラメータを直接設定します。</p> <p>[IP ADDRESS] (n.n.n.n.) プリンタの固有の IP アドレス。ここで、n は 0 ~ 255 の値です。</p> <p>[SUBNET MASK] m.m.m.m.: プリンタのサブネットマスク。ここで、m は 0 ~ 255 の値です。</p> <p>[SYSLOG SERVER] n.n.n.n.: syslog メッセージの受信とログ生成に使用する syslog サーバーの IP アドレス。</p> <p>[DEFAULT GATEWAY] n.n.n.n: 他のネットワークとの通信に使用するゲートウェイまたはルータの IP アドレス。</p> <p>[IDLE TIMEOUT]: TCP 印刷データ接続がアイドル状態になってから終了するまでの秒単位の時間 (デフォルトは 270 秒、0 はタイムアウトが無効になります)。</p>
[DEFAULT IP] (パラメータは AUTO IP および LEGACY です)			<p>TCP/IP を再設定しなければならない場合 (BootP または DHCP を使用するように手動で設定するなど) にプリントサーバーがネットワークから IP アドレスを取得できないときにデフォルトで設定する IP アドレスを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [AUTO IP]: リンク ローカル IP アドレス 169.254.x.x が設定されます。 ● [LEGACY]: 古い Jetdirect 製品と互換性が取れるようにアドレス 192.0.0.192 が設定されます。
[PRIMARY DNS]			<p>プライマリ Domain Name System (DNS) サーバーの IP アドレス (n.n.n.n) を指定します。</p>
[SECONDARY DNS]			<p>セカンダリ Domain Name System (DNS) サーバーの IP アドレス (n.n.n.n) を指定します。</p>

項目	オプション	値	説明
[PROXY SERVER]			<p>プリンタ/MFP の内蔵アプリケーションが使用するプロキシ サーバーを指定します。プロキシ サーバーは、インターネット アクセスの際にネットワーク クライアントが通常使用するサーバーです。プロキシ サーバーは Web ページをキャッシュし、そのクライアントに対して一定のインターネット セキュリティを提供します。</p> <p>プロキシ サーバーを指定するには、その IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。ドメイン名には 64 文字まで使用できます。</p> <p>ネットワークによっては、ISP (Independent Service Provider: 独立サービス プロバイダ) に問い合わせてプロキシ サーバー アドレス情報を入手する必要があります。</p>
[PROXY ポート]			<p>クライアント サポートを目的としてプロキシ サーバーが使用するポート番号を入力します。このポート番号は、ネットワーク上のプロキシ アクティビティのために予約されているポートを識別するもので、0 ～ 65535 の値を指定できます。</p>
[IPX/SPX]	[ENABLE]	[ON]* [OFF]	<p>[ON]: IPX/SPX プロトコルを有効にします。</p> <p>[OFF]: IPX/SPX プロトコルを無効にします。</p>
	[FRAME TYPE]	[AUTO] [EN_8023] [EN_II] [EN_8022] [EN_SNAP]	<p>ネットワークのフレーム タイプ設定を選択します。</p> <p>[AUTO]: (デフォルト) 最初に検出されたフレーム タイプを設定して制限します。</p> <p>EN_8023、EN_II、EN_8022、および EN_SNAP : Ethernet ネットワークのフレーム タイプの選択肢。</p>
[APPLETALK]	[ENABLE]	[ON]* [OFF]	<p>AppleTalk プロトコルを有効または無効にします。</p>
[DLC/LLC]	[ENABLE]	[ON]* [OFF]	<p>DLC/LLC プロトコルを有効または無効にします。</p>
[SECURE WEB]	[HTTPS REQUIRED]		<p>[SECURE WEB]: 内蔵 Web サーバーが保護付き HTTP (HTTPS) での通信のみを受け入れるか、HTTP と HTTPS の両方を受け入れるかを指定します。</p>
	[HTTPS OPTIONAL]*		
[DIAGNOSTICS]			<p>[DIAGNOSTICS]: ネットワーク ハードウェアや TCP/IP ネットワーク接</p>

項目	オプション	値	説明
			続の問題を診断するのに役立つテストを提供します。
[RESET SECURITY]	[YES] [NO]*		[RESET SECURITY]: プリントサーバーの現在のセキュリティ設定が保存されるか、出荷時のデフォルトにリセットされるかを指定します。
[LINK SPEED]	[AUTO] [10T HALF] [10T FULL] [100TX HALF] [100TX FULL]		ネットワーク リンク速度および通信モードに従ってプリントサーバーが自動設定されます。このプロセスが失敗した場合は、[100TX HALF] または [10T HALF] が設定されます。 [10T HALF]: 10 Mbps、半二重動作 [10T FULL]: 10 Mbps、全二重動作 [100TX HALF]: 100 Mbps、半二重動作 [100TX FULL]: 100 Mbps、全二重動作

リセット サブメニュー

このメニューにアクセスするには、**CONFIGURE DEVICE** を押し、**RESETS** を押します。



注記 このメニューは慎重に使用してください。これらの項目を選択すると、バッファリングされたページ データや、MFP の設定内容が失われる場合があります。MFP のリセットを行うのは、次の場合に限るようにしてください。

- MFP デフォルト設定を復元する場合
- MFP とコンピュータ間の通信が中断し、その他に解決方法がない場合。「[ネットワーク接続に関する問題の解決](#)」を参照してください。
- ポートに問題がある場合

リセット サブメニューの項目を使用すると MFP のすべてのメモリがクリアされ、**リセット** ボタンを押すと、現在のジョブのみがクリアされます。

項目	値	説明
[RESTORE FACTORY SETTINGS]	値の選択なし	この項目は、すべてのコントロールパネル設定を元の工場出荷時の設定にリセットします。
[SLEEP MODE]	[OFF] [ON]*	スリープ モードをオンまたはオフにします。スリープ モードを使用すると、次の利点があります。 <ul style="list-style-type: none"> ● アイドル中の MFP が消費する電力量を最小限に抑えます。 ● MFP の電子部品の磨耗が減ります。

項目	値	説明
		<p>印刷ジョブの送信、ファックス受信を行ったり、コントロールパネルのボタンやタッチスクリーンを押したり、スキャナの蓋を開けたり、ADF にメディアをセットしたりすると、スリープモードは自動的に終了します。</p> <p>MFP がアイドル状態になってからスリープモードに入るまでの時間を設定できます。「システムのセットアップサブメニュー」の[SLEEP DELAY]の情報を参照してください。</p>
[LOCK CARRIAGE]	値の選択なし	この項目は、スキャナヘッドをロックする前に選択する必要があります。これにより、キャリッジがロック位置に移動します。
[CLEAR ADDRESS BOOK]	値の選択なし	この項目は、アドレス帳からすべてのアドレスを削除します。

診断メニュー

項目	オプション	値	説明
[PRINT EVENT LOG]			エラー ログの最新の 50 エントリをローカライズした一覧を印刷します。印刷されたイベント ログには、エントリごとにエラー番号、ページ数、エラー コード、説明またはパーソナリティが表示されます。
[PQ TROUBLESHOOTING]			8 ページにわたる手順、カラー、デモ、および構成の各情報を印刷します。印刷品質に関する問題の原因究明に役立つ情報です。
[SHOW EVENT LOG]			コントロール パネルで、最新の 50 イベントの一覧を記載したイベント ログの内容をスクロールします。
[CALIBRATE SCANNER]			スキャナをキャリブレーションするには、この項目を使用します。スキャンしたドキュメント内の正しい領域を取り込むことができない場合は、スキャナをキャリブレーションする必要があります。
[PRINT DIAGNOSTICS PAGE]			プリンタの問題を診断するのに役立つ情報を印刷できます。
[DISABLE CARTRIDGE CHECK]			問題の原因であるカートリッジを特定するためにプリントカートリッジを取り外すことができます。
[PAPER PATH SENSORS]			用紙経路センサ テストを開始します。その後、メニューに移動して内部ページ (用紙経路テストなど) の印刷、メニュー項目の設定、コンピュータからのジョブの送信ができます。用紙が各センサを通過するたびにセンサの表示が更新されますが、メッセージは表示されません。
[PAPER PATH TEST]	[PRINT TEST PAGE]		MFP の用紙処理機能のテストに役立つテスト ページが印刷されます。 テストする用紙経路を指定します。
	[SOURCE]	[ALL TRAYS] [TRAY 1] [TRAY 2]*	特定のトレイからテスト ページを印刷するか、すべてのトレイからテスト ページを印刷するかを指定します。

項目	オプション	値	説明
		[TRAY 3]	
		[TRAY 4]	
	[DESTINATION]	[ALL BINS]	用紙経路テスト時に使用する排紙ビン指定します。
		[OUTPUT BIN 1]*	
		[OUTPUT BIN 2]	このメニューは、排紙ビンが取り付けられている場合に表示されます。
		[OUTPUT BIN 3]	
	[DUPLEX]	[OFF]*	テスト実施時に両面印刷ユニットもテストの対象とすることを指定します。
		[ON]	
	[COPIES]	1*	テスト実施時に、指定されたソースから送り出す用紙の枚数を指定します。
		10	
		50	
		100	
		500	
[MANUAL SENSOR TEST]			用紙経路センサおよびスイッチの動作が正常かどうかをテストします。このテスト時、MFP はオフラインになります。
			コントロール パネルのディスプレイでは、アルファベットの文字列の後に各センサの対応ステータスを付けた文字列で各センサが表示されます。
[MANUAL SENSOR TEST 2]			用紙経路センサが正常に動作することを確認するためのテストを実施します。
[COMPONENT TEST]	[TRANSFER MODE]		このメニュー項目は、サービス技術者が、MFP の個々の部品の動作を確認して問題の原因を特定するために使用します。
	[BELT ONLY]		
	[IMAGE DRUM MOTORS]		
	[BLACK LASER SCANNER]		
	[CYAN LASER SCANNER]		
	[MAGENTA LASER SCANNER]		
	[YELLOW LASER SCANNER]		
	[FUSER MOTOR]		
	[FUSER PRESSURE RELEASE MOTOR]		
	[ALIENATION MOTOR]		

項目	オプション	値	説明
	[ETB CONTACT/ ALIENATION] [TRAY 1 PICKUP SOLENOID] [TRAY 1 PICKUP MOTOR] [TRAY 3 PICKUP SOLENOID] [TRAY 2 PICKUP MOTOR] [TRAY 3 PICKUP SOLENOID] [TRAY 3 PICKUP MOTOR] [TRAY 4 PICKUP SOLENOID] [TRAY 4 PICKUP MOTOR] [DUPLEXER PICKUP MOTOR] [REPEAT]		
[PRINT/STOP TEST]	[STOP TIME]	0 ~ 60000	このメニュー項目は、サービス技術者が、MFP の印字品質問題の原因を特定するために使用します。時間はミリ秒単位で表します。
[COLOR BAND TEST]	[PRINT TEST PAGE] [COPIES]	1-30	<p>[PRINT TEST PAGE] オプションは、MFP のカラー バンド機能のテストに役立つテスト ページを印刷します。</p> <p>[COPIES] オプションでは、印刷するテスト ページの数を選択できます。デフォルト =1。</p>
[SCANNER TESTS]	[LOWER LAMP] [ADF INPUT MOTOR] [ADF INPUT MOTOR REVERSE] [FLATBED MOTOR] [ADF READ MOTOR] [ADF READ MOTOR REVERSE] [ADF DUPLEX SOLENOID] [ADF LED INDICATOR]		このメニュー項目は、サービス技術者が、MFP スキャナの問題を診断するために使用します。
[CONTROL PANEL]	[LEDs] [DISPLAY]		このメニュー項目は、サービス技術者が、MFP コントロ

項目	オプション	値	説明
	[BUTTONS]		ール パネルの問題を診断する ために使用します。
	[TOUCHSCREEN]		

サービス メニュー

サービス メニューはロックされています。サービス メニューを開くには、サービス技術者が PIN を入力する必要があります。

3 I/O 設定

この章では、MFP の特定のネットワーク パラメータの設定方法について説明します。次の項目について説明します。

- [ネットワークの設定](#)
- [パラレル設定](#)
- [USB 構成](#)
- [補助接続構成](#)
- [HP Jetdirect プリント サーバー](#)
- [ワイヤレス印刷](#)

ネットワークの設定

MFP では、ネットワーク パラメータの設定が必要な場合があります。これらのパラメータは、インストール ソフトウェア、MFP のコントロール パネル、内蔵 Web サーバー、または管理ソフトウェア (HP Web Jetadmin や HP LaserJet Utility for Macintosh など) から設定できます。



注記 内蔵 Web サーバーの使用方法については、「[内蔵 Web サーバーの使用](#)」を参照してください。

サポートされているネットワークとネットワーク設定ツールの詳細については、『*HP Jetdirect プリント サーバー管理者用ガイド*』を参照してください。このガイドは、HP Jetdirect プリント サーバーが搭載のプリンタに付属しています。

このセクションでは、MFP のコントロール パネルからネットワーク パラメータを設定する方法について説明します。

- TCP/IP パラメータの設定
- 未使用ネットワーク プロトコルの無効化

TCP/IP パラメータの設定

MFP のコントロール パネルを使用して次の TCP/IP パラメータを設定できます。

- IP アドレス (4 バイト)
- サブネット マスク (4 バイト)
- デフォルト ゲートウェイ (4 バイト)

MFP コントロール パネルから TCP/IP パラメータを手作業で設定するには

IP アドレス、サブネット マスク、およびデフォルト ゲートウェイを手作業で設定します。

IP アドレスの設定

1. **Menu** ボタンを押して **[MENUS]** を表示します。
2. **CONFIGURE DEVICE** を押します。
3. **I/O** を押します。
4. **JETDIRECT MENU** を押します。
5. **TCP/IP** を押します。
6. **CONFIG METHOD** を押します。
7. **MANUAL** または **MANUAL SETTINGS** を押します。
8. **IP ADDRESS** を押します。
9. 左矢印キーまたは右矢印キーを使用して IP アドレスの各バイトを選択し、数字キーを使用して各バイト数を入力します。
10. **OK** を押します。

サブネット マスクの設定

1. Menu ボタンを押して [MENUS] を表示します。
2. CONFIGURE DEVICE を押します。
3. I/O を押します。
4. JETDIRECT MENU を押します。
5. TCP/IP を押します。
6. CONFIG METHOD を押します。
7. MANUAL を押します。
 - ▲ MANUAL SETTINGS を押します。
8. SUBNET MASK を押します。



注記 最初の 3 セットの数字がハイライトされます。

9. 左矢印キーまたは右矢印キーを使用してサブネット マスクの各バイトを選択し、数字キーを使用して各バイト数を入力します。
10. OK を押します。

デフォルト ゲートウェイの設定

1. Menu ボタンを押して [MENUS] を表示します。
2. CONFIGURE DEVICE を押します。
3. I/O を押します。
4. JETDIRECT MENU を押します。
5. TCP/IP を押します。
6. CONFIG METHOD を押します。
7. MANUAL または MANUAL SETTINGS を押します。
8. DEFAULT GATEWAY を押します。



注記 最初の 3 セットの数字はデフォルト設定を表します。ハイライトする数字がない場合は、ハイライトされた空のアンダースコアが表示されます。

9. 左矢印キーまたは右矢印キーを使用してデフォルト ゲートウェイの各バイトを選択し、数字キーを使用して各バイト数を入力します。
10. OK を押します。

ネットワーク プロトコルの無効化 (オプション)

出荷時のデフォルト設定では、サポートされているすべてのネットワークプロトコルが有効になっています。使用しないプロトコルを無効にすると次の利点があります。

- MFP で生成されるネットワーク トラフィックが減少します。
- 権限のないユーザーからの印刷を禁止することができます。
- 設定ページに関する情報だけを提供します。
- MFP のコントロール パネルにプロトコル特有のエラーおよび警告メッセージを表示できます。

DLC/LLC を無効にするには

1. **Menu** ボタン押して **[MENUS]** を表示します。
2. **CONFIGURE DEVICE** を押します。
3. **I/O** を押します。
4. **JETDIRECT MENU** を押します。
5. **DLC/LLC** を押します。
6. **ENABLE** を押します。
7. **ON** または **OFF** を押します。
8. **OK** を押します。

パラレル設定

HP Color LaserJet 4730mfp シリーズは、ネットワークとパラレル接続を同時にサポートします。パラレル接続は、双方向パラレル ケーブル (IEEE-1284-C 準拠) を使用して C コネクタを MFP のパラレル ポートに差し込み、MFP をコンピュータに接続することによって行います。ケーブルの長さは、最大 10m (30 フィート) です。

パラレル インタフェースを説明する場合、双方向という用語は、MFP がパラレル ポートを介して、コンピュータからのデータの受信とコンピュータへのデータの送信の両方を実行できることを意味します。

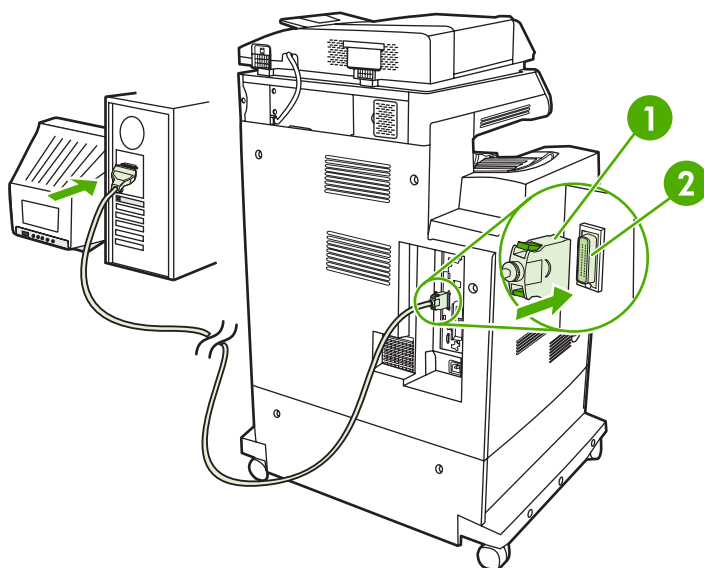


図 3-1 パラレル ポート接続

1	C コネクタ
2	パラレル ポート



注記 コンピュータと MFP 間の双方向通信、データの高速度転送、プリンタ ドライバの自動設定などの双方向パラレル インタフェースの拡張機能を使用するには、最新のプリンタ ドライバがインストールされていることを確認してください。

注記 出荷時のデフォルト設定は、MFP のパラレル ポートと 1 つ以上のネットワーク接続の自動切替をサポートします。問題が生じた場合は、「[ネットワークの設定](#)」を参照してください。

USB 構成

MFP は、USB 2.0 およびホスト USB 接続をサポートしています。次の図のように、USB ポートは MFP の背面にあります。A-to-B タイプの USB ケーブルを使用する必要があります。

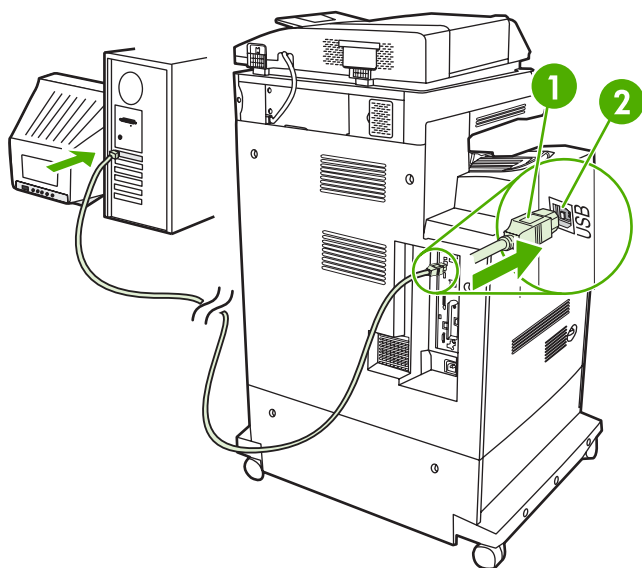


図 3-2 USB 接続用コネクタ

- | | |
|---|----------|
| 1 | USB コネクタ |
| 2 | USB ポート |

補助接続構成

MFP は、用紙処理入力デバイスの補助接続をサポートしています。次の図のように、ポートは MFP の背面にあります。

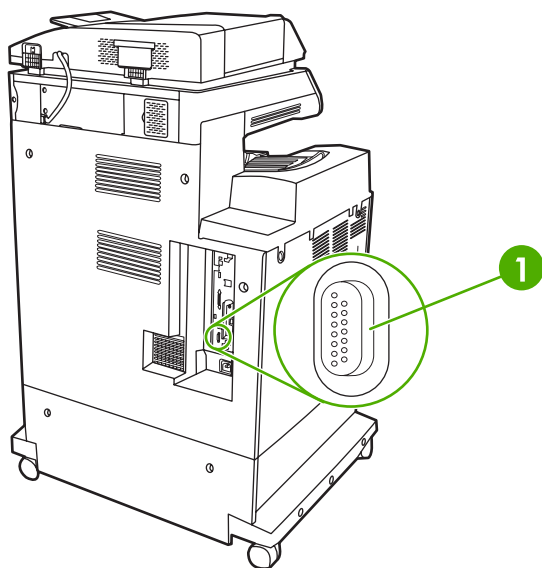


図 3-3 補助接続

- 1 補助接続ポート (Jetlink)

HP Jetdirect プリント サーバー

HP Jetdirect プリント サーバーを使用すると、プリンタをどこでもネットワークに直接接続できるので、ネットワークの管理が容易になります。これらのサーバーは、複数のネットワーク プロトコルおよびオペレーティング システムをサポートします。また、HP Jetdirect プリント サーバーは、Simple Network Management Protocol (SNMP) をサポートします。SNMP は、HP Web Jetadmin ソフトウェアを介したリモート プリンタ管理およびトラブルの解決を含むネットワーク管理を提供します。

HP Color LaserJet 4730mfp シリーズには HP Jetdirect プリント サーバーが内蔵されています。このサーバーは Ethernet 10/100-TX ネットワーク接続をサポートしています。HP Jetdirect EIO プリントサーバーを HP Color LaserJet 4730mfp シリーズの EIO スロットに取り付けると、追加のネットワーク接続が可能になります。



注記 EIO プリント サーバーのインストールおよびネットワーク設定は、ネットワーク管理者が行います。ネットワーク設定は、インストール ソフトウェア、MFP コントロール パネル、内蔵 Web サーバー、またはネットワーク管理ソフトウェアを使用して実行します。

注記 サポートされている EIO ネットワークのプリント サーバーに関しては、HP Jetdirect プリント サーバーの説明書を参照してください。

サポートされているネットワークとネットワーク設定ツールの詳細については、『*HP Jetdirect プリント サーバー管理者用ガイド*』を参照するか、または http://www.hp.com/support/net_printing の HP カスタマ ケアをご覧ください。

NetWare ネットワーク

HP Jetdirect プリント サーバーと共に Novell NetWare を使用するときは、NetWare ユーティリティを使用して MFP の設定および管理を行います。

Windows ネットワーク

Windows 98、ME、2000、Windows Server 2003、および XP システムの場合は、プリンタ インストール ユーティリティを使用して Microsoft Windows ネットワーク上のプリンタのセットアップを行います。このユーティリティは、ピアツーピアまたはクライアント/サーバー ネットワーク環境のいずれの場合も、プリンタのセットアップをサポートします。

AppleTalk ネットワーク

EtherTalk ネットワーク上の MFP をセットアップするには、HP LaserJet Utility を使用します。詳細については、HP Jetdirect プリント サーバー搭載のプリンタに付属している『*HP Jetdirect プリント サーバー管理者用ガイド*』を参照してください。

UNIX/Linux ネットワーク

HP Jetdirect printer installer for UNIX ユーティリティを使用して、HP-UX または Sun Solaris ネットワーク上に MFP をセットアップします。

UNIX または Linux ネットワークのセットアップおよび管理には、HP Web Jetadmin を使用します。

UNIX/Linux ネットワークのための HP ソフトウェアを入手するには、http://www.hp.com/support/net_printing の HP カスタマ ケアをご覧ください。HP Jetdirect プリント サーバーがサポートする他のインストール オプションについては、『*HP Jetdirect プリント サーバー管理者用ガイド*』を参照してください。

ワイヤレス印刷

ワイヤレス ネットワークは、従来の有線ネットワーク接続に代わる安全でコスト効率のよい手段です。使用可能なワイヤレス プリント サーバーの一覧については、「[サプライ品とアクセサリ](#)」を参照してください。

IEEE 802.11 規格

オプションの HP Jetdirect ワイヤレス プリント サーバーは、802.11 ネットワークへの接続をサポートしています。このワイヤレス テクノロジーにより、配線の物理的な諸条件を満たさずに高品質の印刷ソリューションを使用できます。周辺機器をオフィスや家庭のどこにでも便利に配置でき、ネットワーク ケーブルを配線し直さずに簡単に移動できます。

HP Install Network Printer Wizard を使用して簡単にインストールできます。

HP Jetdirect 802.11 プリント サーバーでは、USB 接続を使用できます。

Bluetooth

Bluetooth ワイヤレス テクノロジーは、コンピュータ、MFP、プリンタ、携帯情報端末 (PDA)、携帯電話、およびその他の機器をワイヤレスに接続するときに使用できる、低電力の短波無線テクノロジーです。

赤外線テクノロジーとは異なり、Bluetooth は無線信号によるものであり、そのため各機器は通信するために同じ部屋、オフィス、またはパーティションで区切られた小空間になくてもよく、機器間の障害物を取り除く必要もありません。このワイヤレス テクノロジーによりビジネス ネットワーク アプリケーションにおける可搬性と効率性が向上します。

HP Color LaserJet 4730mfp シリーズのプリンタには Bluetooth アダプタ (HP bt1300) が使用され、Bluetooth ワイヤレス テクノロジーが組み込まれています。アダプタでは USB 接続またはパラレル接続のいずれかを使用できます。アダプタは、2.5GHz の ISM 帯域で 10m の見通し範囲で動作し、最大 723kbps の転送速度を達成します。この機器では、次の Bluetooth プロファイルをサポートしています。

- Hardcopy Cable Replacement Profile (HCRP)
- Serial Port Profile (SPP)
- Object Push Profile (OPP)
- Basic Imaging Profile (BIP)
- XHTML-Print を使用する Basic Printing Profile (BPP)

4 印刷作業

この章では、基本的な印刷作業の実行方法について説明します。次の項目について説明します。

- [印刷ジョブの制御](#)
- [印刷メディアの選択](#)
- [メディア タイプの自動感知 \(自動感知モード\)](#)
- [給紙トレイの設定](#)
- [特殊なメディアへの印刷](#)
- [自動両面印刷](#)
- [ドキュメントのステイプル留め](#)
- [特殊な印刷条件](#)
- [排紙ビンの選択](#)
- [ジョブ保存機能](#)
- [メモリの管理](#)
- [プリンタ ドライバでの各機能の使用](#)
- [Macintosh プリンタ ドライバでのプリンタ機能の使用](#)

印刷ジョブの制御

Microsoft Windows オペレーティング システム環境では、印刷ジョブを送信したときのプリンタ ドライバによる給紙方法は 3 つの設定の影響を受けます。ほとんどのソフトウェア プログラムでは、**[ページ設定]**、**[印刷]**、または **[印刷のプロパティ]** ダイアログ ボックスにソース、タイプ、およびサイズ設定が表示されます。これらの設定を変更しない場合は、デフォルトの設定を使用して自動的にトレイが選択されます。

ソース

ソース別印刷は、MFP が給紙する特定のトレイをユーザーが選択することを意味します。どのタイプまたはサイズの用紙がセットされていても、MFP はこのトレイから印刷しようとします。設定されたトレイを選択して、そのタイプまたはサイズが印刷ジョブに適さない場合、MFP は自動的に印刷せず、印刷メディアのタイプまたはサイズが印刷ジョブに適した、選択したトレイをユーザーがセットするまで待ちます。トレイをセットすると、印刷が始まります。

タイプおよびサイズ

タイプまたはサイズ別印刷は、正しいタイプまたはサイズのセットされている適切なトレイから給紙またはメディアの印刷を行うことを意味します。ソースではなくタイプ別のメディア選択は、トレイを限定するようなもので、特別なメディアを誤って使用するのを防ぐことができます。たとえば、トレイがレターヘッド用に設定されている場合に、普通紙に印刷するようにドライバを指定すると、MFP はそのトレイからレターヘッドを給紙しません。その代わりに、普通紙がセットされており、MFP のコントロール パネルで普通紙用に設定されているトレイから給紙します。タイプおよびサイズ別にメディアを選択すると、厚手用紙、光沢紙、および OHP フィルムの印刷品質を大幅に向上させることができます。間違った設定を使用すると、満足な印刷品質が得られない場合があります。ラベル紙やグレースケール OHP フィルムなどの特別な印刷メディアの場合は、必ずタイプ別印刷を行ってください。封筒の場合は、できるだけサイズ別印刷を行ってください。

- タイプまたはサイズ別に印刷するには、アプリケーションの機能に従い、**[ページ設定]** ダイアログ ボックス、**[印刷]** ダイアログ ボックス、または **[印刷のプロパティ]** ダイアログ ボックスからタイプまたはサイズを選択します。
- 特定のタイプまたはサイズのメディアに頻繁に印刷する場合は、MFP 管理者 (ネットワーク MFP の場合) またはユーザー自身 (ローカル MFP の場合) がトレイをそのタイプまたはサイズに設定することができます。その後、ジョブを印刷する際にタイプまたはサイズを選択すると、そのタイプまたはサイズに設定されたトレイから給紙されます。

印刷設定の優先度

印刷設定に行われた変更は、変更が行われた場所によって次のように優先度が決まります。



注記 コマンドおよびダイアログ ボックスの名前はプログラムによって異なる場合があります。

- **[ページ設定]** ダイアログ ボックス: ご使用のプログラムの **[ファイル]** メニューで **[ページ設定]** またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。このダイアログ ボックスで変更された設定は、他のどの場所でも変更された設定よりも優先されます。
- **[印刷]** ダイアログ ボックス: ご使用のプログラムの **[ファイル]** メニューで **[印刷]**、**[印刷設定]**、またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。**[印刷]** ダイアログ ボックスの優先度は低く、**[ページ設定]** ダイアログ ボックスで行われた変更が優先されます。

- **[プリンタのプロパティ] ダイアログ ボックス (プリンタ ドライバ) :** **[印刷]** ダイアログ ボックスで **[プロパティ]** をクリックすると、プリンタ ドライバが開きます。**[プリンタのプロパティ]** ダイアログ ボックスで変更された設定は、他のいずれかの場所の設定によって置き換えられます。
- **デフォルトのプリンタ設定 :** デフォルトのプリンタ設定は、上記の **[ページ設定]**、**[印刷]**、または **[プリンタのプロパティ]** ダイアログ ボックスで設定が**変更されない限り**、すべての印刷ジョブで使用される設定を決定します。デフォルトのプリンタ設定を変更する方法は2つあります。
- 1. **[スタート]**、**[設定]**、**[プリンタ]** の順にクリックし、プリンタ アイコンを右クリックして **[プロパティ]** をクリックします。
- 2. **[スタート]**、**[コントロール パネル]** の順にクリックして **[プリンタ]** フォルダを選択し、プリンタ アイコンを右クリックして **[プロパティ]** をクリックします。

詳細については、「[プリンタドライバ](#)」または「[Macintosh コンピュータ用プリンタ ドライバ](#)」を参照してください。



注意 他のユーザーの印刷ジョブに影響を与えないようにするには、できるだけソフトウェアアプリケーションまたはプリンタ ドライバからプリンタ設定を変更してください。コントロール パネルから行われたプリンタ設定の変更は、それ以降のジョブのデフォルト設定となります。アプリケーションまたはプリンタ ドライバから行われた変更は、特定のジョブだけに影響を与えます。

印刷メディアの選択

この MFP では、多くのタイプの用紙および印刷メディアを使用することができます。このセクションでは、さまざまな印刷メディアの選択および使用方法のガイドラインと仕様を説明します。使用可能な印刷メディアの詳細については、「[印刷メディアの重量とサイズ](#)」を参照してください。

メディアまたは特別のフォームを購入する前に、用紙のサプライヤが『*HP LaserJet Family Print Media Guide*』に指定された印刷メディアの必要条件を入手して理解していることを確認します。

注文情報については、「[サプライ品とアクセサリ](#)」を参照してください。

メディアがこの章のガイドラインのすべてを満たしても、満足のいく印刷にならない可能性があります。これは、例外的な印刷環境特性または Hewlett-Packard によって制御できないその他の変動 (温度および湿度の極端な状態など) による場合があります。

Hewlett-Packard では、大量に購入するメディアについては、購入前にテストすることをお勧めします。



注意 この一覧または用紙の仕様ガイドに示した仕様に準拠しないメディアを使用すると、サービスを必要とする問題を生じる可能性があります。このサービスは、Hewlett-Packard の保証またはサービス契約の対象になりません。

仕様対象外のメディア

この MFP は、さまざまな用紙に印刷することができますが、MFP の仕様以外のメディアを使用すると、印刷の品質を損なう原因になり、紙詰まりが頻繁に発生します。

- 過度に起伏のある用紙は使用しないでください。
- 切り抜きがある用紙または三穴標準パンチ用紙以外の穴が開いた用紙は使用しないでください。
- 複写用紙は使用しないでください。
- 印刷済みの用紙またはコピー機で使用した用紙は使用しないでください。
- 塗りつぶしパターンを印刷する場合は、透かし印刷のある用紙は使用しないでください。

MFP に損傷を与える可能性がある用紙

まれに、用紙が MFP に損傷を与える場合があります。MFP の損傷を防ぐため、次のような用紙の使用を避けてください。

- ステイプルが付いた用紙は使用しないでください。
- インクジェット プリンタ、他の低温プリンタ、またはモノクロ印刷用に設計された OHP フィルムは使用しないでください。HP Color LaserJet プリンタで使用するよう指定された OHP フィルムのみを使用してください。
- インクジェット プリンタ用の光沢紙または写真紙は使用しないでください。
- 浮き出し模様のある用紙、コーティングされた用紙、イメージ フューザに使用できない用紙は使用しないでください。190° C の温度に 0.1 秒間耐えることができるメディアを選択してください。

- 低温用の染料またはサーモグラフィを使用したレターヘッド用紙は使用しないでください。印刷済みのフォームまたはレターヘッド用紙は、190° C の温度に 0.1 秒間耐えることができるインクを使用している必要があります。
- 190° C の温度に 0.1 秒間さらすと危険なガスを発生したり、溶けたり、トナーが流れたり、変色したりするメディアを使用しないでください。

HP Color LaserJet 印刷用のサプライ品を注文するには、米国からは <http://www.hp.com/go/ljsupplies> に、米国以外からは <http://www.hp.com/ghp/buyonline.html> にアクセスしてください。

メディア タイプの自動感知 (自動感知モード)

HP Color LaserJet 4730 シリーズ プリンタでは、メディアを次のカテゴリのいずれかに自動的に分類できます。

- 普通紙
- OHP フィルム
- 光沢紙
- 特殊厚手光沢紙
- 光沢 OHP フィルム
- 厚手用紙
- 薄手用紙

メディア タイプ自動感知センサは、トレイが普通紙用に設定されているときにのみ機能します。トレイをボンド紙や光沢紙などのその他のタイプ用に設定すると、そのトレイのメディア センサは無効になります。



注記 HP Color LaserJet プリンタ用の HP 製メディアを使用するときは、メディア自動感知機能を使用して最適な性能を実現してください。

トレイ 1 感知

フル感知 (デフォルト)

- プリンタは、メディア タイプを感知するために各ページで停止します。
- これは、1 つの印刷ジョブで混合したメディアを使用する場合に最適なモードです。

拡張感知

- プリンタが印刷ジョブを開始するたびに、最初のページで停止してタイプを感知します。
- 2 ページ以降には最初のページと同じメディア タイプが使用されているものと見なされます。
- これは 2 番目に高速なモードで、1 種類のメディア タイプの束を使用する場合に便利です。

OHP フィルム

- 感知のためにプリンタがいずれかのページで停止することはありませんが、メディアが OHP フィルム (OHP フィルム モード) の用紙 (通常モード) のどちらであるかが識別されます。
- これは最も高速なモードで、通常モードで大量に印刷する場合に便利です。

トレイ 2-N 感知

拡張感知

- プリンタは、各給紙トレイの最初の 5 ページ分について停止してタイプを感知し、5 つの結果の平均を算出します。
- プリンタの電源が切断されるか、スリープモードになるか、トレイが開かれるまで、6 ページ以降にはすべて同じメディアタイプが使用されているものと見なされます。

OHP フィルムのみ (デフォルト)

- 感知のためにプリンタがいずれかのページで停止することはありませんが、メディアが OHP フィルム (OHP フィルム モード) の用紙 (通常モード) のどちらであるかが識別されます。
- これは最も高速なモードで、通常モードで大量に印刷する場合に便利です。

給紙トレイの設定

この MFP では、タイプやサイズ別に給紙トレイを設定することができます。MFP の給紙トレイに異なる複数のメディアをセットし、コントロールパネルを使用してタイプまたはサイズ別にメディアを指定することも可能です。



注記 他の HP LaserJet プリンタを使用したことがあれば、トレイ 1 をファーストモードまたはカセットモードに設定する操作も容易にできます。HP Color LaserJet 4730mfp シリーズでは、トレイ 1 のサイズおよびタイプを **[ANY SIZE]** に設定する操作は、ファーストモードに設定することを意味します。トレイ 1 のサイズまたはタイプを **[ANY SIZE]** 以外に設定する操作は、カセットモードに設定することを意味します。

注記 両面印刷を行う場合は、セットされたメディアが両面印刷の仕様を満たしていることを確認します。「[使用可能なメディアの重量とサイズ](#)」を参照してください。

注記 MFP のコントロールパネルのトレイを設定するには、次の手順を実行します。内蔵 Web サーバーにアクセスすることによって、コンピュータからトレイを設定することもできます。「[内蔵 Web サーバーの使用](#)」を参照してください。

MFP からプロンプトが表示された場合のトレイの設定

次のような場合は、トレイのタイプおよびサイズを設定するように指示するプロンプトが、自動的に表示されます。

- 用紙をトレイにセットする場合
- プリンタドライバまたはソフトウェアアプリケーションを使用して特定のトレイまたはメディアタイプを印刷ジョブに指定したが、印刷ジョブの設定に合うようにトレイが設定されていない場合

コントロールパネルに、**[LOAD TRAY XX: [TYPE] [SIZE]]**、**[To change type]** というメッセージが表示されます。次の手順は、プロンプトが表示された後にトレイを設定する方法を示しています。



注記 トレイ 1 から印刷する場合に、トレイ 1 に **[ANY SIZE]** および **[ANY TYPE]** が設定されていると、プロンプトが表示されません。

用紙をセットする際にトレイを設定するには

1. トレイに用紙をセットします。トレイ 2、3、または 4 を使用している場合は、トレイを閉めます。
2. MFP に、トレイ設定メッセージが表示されます。
3. **OK** を押します。
4. サイズを選択します。



注記 MFP は、トレイ 2、3、および 4 にあるメディアのサイズを自動的に検出します。

5. 用紙タイプを選択します。
6. **EXIT** を押します。

印刷ジョブ設定と一致するようにトレイを設定するには

1. ソフトウェア アプリケーションで、ソース トレイ、用紙サイズ、および用紙タイプを指定します。
2. 印刷ジョブを MFP に送信します。
トレイを設定する必要がある場合は、**[LOAD TRAY X:]** というメッセージが表示されます。
3. ハイライトされているサイズが正しくない場合は、**X.XxX.X INCHES** または **X MILLIMETERS** を押します。その後、数字キーを使用して X および Y の寸法を設定します。
4. ハイライトされている用紙タイプが正しくない場合は、**PAPER HANDLING** を押して用紙タイプを選択します。
5. **OK** を押します。
6. **EXIT** を押します。

[用紙処理] メニューを使用したトレイの設定

プロンプトを表示せずに、トレイのタイプおよびサイズを設定することもできます。**[PAPER HANDLING]** メニューを使用し、次の手順に従ってトレイを設定してください。

用紙サイズの設定

1. コントロール パネルで、**Menu** ボタンを押します。
2. **PAPER HANDLING** を押します。
3. **TRAY <N> SIZE** を押します。N は、設定するトレイの数を表します。
4. **SIZE** を押します。**CUSTOM** を選択した場合は、手順 5 に進みます。
5. **?** または **X MILLIMETERS** を押します。その後、数字キーまたはスクロール バーを使用して X の寸法を設定します。**OK** を押し、Y の寸法を設定します。
6. **OK** を押します。
7. **EXIT** を押します。

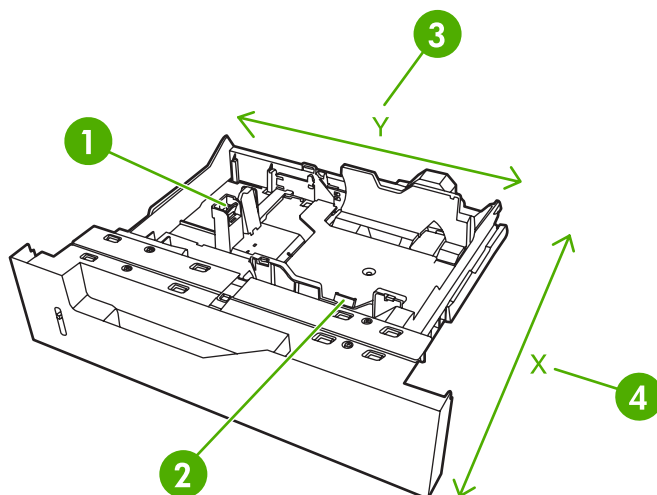
用紙タイプの設定

1. **Menu** ボタンを押します。
2. **PAPER HANDLING** を押します。
3. **TRAY <N> TYPE** を押します。N は、設定するトレイの数を表します。
4. 用紙タイプを押します。
5. **EXIT** を押します。

カスタム用紙サイズ用のトレイ 2、3、または 4 の設定

MFP は多様なサイズ of 用紙を自動的に検出しますが、トレイにカスタム用紙サイズを設定することもできます。次のパラメータを指定する必要があります。

- 計測単位 (ミリメートルまたはインチ)
- X の寸法 (ページを MFP に送るときのページの幅)
- Y の寸法 (ページを MFP に送るときのページの長さ)



1	メディアの長さの調整
2	メディアの幅の調整
3	ページの長さ (Y の寸法)
4	ページの幅 (X の寸法)

トレイにカスタム サイズを設定するには、次の手順を実行します。トレイに設定したカスタム サイズは、メディア長さガイドがリセットされるまで保持されます。

トレイ 2、3、または 4 にカスタム サイズを設定するには

1. トレイを開けて、メディアをトレイにセットします。
2. メディア長さおよびメディア幅ガイドを適切な非標準位置に設定し、トレイを閉じます。
3. **Menu** ボタンを押します。
4. **PAPER HANDLING** を押します。
5. **TRAY <N> SIZE** を押します。N はトレイの番号です。
6. スクロールして、**CUSTOM** を押します。
7. **X.XxX.X INCHES** または **X MILLIMETERS** を押します。これにより、カスタムの用紙サイズを指定するための測定単位を選択します。
8. 数字キーまたはスクロール バーを使用して、X の寸法 (用紙の短辺) を設定します。X の寸法は、148 ~ 216 mm の範囲です。

9. 数字キーを使用して、Y の寸法 (用紙の長辺) を設定します。Y の寸法は、210 ～ 356 mm の範囲です。
10. OK を押します。
11. EXIT を押します。

トレイ 1 (汎用トレイ) を使用した印刷

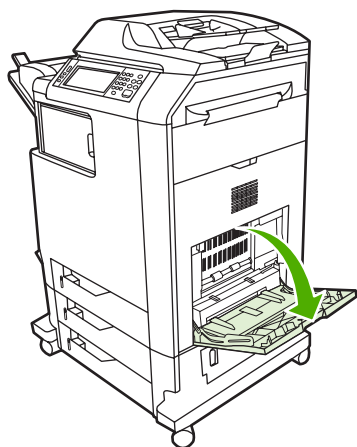
トレイ 1 は最高 100 枚の用紙または 20 枚の封筒を保持する汎用トレイです。トレイ 1 を使用すると、他のトレイからメディアを取り出すことなく、封筒、OHP フィルム、カスタム サイズの用紙、14.5kg を超える厚手のメディア、または他のタイプのメディアに印刷することができます。

トレイ 1 への用紙のセット



注意 紙詰まりを避けるために、印刷中はトレイ 1 に用紙を追加したり、トレイ 1 から用紙を取り除いたりしないでください。

1. トレイ 1 を開きます。



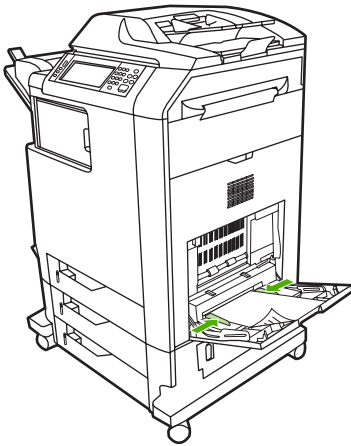
2. 両側のガイドを目的の用紙サイズに合わせます。
3. 印刷する側を下向きにして、ページの上端が手前になるように用紙をトレイにセットします。



注記 トレイ 1 には標準の 75g/m² の事務用紙を約 100 枚セットできます。

注記 両面印刷の場合の用紙のセット方法については、「[自動両面印刷](#)」を参照してください。

4. 両側のガイドを調整し、用紙に軽く触れるようにします。用紙が折れ曲がらないよう注意してください。



注記 用紙の高さを左右のガイドのタブの下に合わせるようにしてください。また、給紙レベル表示を越えないよう注意してください。

トレイ 1 を使用した封筒の印刷

トレイ 1 を使用するとさまざまなタイプの封筒を印刷できます。トレイには最高 20 枚まで封筒を挿入することができます。印刷速度は封筒の形状によって異なります。

ソフトウェアでは、封筒の端からのマージンを少なくとも 15mm 以上に設定してください。



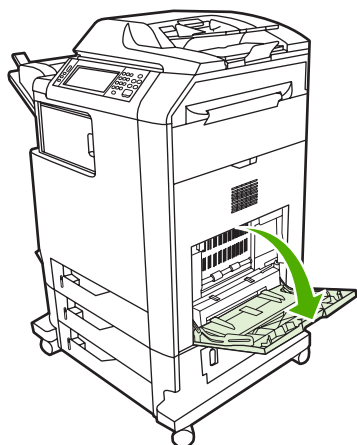
注意 留め具類や窓の付いた封筒、内側がコーティングされた封筒、粘着部分が露出している封筒、あるいはその他の合成素材を使用した封筒を使用すると、MFP に重大な故障が起きる可能性があります。紙詰まりや MFP の故障を避けるために、封筒の両面印刷はしないでください。封筒を給紙する前に、封筒が平らで、破損部分がなく、互いにくっついていないことを確認してください。圧力で粘着する封筒は使用しないでください。

トレイ 1 に封筒をセットするには

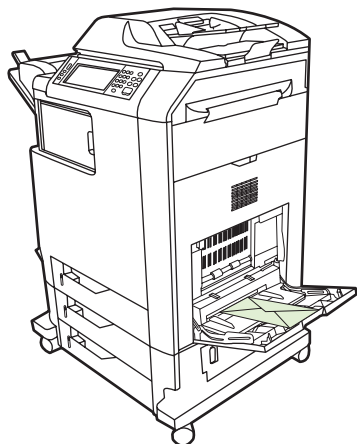


注意 紙詰まりを避けるために、印刷中は封筒を取り出したり挿入したりしないでください。

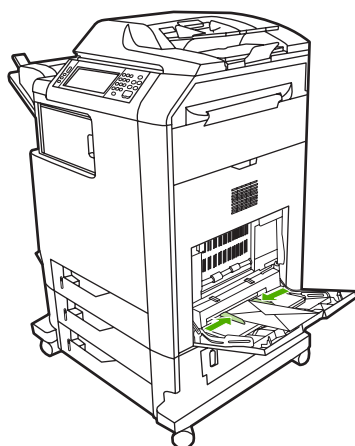
1. トレイ 1 を開きます。



2. 最高 20 枚の封筒をトレイ 1 の中央に、印刷面を下にし、切手部分を MFP 側に向けて入れます。封筒が止まるまで MFP の中に挿入します。強く押しすぎないでください。



3. 封筒を曲げない程度にガイドを封筒の束に合わせます。ガイドのタブの下に封筒が収まっていることを確認します。



封筒の印刷

1. トレイ 1 を指定するか、プリンタ ドライバでサイズによってメディア ソースを選択します。
2. ソフトウェアで自動的に封筒がフォーマットされないときは、ソフトウェア アプリケーションまたはプリンタ ドライバでページの向きを横向きに指定します。次のガイドラインを使用して、No.10 封筒または DL 封筒に差出人と宛先の住所のマージンを設定します。

住所のタイプ	左マージン	上部マージン
差出人	15 mm	15 mm
宛先	102 mm	51 mm



注記 他のサイズの封筒の場合は、マージンの設定を適切に調整します。

3. ソフトウェア アプリケーションまたはプリンタ ドライバから **[印刷]** を選択します。

トレイ 2、3、または 4 を使用した印刷

トレイ 2、3、および 4 には、最大 500 枚の標準的な用紙または 50.8 mm のラベルの束をセットできます。トレイ 2 は、別の 500 枚用のトレイの上に重ねます。MFP はその他のトレイを検出して、コントロール パネルの **[CONFIGURE DEVICE]** メニューにオプションとして示します。トレイは、検出できるメディアのサイズであるレター、リーガル、A4、A5、JIS B5、およびエグゼクティブと、検出できないメディアのサイズである 8.5 × 13 およびエグゼクティブ (JIS)、往復はがき、およびカスタムに合わせて調整することができます。MFP は、トレイの用紙ガイドの設定に基づいて、これらのトレイにあるメディアのサイズを自動的に検出します。「[使用可能なメディアの重量とサイズ](#)」を参照してください。

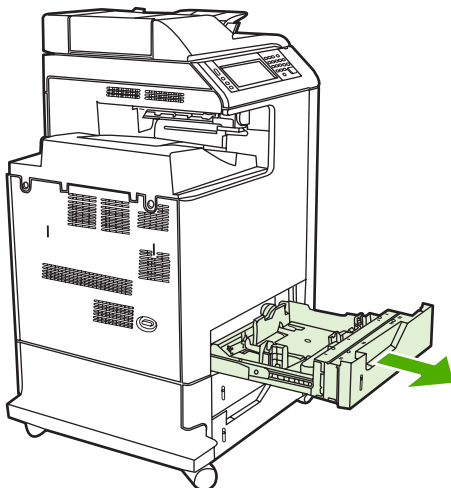
トレイ 2、3、または 4 に検出できる標準サイズのメディアをセットするには

トレイ 2 およびその他のトレイでサポートされている、検出できる標準サイズのメディアは、レター、リーガル、エグゼクティブ、A4、A5、および JIS B5 です。

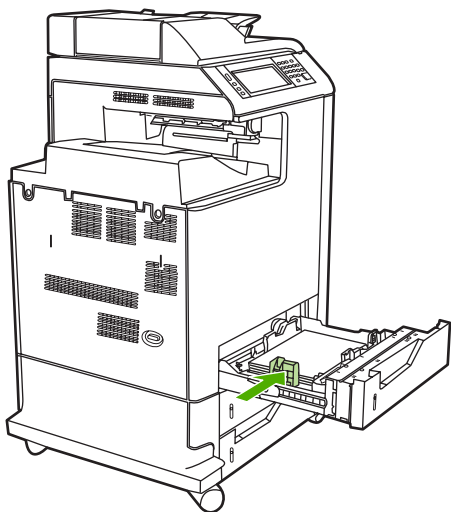


注意 500 枚給紙トレイからは、カードストック、封筒、厚手用紙または特殊厚手用紙、またはサポートされていないサイズのメディアを印刷しないでください。これらのタイプのメディアはトレイ 1 からのみ印刷できます。給紙トレイに補充しすぎたり、使用中に給紙トレイを開けたりしないでください。MFP が紙詰まりを起こす可能性があります。

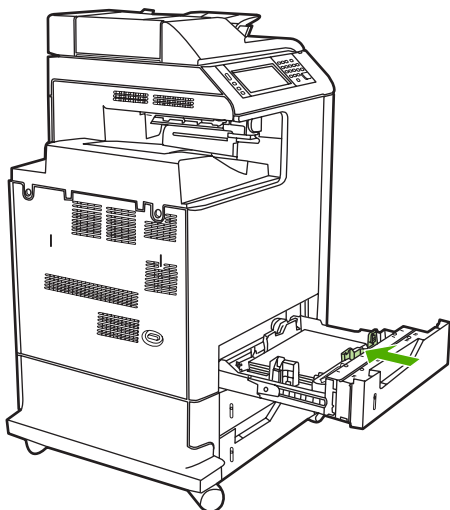
1. MFP からトレイを引き出してトレイを開けます。



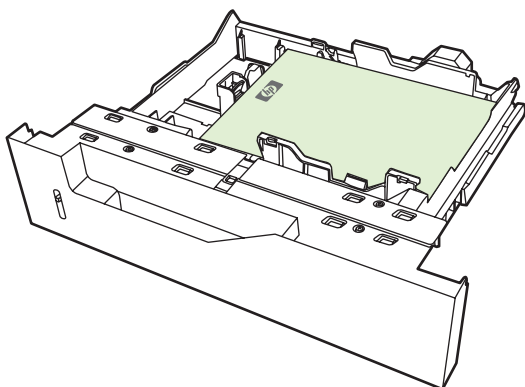
2. ガイド調整ラッチを強く押し、使用するメディアの長さまでトレイの後ろ側をスライドさせて、後ろ側のメディア長さガイドを調整します。



3. メディア幅ガイドをスライドさせ使用するメディア サイズまで広げます。



4. メディアを上向きにしてトレイにセットします。

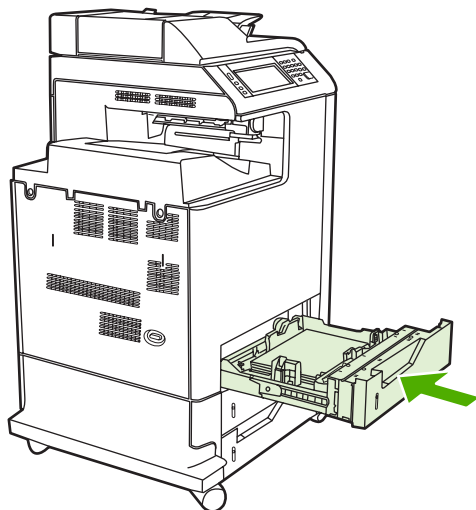


注記 最高の性能を得るには、用紙を分けずにトレイを満杯にセットします。用紙を分けると、連続給紙機能に問題が生じ、紙詰まりが発生する可能性があります。用紙トレイの容量はさまざまです。たとえば、75 g/m² の用紙を使用する場合、トレイには 500 枚の用紙すべてをセットできます。用紙が 75 g/m² より重い場合、トレイにすべての用紙をセットすることはできないので、状況に応じて枚数を減らす必要があります。トレイに用紙を入れすぎないでください。MFP が用紙を給紙できない場合があります。

注記 トレイを正しく調整しないと、エラーメッセージが表示されたり、紙詰まりが生じたりする可能性があります。

注記 両面印刷の場合の用紙のセット方法については、「[自動両面印刷](#)」を参照してください。

5. スライドさせてトレイを MFP に戻します。MFP にトレイのメディア タイプとサイズが表示されます。設定が間違っている場合は、コントロール パネルの **OK** を押します。設定が正しい場合は、**EXIT** を押します。



トレイ 2、3、および 4 に検出できない標準サイズのメディアをセットするには

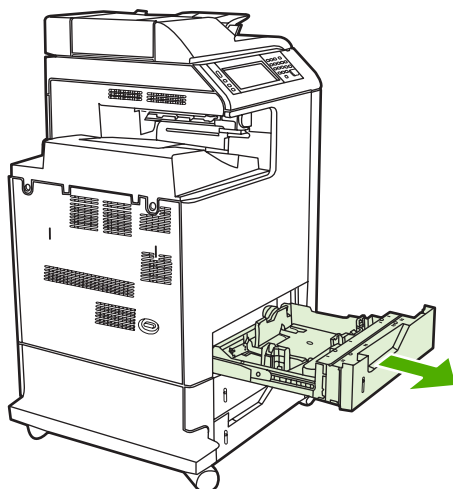
検出できない標準サイズのメディア サイズは、トレイに示されませんが、トレイの **[Size]** メニューに一覧表示されます。

500 枚給紙トレイでサポートされている、検出できない標準サイズのメディアは、エグゼクティブ (JIS)、8.5 × 13、往復はがき、および 16K です。

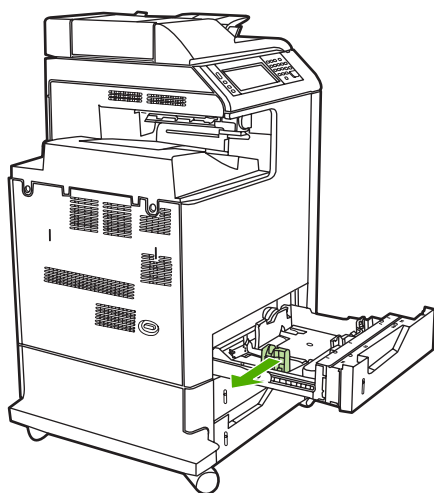


注意 500 枚給紙トレイからは、カードストック、封筒、厚手用紙または特殊厚手用紙、またはサポートされていないサイズのメディアを印刷しないでください。これらのタイプのメディアはトレイ 1 からのみ印刷できます。給紙トレイに補充しすぎたり、使用中に給紙トレイを開けたりしないでください。プリンタが紙詰まりを起こす可能性があります。

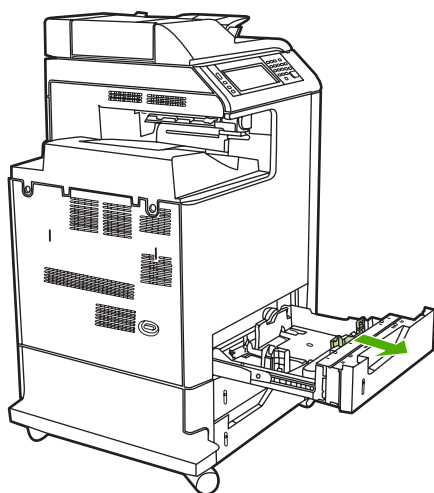
1. MFP からトレイを引き出してトレイを開けます。



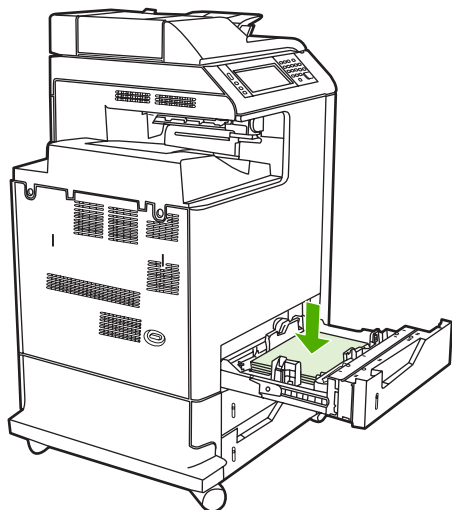
2. ガイド調整ラッチを強く押し、使用するメディアの長さまでトレイの後ろ側をスライドさせて、後ろ側のメディア長さガイドを調整します。



3. メディア幅ガイドをスライドさせ使用するメディア サイズまで広げます。



4. メディアを上向きにしてトレイにセットします。

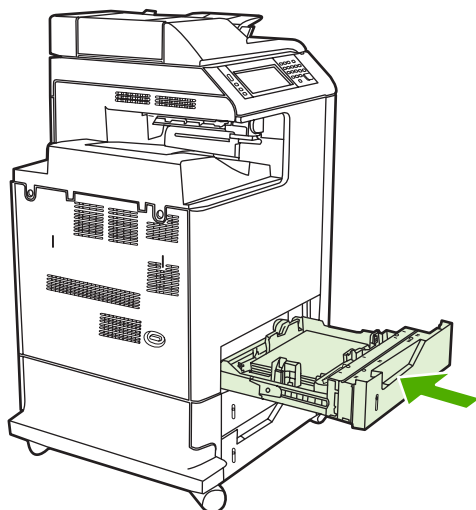


注記 最高の性能を得るには、用紙を分けずにトレイを満杯にセットします。用紙を分けると、連続給紙機能に問題が生じ、紙詰まりが発生する可能性があります。用紙トレイの容量はさまざまです。たとえば、75 g/m² の用紙を使用する場合、トレイには 500 枚の用紙すべてをセットできます。用紙が 75 g/m² より重い場合、トレイにすべての用紙をセットすることはできないので、状況に応じて枚数を減らす必要があります。トレイに用紙を入れすぎないでください。MFP が用紙を給紙できない場合があります。

注記 トレイを正しく調整しないと、エラー メッセージが表示されたり、紙詰まりが生じたりする可能性があります。

注記 両面印刷の場合の用紙のセット方法については、「[自動両面印刷](#)」を参照してください。

5. スライドさせてトレイを MFP に戻します。MFP にトレイのメディア タイプとサイズが表示されます。設定が間違っている場合は、コントロールパネルの **OK** を押します。

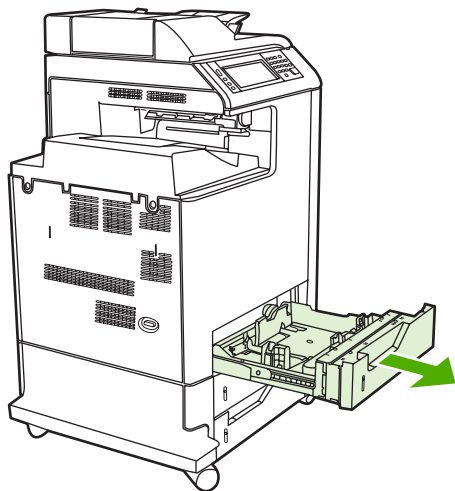


6. 設定が正しい場合は、**EXIT** を押します。

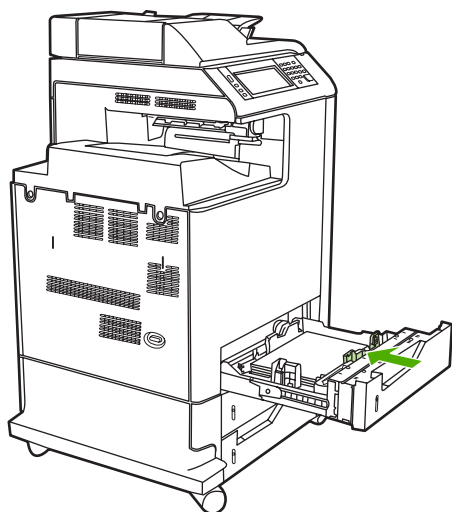
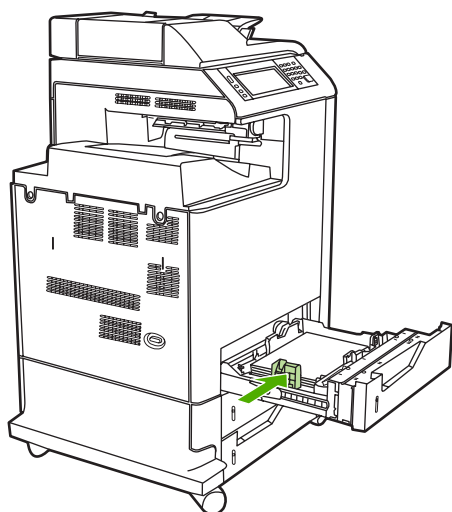
トレイ 2 にカスタムサイズのメディアをセットするには

カスタム メディアを使用するには、コントロール パネルのサイズ設定を **[CUSTOM]** に変更し、測定単位、X の寸法、および Y の寸法を設定する必要があります。詳細については、「[印刷ジョブ設定と一致するようにトレイを設定するには](#)」を参照してください。

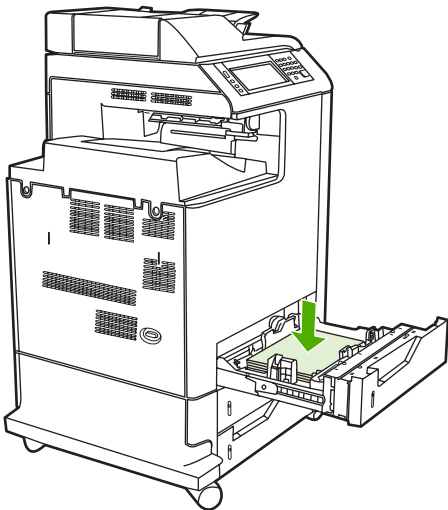
1. MFP からトレイを引き出してトレイを開けます。



2. メディア幅ガイドを全開にスライドし、後ろ側のメディア長さガイドを使用する用紙の長さに調整します。



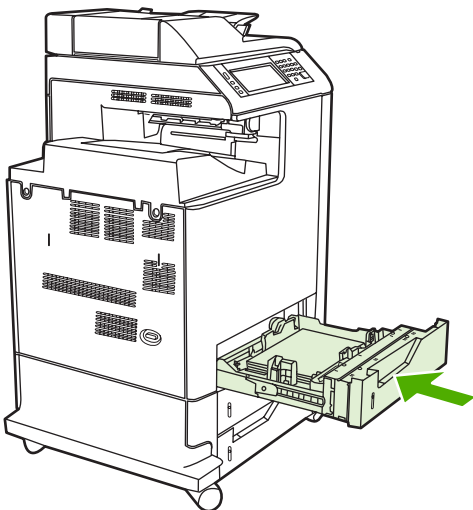
3. メディアを上向きにしてトレイにセットします。



注記 最高の性能を得るには、用紙を分けなくてトレイを満杯にセットします。用紙を分けると、連続給紙機能に問題が生じ、紙詰まりが発生する可能性があります。用紙トレイの容量はさまざまです。たとえば、75 g/m² の用紙を使用する場合、トレイには 500 枚の用紙すべてをセットできます。用紙が 75 g/m² より重い場合、トレイにすべての用紙をセットすることはできないので、状況に応じて枚数を減らす必要があります。トレイに用紙を入れすぎないでください。MFP が用紙を給紙できない場合があります。

注記 両面印刷の場合の用紙のセット方法については、「[自動両面印刷](#)」を参照してください。

4. メディア幅ガイドをスライドさせ、メディアに触れるくらいにします。MFP にトレイを挿入します。
5. スライドさせてトレイを MFP に戻します。MFP に、トレイのタイプおよびサイズの設定が表示されます。特定のカスタム サイズ用紙の寸法を指定する場合、またはタイプが正しくない場合は、**[To change size or type]** というプロンプトが表示されたら、**OK** を押します。



6. 設定が正しい場合は、**EXIT** を押します。

特殊なメディアへの印刷

特殊なメディアに印刷する場合は次のガイドラインに従ってください。詳細については、「[印刷メディアの仕様](#)」を参照してください。



注記 封筒、OHP フィルム、カスタム サイズの用紙、または 120g/m² を超える厚手のメディアなど特殊なメディアに印刷する場合は、トレイ 1 を使用する必要があります。

これらの特殊なメディアに印刷するには、次の手順を実行します。

1. 給紙トレイにメディアをセットします。
2. 用紙タイプを指定するように指示するプロンプトが表示されたら、給紙トレイにセットされた用紙のメディア タイプを選択します。たとえば、HP Extra Heavy Gloss レーザー用紙をセットする場合は、**[EXTRA HEAVY GLOSS]** を選択します。
3. ソフトウェア アプリケーションまたはプリンタ ドライバで、給紙トレイにセットされているメディア タイプと一致するメディア タイプを設定します。



注記 最良の印刷品質を得るためには、MFP のコントロール パネルで選択されるメディア タイプと、アプリケーションまたはプリンタ ドライバで選択されるメディア タイプが、給紙トレイにセットされているメディアのタイプと一致していることを必ず確認してください。

OHP フィルム

OHP フィルムに印刷するときは、次のガイドラインを参考にしてください。

- OHP フィルムは縁を持って取り扱います。手の脂分が OHP フィルムに付着すると、印刷品質に問題を生じることがあります。
- この MFP 用の推奨 OHP フィルム以外は使用しないでください。Hewlett-Packard では、この MFP には HP Color LaserJet OHP フィルムを使用することをお勧めしています。HP 製品は、適切な用紙を使用すると最良の印刷結果を得られるように設計されています。
- ソフトウェア アプリケーションまたはプリンタ ドライバで、メディア タイプとして **[TRANSPARENCY]** を選択し、OHP フィルム用に設定されたトレイから印刷します。

詳細については、「[プリンタドライバ](#)」または「[Macintosh コンピュータ用プリンタ ドライバ](#)」を参照してください。



注意 LaserJet での印刷用に設計されていない OHP フィルムは MFP 内で柔らかくなる場合があります、MFP の損傷の原因になります。

光沢紙

- ソフトウェア アプリケーションまたはドライバで、メディア タイプとして **[GLOSSY]**、または **[HEAVY]** を選択するか、厚手用紙用に設定されたトレイから印刷します。
- コントロール パネルで、使用している給紙トレイのメディア タイプを **[GLOSSY]** に設定します。
- この設定はすべての印刷ジョブに影響を与えるので、印刷が終了したら必ず元の設定に戻してください。詳細については、「[給紙トレイの設定](#)」を参照してください。



注記 Hewlett-Packard では、この MFP には Soft Gloss 用紙などの HP Color LaserJet 光沢紙を使用することをお勧めしています。HP 製品は、適切な用紙を使用すると最良の印刷結果を得られるように設計されています。HP Color LaserJet 光沢紙を使用しないと、印刷品質が低下する場合があります。

カラー用紙

- カラー用紙はコピー用紙と同様に高品質なものを使用してください。
- カラーメディアに使用されている顔料は、190° C の MFP 溶解温度で退色せずに 0.1 秒間耐えられる必要があります。
- 製造後にカラーコーティングされた用紙は使用できません。
- MFP はドットパターンを印刷し、その重なりと間隔を調整して、さまざまな色に変えます。用紙の濃淡や色の変化は、印刷された色の濃淡に影響を与えます。

封筒



注記 封筒は、トレイ 1 以外では印刷できません。トレイのメディアサイズを特定の封筒のサイズに設定してください。「[トレイ 1 を使用した封筒の印刷](#)」を参照してください。

次のガイドラインに従うと、封筒を確実に印刷し、MFP の紙詰まりを防ぐことができます。

- 20 枚を超える封筒をトレイ 1 に入れないでください。
- 封筒の重さの規格が 105 g/m² を超えないようにしてください。
- 封筒は平らである必要があります。
- 窓付き封筒や、留め金のある封筒は使用できません。
- 封筒にはしわ、傷、その他の損傷があってはなりません。
- 接着剤付きの開封口がある封筒では、MFP の溶解処理の熱と圧力に耐える接着剤を使用している必要があります。
- 封筒は、表を下にし、切手を貼る部分から MFP に入れます。

ラベル紙



注記 ラベル紙に印刷する場合は、MFP のコントロールパネルで、トレイのメディアタイプを [LABELS] に設定します。「[給紙トレイの設定](#)」を参照してください。ラベル紙に印刷するときは、次のガイドラインに従ってください。

- 一部がはがれているラベル紙は使用しないでください。
- ラベル紙の接着剤の材料が 190° C の温度に 0.1 秒間耐えるものであることを確認します。
- ラベル紙の間に露出している接着剤がないことを確認します。露出箇所があると、印刷時にラベル紙が剥がれ、MFP の紙詰まりの原因になります。また、接着剤が露出していると MFP に損傷を与える場合があります。
- ラベル紙は再給紙しないでください。

- ラベル紙が平らであることを確認します。
- しわ、浮き、その他の損傷のあるラベル紙は使用しないでください。

厚手用紙

HP Color LaserJet 4370mfp シリーズで利用できる厚手用紙のタイプは次のとおりです。

用紙タイプ	用紙の重さ
厚手および特殊厚手用紙	105 ~ 220g/m ² 12.7 ~ 27.2 kg
カードストック	164 ~ 200g/m ² 19.5 ~ 24 kg
厚さが中程度の用紙	90 ~ 104g/m ² 10.8 ~ 12.7 kg
HP 耐久紙	5mil 19.96 kg

厚手用紙に印刷するときは、次のガイドラインに従ってください。

- 120 g/m² より重い用紙には、トレイ 1 を使用します。
- 厚手用紙の印刷時に最適な結果を得るには、MFP のコントロール パネルを使用して、そのトレイの用紙タイプを **[HEAVY]** に設定します。
- ソフトウェア アプリケーションまたはドライバで、用紙のタイプとして **[Heavy]** を選択するか、厚手用紙用に設定されたトレイから印刷します。
- この設定はすべての印刷ジョブに影響を与えるので、印刷が終了したら必ず元の設定に戻してください。「[給紙トレイの設定](#)」を参照してください。



注意 一般に、この MFP では、用紙の仕様を超える厚手の用紙を使用しないでください。そのような用紙を使用すると、用紙の給紙ミス、紙詰まり、印刷品質の低下、および機械の過度な磨耗の原因になることがあります。

HP LaserJet 耐久紙

HP LaserJet 耐久紙に印刷する場合は、次のガイドラインに従ってください。

- HP LaserJet 耐久紙は端を持って取り扱います。手の脂分が HP LaserJet 耐久紙に付着すると、印刷品質に問題が生じることがあります。
- この MFP での厚手用紙の印刷には、HP LaserJet 耐久紙以外は使用しないでください。HP 製品は、適切な用紙を使用すると最良の印刷結果を得られるように設計されています。
- ソフトウェア アプリケーションまたはプリンタ ドライバで、メディア タイプとして **[TOUGH PAPER]** を選択し、HP LaserJet 耐久紙用に設定されたトレイから印刷します。

印刷済みフォームおよびレターヘッド用紙

印刷済みフォームおよびレターヘッド用紙で最善の結果を得るには、次のガイドラインに従ってください。

- フォームおよびレターヘッド用紙は、約 190° C の MFP の溶解温度に 0.1 秒間さらされても、溶けたり、蒸発したり、危険なガスを排出したりしない、熱に強いインクで印刷されている必要があります。
- インクは不燃性であり、MFP のローラーに悪影響を与えてはなりません。
- フォームおよびレターヘッド用紙は湿気を防ぐ包装内に密封され、保管時の変化を防ぐ必要があります。
- フォームやレターヘッド用紙などの印刷済みの用紙を入れる前に、用紙のインクが乾燥していることを確認します。溶解処理時に、印刷済み用紙のインクが濡れていると消える可能性があります。
- 両面印刷する場合は、印刷済みフォームおよびレターヘッドを正しい方向に向ける必要があります。詳細については、[自動両面印刷](#) をご覧ください。

再生紙

この MFP は再生紙をサポートしています。再生紙は、標準の用紙と同じ仕様を満たす必要があります。『*HP LaserJet Printer Family Print Media Guide*』を参照してください。Hewlett-Packard では、5% 以下の木質材料が含まれている再生紙をお勧めします。

自動両面印刷



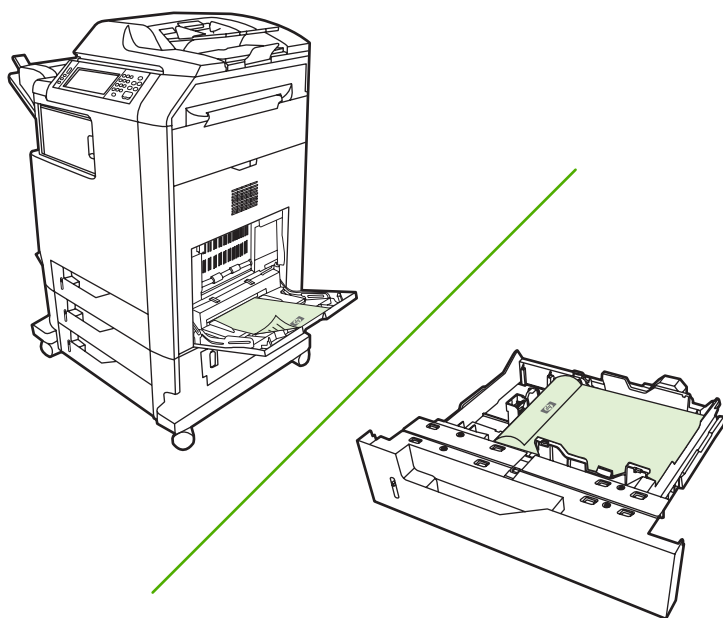
注記 ページの両面に印刷するには、ソフトウェア アプリケーションまたはプリンタ ドライバで両面印刷オプションを指定する必要があります。このオプションがソフトウェア アプリケーションまたはプリンタ ドライバで表示されない場合は、次の情報を使用して、両面印刷オプションを利用できるようにしてください。

両面印刷を使用するには

- プリンタ ドライバが設定され、両面印刷オプションとして自動または手動、あるいはその両方が表示されていることを確認します。詳細については、「[プリンタ ドライバ](#)」または「[Macintosh コンピュータ用プリンタ ドライバ](#)」を参照してください。
- 両面印刷オプションが表示されたら、プリンタ ドライバ ソフトウェアで正しい両面印刷オプションを選択します。両面印刷オプションには、ページおよび綴じ込みの向きがあります。両面印刷ジョブの綴じ込みオプションの詳細については、「[両面印刷ジョブの綴じ込みオプション](#)」を参照してください。
- 自動両面印刷は、OHP フィルム、封筒、ラベル、厚手用紙、特殊厚手用紙、カードストック、耐久紙などの特定のメディア タイプでは使用できません。自動両面印刷で可能な用紙は、最も重いもので 120g/m² のボンド紙です。
- 自動両面印刷でサポートされる用紙サイズは、レター、リーガル、B5、エグゼクティブ、8.5 x 13、および A4 のみです。
- 手動両面印刷では、すべての用紙サイズがサポートされ、より多くの種類のメディアがサポートされています。ただし、OHP フィルム、封筒、およびラベルはサポートされていません。
- 自動両面印刷と手動両面印刷の両方が使用可能な場合は、サイズおよびタイプが両面印刷ユニットでサポートされている場合に限って、MFP は自動的に両面印刷を実行します。そうでない場合は、手動印刷が実行されます。
- 両面印刷で最高の印刷結果を得るために、表面が粗いメディアや厚手のメディアは使用しないでください。
- レターヘッドやフォームのような特殊なメディアを使用する場合は、表を下にし、ロゴが左側にくるようにトレイ 2、3、または 4 に入れます。ロゴが MFP の背面を向くように、用紙を下向きにしてトレイ 1 にセットします。



注記 両面印刷用の用紙のセット方法は、片面印刷用の用紙のセット方法とは異なります。



自動両面印刷のコントロール パネル設定

両面印刷の設定は、多くのソフトウェアで変更できます。ソフトウェア アプリケーションまたはプリンタ ドライバで両面印刷設定を調整できない場合は、コントロール パネルからこれらの設定を調整できます。出荷時のデフォルト設定は、**[OFF]** です。



注意 ラベル紙に印刷するときは両面印刷を使用しないでください。両面印刷にすると、プリンタが破損します。

MFP のコントロール パネルから両面印刷を有効または無効にするには



注記 MFP のコントロール パネルから両面印刷設定を変更すると、すべての印刷ジョブに反映されます。可能であれば、ソフトウェア アプリケーションまたはプリンタ ドライバを使用して両面印刷設定を変更するようにしてください。

注記 プリンタ ドライバを使用して加えた変更は、MFP のコントロール パネルで行った設定よりも優先されます。

1. **Menu** ボタンを押して **[MENUS]** を表示します。
2. スクロールして、**CONFIGURE DEVICE** を押します。
3. スクロールして、**PRINTING** を押します。
4. **DUPLEX** を押します。
5. **ON** を押して両面印刷を有効にするか、**OFF** を押して自動両面印刷を無効にします。
6. **Menu** ボタンを押します。
7. 可能であれば、ソフトウェア アプリケーションまたはプリンタ ドライバから両面印刷を選択してください。



注記 プリンタ ドライバから両面印刷を選択するにはまず、ドライバが正しく設定されている必要があります。詳細については、「[プリンタドライバ](#)」または「[Macintosh コンピュータ用プリンタドライバ](#)」を参照してください。

両面印刷ジョブの綴じ込みオプション

両面ドキュメントを印刷する前に、プリンタ ドライバで、印刷されたドキュメントの綴じ込み側を選択します。長辺またはブック綴じ込みは、製本で採用されている通常のレイアウトです。短辺またはタブレット綴じ込みは、通常のカレンダーの綴じ込み方式です。



注記 デフォルトの綴じ込み設定では、ページが縦長の向きに設定されているときに長辺が綴じ込まれます。短辺綴じ込みに変更するには、**[Flip Pages Up]** チェックボックスをオンにします。

手差し両面印刷

サポートされているサイズまたは重量以外の用紙、たとえば、120g/m² より重い用紙または薄手の用紙に両面印刷する場合は、片面が印刷された後に手作業で用紙を裏返して差し込む必要があります。



注記 破れていたり一度使った用紙を使用すると紙詰まりが発生するので使用しないでください。

注記 手差し両面印刷は、Windows 98/Me および PS ドライバを使用しているシステムではサポートされていません。

手差しで両面印刷するには

1. 手差し両面印刷ができるようにプリンタ ドライバが設定されていることを確認します。プリンタ ドライバで **[Allow Manual Duplex]** を選択します。
2. アプリケーションから、プリンタ ドライバを起動します。
3. 適切な用紙サイズおよびタイプを選択します。
4. **[Finishing]** タブで、**[Print on Both Sides]** または **[Print on Both Sides (Manually)]** をクリックします。
5. デフォルトの綴じ込みオプションでは、縦長の向きに設定されているページの長辺が綴じ込まれます。設定を変更するには、**[Finishing]** タブをクリックし、**[Flip pages up]** チェックボックスをオンにします。
6. **[OK]** をクリックします。**[Print on Both Sides]** の手順が表示されます。指示に従って、ドキュメントを印刷します。



注記 トレイ 1 の容量を超える枚数を手差し両面印刷する場合は、最初の 100 枚の用紙を差し込み、**Menu** ボタンを押します。プロンプトが表示されたら、次の 100 枚の用紙を差し込み、**Menu** ボタンを押します。排紙スタックのすべての用紙がトレイ 1 にセットされるまで、この操作を繰り返します。

詳細については、「[プリンタドライバ](#)」または「[Macintosh コンピュータ用プリンタドライバ](#)」を参照してください。

ブックレットの印刷

プリンタ ドライバのバージョンによっては、両面印刷の際にブックレットの印刷をコントロールできる場合があります。用紙がレター、リーガル、または A4 の場合は、用紙の左側または右側のいずれかの綴じ込みを選択できます。Windows 2000 および Windows XP では、すべての用紙サイズについて、ブックレットの印刷がサポートされています。

詳細については、「[プリンタドライバ](#)」または「[Macintosh コンピュータ用プリンタ ドライバ](#)」を参照してください。

ドキュメントのステイプル留め

オプションのステイプラ/スタッカでは、75 g/m² の用紙で最高 30 枚までのジョブをステイプルで留めることができます。ステイプラは、レター、A4、リーガル、エグゼクティブ (JIS)、および 8.5 x 13 のサイズ of 用紙をステイプル留めできます。ステイプラ/スタッカは、最高 500 枚の用紙をまとめることができます。

- 用紙の重さは、60 ~ 120 g/m² の範囲です。
- ジョブに含まれている用紙が 1 枚だけの場合、または 30 枚を超える場合、MFP はジョブをビンに排紙しますが、ステイプルで留めることはしません。
- ステイプラは普通紙のみをサポートしています。OHP フィルム、ラベル紙などのその他のメディアはステイプルで留めないでください。ステイプラは、最高 20 枚の光沢紙、カードストック、および HP 耐久紙をステイプルで留めます。

印刷ジョブにステイプルを使用するには、ソフトウェアでステイプル留めを選択します。通常は、プログラムまたはプリンタのドライバでステイプラを選択できます。ただし、プリンタのドライバでのみ利用可能なオプションもあります。オプションを選択する手順と方法は、プログラムまたはプリンタドライバによって異なります。ステイプラ/スタッカを認識するようにプリンタドライバを設定する必要が生じることもあります。これは 1 回限り必要な設定です。詳細については、「[3 ビン メールボックス/ステイプラ/スタッカを認識させるためのプリンタドライバの設定](#)」を参照してください。

プログラムまたはプリンタドライバでステイプラを選択できない場合は、MFP のコントロールパネルでステイプラを選択します。

ステイプルがなくなった場合、ステイプラは印刷ジョブは受け入れますがページのステイプル留めは行いません。ステイプルカートリッジが空になった場合は、プリンタドライバでステイプルオプションを無効に設定できます。

アプリケーションでステイプラを選択するには (Windows)

1. [ファイル] メニューで、[印刷]、[プロパティ] の順にクリックします。
2. [Output] タブで、[Staple] の下にあるドロップダウンリストをクリックし、[One staple angled] をクリックします。

コントロールパネルでのステイプラを選択するには

1. Menu ボタンを押してメニューを表示します。
2. スクロールして、CONFIGURE DEVICE を押します。
3. スクロールして、STAPLER/STACKER を押します。
4. STAPLE を押します。
5. ONE を押します。



注記 MFP のコントロールパネルでステイプラを選択すると、デフォルトの設定が [STAPLE] に変更されます。すべての印刷ジョブにステイプラを使用できる場合もあります。ただし、コントロールパネルで変更した設定は、プリンタドライバで変更した設定によって上書きされます。

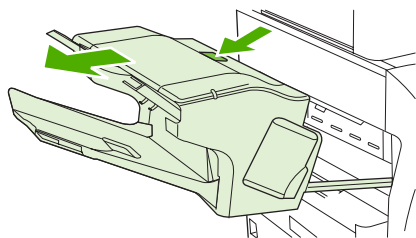
ステイプルのセット

MFP のコントロール パネルに **[STAPLER LOW ON STAPLES]** というメッセージ (ステイプルの残りは、20 本より少なくなっています) または **[REPLACE STAPLER CARTRIDGE]** というメッセージ (ステイプル カートリッジが空です。あるいは、残りのステイプルは使用できません) が表示されたら、ステイプルをセットしてください。

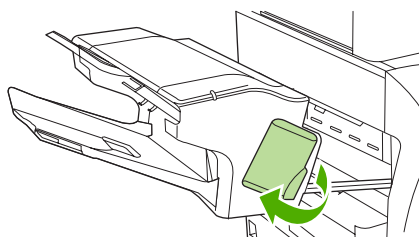
ステイプル カートリッジが空の場合に MFP が印刷を中止するか、あるいはジョブをステイプル留めしないで印刷を継続するかどうかを設定できます。詳細については、「[ステイプル カートリッジが空になった時点で処理を停止するか継続するかを MFP に設定するには](#)」を参照してください。

ステイプルをセットするには

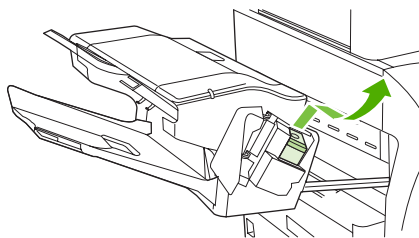
1. ステイプラ/スタッカの上部にあるリリース ボタンを押し続けます。MFP からステイプラ/スタッカを引き出します。



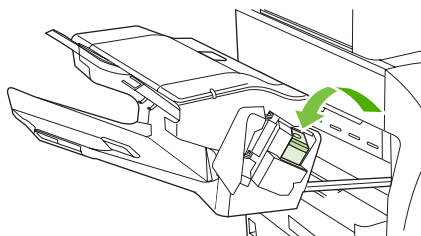
2. ステイプル カートリッジのカバーを開けます。



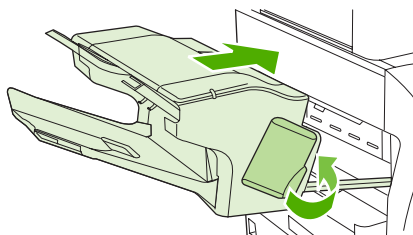
3. ステイプル カートリッジの緑色のハンドルをつかんで、ステイプラ ユニットから古いステイプル カートリッジを引き出します。



4. ステイプラ ユニットに新しいステイプル カートリッジを差し込んで、カチッという音がするまで緑色のハンドルを押し下げます。



5. ステイプル カートリッジのカバーを閉め、ステイプラ/スタッカをスライドさせて MFP に戻します。



特殊な印刷条件

特殊なメディアに印刷する場合は次のガイドラインに従ってください。

ドキュメントの最初のページに違うメディアを使用する

異なるタイプのメディアにドキュメントの最初のページを印刷する場合、たとえば、名入り便箋にドキュメントの最初のページを印刷し、残りを無地の用紙に印刷するには、次の手順に従ってください。

1. アプリケーションまたはプリンタ ドライバから、最初のページに使用するトレイと残りのページに使用するトレイを指定します。

詳細については、「[プリンタドライバ](#)」または「[Macintosh コンピュータ用プリンタ ドライバ](#)」を参照してください。

2. 使用するメディアを、手順 1 で指定したトレイに入れます。
3. そのドキュメントの残りのページに使用するメディアをもう 1 つのトレイに入れます。

また、MFP のコントロール パネルまたはプリンタ ドライバから、トレイに入れるメディアを設定し、最初のページと残りのページをメディア別を選択して印刷することもできます。

ブランクのバック カバーの印刷

ブランクのバック カバーを印刷するには、次の手順を実行します。代替の用紙トレイを選択したり、他のドキュメントとは異なるメディア タイプに印刷したりすることもできます。

1. プリンタ ドライバの **[Paper]** タブで、**[Use different paper]** を選択し、ドロップダウン リストから **[Back Cover]** を選択して、**[Add a blank back cover]** をオンにし、**[OK]** をクリックします。
2. 詳細については、「[プリンタドライバ](#)」または「[Macintosh コンピュータ用プリンタ ドライバ](#)」を参照してください。

代替の用紙トレイを選択したり、他のドキュメントとは異なるメディア タイプに印刷したりすることもできます。必要に応じて、ドロップダウン リストから他の用紙トレイやメディア タイプを選択してください。

カスタムサイズ メディアへの印刷

カスタムサイズ メディアの場合、片面印刷しかできません。トレイ 1 は、76 × 127 mm ～ 216 × 356 mm の範囲のメディア サイズをサポートしています。トレイ 2、3、または 4 は、148 x 210 mm (A5 サイズ) ～ 216 x 356 mm の範囲のメディア サイズをサポートしています。

カスタムサイズ メディアに印刷する場合、MFP のコントロール パネルでトレイ 1 が **[TRAY X TYPE= ANY TYPE]** および **[TRAY X SIZE= ANY SIZE]** と設定されている場合は、トレイ 1 にどのようなタイプの用紙を入れても、用紙のタイプに関係なく印刷されます。トレイ 2、トレイ 3、またはトレイ 4 からカスタムサイズ メディアに印刷する場合は、トレイのスイッチを **[CUSTOM]** に切り替え、コントロール パネルから、メディア サイズを **[CUSTOM]** または **[ANY CUSTOM]** に設定してください。

ソフトウェア アプリケーションおよびプリンタ ドライバによっては、カスタム サイズ用紙の大きさを指定できます。カスタム サイズ用紙の大きさは、プリンタ ドライバの **[Paper]** タブまたは **[Forms]** タブ (Windows 2000 および XP) から設定することもできます。必ず、ページ設定および印刷ダイアログ ボックスの両方で正しい用紙サイズを設定してください。

詳細については、「[プリンタドライバ](#)」または「[Macintosh コンピュータ用プリンタ ドライバ](#)」を参照してください。

ソフトウェア アプリケーションにおいて、カスタムサイズ用紙のマージンを指定しなければならない場合は、該当アプリケーションのオンライン ヘルプを参照してください。

印刷要求の停止

印刷要求の取り消しは、MFP のコントロール パネルまたはソフトウェア アプリケーションから行うことができます。ネットワーク接続されたコンピュータから印刷要求を取り消すには、使用しているネットワーク ソフトウェアのオンライン ヘルプを参照してください。



注記 印刷ジョブをキャンセルしてからすべての印刷が解除されるまでにはしばらく時間がかかります。

MFP のコントロール パネルから現在の印刷ジョブを取り消すには

1. MFP のコントロール パネルで **Stop** を押します。
2. 印刷ジョブを再開するには、**Start** を押します。

Stop を押しても、MFP のバッファに保存されている後続の印刷ジョブはキャンセルされません。

ソフトウェア アプリケーションから現在の印刷ジョブを取り消すには

しばらくの間、印刷ジョブをキャンセルするためのオプションがあるダイアログ ボックスがコントロール パネルに表示されます。

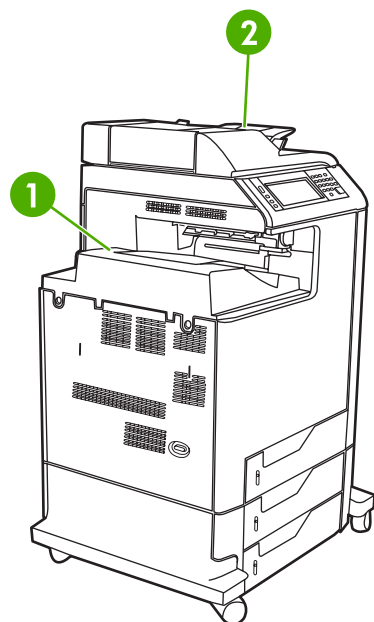
複数の印刷要求がアプリケーションを経由して MFP に送信されている場合、印刷ジョブは印刷キュー (Windows のプリント マネージャなど) 内で待機状態になります。コンピュータから印刷要求をキャンセルする手順については、アプリケーションのマニュアルを参照してください。

印刷ジョブが印刷キュー (コンピュータのメモリ) または印刷スプーラ (Windows 98、2000、XP、Me) 内で待機状態になっている場合は、その場所で印刷ジョブを消去します。

Windows 98、2000、XP、Me では、**[スタート]**、**[設定]**、**[プリンタ]** の順に選択します。**[HP Color LaserJet 4730mfp]** のアイコンをダブルクリックして、印刷スプーラを開きます。キャンセルする印刷ジョブを選択し、**Delete** キーを押します。印刷ジョブがキャンセルされない場合は、コンピュータをシャットダウンして再起動する必要があります。

排紙ビンの選択

MFP には、出力デバイスに 2 箇所の排紙ビンがあります。ADF 排紙ビンと標準の排紙ビンです。



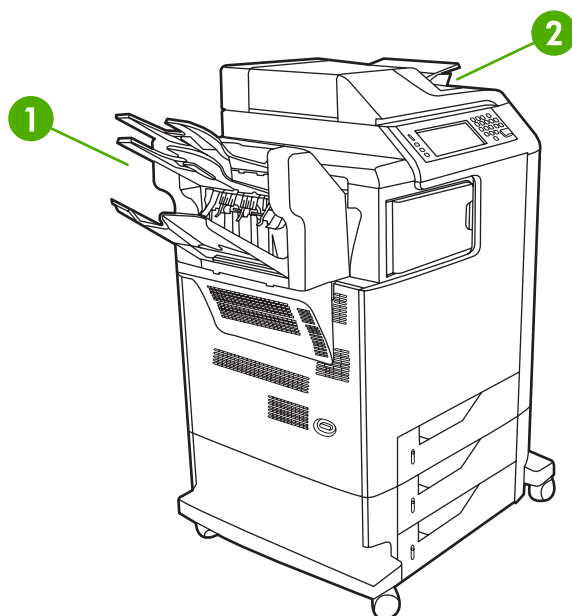
- | | |
|---|--------------------|
| 1 | 標準の排紙ビン |
| 2 | ADF 排紙ビン (原稿のコピー用) |

ADF を使用してドキュメントのスキャンまたはコピーを行うと、元のドキュメントは自動的に ADF 排紙ビンに排紙されます。コピーは、標準の排紙ビン、ステイプラ/スタッカの排紙ビン、または 3 ビン メールボックスのいずれかに排紙されます。

コンピュータから MFP に送信されたドキュメントは、標準の排紙ビン、ステイプラ/スタッカの排紙ビン、または 3 ビン メールボックスのいずれかに排紙されます。

3 ビン メールボックス排紙ビン

3 ビン メールボックスを使用する場合、3 つの排紙ビンを利用できます。3 つのビンが個別のメールボックスとして動作するように設定したり、ドキュメントをまとめるために、1 つのビンとして動作するように 3 つのビンを結合することができます。



- | | |
|---|--------------------|
| 1 | 3 ビン メールボックス排紙ビン |
| 2 | ADF 排紙ビン (原稿のコピー用) |

これらのオプションは、**[CONFIGURE DEVICE]** メニューの **[MBM-3 CONFIGURATION]** サブメニューで設定できます。このメニューは、3 ビン メールボックスが取り付けられている場合にしか利用できません。3 ビン メールボックスの使用方法については、「[3 ビン メールボックス](#)」を参照してください。

上の 2 つのビンは、それぞれ最高 100 枚の用紙を保持します。ビンがいっぱいになると、センサが感知して MFP を停止させます。ビン内のメディアを空にしたり、枚数を減らしても MFP は動作し続けます。

一番下にあるビンは、最高 500 枚の用紙を保持します。

排紙位置の選択

排紙位置 (ビン) は、ご使用のプログラムまたはドライバを介して選択することをお勧めします。オプションを選択する手順と方法は、プログラムまたはドライバによって異なります。プログラムやドライバから排紙位置を選択できない場合は、MFP のコントロール パネルからデフォルトの排紙位置を設定します。

コントロール パネルで排紙位置を選択するには

1. **Menu** ボタンを押します。
2. スクロールして、**CONFIGURE DEVICE** を押します。
3. スクロールして、**PRINTING** を押します。
4. スクロールして **PAPER DESTINATION** を押し、排紙ビンのオプションを表示します。
5. スクロールして、目的の排紙ビンを押します。しばらくの間、**[Setting saved]** というメッセージがコントロール パネルの画面に表示されます。

ジョブ保存機能

HP Color LaserJet 4730mfp シリーズでは、後で印刷できるようにジョブを MFP のメモリに保存しておくことができます。ジョブ保存機能は、ハード ディスクおよびランダム アクセス メモリ (RAM) の両方のメモリを使用します。次に、これらのジョブ保存機能について説明します。

複雑なジョブでのジョブ保存機能をサポートするために、また、複雑なグラフィックやポストスクリプト (PS) 文書を印刷したり、ダウンロードしたフォントを多数使用したりする場合は、プリンタにメモリを追加することをお勧めします。メモリを追加すると、クイック コピーなど、ジョブ保存機能のサポートをより柔軟に行うことができるようになります。



注記 「プライベート ジョブ」および「試し刷り後、保留」機能を使用するには、少なくとも 192MB のメモリが必要です。256MB の DDR の他に、フォーマッタ ボードには 32MB の追加メモリが必要です。



注意 印刷開始前に、プリンタ ドライバ内のジョブを一意に識別してください。デフォルト名を使用すると、同じデフォルト名を付けた以前のジョブが無効になるか、ジョブが消去されてしまいます。

ジョブの試し刷りと保留

「試し刷り後、保留」機能は、ジョブを 1 部印刷し校正してから、必要な部数を印刷するための簡単で手短な方法を提供します。このオプションを使用すると、印刷ジョブを MFP のハード ディスクに保存し、印刷ジョブの最初の 1 ページだけを印刷して、印刷状態をチェックすることができます。ドキュメントが正しく印刷されていれば、コントロール パネルから指示して、その印刷ジョブの残りの枚数を印刷することができます。MFP に保存できる「試し刷り後、保留」印刷ジョブの数は、MFP のコントロール パネルから設定します。

ジョブを永久的に保存し、そのジョブが MFP によって消去されないようにするには、ドライバから **[Stored Job]** オプションを選択します。

保存ジョブの印刷

1. **Menu** ボタンを押して、**[MENUS]** を表示します。
2. **RETRIEVE JOB** を押します。
3. **USER NAME** を押して、名前を表示します。
4. 該当する名前までスクロールしてその名前を押し、ジョブのリストを表示します。
5. ジョブまでスクロールして、ジョブを押します。
6. **PRINT** を押します。
7. デフォルトのコピー部数を印刷するには、**OK** を押します。コピー部数を変更するには、数字キーを使用して新しい数字を選択して **OK** を押します。

保存ジョブの消去

ユーザーが保存ジョブを送ると、MFP は同じユーザー名とジョブ名を持った以前のジョブをすべて上書きしてしまいます。同じユーザー名とジョブ名を持ったジョブが保存されておらず、MFP がスペースをもっと必要としている場合、MFP は、保存されているジョブを古い方から順に消去します。保存できるジョブのデフォルト数は 32 です。保存できるジョブの数はコントロール パネルから変更でき

ます。ジョブの保存制限の詳しい設定方法については、「[デバイスの設定メニュー](#)」を参照してください。

ジョブは、コントロールパネル、内蔵 Web サーバー、または HP Web Jetadmin から消去できます。コントロールパネルからジョブを消去するには、次の手順を実行します。

1. **Menu** ボタンを押して、**[MENUS]** を表示します。
2. スクロールして、**RETRIEVE JOB** を押します。
3. 名前までスクロールして、名前を押します。
4. ジョブまでスクロールして、ジョブを押します。
5. スクロールして、**DELETE** を押します。
6. **YES** を押します。

ジョブのクイック コピー

クイック コピーを実行すると、印刷ジョブのコピーがハード ディスクに保存され、コントロールパネルを使用して印刷ジョブの数を追加して印刷することができます。MFP に保存できるクイック コピー印刷ジョブの数は、MFP のコントロールパネルから設定します。

この機能は、ドライバからオフにしたりオンにしたりできます。

1. **Menu** ボタンを押して、**[MENUS]** を表示します。
2. **RETRIEVE JOB** を押します。
3. **USER NAME** を押して、名前のリストを表示します。
4. ジョブまでスクロールして、**OK** を押します。
5. デフォルトのコピー部数を印刷するには、**PRINT** を押します。コピーの部数を変更するには、数字キーを使用してコピーの部数を入力し、**OK** を押します。

プライベート ジョブ

このオプションを使用すると、印刷ジョブを MFP のメモリに直接送信することができます。[プライベート ジョブ] を選択すると、PIN フィールドがアクティブになります。印刷ジョブは、MFP のコントロールパネルに PIN を入力しないと印刷できません。印刷ジョブが印刷されると、MFP はそのジョブを MFP のメモリから削除します。この機能は、印刷後排紙ビンに残しておきたくないような機密性の高い文書や極秘の文書を印刷する場合に役立ちます。[プライベート ジョブ] を使用すると、印刷ジョブはハード ディスクに保存されます。印刷が実行されると、プライベート ジョブは直ちに MFP から消去されます。同じジョブをさらに印刷する必要がある場合は、プログラムからジョブを再印刷する必要があります。既存のプライベート ジョブと同じユーザー名およびジョブ名を持つプライベート ジョブを再び MFP に送信した時に、まだ最初のジョブが印刷されて解放されていないと、PIN に関係なく 2 番目のジョブが既存のジョブに上書きされます。MFP の電源を切ると、プライベート ジョブは消去されます。



注記 ジョブ名の隣に鍵のマークがあるジョブはプライベート ジョブです。

ドライバから、ジョブをプライベート ジョブとして指定します。**[Private Job]** オプションを選択し、4 桁の PIN を入力します。同じ名前のジョブを上書きしないように、ユーザー名とジョブ名も指定します。

プライベート ジョブの印刷

1. **Menu** ボタンを押して、**[MENUS]** を表示します。
2. **RETRIEVE JOB** を押します。
3. **USER NAME** を押します。
4. **JOB NAME** を押します。
5. **PRINT** を押します。
6. 数字キーを使用して PIN を入力します。
7. 数字キーを使用してコピーの部数を入力し、**OK** を押します。

プライベート ジョブの消去

プライベート ジョブは、MFP のコントロール パネルから削除できます。ジョブは、印刷せずに消去することもできますが、印刷が完了すると自動的に消去されます。

1. **Menu** ボタンを押して、**[MENUS]** を表示します。
2. **RETRIEVE JOB** を押します。
3. **USER NAME** を押します。
4. **JOB NAME** を押します。
5. **DELETE** を押します。
6. 数字キーを使用して PIN を入力し、**OK** を押します。

印刷ジョブの保存

ユーザーは、印刷ジョブを印刷せずに MFP にダウンロードできます。その後、いつでも MFP のコントロール パネルからそのジョブを印刷できます。たとえば、あるユーザーが、個人情報用紙、カレンダー、時間割、経理の用紙などをダウンロードしておいて、他のユーザーがアクセスして印刷できるようにする場合などが考えられます。

印刷ジョブを永久的に保存するには、ジョブの印刷中に、ドライバから **[Stored Job]** オプションを選択します。

1. **Menu** ボタンを押して、**[MENUS]** を表示します。
2. **RETRIEVE JOB** を押します。
3. **USER NAME** を押します。
4. **JOB NAME** を押します。
5. **PRINT** を押します。
6. 数字キーを使用して PIN を入力し、**OK** を押します。
7. 数字キーを使用してコピーの部数を入力し、**OK** を押します。

MOPIER モード

MOPIER モードが有効な場合は、1つの印刷ジョブから複数の丁合いコピーを作成することができます。複数部原稿印刷（MOPY 機能）を使用した場合、ジョブは MFP に一度送信されると MFP の RAM に保存されるため、MFP のパフォーマンスが向上し、ネットワーク トラフィックが減少します。残りの部数は、MFP の最高速で印刷されます。すべてのドキュメントはデスクトップから作成、制御、管理、仕上げが可能であるため、コピー機を使用する余分な手間が省けます。

メモリの管理

この MFP には、メモリを 544MB まで増設できます。512MB の DDR の他に、フォーマッタ ボードには 32MB の追加メモリが必要です。DDR (デュアル データ レート) メモリを取り付けることによってメモリを増設できます。MFP には、それぞれ 128MB または 256MB の RAM を取り付けることができる 2 基の DDR スロットが実装され、メモリが増設できるようになっています。メモリ取り付け方法の詳細については、「[メモリ カードとプリント サーバー カードの扱い方](#)」を参照してください。



注記 メモリの仕様： HP Color LaserJet 4730mfp シリーズでは、128MB または 256MB の RAM を装着できる 200 ピンのスモール アウトライン デュアル インライン メモリ モジュール (SO-DIMM) を使用しています。

MFP は、MET (Memory Enhancement Technology : メモリ強化テクノロジー) を特長としています。このテクノロジーは、MFP の RAM を効率よく使用できるようにページ データを自動的に圧縮します。

MFP では DDR SO-DIMM を使用します。拡張データ出力 (EDO) DIMM はサポートされていません。



注記 複雑なグラフィックを印刷する際にメモリに問題が発生した場合は、ダウンロードしたフォント、スタイル シート、マクロを MFP のメモリから削除することによってメモリを増やすことができます。アプリケーション内から複雑な印刷ジョブを減らすと、メモリ問題を解消するのに役立ちます。

プリンタ ドライバでの各機能の使用

ソフトウェア プログラムから印刷するとき、製品機能の多くをプリンタ ドライバから利用できます。プリンタ ドライバで利用できるすべての機能については、プリンタ ドライバのヘルプを参照してください。このセクションでは、次の機能について説明します。

- [クイック設定の作成と使用](#)
- [透かしの作成と使用](#)
- [文書のサイズ変更](#)
- [プリンタ ドライバからのユーザー定義用紙サイズの設定](#)
- [別の用紙/表紙の使用](#)
- [最初のページの白紙印刷](#)
- [1 枚の用紙に複数ページを印刷する](#)
- [用紙の両面印刷](#)
- [ステイプル留めオプションの設定](#)
- [カラー オプションの設定](#)
- [\[HP Digital Imaging オプション\] ダイアログ ボックスの使用](#)
- [\[サービス\] タブの使用](#)



注記 通常、プリンタ ドライバおよびソフトウェア プログラムでの設定は、コントロール パネルの設定より優先されます。ソフトウェア プログラムの設定は、一般に、プリンタ ドライバの設定より優先されます。

クイック設定の作成と使用

クイック設定を使用して現在のドライバの設定を保存すると、同じ設定を再利用できます。たとえば、ページの向き、両面印刷、用紙トレイの各設定をクイック設定に保存できます。クイック設定は、ほとんどのプリンタ ドライバのタブで利用可能です。最高 25 個のプリント タスクのクイック設定を保存できます。



注記 定義したプリント タスクのクイック設定の数が 25 個未満でも、25 個に達したことを知らせるメッセージがプリンタ ドライバから表示される場合があります。これは、あらかじめ定義されたプリント タスクのクイック設定の一部が、お使いの製品では利用できないにもかかわらず、個数に含まれることがあるためです。

クイック設定を作成するには

1. プリンタ ドライバを開きます ([プリンタ ドライバへのアクセス](#)を参照してください)。
2. 使用する印刷設定を選択します。
3. **[プリントタスクのクイック設定]** ボックスに、選択した設定に付ける名前を入力します (「四半期報告書」や「プロジェクトの進捗状況」など)。
4. **[保存]** をクリックします。

クイック設定を使用するには

1. プリンタ ドライバを開きます ([プリンタ ドライバへのアクセス](#)を参照してください)。
2. 使用するクイック設定を **[プリントタスクのクイック設定]** ドロップダウン リストから選択します。
3. **[OK]** をクリックします。これで、クイック設定に保存されている内容に従って印刷するように設定されました。



注記 プリンタ ドライバのデフォルト設定に戻すには、**[プリントタスクのクイック設定]** ドロップダウン リストから **[印刷のデフォルト設定]** を選択します。

透かしの作成と使用

透かしとは、文書の各ページの背景に「社外秘」などのように印刷される情報です。

既存の透かしを使用するには

1. プリンタ ドライバを開きます ([プリンタ ドライバへのアクセス](#)を参照してください)。
2. **[効果]** タブで、**[透かし印刷]** ドロップダウン リストをクリックします。
3. 使用する透かしをクリックします。
4. 透かしを文書の最初のページにのみ表示する場合は、**[最初のページのみ]** をクリックします。
5. **[OK]** をクリックします。これで、選択した透かしを印刷するように設定されました。

透かしの削除するには、**[透かし印刷]** ドロップダウン リストで **[(なし)]** をクリックします。

文書のサイズ変更

文書のサイズを変更するオプションでは、元のサイズに対するパーセンテージを指定して、文書を縮小または拡大します。印刷サイズの変更にかかわらず、異なるサイズの用紙に文書を印刷するように選択することもできます。

文書のサイズを縮小または拡大するには

1. プリンタ ドライバを開きます ([プリンタ ドライバへのアクセス](#)を参照してください)。
2. **[効果]** タブで、文書を縮小または拡大するパーセンテージを入力します。
スクロール バーを操作してパーセンテージを調整することもできます。
3. **[OK]** をクリックします。これで、選択したパーセンテージで文書を縮小または拡大して印刷するように設定されました。

異なるサイズの用紙に文書を印刷するには

1. プリンタ ドライバを開きます ([プリンタ ドライバへのアクセス](#)を参照してください)。
2. **[効果]** タブで **[文書を印刷する用紙]** をクリックします。
3. 印刷に使用する適切な用紙サイズを選択します。

4. 文書のサイズを変更せずに、選択した用紙サイズに収まるように印刷するには、**[用紙に合わせて調節]** オプションの選択を解除します。
5. **[OK]** をクリックします。これで、指定どおりに文書を印刷するように設定されました。

プリンタ ドライバからのユーザー定義用紙サイズの設定

ユーザー定義用紙サイズを設定するには

1. プリンタ ドライバを開きます ([プリンタ ドライバへのアクセス](#)を参照してください)。
2. **[用紙]** タブまたは **[用紙/品質]** タブで、**[ユーザー設定]** をクリックします。
3. **[ユーザー定義用紙サイズ]** ウィンドウで、ユーザー定義用紙サイズの名前を入力します。
4. 用紙サイズの長さを入力します。入力したサイズが小さすぎたり大きすぎたりする場合は、使用可能な最小または最大サイズに自動的に調整されます。
5. 必要に応じて、単位を変更するボタンをクリックし、ミリメートルまたはインチを選択します。
6. **[保存]** をクリックします。
7. **[閉じる]** をクリックします。これで、選択したユーザー定義サイズの用紙に文書を印刷するように設定されました。定義した用紙サイズは、保存した名前 で用紙サイズのリストに表示されます。

別の用紙/表紙の使用

印刷ジョブで最初のページのみを他のページとは異なる用紙に印刷するには、次の手順に従います。

1. プリンタ ドライバを開きます ([プリンタ ドライバへのアクセス](#)を参照してください)。
2. **[用紙]** または **[用紙/品質]** タブで、最初のページの印刷ジョブに適した用紙を選択します。
3. **[別の用紙/表紙を使用]** をクリックします。
4. リスト ボックスで、別の用紙に印刷するページまたは表紙をクリックします。
5. 表紙または裏表紙を印刷する場合は、**[白紙または印刷済み表紙を追加]** も選択します。
6. 他のページの印刷ジョブに適した用紙タイプまたは用紙トレイを選択します。これで、選択した用紙に文書を印刷するように設定されました。



注記 1つの印刷ジョブのすべてのページに対して同じ用紙サイズを選択する必要があります。

最初のページの白紙印刷

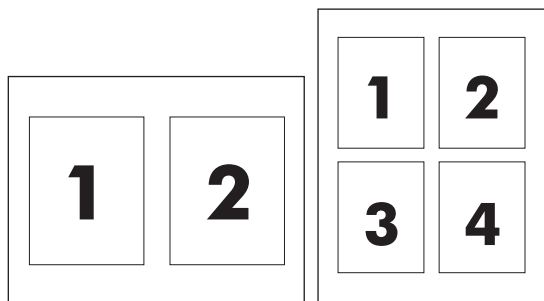
最初のページを白紙印刷するには

1. プリンタ ドライバを開きます ([プリンタ ドライバへのアクセス](#)を参照してください)。
2. **[用紙]** または **[用紙/品質]** タブで、**[別の用紙/表紙を使用]** をクリックします。
3. リスト ボックスで、**表紙** をクリックします。
4. **[白紙または印刷済み表紙を追加]** をクリックします。

1 枚の用紙に複数ページを印刷する

1 枚の用紙に複数のページを印刷できます。一部のドライバで利用できるこの機能は、ドラフト ページを印刷する際のコスト削減に役立ちます。

1 枚の用紙に複数のページを印刷するには、ドライバの [レイアウト] オプション、または [1 枚の用紙に印刷するページ数] オプションを使用します (この機能は 2-UP、4-UP、および N-UP 印刷と呼ばれることもあります)。



1 枚の用紙に複数のページを印刷するには

1. プリンタ ドライバを開きます ([プリンタ ドライバへのアクセス](#)を参照してください)。
2. [レイアウト] タブをクリックします。
3. [文書オプション] のセクションで、1 枚の用紙に印刷するページ数 (1、2、4、6、9、または 16) を選択します。
4. ページ数が 1 より大きい場合は、必要に応じて [ページ境界線] および [ページの順序] オプションを選択します。
 - 各ページの周囲に境界線を印刷する場合は、[ページ境界線] をクリックします。
 - ページの順序と配置を選択するには、[ページの順序] をクリックします。
5. [OK] をクリックします。これで、選択したページ数を 1 枚の用紙に印刷するように設定されました。

用紙の両面印刷

両面印刷アクセサリが取り付けられている場合は、用紙の両面に自動的に印刷することができます。両面印刷アクセサリが取り付けられていない場合は、片面を印刷した後に手差しで用紙をセットして両面を印刷することができます。



注記 プリンタ ドライバで [両面印刷 (手差し)] を利用できるのは、両面印刷アクセサリが取り付けられていない場合、または使用する印刷メディアのタイプが両面印刷アクセサリでサポートされていない場合のみです。

両面印刷アクセサリを使用して両面印刷するには

1. 印刷ジョブに対応するいずれかのトレイに、十分な枚数の用紙をセットします。レターヘッド用紙などの特殊な用紙をセットする場合は、次のいずれかの方法に従います。
 - トレイ 1 の場合は、レターヘッド用紙の表を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。
 - それ以外のトレイの場合は、レターヘッド用紙の表を下向きにし、用紙の上端から先に給紙されるようにセットします。



注意 105g/m² (12.70kg ボンド紙) より厚手の用紙はセットしないでください。プリンタの紙詰まりの原因になります。

2. プリンタ ドライバを開きます ([プリンタ ドライバへのアクセス](#)を参照してください)。
3. Windows の場合は、[レイアウト] タブで **[両面印刷]** をクリックします。
4. **[OK]** をクリックします。これで、用紙の両面に印刷するように設定されました。

手差しで両面印刷するには

1. 印刷ジョブに対応するいずれかのトレイに、十分な枚数の用紙をセットします。レターヘッド用紙などの特殊な用紙をセットする場合は、次のいずれかの方法に従います。
 - トレイ 1 の場合は、レターヘッド用紙の表を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。
 - それ以外のトレイの場合は、レターヘッド用紙の表を下向きにし、用紙の上端から先に給紙されるようにセットします。

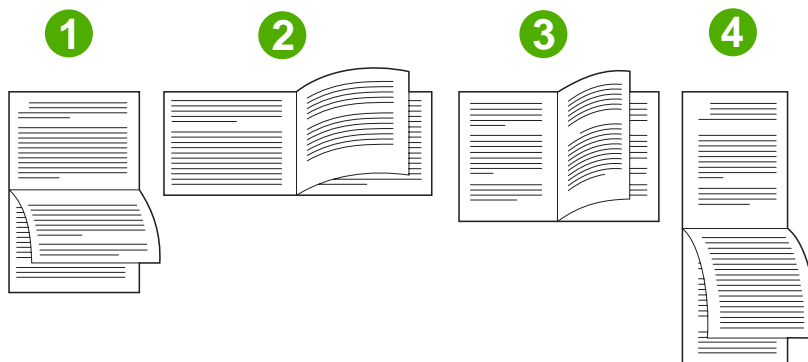


注意 105g/m² (12.70kg ボンド紙) より厚手の用紙はセットしないでください。紙詰まりの原因になります。

2. プリンタ ドライバを開きます ([プリンタ ドライバへのアクセス](#)を参照してください)。
3. [レイアウト] タブで **[両面印刷 (手差し)]** を選択します。
4. **[OK]** をクリックします。
5. 印刷ジョブをプリンタに送信します。
6. プリンタの所へ行きます。トレイ 1 から、印刷されていない用紙をすべて取り除きます。印刷されたほうの面を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。裏面はトレイ 1 から印刷する必要があります。印刷された用紙をトレイ 1 にセットし直して裏面を印刷する前に、表示されたポップアップ ウィンドウの指示に従います。
7. ボタンを押して印刷を続けるように指示するメッセージがコントロール パネルに表示されることもあります。

両面印刷のレイアウト オプション

両面印刷の向きには、次の 4 つのオプションがあります。オプション 1 または 4 は、プリンタ ドライバで **[上綴じ]** がオンの場合のみ選択できます。



1. 長辺綴じ、横向き	経理、データ処理、表計算プログラムでよく使用されるレイアウトです。1 ページごとに上下が逆に印刷されます。見開きのページは、上から下に向かって読みます。
2. 短辺綴じ、横向き	各ページは同じ向きで印刷されます。見開きのページは、左ページの上から下、次に右ページの上から下の順に読みます。
3. 長辺綴じ、縦向き	デフォルト設定で、最も一般的に使用されるレイアウトです。各ページは同じ向きで印刷されます。見開きのページは、最初のページの上から下、次に次のページの上から下の順に読みます。
4. 短辺綴じ、縦向き	クリップボードでよく使用されるレイアウトです。1 ページごとに上下が逆に印刷されます。見開きのページは、上から下に向かって読みます。

ステイプル留めオプションの設定

プリンタ ドライバでは、印刷ジョブでステイプルを使用するかどうかを選択できます。

ステイプル留めオプションを設定するには

1. プリンタ ドライバのプロパティを開き、**[設定]** タブをクリックします (**[設定]** タブはソフトウェア プログラムからは利用できません)。



注記 プリンタ ドライバのプロパティを開く手順は、使用しているオペレーティング システムによって異なります。各オペレーティング システムでプリンタ ドライバのプロパティを開く方法については、[プリンタ ドライバへのアクセス](#)を参照してください。「構成設定を変更する」という項目をお読みください。

2. 追加の出力デバイスを設定する領域で、ステイプラ/スタッカを選択し、**[OK]** をクリックします。
3. プリンタ ドライバを開きます ([プリンタ ドライバへのアクセス](#)を参照してください)。
4. **[排紙]** タブをクリックします。
5. **[ステイプル]** ボックスで、印刷ジョブで使用するステイプル留めオプションを選択します。
6. **[OK]** をクリックします。これで、選択したステイプル留めオプションを使用して印刷するように設定されました。

カラー オプションの設定

[カラー] タブの各オプションは、ソフトウェア プログラムから色をどのように解釈して印刷するかを制御します。カラー オプションには、**[自動]** と **[手動]** があります。詳細については、[Windows コンピュータでのプリンタのカラー オプションの管理](#)を参照してください。

- **[自動]** は、文書内の各要素 (テキスト、グラフィックス、写真など) に使用するカラーとハーフトーンを最適化できます。**自動** には、カラー マネジメント システムをサポートするアプリケーションとオペレーティング システムに適用される追加のカラー オプションがあります。この設定は、カラー印刷の文書にお勧めします。
- **[手動]** は、テキスト、グラフィックス、写真のカラーとハーフトーンのモードを手動で調整できます。PCL ドライバを使用している場合は、RGB データを調整できます。PS ドライバを使用している場合は、RGB または CMYK データを調整できます。

カラー オプションを設定するには

1. プリンタ ドライバを開きます ([プリンタ ドライバへのアクセス](#)を参照してください)。
2. **[カラー]** タブを選択します。
3. **[カラーオプション]** 領域で、使用するオプションを選択します。
4. **[手動]** を選択した場合は、**[設定]** をクリックして **[カラー設定]** ダイアログ ボックスを開きます。テキスト、グラフィックス、写真の設定を個別に調整します。また、一般的な印刷設定も調整できます。**[OK]** をクリックします。
5. **[色域]** 領域で、使用する **[RGB カラー]** オプションを選択します。
6. **[OK]** をクリックします。これで、選択したカラー オプションを使用するように設定されました。

[HP Digital Imaging オプション] ダイアログ ボックスの使用

[HP Digital Imaging オプション] では、写真や画像の品質を簡単に向上させることができます。



注記 [HP Digital Imaging オプション] は、Windows 2000、Windows XP、および Windows Server 2003 で利用できます。

次のオプションを [HP Digital Imaging オプション] ダイアログ ボックスで使用できます。

- **[コントラスト調整]**：色あせた写真の色とコントラストを自動的に向上させます。**[自動]** を指定すると、写真の調整が必要な部分だけをプリンタ ソフトウェアが効果的に明るくします。
- **[デジタルフラッシュ]**：細部まで鮮明に表現するように、写真の暗い部分の露出を調整します。**[自動]** を指定すると、明るさと暗さのバランスをプリンタ ソフトウェアが自動的に調整します。
- **[SmartFocus]**：インターネットからダウンロードした画像など、低解像度の画像の品質と鮮明度を高めます。**[オン]** を指定すると、画像の細部が鮮明になるようにプリンタ ソフトウェアが自動的に調整します。
- **[鮮明度]**：画像の鮮明度を好みに合わせて調整します。**[自動]** を指定すると、画像の鮮明度をプリンタ ソフトウェアが自動的に設定します。
- **[スムージング]**：画像を滑らかにします。**[自動]** を指定すると、画像をスムーズにする度合いをプリンタ ソフトウェアが自動的に設定します。

[HP Digital Imaging オプション] ダイアログ ボックスの表示

1. プリンタのプロパティ ダイアログ ボックスを開きます。
2. [用紙/品質] タブをクリックし、[HP Digital Imaging] ボタンをクリックします。



注記 HP Image Zone ソフトウェアをインストールしている場合は、デジタル写真の編集とより高度な調整を行えます。

[サービス] タブの使用



注記 [サービス] タブは Windows XP で利用できます。

本製品がネットワークに接続されている場合は、[サービス] タブから製品とサプライ品のステータスに関する情報を確認できます。[デバイスおよびサプライ品のステータス] アイコンをクリックすると、HP 内蔵 Web サーバの [デバイスのステータス] ページが開きます。このページには、製品の現在のステータス、各サプライ品の寿命 (%)、およびサプライ品の注文情報が表示されます。

Macintosh プリンタ ドライバでのプリンタ機能の使用

ソフトウェア プログラムから印刷する場合、プリンタ機能の多くはプリンタ ドライバから使用できます。プリンタ ドライバで使用可能な機能の詳細については、プリンタ ドライバのヘルプをご覧ください。このセクションでは、以下の機能について説明します。

- [Mac OS X でのプリセットの作成と使用](#)
- [表紙の印刷](#)
- [1 枚の用紙に複数のページを印刷する](#)
- [用紙の両面に印刷する](#)
- [カラー品質の設定](#)



注記 プリンタ ドライバおよびソフトウェア プログラムでの設定は通常、コントロール パネルの設定よりも優先されます。ソフトウェア プログラムでの設定は通常、プリンタ ドライバの設定よりも優先されます。

Mac OS X でのプリセットの作成と使用

プリセットは、現在のドライバ設定を再利用できるように保存しておくのに使用します。たとえば、ページの印刷方向、両面印刷機能、用紙タイプの設定などをプリセットに保存できます。

プリセットを作成するには

1. プリンタ ドライバを開きます ([プリンタ ドライバへのアクセス](#)を参照)。
2. 使用するプリント設定を選択します。
3. [プリセット] ボックスで [別名で保存...] をクリックし、プリセットの名前 (「四半期報告書」や「プロジェクトの進捗状況」など) を入力します。
4. [OK] をクリックします。

プリセットを使用するには

1. プリンタ ドライバを開きます ([プリンタ ドライバへのアクセス](#)を参照)。
2. [プリセット] メニューで、使用するプリセットを選択します。



注記 プリンタドライバのデフォルト設定を復元するには、[プリセット] ポップアップメニューから [標準] を選択します。

表紙の印刷

必要に応じて、「社外秘」などのメッセージを表紙に印刷できます。

表紙を印刷するには

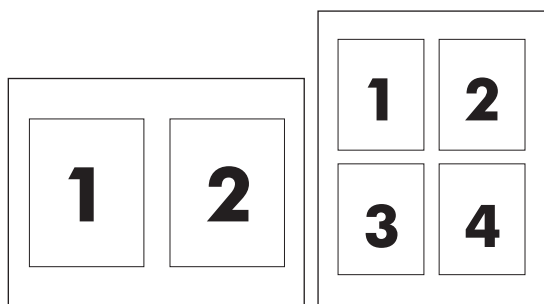
1. プリンタ ドライバを開きます ([プリンタ ドライバへのアクセス](#)を参照)。
2. **[表紙]** または **[用紙/品質]** ポップアップ メニューで、表紙を **[書類の前]** または **[書類の後]** のどちらに印刷するかを選択します。
3. Mac OS X を使用している場合は、**[表紙の種類]** ポップアップ メニューで、表紙に印刷するメッセージを選択します。



注記 空白の表紙を印刷するには、**[表紙の種類]** で **[標準]** を選択します。

1 枚の用紙に複数のページを印刷する

1 枚の用紙に複数のページを印刷できます。この機能は、ドラフト ページを印刷する際のコスト削減に役立ちます。



1 枚の用紙に複数のページを印刷するには

1. プリンタ ドライバを開きます ([プリンタ ドライバへのアクセス](#)を参照)。
2. **[レイアウト]** ポップアップ メニューをクリックします。
3. **[ページ数/枚]** の横で、1 枚の用紙に印刷するページ数 (1、2、4、6、9、または 16) を選択します。
4. ページ数が 1 より大きい場合は、**[レイアウト方向]** の横で、用紙に印刷するページの順序と位置を選択します。
5. **[境界線]** の横で、用紙の各ページの周囲に印刷する境界線の種類を選択します。

用紙の両面に印刷する

両面印刷アクセサリを取り付けると、用紙の両面に自動的に印刷できます。両面印刷アクセサリが取り付けられていない場合は、プリンタに再度給紙することで、手動で両面に印刷できます。

両面印刷アクセサリを使用して両面印刷するには

1. 印刷ジョブに対応するいずれかのトレイに、十分な用紙をセットします。レターヘッドなどの特殊な用紙をセットする場合は、以下のいずれかの方法に従います。
 - トレイ 1 を使用する場合は、レターヘッドの用紙の表を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。
 - それ以外のトレイの場合は、レターヘッドの用紙の表を下向きにし、用紙の上端から先に給紙されるようにセットします。



注意 105g/m² (28 ポンド ボンド紙) より厚手の用紙はセットしないでください。プリンタの紙詰まりの原因になります。

2. プリンタ ドライバを開きます ([プリンタ ドライバへのアクセス](#)を参照)。
3. [レイアウト] ポップアップメニューを開きます。
4. [両面印刷] の横で、[長辺綴じ (標準)] または [短辺綴じ] のいずれかを選択します。
5. [印刷] をクリックします。

手動で両面印刷を行うには

1. 印刷ジョブに対応するいずれかのトレイに、十分な用紙をセットします。レターヘッドなどの特殊な用紙をセットする場合は、以下のいずれかの方法に従います。
 - トレイ 1 を使用する場合は、レターヘッドの用紙の表を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。
 - それ以外のトレイの場合は、レターヘッドの用紙の表を下向きにし、用紙の上端から給紙されるようにセットします。



注意 105g/m² (28 ポンド ボンド紙) より厚手の用紙はセットしないでください。プリンタの紙詰まりの原因になります。

2. プリンタ ドライバを開きます ([プリンタ ドライバへのアクセス](#)を参照)。
3. [仕上げ] ポップアップメニューで、[手動両面印刷] オプションを選択します。



注記 [手動両面印刷] オプションが有効になっていない場合は、[裏面の手差し印刷] を選択します。

4. [印刷] をクリックします。
5. プリンタの設置場所に移動します。トレイ 1 から印刷されていない用紙をすべて取り除きます。印刷されたほうの面を上向きし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。裏面はトレイ 1 から印刷する必要があります。印刷された用紙をトレイ 1 にセットし直して裏面を印刷する前に、ポップアップ ウィンドウに表示される指示に従います。
6. コントロール パネルに指示が表示されたら、コントロール パネル ボタンを押して処理を続行します。

カラー品質の設定

[カラー品質] ポップアップメニューで、ソフトウェア プログラムでのカラーの解析および印刷方法をコントロールします。



注記 カラー品質の使用の詳細については、[Macintosh コンピュータでのプリンタのカラー品質の管理](#)を参照してください。

カラー品質を設定するには

1. プリンタ ドライバを開きます ([プリンタ ドライバへのアクセス](#)を参照)。
2. [カラー品質] ポップアップメニューを開きます。

3. Mac OS X を使用している場合は、**[詳細オプションの表示]** をクリックします。
4. テキスト、グラフィックス、および写真の設定を個別に手動で調整します。

5 コピー

この MFP は、スタンドアロンのコピー機としても使用できます。コンピュータに印刷システム ソフトウェアをインストールする必要も、コピーするためにコンピュータの電源を入れる必要もありません。コピー設定はコントロール パネルで調整できます。また、ADF またはスキャナ ガラスを使用して原稿をコピーすることもできます。MFP では、コピー ジョブ、印刷ジョブ、およびデジタル送信ジョブを同時に処理できます。

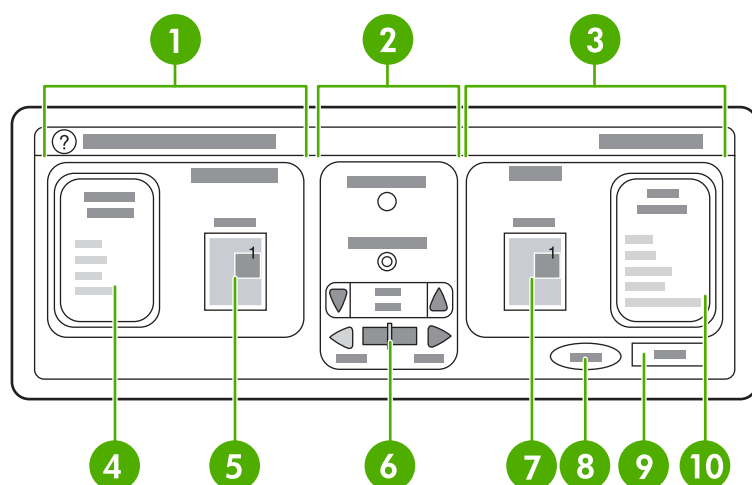
この章では、コピー方法とコピー設定の変更方法について説明します。次の項目があります。

- [コピー画面の操作](#)
- [基本的なコピー手順](#)
- [現在のジョブのコピー設定の修正](#)
- [さまざまなサイズ of 原稿のコピー](#)
- [保存コピー ジョブの作成](#)

MFP のコピー機能を使用する前に、基本的なコントロール パネルの情報を見直すことをお勧めします。詳細については、「[コントロール パネルの使用](#)」を参照してください。

コピー画面の操作

タッチスクリーン グラフィック ディスプレイを使用して、コントロール パネルの機能やオプションを操作します。



1	原稿セクション
2	画像修正セクション
3	コピー セクション
4	[Describe Original] ボタン
5	原稿ページサイズ アイコン
6	コントラスト調整
7	コピー ページ アイコン
8	[Start] ボタン
9	[Back] ボタン
10	[COPY SETTINGS] ボタン

ユーザー注意エラー メッセージは、メッセージがクリアされるまで、通常の画面操作を禁止するポップアップ ダイアログ ボックスに表示されます。

"キャンセル" ボタン

各画面 (ホーム画面の後の各画面) の下部には、[Cancel] ボタンがあります。[Cancel] ボタンを押すと、行ったすべての変更が取り消され、前の画面に戻ります。

"OK" ボタン

タッチスクリーンの各画面の下部には、[OK] ボタンがあります。[OK] ボタンを押すと、行ったすべての変更が確定され、次の画面に進みます。

基本的なコピー手順

このセクションでは、基本的なコピー手順について説明します。

デフォルト設定を使用したコピー

コピーのデフォルト設定は次のとおりです。

- 部数：1
- サイズ：原稿はレター/A4 サイズ、コピーはレター/A4 サイズ
- ページの向き：縦方向
- 片面/両面：片面コピー
- ページの内容：混合 (テキストとグラフィックの混合)
- ジョブ モード：オフ
- 厚手用紙：オフ
- モノクロ コピー

デフォルト設定を使用してコピーするには

1. スキャナ ガラスの場合は表を下にし、ADF の場合は表を上にしてドキュメントを置きます。
2. **Start** を押します。

ユーザー定義の設定を使用したコピー

コピー設定を変更するには、次の手順を実行します。

デフォルト以外の設定を使用してコピーするには

1. スキャナ ガラスの場合は表を下にし、ADF の場合は表を上にして原稿を置きます。
グラフィック ディスプレイのタッチスクリーンで、次の操作を行います。
2. **COPY** を押します。
3. **Describe Original** を押してオプションを表示します。**BASIC** オプションまたは **Advanced...** オプションを選択できます。
4. 原稿設定を指定する **BASIC** 項目を押します。次のオプションがあります。
 - **[Size]**: 原稿の用紙サイズを選択します。
 - **[PAGE ORIENTATION]**: **[PORTRAIT]** または **[LANDSCAPE]** を選択します。縦長の向きでは、原稿の上部がページの短辺になります。横長の向きでは、原稿の上部がページの長辺になります。
 - **[NUMBER OF SIDES]**: **1** または **2** を選択します。
 - **[PAGE CONTENT]**: **[TEXT]**、**[MIXED]**、**[PHOTO]**、または **[GLOSSY PHOTO]** を選択します。

5. **Advanced...** タブを押して **[Job Mode]** 設定を変更します。複数のスキャンを 1 つのジョブに結合する場合は、**[ON]** を選択します。詳細については、「[ジョブモードの使用](#)」を参照してください。
6. 選択が終了したら、**OK** を押します。



注記 グラフィック ディスプレイの **[ORIGINAL]** セクションのページ アイコンは、原稿を表すイメージを示します。

7. グラフィック ディスプレイの画像修正セクションにある **[CONTRAST CONTROL]** バーと **[REDUCE/ENLARGE]** ボタンを使用して、コントラストや拡大縮小の調整を行います。
8. **COPY** を押してオプションを表示します。**[BASIC]** オプションまたは **[Advanced...]** オプションを選択できます。
9. **[SIZE AND TYPE]:** **AUTO** (用紙サイズを原稿サイズに合わせる) を選択するか、または目的のコピー サイズを選択します。トレイに正しいサイズの用紙がセットされていることを確認します。

[NUMBER OF SIDES]: **1-SIDED** または **2-SIDED** を選択します。

または

[BACK SIDE ORIENTATION]: **NORMAL** または **[FLIP]** を選択します (**2-SIDED** コピーを選択した場合)。

または

[PAGES PER SHEET]: **1**、**2**、**4**、または **BOOKLET** を選択します。

または

1 枚の用紙に対して **4** ページを選択すると、ページを並べる順序が "Z" または "N" 形に調整され、各小ページの周囲に境界線を入れるかどうかのオプションが表示されます。

または

BORDER: **BORDER** または **NO BORDER** を選択します。この項目は、1 枚の用紙に複数のページを印刷する場合にのみ選択できます。

または

[STAPLE]: ステイプル オプションは、選択した出力デバイスおよび用紙サイズによって異なります。

10. 必要に応じて、**Advanced...** オプションを押します。オプションには次の項目が含まれています。
 - **[COLLATION]:** **COLLATED** または **UNCOLLATED** を選択します。
 - **[Output Bin]:** 適切なビンを選択します。
 - **[Job Storage]:** コピー ジョブを印刷せずに MFP に保存するには、**ON** を選択します。通常どおりジョブをコピーするには、**OFF** を選択します。詳細については、「[保存コピー ジョブの作成](#)」を参照してください。
 - **[ENHANCE]:** **SHARPNESS** または **BACKGROUND REMOVAL** を押します。
 - **[SCALE TO FIT]:** MFP にセットされている用紙に合わせて自動的にコピーの倍率を変更するには、**ON** を選択します。



注記 グラフィック ディスプレイの[COPY] セクションのページアイコンは、コピーを表すイメージを示します。

11. 選択が終了したら、OK を押します。
12. 数字キーを使用して部数を入力し、Start を押します。

スキャナ ガラスを使用したコピー

領収書、新聞の切り抜き、写真、古くて擦り切れたドキュメントなど、小さくて軽い (60 g/m² 以下) 原稿や定形外原稿をコピーするには、スキャナ ガラスを使用します。

1. 表を下にしてドキュメントをスキャナ ガラス上に置きます。
2. 必要に応じて、画像を修正し、コピー設定を選択します。
3. 1 部だけコピーする場合は、Start を押します。複数部コピーする場合は、数字キーを使用して部数 (999 まで) を入力し、Start を押してコピーを開始します。スキャナ ガラスから複数のページをコピーする場合は、「[ジョブ モードの使用](#)」を参照して複数ページ コピー ジョブを作成します。

ADF を使用したコピー

50 ページまで (ページの厚さに依存) のドキュメントのコピーを 999 部作成するような場合は、ADF を使用します。

1. 表を上にしてドキュメントを ADF にセットします。
2. 画像を修正し、コピー設定を選択します。
3. 1 部だけコピーする場合は、Start を押します。複数部コピーする場合は、数字キーを使用して必要な部数を入力し、Start を押します。

ADF では、レター サイズとリーガル サイズの原稿を区別できます。サイズが混在している原稿をコピーする場合は、Describe Original 設定で MIXED LTR/LGL を指定します。この機能を使用すると、コピー速度が低下します。

ジョブ モードの使用

複数のスキャンから 1 つのコピー ジョブを作成するには、ジョブ モード機能を使用します。ADF またはスキャナ ガラスを使用できます。最初のスキャンの設定が、後続のスキャンにも使用されます。

1. COPY を押します。
2. Describe Original を押します。
3. Advanced... を押します。
4. [JOB MODE] チェックボックスで [ON] を押します。
5. 必要に応じて、出力設定を選択します。
6. ページをスキャンするたびに、コントロール パネルには、さらにスキャンするページがあるかどうかを確認するメッセージが表示されます。

7. ジョブにページを追加する場合は、次のページをロードして **Start** を押します。
8. ジョブにそれ以上ページを追加しない場合は、**FINISHED** を押して印刷します。



注記 ジョブ モードで、ADF を使用してドキュメントの最初のページをスキャンした場合は、ADF を使用してそのドキュメントのすべてのページをスキャンする必要があります。スキャナ ガラスを使用してドキュメントの最初のページをスキャンした場合は、スキャナ ガラスを使用してそのドキュメントのすべてのページをスキャンする必要があります。

現在のジョブのコピー設定の修正

コントラストの調整、サイズの拡大縮小、または印刷品質の改善を行うと、コピーを修正できます。

コピーの明るさの調整

コントラストを調整するには、**[BRIGHTNESS CONTROL]** バーの矢印を押します。スライダが、バーのより明るい領域または暗い領域に移動します。

コピーの縮小または拡大

MFP には自動倍率変更機能があります。原稿の用紙サイズとコピーの用紙サイズが異なっている場合、MFP では、原稿のページサイズとコピーのページサイズの不一致が自動的に検出されます。原稿ページのスキャン イメージが、コピーの用紙サイズに合うように自動的に縮小または拡大されます。拡大縮小機能を使用すると、自動倍率変更を上書きできます。

MFP では、コピーを元のサイズの 25% まで縮小したり、400% (ADF 使用時は 200%) まで拡大できます。

コピーを縮小または拡大するには、目的のサイズになるまで **[REDUCE/ENLARGE]** ボタンの矢印を押します。**[REDUCE/ENLARGE]** ボタンの中央にあるスケール パーセンテージ ボックスには、縮小または拡大のパーセンテージが示されます。また、**100%** を押して数字キーパッドを表示し、目的の数値を入力できます。**OK** を押して変更内容を保存します。

背景の削除

カラー用紙に印刷されているドキュメントをコピーする場合や、両面コピー機能を使用する場合は、コピー品質を改善するために、コピーの縞やにじみの原因になる可能性がある背景を削除できます。**COPY SETTINGS** を押し、**Advanced...** タブを押して内蔵 **[BACKGROUND REMOVAL]** 画面にアクセスします。**[BACKGROUND REMOVAL]** コントロールの矢印を押して、背景の削除の量を調整します。スライダが、**[BACKGROUND REMOVAL]** コントロール バーのより明るい領域または暗い領域に移動します。

鮮明度

[SHARPNESS] コントロールでは、MFP で原稿をスキャンするときにスキャナで使用する鮮明度設定を指定します。**COPY SETTINGS** を押し、**Advanced...** タブを押して **[SHARPNESS]** 画面にアクセスします。薄いかまたは細かいテキストやグラフィックがより鮮明に再現されるように、鮮明度によって原稿のエッジを強化します。**[SHARPNESS]** コントロール バーの矢印を押して、鮮明度の量を調整します。

さまざまなサイズ of 原稿のコピー

原稿にさまざまなサイズがある場合、たとえば、レター サイズ of ドキュメントに複数のリーガル サイズ of チャートが含まれている場合は、「[コピー サブメニュー](#)」および「[ADF を使用したコピー](#)」を参照してください。

保存コピー ジョブの作成

ジョブ保存設定を有効にすると、コピー ジョブがハード ディスクに保存され、そのジョブを後で印刷できます。保存ジョブを作成するには、次の情報を指定する必要があります。

1. **COPY SETTINGS** を押します。
2. 基本的なコピー設定を選択します (「[ユーザー定義の設定を使用したコピー](#)」を参照)。
3. **Advanced...** タブを押します。
4. **[Job Storage]** ボックスで、**[ON]** を選択します。**[USER NAME]** と **[JOB NAME]** を入力するためのポップアップ ダイアログ ボックスが表示されます。**[AUTHENTICATION REQUIRED]** が選択されている場合は、必要に応じて暗証番号 (PIN) を入力します。PIN を入力するには、**[AUTHENTICATION REQUIRED]** の隣にある小さなボックスを押します。**[USER NAME]** と **[JOB NAME]** を選択すると、キーボードが表示されます。PIN は、数字キーで入力できる 4 桁の数値です。
5. ユーザー名を入力します。
6. ジョブ名を入力します。
7. 必要に応じて、PIN を入力します。
8. **OK** を押します。
9. **Start** を押します。

保存ジョブの印刷方法の詳細については、「[保存ジョブの印刷](#)」を参照してください。

6 スキャンと電子メール送信

MFPにはカラー スキャン機能とデジタル送信機能があります。プリンタのコントロール パネルを使用して、モノクロまたはカラーのドキュメントをスキャンしたり、電子メールの添付ファイルとして電子メール アドレスに送信したりできます。デジタル送信機能を使用するには、MFP をローカル エリア ネットワーク (LAN) に接続する必要があります。MFP は LAN に直接接続します。

この章では、スキャン機能と送信機能が完全に統合されているので、その両方について説明します。この章で説明する項目は次のとおりです。

- [SMTP とは](#)
- [LDAP とは](#)
- [電子メールの設定](#)
- [電子メール画面の移動](#)
- [電子メールの基本](#)
- [アドレス帳の使用](#)
- [追加の電子メール機能](#)

SMTP とは

SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) は、電子メールを送受信するプログラム間のやりとりを定義する一連の規則です。MFP でドキュメントを電子メール送信するには、有効な SMTP IP アドレスがある LAN に MFP を接続する必要があります。また、SMTP サーバーもインターネットに接続している必要があります。

LAN 接続を使用する場合は、システム管理者に問い合わせて SMTP サーバーの IP アドレスを取得してください。DSL 接続を使用して接続する場合は、サービス プロバイダに問い合わせて SMTP サーバーの IP アドレスを取得してください。

LDAP とは

LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) は、情報データベースにアクセスするときに使用します。MFP では、電子メールアドレスのグローバル一覧を検索するときに LDAP を使用します。電子メール アドレスを入力すると、LDAP はオートコンプリート機能を使用して、入力した文字と一致する電子メール アドレスの一覧を表示します。文字を追加すると、一致する電子メール アドレスの一覧が絞り込まれます。

MFP では LDAP がサポートされていますが、MFP で電子メールを送信できるようにするために LDAP サーバーに接続する必要はありません。

電子メールの設定

電子メールにドキュメントを送信する前に、電子メールを送信できるように MFP を設定する必要があります。MFP には、SMTP サーバーと LDAP サーバーの正しい IP アドレスを検索する自動設定機能があります。IP アドレスは、手動で設定することもできます。



注記 コントロールパネルで MFP を設定する方法を以下に説明します。次の手順は、内蔵 Web サーバーを使用して実行することもできます。詳細については、「[内蔵 Web サーバーの使用](#)」を参照してください。

電子メールの自動設定

1. MFP コントロールパネルの **Menu** ボタンを押します。
2. **CONFIGURE DEVICE** を押し、**SENDING** を押します。
3. Touch **E-MAIL** を押し、**FIND SEND GATEWAYS** を押します。MFP はローカル ネットワークを検索して、SMTP サーバーと LDAP サーバーの IP アドレスを特定します。正常な処理が行われないと、コントロールパネルに IP アドレスがすべて 0 で表示されます。このような場合は、IP アドレスを手動で設定します。

電子メールの手動による設定

システム管理者に問い合わせた SMTP サーバーと LDAP サーバーの IP アドレスを取得します。その後、次の手順を実行して IP アドレスを手作業で設定します。

SMTP および LDAP のゲートウェイ アドレスを設定するには

1. **Menu** ボタンを押します。
2. **CONFIGURE DEVICE** を押します。
3. **SENDING** を押します。
4. **E-MAIL** を押します。
5. **SMTP GATEWAY** を押します。
6. SMTP のゲートウェイ アドレスを入力します。ゲートウェイ アドレスは最大 12 の数字で構成され、3 つの数字が 4 つのグループに配列されます (123.123.123.123 など)。OK を押します。
7. スクロールして、**LDAP GATEWAY** を押します。
8. LDAP ゲートウェイを入力します。SMTP および LDAP のゲートウェイを入力したら、**[TEST SEND GATEWAYS]** 自己診断テストを使用して設定をテストし、自分宛てに電子メールを送信します。

Test Send Gateways 自己診断テストの手順を使用するには

1. **Menu** ボタンを押します。
2. **CONFIGURE DEVICE** を押します。
3. **SENDING** を押します。

4. E-MAIL を押します。

5. TEST SEND GATEWAYS を押します。設定が正しい場合は、コントロール パネルに [GATEWAYS OK] と表示されます。

最初のテストが成功したら、デジタル送信機能を使用して自分宛てに電子メールを送信します。電子メールを受信できた場合は、デジタル送信機能が正しく設定されています。

電子メールを受信できない場合は、次の操作を行ってデジタル送信ソフトウェアに関する問題を解決してください。

- SMTP および LDAP のゲートウェイ アドレスを調べて、入力が正しいことを確認します。
- 設定ページを印刷します。SMTP および LDAP のゲートウェイ アドレスが正しいことを確認します。
- ネットワークが正しく動作していることを確認します。コンピュータから自分宛てに電子メールを送信します。電子メールを受信できた場合は、ネットワークが正しく動作しています。電子メールを受信できない場合は、ネットワーク管理者またはインターネット サービス プロバイダ (ISP) に問い合わせてください。
- DISCOVER.EXE ファイルを実行します。このプログラムはゲートウェイを検索します。ファイルは、HP Web サイト <http://www.hp.com/support/clj4730mfp> からダウンロードできます。

電子メール プログラムを使用してゲートウェイを検索するには

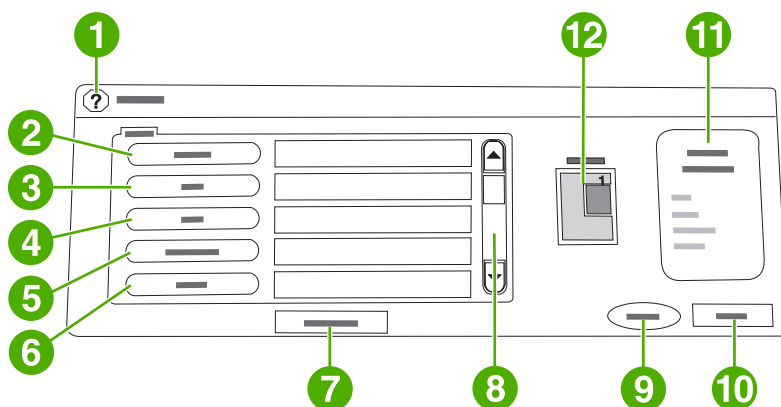
大部分の電子メール プログラムでも電子メールの送信には SMTP を、電子メール メッセージのアドレス指定には LDAP を使用しているので、電子メール プログラムの設定を調べることによって SMTP ゲートウェイと LDAP サーバーのホスト名を検索できます。通常、SMTP サーバーと LDAP サーバーのホスト名は同じです。ホスト名を見つけたら、次の手順で IP アドレスを検索できます。

1. コンピュータで、コマンド プロンプト (別名 MS-DOS プロンプト) を開きます。
2. 「nslookup」と入力し、さらにスペースとホスト名を入力します。
3. Enter キーを押します。

SMTP サーバーと LDAP サーバーの IP アドレスを検索したら、このアドレスを使用してデジタル送信を手動で設定します。「[電子メールの手動による設定](#)」を参照してください。

電子メール画面の移動

タッチスクリーンのグラフィック ディスプレイを使用して、電子メール画面のオプションを移動します。



1	[Help] ボタン
2	[From:] フィールド
3	[To:] フィールド
4	[CC:] フィールド
5	[Subject:] フィールド
6	[BCC:] フィールド
7	[Clear All] ボタン
8	スクロール ボタン
9	[Start] ボタン
10	[Back] ボタン
11	[E-mail Settings] 領域
12	ページ プレビュー イメージ

ヘルプ ボタン

ヘルプの場合、 (ヘルプ) ボタンを押し、[What is This?](#) または [Show Me How](#) を押します。詳細については、「[ヘルプ システム](#)」を参照してください。

From: フィールド

[From:](#) を押して、自分の電子メールアドレスを入力します。管理者は、このフィールドの電子メールアドレスを他のユーザーが変更できないように [From:] フィールドを設定できます。

[To:], [CC:], および [BCC:] フィールド

これらのボタンを押して、電子メール受信者を設定します。電子メール受信者を設定するには、タッチスクリーンまたはアドレス帳を使用して電子メール アドレスを入力します。詳細については、[アドレス帳の使用](#) をご覧ください。

Clear All ボタン

Clear All ボタンを押すと、入力したすべてのテキストとフィールドが消えます。

ポップアップ ダイアログ ボックスにエラー メッセージが表示され、メッセージが消えるまで通常の画面操作はできません。

電子メールの基本

MFP の電子メール機能には次の利点があります。

- 複数の電子メール アドレスにドキュメントを送信して、時間と送信コストを節約します。
- モノクロまたはカラーでファイルを送信します。ファイルは、受信者が操作できるさまざまなファイル形式で送信できます。

電子メールを使用すると、ドキュメントは MFP メモリにスキャンされ、1 つまたは複数の電子メール アドレスに電子メールの添付ファイルとして送信されます。デジタル ドキュメントは、.TIF や .JPG などの複数のグラフィック形式で送信されます。そのため、受信者は固有のニーズに合わせてさまざまなプログラムでドキュメントを操作できます。ドキュメントは原稿に近い品質で受信され、印刷、保存、または転送できます。

電子メール機能を使用するには、MFP を、インターネット アクセスを含む有効な SMTP ローカル エリア ネットワークに接続する必要があります。

ドキュメントのセット

ガラスまたはドキュメント自動フィーダ (ADF) を使用して、ドキュメントをスキャンできます。ガラスおよび ADF は、レター、エグゼクティブ、A4、および A5 の原稿に対応しています。また、ADF は、リーガル サイズの原稿にも対応しています。小型のサイズ、領収書、定形外ドキュメントや擦り切れたドキュメント、ステイブルで留めたドキュメント、折りたたまれていたドキュメント、写真は、ガラスを使用してスキャンする必要があります。複数ページのドキュメントは、ADF を使用して簡単にスキャンできます。

ドキュメントの送信

MFP では、モノクロとカラーの原稿を両方ともスキャンします。デフォルト設定を使用したり、スキャン設定やファイル形式を変更したりすることもできます。デフォルトの設定は次のとおりです。

- カラー
- PDF (受信者が電子メールの添付ファイルを表示するには、Adobe Acrobat® ビューアが必要です)

ドキュメントを送信するには

1. ドキュメントは、スキャナ ガラス上には表を下に、ADF では表を上にして置きます。
2. E-MAIL を押します。
3. プロンプトが表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。
4. [From:], [To:], および [Subject:] の各フィールドに必要事項を入力します。該当する場合、[CC:] フィールドと [BCC:] フィールドに必要事項を入力します。ユーザー名またはその他のデフォルト情報は、[From:] フィールドに表示されます。フィールドに表示された情報は変更できません。
5. (オプション) ドキュメント サイズなど送信するドキュメントのデフォルト設定を変更する場合は、E-mail Settings を押し、Describe Original を押します。両面印刷ドキュメントを送信する場合、原稿が両面印刷ドキュメントであることを記述する必要があります。
6. (オプション) ファイル形式など、作成するスキャン ドキュメントのデフォルト設定を変更するには、E-mail Settings を押します。
7. Start を押して送信を開始します。

8. MFP では、**[CONTINUE]** または **[Reset]** を行うようにプロンプトが表示されます。
- **[CONTINUE]**: 直前に入力した情報をすべて保持します。これらの設定を使用する別の電子メールまたはファックスを簡単に送信できます。
 - **[Reset]**: 直前に入力した設定をすべて消去します。ただし、**[Reset]** を押しても、直前に送信した電子メールまたはファックスはキャンセルされません。
9. 終了したら、スキャナ ガラスまたは ADF から原稿を取り除きます。

オートコンプリート機能の使用

[Send to e-mail] 画面の **[To:]**、**[CC:]**、または **[From:]** の各フィールドに文字を入力すると、オートコンプリート機能がアクティブになります。キーボード画面を使用して必要なアドレスや名前を入力すると、MFP は、自動的にアドレス帳の一覧を検索し、最初に一致したアドレスや名前を使用して完成させます。このとき、**Enter** を押して名前を選択するか、オートコンプリート機能で正しいエントリが検索されるまで名前を入力し続けます。一覧内に一致するエントリがない文字を入力すると、オートコンプリート テキストがディスプレイから削除されて、アドレス帳には存在しないアドレスを入力していることが示されます。

アドレス帳の使用


MFP のアドレス帳機能を使用して受信者一覧に電子メールを送信できます。アドレス一覧については、システム管理者に問い合わせてください。



注記 また、内蔵 Web サーバーを使用して、電子メール アドレス帳を作成および管理できます。詳細については、「[内蔵 Web サーバーの使用](#)」を参照してください。

受信者一覧の作成

グラフィック ディスプレイのタッチスクリーンで、次の手順を実行します。

1. **E-MAIL** を押します。
2. **To:** を押してキーボード画面を開きます。
3. 受信者名の最初の文字を入力します。
4.  (アドレス帳アイコン) を押してアドレス帳を開きます。
5. スクロール バーを使用してアドレス帳のエントリを移動します。矢印を押したままにすると、一覧をすばやくスクロールできます。
6. 名前をハイライトして受信者を選択し、**Add >>** を押します。

また、**All** を押して配信一覧を選択したり、**Local** ボタンを押してローカル リストから受信者を追加したりできます。受信者一覧に名前を追加するには、該当する名前をハイライトし、**Add >>** を押します。

スクロールして受信者をハイライトし、**Remove** を押すと、一覧から受信者を削除できます。

7. 受信者一覧内の名前が、キーボード画面のテキスト行に配置されます。必要に応じて、キーボードで電子メール アドレスを入力することにより、アドレス帳にない受信者を追加できます。受信者一覧が完成したら、**OK** を押します。
8. キーボード画面の **OK** を押します。
9. 必要に応じて、[Send to e-mail] 画面の **[CC:]** フィールドと **[Subject:]** フィールドに情報を入力します。**[To:]** テキスト行の下矢印を押すと、受信者一覧を確認できます。
10. **Start** を押します。

ローカル アドレス帳の使用

ローカル アドレス帳を使用して、頻繁に使う電子メール アドレスを保存します。ローカル アドレス帳は、同じサーバーを使用して HP Digital Sending Software にアクセスする MFP 間で共有されます。

アドレス帳は、**[From:]**、**[To:]**、**[CC:]**、または **[BCC:]** の各フィールドに電子メール アドレスを入力すると使用できます。また、アドレス帳のアドレスを追加または削除することもできます。

アドレス帳を開くには、キーボード画面のアドレス帳ボタンを押します。**Local** を押すと、**[Edit]** ボタンが表示されます。このボタンを押して、項目を追加したりアドレス帳から削除したりします。

ローカル アドレス帳に電子メール アドレスを追加するには

1. **Local** を押します。
2. **Edit** を押します。
3. **アドレス帳-Add >>** を押します。
4. **[Address]** フィールドに、新しいエントリの電子メール アドレスを入力します (必須)。
5. **[Name]** フィールドに、新しいエントリの電子メール アドレスを入力します (オプション)。**"名前"** は電子メール アドレスのエイリアスです。エイリアスの名前を入力しないと、エイリアスが電子メール アドレスになります。
6. 次のいずれかの操作を行います。
 - **[Add >>]** 画面を開いたままローカル アドレス帳に電子メール アドレスを追加するには、**Save** を押します。
 - 電子メール アドレスを保存せずに **[編集]** 画面に戻るには、**Cancel** を押します。
 - 電子メール アドレスを保存して **[Edit]** 画面に戻るには、**OK** を押します。

アドレスを追加すると、**[Address Stored Successfully]** という確認メッセージが表示されます。電子メール アドレスがパブリック アドレス帳に追加されました。すべてのユーザーがこのアドレスにアクセスできるようになります。

ローカル アドレス帳から電子メール アドレスを削除するには

使用しない電子メール アドレスを削除できます。



注記 電子メール アドレスを変更するには、アドレスを削除した後に、修正したアドレスを新しいアドレスとしてローカル アドレス帳に追加する必要があります。

1. **Local** を押します。
2. **Edit** を押します。
3. **DELETE** を押すと、ローカル アドレス帳から削除できる電子メール アドレスの一覧が表示されます。削除するアドレスがない場合、一覧は空白で表示されます。
4. 削除する各電子メール アドレスのチェック ボックスを押し、**OK** を押します。

[Do you want to delete the selected email addresses?] という確認メッセージが表示されます。
5. **YES** を押すと、電子メール アドレスが削除されます。**NO** を押すと、**[DELETE]** 画面に戻ります。
6. **[Edit]** 画面に戻るには、**OK** を押します。

追加の電子メール機能

オプションの HP Digital Sending Software (DSS) をインストールすると、追加の電子メール機能を使用できます。

セカンダリ電子メール

この機能がシステム管理者により使用可能になると、コントロール パネル ディスプレイに **[SECONDARY EMAIL]** オプションが表示されます。セカンダリ電子メールは、データ セキュリティの補足対策が必要なソリューション用に設計されています。デバイスと HP DSS サーバー間のデータが暗号化される点が、通常の電子メール機能とは異なります。スキャンされたデータが添付されている rfc822 準拠の電子メール メッセージは、DSS プログラム ディレクトリの \HPEMAIL2 フォルダに作成されます。このフォルダを監視するサードパーティ製ソフトウェアが電子メール メッセージを処理し、安全な形式で送信します。

セカンダリ電子メール機能の設定方法の詳細については、HP DSS ソフトウェアに付属の情報を参照してください。セカンダリ電子メールオプションを使用して電子メール メッセージを送信するプロセスは、通常の電子メールの場合と同じです。

フォルダへの送信

この機能がシステム管理者により使用可能になると、MFP ではファイルをスキャンしてネットワーク上のフォルダに送信できます。フォルダの宛先がサポートされているオペレーティング システムは、Windows 98、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、および Novell です。



注記 このオプションを使用したり、特定のフォルダに送信したりするには、認証が必要になる場合があります。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

"フォルダに送信" 機能の使用方法の詳細については、HP DSS ソフトウェアに付属の情報を参照してください。

ワークフローに送信

この機能がシステム管理者により使用可能になると、ドキュメントをスキャンしてカスタム ワークフロー宛先に送信できます。ワークフロー宛先には追加の情報およびスキャンしたドキュメントを、指定したネットワークまたはファイル転送プロトコル (FTP) の場所に送信する機能があります。コントロール パネル ディスプレイに特定の情報を求めるプロンプトが表示されます。ネットワーク フォルダまたはサイトを監視するサードパーティ製ソフトウェアにより情報が検索および解読され、スキャンした画像に対して特定の操作が実行されます。また、システム管理者がワークフローの宛先に MFP を指定することもできます。これによって、ドキュメントをスキャンし、ネットワークの MFP に直接送信して印刷できます。

"ワークフローに送信" 機能の使用方法の詳細については、HP DSS ソフトウェアに付属の情報を参照してください。

7 ファックス送信

HP Color LaserJet 4730x mfp、HP Color LaserJet 4730xs mfp、および HP Color LaserJet 4730xm mfp には、Analog Fax Accessory があらかじめインストールされて出荷されます。Windows ユーザーは、デジタル ファックス送信機能を備えた、オプションの HP Digital Sending Software (DSS) をインストールすることもできます。

ファックス アクセサリの設定方法およびファックス機能の使用方法については、『*HP LaserJet Analog Fax Accessory 300 ユーザーズガイド*』を参照してください。この印刷版ガイドは、HP Color LaserJet 4730x mfp、HP Color LaserJet 4730xs mfp、および HP Color LaserJet 4730xm mfp に付属しています。

この章では次の項目について説明します。

- [アナログ ファックス送信](#)
- [デジタル ファックス送信](#)

アナログ ファックス送信

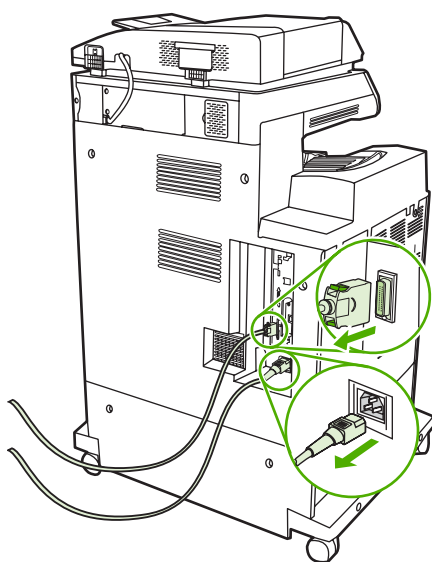
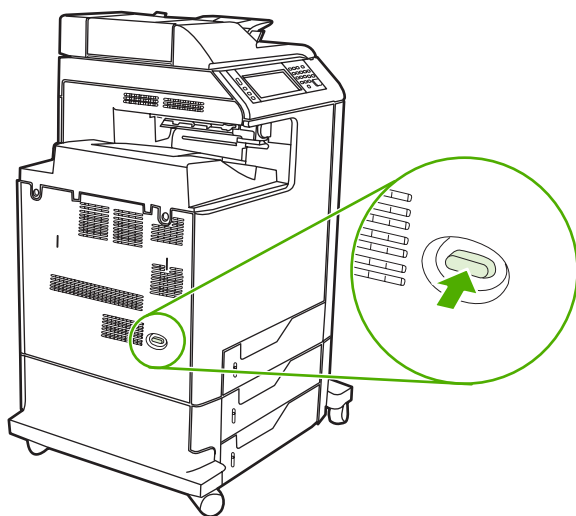
Analog Fax Accessory がインストールされている場合、MFP はスタンドアロンのファックスとして使用できます。

HP Color LaserJet 4730x mfp、 HP Color LaserJet 4730xs mfp、 および HP Color LaserJet 4730xm mfp には、ファックス アクセサリがあらかじめインストールされて出荷されます。HP Color LaserJet 4730mfp (ベース モデル) の場合は、このアクセサリをオプションとして注文できます。Analog Fax Accessory の注文方法の詳細については、「[製品番号](#)」を参照してください。

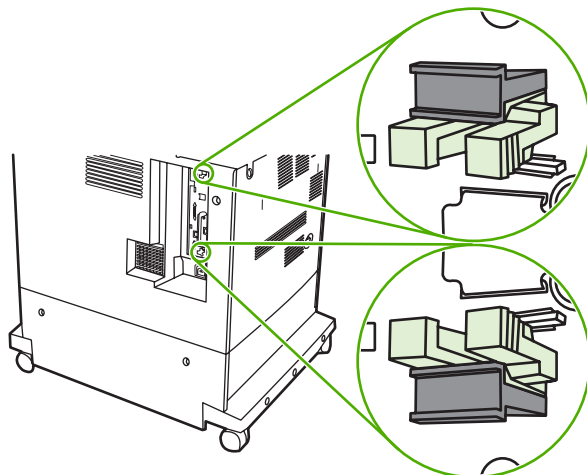
ファックス アクセサリのインストール

Analog Fax Accessory がインストールされていない場合は、次の手順でインストールします。

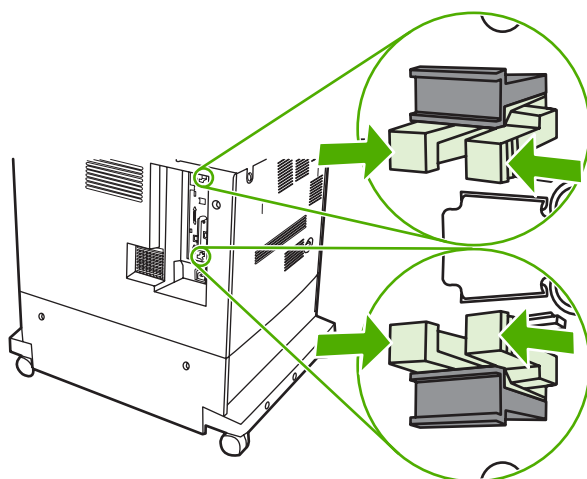
1. MFP の電源を切り、すべてのケーブルを外します。



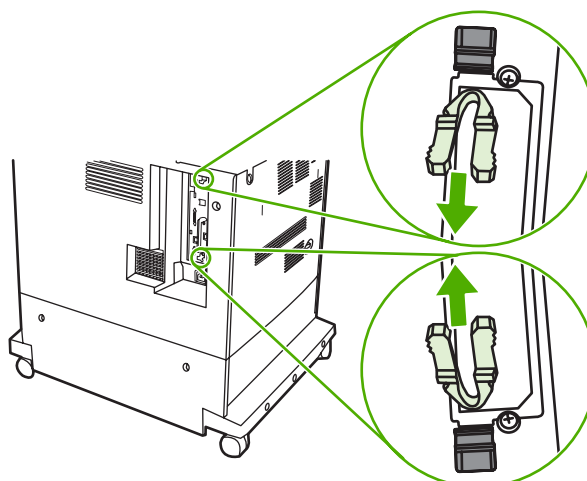
2. MFP の背面のフォーマッタ ボードを探します。



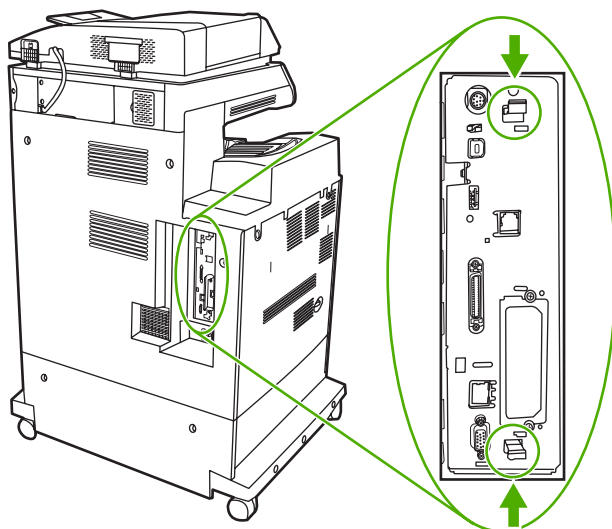
3. MFP 背面のフォーマッタ ボードにある灰色のフォーマッタ圧力解放タブを探します。



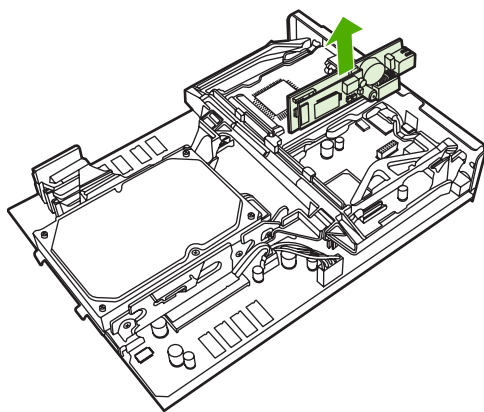
4. タブを軽くつかんで、フォーマッタから引き出します。



5. ボードの上と下にある黒いタブをゆっくりと引いて、MFP からフォーマッタ ボードを引き出します。引き出したフォーマッタ ボードを清潔で平らな接地面に置きます。



6. 既存のファックス アクセサリを交換する場合、上に引き上げて取り外します。

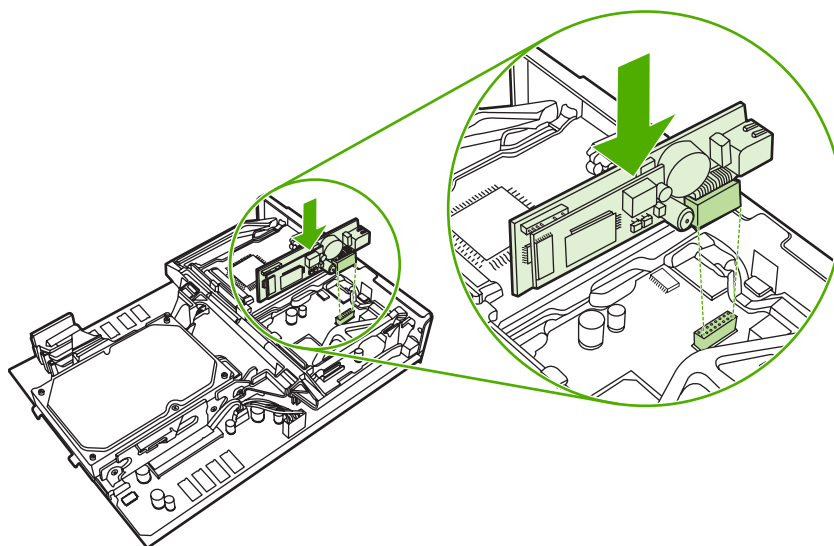


7. 静電気防止袋からファックス アクセサリを取り出します。

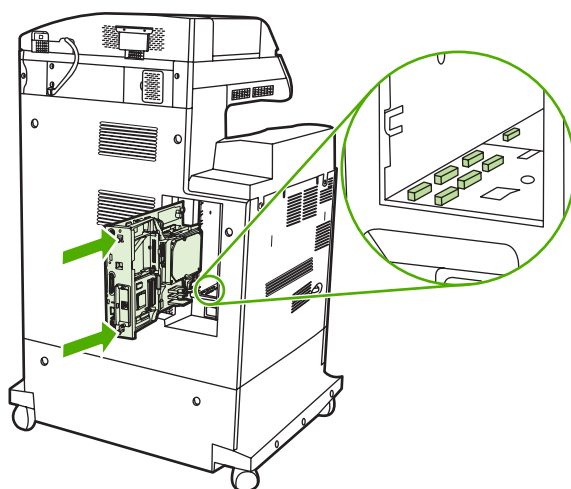


注意 ファックス アクセサリには、静電気の放電 (ESD) で壊れやすい部品が使用されています。ファックス アクセサリを静電気防止袋から取り出してインストールするときは、MFP の金属枠に接続されている静電気防止用リストストラップなどの静電気防止措置をとるか、または別の手で MFP の金属枠を触ります。

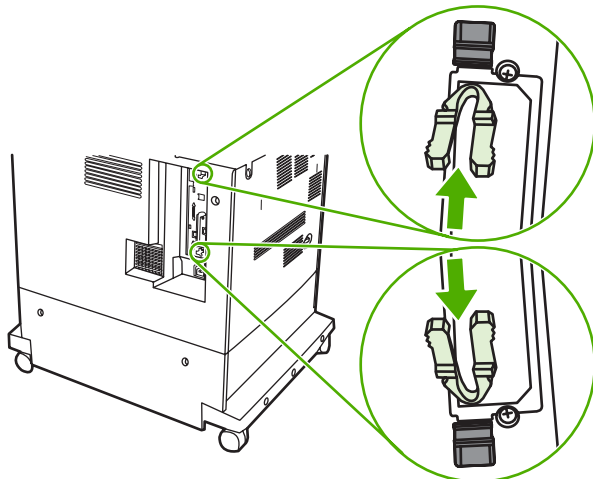
8. ファックス アクセサリを差し込みます。ファックス アクセサリがフォーマッタにしっかりと接続されていることを確認します。



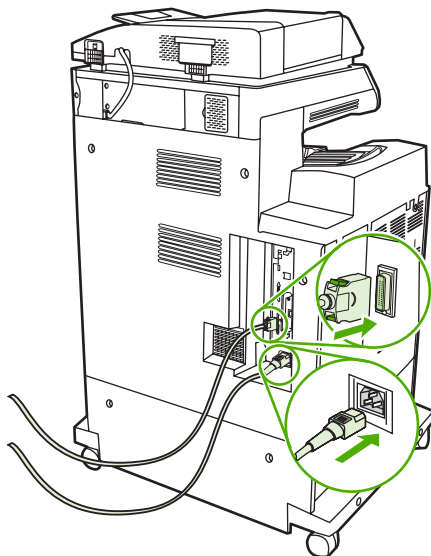
9. 上下の溝にフォーマッタ ボードを合わせ、ボードを MFP 側へスライドします。



10. フォーマッタ圧力解放タブをつかんでフォーマッタに押し入れ、挿入し直します。



11. すべてのケーブルを再び接続し、MFP の電源を入れます。



電話回線へのファックス アクセサリの接続

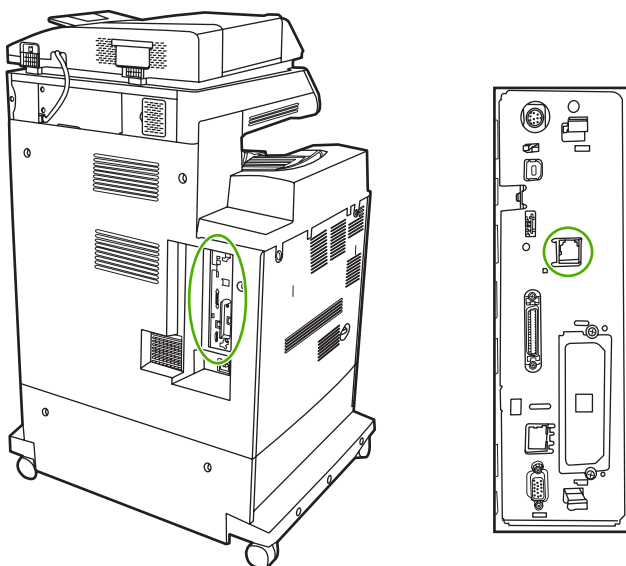
ファックス アクセサリを電話回線に接続するときはファックス アクセサリ専用にし、他の機器とは併用しないでください。また、この電話回線はアナログ ラインを使用してください。デジタル PBX システムに接続されると、正しく機能しません。電話回線がアナログかデジタルか不明な場合は、電話会社にお問い合わせください。



注記 アクセサリが正しく機能するように、HP では、ファックス アクセサリに付属の電話コードを使用することをお勧めします。

次の手順に従って、ファックス アクセサリを電話ジャックに接続します。

1. ファックス アクセサリ キットに付属している電話コードを探します。電話コードの一方の端をフォーマッタ上にあるファックス アクセサリの電話ジャックに接続します。カチッと音がするまで押し込みます。



注意 フォーマッタの中央にあるファックス アクセサリ ポートに電話回線が接続されていることを確認します。フォーマッタの下部にある HP Jetdirect ポートには、電話回線を接続しないでください。

2. 電話コードのもう一方の端を壁の電話ジャックに接続します。カチッと音がするまで押し込みます。

ファックス機能の設定および使用

ファックスを使用する前に、コントロール パネル メニューを使用して設定する必要があります。ファックス アクセサリの設定および使用方法、さらにトラブルシューティングの詳細については、付属の『HP LaserJet Analog Fax Accessory 300 ユーザーズ ガイド』を参照してください。

デジタル ファックス送信

オプションの HP Digital Sending Software をインストールすると、デジタル ファックス送信が可能になります。このソフトウェアの注文方法については、<http://www.hp.com/go/digitalsending> をご覧ください。

デジタル ファックス送信では、MFP を電話回線に直接接続する必要はありません。その代わりに、MFP は次のいずれかの方法でファックスを送信することができます。

- **LAN ファックス**は、サードパーティのファックス プロバイダを通じてファックスを送信します。
- **Microsoft Windows 2000 ファックス**は、コンピュータ上のファックス モデムおよびデジタル送信モジュールで、ターンキー ゲートウェイ ファックスとして機能します。
- **インターネット ファックス**は、インターネット ファックス プロバイダを通じてファックスを処理します。ファックスは、通常のファックス機器またはユーザーの電子メールに送信されます。

デジタル ファックスの使用の詳細については、HP Digital Sending Software に付属している説明書を参照してください。

8 カラー

この章では、HP Color LaserJet 4730mfp シリーズを使用して美しいカラー印刷を行う方法について説明します。また、最適なカラー印刷を出力する方法についても説明します。次の項目について説明します。

- [カラーの使用](#)
- [カラー マッチング](#)
- [Windows コンピュータでのプリンタのカラー オプションの管理](#)
- [カラー印刷の制限](#)
- [Macintosh コンピュータでのプリンタのカラー品質の管理](#)

カラーの使用

HP Color LaserJet 4730mfp シリーズでは、MFP セットアップ後にすぐに美しいカラー印刷が可能です。HP Color LaserJet 4730mfp は、さまざまな自動カラー処理機能を組み合わせて、一般的なオフィスユーザー向けに優れた色彩を提供するだけでなく、色の再現性に厳密なプロフェッショナル向けの高機能ツールも用意しています。

HP Color LaserJet 4730mfp シリーズには、綿密に設計されテスト済みのカラー テーブルが用意されており、印刷可能なすべての色を簡単かつ正確に再現できます。

HP ImageREt 3600

HP ImageREt 3600 プリント テクノロジは HP だけが開発した革新的なテクノロジー システムであり、優れた印字品質を提供します。HP ImageREt システムは、進化したテクノロジーを統合し印刷システムの各要素を最適化することにより、業界から一線を画したものになっています。HP ImageREt の一部のカテゴリは、ユーザーのさまざまなニーズに対応するために開発されました。

このシステムの基礎は、イメージ エンハンスメント、取り扱いやすいサプライ品、高解像度イメージングなどの中核となるカラー レーザー テクノロジから構成されています。ImageREt のレベルが上がリカテゴリが増加して、より進化したシステムでできるようにこれらの中核テクノロジーが改善され、さらにその他のテクノロジーが統合されています。HP では、一般的なオフィス用ドキュメントとマーケティング用カタログ向けに優れたイメージ エンハンスメントを提供しています。HP カラー レーザー 高光沢紙での印刷に最適な HP Image REt 3600 は、さまざまな環境条件に対応しており、あらゆる使用可能メディアで卓越したプリント品質を実現します。

カラー ロックアウト

カラー ロックアウト機能は、外部ユーザーによるカラー コピーの枚数を制限するための効果的な方法をシステム管理者に提供します。この機能を有効にすると、**カラー コピー** ボタンが薄く表示され、カラー コピーを選択するオプションがスクリーン上で使用不可になります。このオプションを選択すると、すべてのコピーはモノクロで印刷されます。

この機能は、システム管理者によって設定されたパスワードで管理されます。管理者は MFP コントロール パネルでこの機能を有効化あるいは無効化できます。**[System Setup]** メニューの **[Color Copy]** オプションにロックを設定してください。カラー ロックアウト機能は内蔵 Web サーバーまたは WebJetadmin を通じて有効または無効にできます。



注記 カラー コピー ロックアウト機能をコントロール パネル上で有効にすると直ちに適用されます。内蔵 Web サーバーまたは WebJetadmin を通じて有効または無効にされた場合は、管理者が **Reset** キーを押すか、MFP が待機状態になるまで適用されません。

コントロール パネルでのカラー コピー ロックアウトの有効化

ここではカラー コピー ロックアウト機能を有効にし、**[Copy]** 画面上の **Color Copies** ボタンを無効にする手順を説明します。

1. **Menu** ボタンを押して **[MENUS]** を表示します。
2. **CONFIGURE DEVICE** を押します。
3. **SYSTEM SETUP** を押します。
4. **COPY/SEND SETTINGS** を押します。

5. **COLOR COPY OPTION** を押します。
6. **ENABLE** を押します。

コントロール パネルでのカラー コピー ロックアウトの無効化

ここではカラー コピー ロックアウト機能を無効にし、[Copy] 画面上の **Color Copies** ボタンを元に戻す手順を説明します。

1. **Menu** ボタンを押して **[MENUS]** を表示します。
2. **CONFIGURE DEVICE** を押します。
3. **SYSTEM SETUP** を押します。
4. **COPY/SEND SETTINGS** を押します。
5. **COLOR COPY OPTION** を押します。
6. **DISABLE** を押します。

用紙選択

最良のカラーおよび画質を得るには、MFP メニューまたはフロント パネルから適切な用紙タイプを選択することが重要です。「[印刷メディアの選択](#)」を参照してください。

カラー オプション

カラー オプションを使用すると、さまざまなタイプのドキュメントに最適化されたカラー出力を自動的に生成できます。

カラー オプションではオブジェクト タギングが採用されています。オブジェクト タギングによって、最適な色とハーフトーン設定を、ページの各種オブジェクト (テキスト、グラフィック、および写真) に使用できるようになります。プリンタ ドライバでは、ページにどのオブジェクトを使用するかを指定したり、各オブジェクトを最高の品質で印刷できるハーフトーンおよび色設定を指定したりすることができます。最適化されたデフォルト設定値でオブジェクト タギングを使用すると、美しい色を即座に再現できます。

Windows 環境では、プリンタ ドライバの **[Color]** タブに、**[Automatic]** および **[Manual]** カラー オプションがあります。

詳細については、「[プリンタドライバ](#)」または「[Macintosh コンピュータ用プリンタ ドライバ](#)」を参照してください。

sRGB

sRGB (Standard red-green-blue) はそもそも、モニタ、入力デバイス (スキャナ、デジタル カメラ)、出力デバイス (MFP、プリンタ、プロッタ) の共通カラー言語として HP および Microsoft によって開発された国際色彩規格です。sRGB は、HP 製品、Microsoft オペレーティング システム、Web、および現在市販されているほとんどのオフィス用ソフトウェアで採用されている標準的な色空間です。また、sRGB は、現在の代表的な Windows コンピュータ モニタで使用されており、ハイビジョン テレビのコンバージェンスの規格です。



注記 画面に表示される色は、使用するモニタのタイプや部屋の照明などの要因の影響を受けます。詳細については、「[カラー マッチング](#)」を参照してください。

Adobe PhotoShop、CorelDRAW™、Microsoft Office、およびその他のアプリケーションの最新バージョンでは、色彩信号の伝達に sRGB が採用されています。また、Microsoft オペレーティング システムの標準色空間である sRGB は、一般ユーザーでも色彩をより正確に一致させることのできる一般的な精細度を利用してアプリケーションとデバイス間の色彩情報をやり取りする方法として、広く採用されるようになりました。sRGB を採用することによって、色彩の専門知識がなくても、MFP、コンピュータ モニタ、および他の入力デバイス (スキャナ、デジタル カメラ) 間で色を自動的に一致させることができます。

4 色印刷 – CMYK

シアン、マゼンタ、イエロー、および黒 (CMYK) は印刷プレスで使用されるインクです。そのプロセスは、4 色印刷とも呼ばれます。CMYK データ ファイルは通常、グラフィック アート (印刷および出版) 環境で使用され、その環境に由来します。MFP は CMYK を PS プリンタ ドライバを通じて受け入れます。MFP の CMYK カラー レンダリングは、テキストやグラフィックに豊かな色彩を再現するために設計されています。

CMYK インク セット エミュレーション (PostScript のみ)

MFP の CMYK カラー レンダリングは、標準的なオフセット プレスのインク セットのように作成できます。画像やドキュメントで使用される CMYK カラーの値が MFP に適していない場合もあります。たとえば、ドキュメントが別のプリンタ用に最適化されている場合などです。最良の結果を得るには、CMYK 値を HP Color LaserJet 4730mfp に適合させる必要があります。プリンタ ドライバから適切なカラー入力プロファイルを選択してください。

- **[Default CMYK+]** : HP の CMYK+ テクノロジーにより、大半の印刷ジョブで最適な印刷結果を得ることができます。
- **[Specification for Web Offset Publications (SWOP)]** : 米国およびその他の国/地域で一般的なインクです。
- **[Euroscale]** : ヨーロッパおよびその他の国/地域で一般的なインクです。
- **[Dainippon Ink and Chemical (DIC)]** : 日本およびその他の国/地域で一般的なインクです。
- **[Custom profile]** : 別の HP Color LaserJet プリンタをエミュレートする場合など、カスタムの入力プロパティファイルを使用してカラー出力を正確に制御するには、このオプションを選択します。カラー プロファイルは <http://www.hp.com> からダウンロードできます。

カラー マッチング

プリンタとコンピュータのモニタが異なるカラー生成方法を採用しているため、MFP の出力カラーとユーザーのコンピュータ画面のカラー マッチング プロセスは非常に複雑になります。モニタは、RGB (赤、緑、青) カラー処理を利用して光ピクセルで色を表示し、プリンタは、CMYK (シアン、マゼンタ、イエロー、黒) 処理で色を印刷します。

印刷物の色をモニタに表示される色と一致させる機能は、いくつかの要因の影響を受けます。これらの要因には次のものがあります。

- 印刷メディア
- プリンタの着色剤 (インクやトナーなど)
- 印刷プロセス (インクジェット、プレス、またはレーザー方式など)
- 上部からの照明
- 色の認識の個人差
- ソフトウェア アプリケーション
- プリンタ ドライバ
- コンピュータのオペレーティング システム
- モニタ
- ビデオ カードおよびドライバ
- 動作環境 (湿度など)

画面に表示される色が印刷物の色と完全に一致しない場合は、上記の要因が考えられます。

ほとんどのユーザーの場合、画面の色と MFP の出力カラーを一致させる最適な方法は、sRGB カラーで印刷することです。

PANTONE® カラー マッチング

PANTONE® にはいくつかのカラー マッチング システムがあります。PANTONE® カラー マッチング システムは非常にポピュラーで、ソリッド インクを使用してさまざまな色調と色合いを生成します。この MFP での PANTONE® カラー マッチング システムの使用方法については、<http://www.hp.com/support/clj4730mfp> をご覧ください。



注記 生成された PANTONE® カラーは PANTONE の標準色と一致しない場合があります。正確な色については PANTONE の最新の出版物で確認してください。PANTONE® およびその他の Pantone, Inc. の商標は、Pantone, Inc. の所有物です。© Pantone, Inc., 2000.

色見本のカラー マッチング

色見本および標準のカラー基準に MFP 出力を一致させるプロセスは複雑です。一般的に、色見本の作成にシアン、マゼンタ、イエロー、および黒のインクが使用されている場合は、正確なカラー マッチングを得ることができます。通常、これらはプロセス色見本と呼ばれます。

色見本の中にはスポット カラーから作成されるものもあります。スポット カラーは特別に作成された色です。これらのスポット カラーの多くは MFP の範囲外です。ほとんどのスポット色見本には、スポット カラーに CMYK 近似を提供するプロセス色見本が付属しています。

ほとんどのプロセス色見本では、色見本の印刷に使用されたプロセス標準が指定されます。通常は SWOP、EURO、または DIC です。プロセス色見本に最適なカラー マッチングを得るには、MFP メニューから対応するインク エミュレーションを選択します。プロセス標準がわからない場合は、SWOP インク エミュレーションを使用します。

カラー サンプルの印刷

カラー サンプルを使用するには、目的の色に最もよく一致するカラー サンプルを選択します。アプリケーションでサンプルのカラー値を使用し、一致させる対象を記述します。カラーは、使用する用紙のタイプおよびソフトウェア アプリケーションによって異なります。カラー サンプルの使用方法については、<http://www.hp.com/support/clj4730mfp> をご覧ください。

次の手順で、コントロール パネルを使用して MFP でカラー サンプルを印刷します。

1. **Menu** ボタンを押して **[MENUS]** を表示します。
2. **INFORMATION** を押します。
3. **PRINT CMYK SAMPLES** または **PRINT RGB SAMPLES** を押します。これらのページが印刷されます。

Windows コンピュータでのプリンタのカラー オプションの管理

カラー オプションを [自動] に設定すると、最も一般的な印刷条件での印刷品質が最高になります。ただし、文書によってはカラー オプションを手動で設定した方がきれいな文書を印刷できます。たとえば、多くの画像や文書を含む製品カタログをプリンタ ドライバにリストされていないメディア タイプに印刷する場合などです。

Windows では、グレースケールで印刷したり、プリンタ ドライバで **[カラー]** タブの設定値を使用してカラー オプションを変更できます。

プリンタ ドライバへのアクセス方法については、「[プリンタ ドライバへのアクセス](#)」

グレースケールでの印刷

プリンタ ドライバから **[グレースケールで印刷]** オプションを選択すると、文書が白黒で印刷されます。

RGB カラー (色域)

[RGB カラー] 設定には次の 5 つの値があります。

- **[デフォルト (sRGB)]** は、ほとんどの印刷に適しています。この設定により、プリンタは RGB カラーを sRGB として解釈します。sRGB は、Microsoft および World Wide Web 機関 (WWW) 認定の規格です。
- **[イメージの最適化 (sRGB)]** は、.GIF や .JPEG ファイルなどのビットマップ画像が内容の大半を占める文書に適しています。この設定により、プリンタは sRGB のビットマップ画像のレンダリングに最適なカラー マッチングを使用します。テキストやベクタ グラフィックスには効果はありません。光沢のあるメディアに印刷するときはこの設定を使用すると、よりきれいに仕上がります。
- **[AdobeRGB]** は、sRGB ではなく *AdobeRGB* カラー スペースを使用する文書の場合に選択します。たとえば、画像を AdobeRGB で撮影するデジタル カメラや、Adobe Photoshop で作成した文書で AdobeRGB カラー スペースが使用されています。AdobeRGB を使用するプロ向けのソフトウェア プログラムから印刷するときは、ソフトウェア プログラムのカラー マネジメント機能をオフにして、プリンタ ソフトウェアでカラー スペースを管理できるようにする必要があります。
- **[なし]** は、未処理のデバイス モードで RGB データを印刷するようにプリンタに指示します。このオプションを使用して文書を正しくレンダリングするには、作業しているプログラムまたはオペレーティング システムで色を管理する必要があります。



注意 このオプションは、ソフトウェア プログラムまたはオペレーティング システムで色を管理する操作に熟知している場合にのみ使用してください。

- **[ユーザー定義プロファイル]** は、他のプリンタで出力した印刷物を複写する場合や、セピア トーンなどの特殊効果を使用する場合に指定します。この設定により、プリンタはカラー出力をより正確に予測して制御するために、ユーザー定義の入力プロファイルを使用します。ユーザー定義プロファイルは www.hp.com からダウンロードできます。

色の自動または手動の調整

[自動] カラー調整オプションを使用すると、文書の各要素に使用する無彩色のグレー カラー処理、ハーフトーン、およびエッジ強調を最適化できます。詳細については、「[プリンタドライバ](#)」または「[Macintosh コンピュータ用プリンタ ドライバ](#)」を参照してください。



注記 [自動] はデフォルト設定です。この設定は、ほとんどのカラー印刷の文書にお勧めします。

[手動] カラー調整オプションを使用すると、テキスト、グラフィックス、および写真の無彩色のグレー カラー処理、ハーフトーン、エッジ強調をユーザーが調整できます。[手動] カラー オプションにアクセスするには、[カラー] タブで、[手動] - [設定] を選択します。

手動カラー オプション

エッジコントロール、ハーフトーン、グレー中間色のカラー オプションを手動で調整できます。

エッジコントロール

[エッジコントロール] 設定は、エッジのレンダリング方法を指定します。エッジ コントロールには、適合ハーフトーン設定、REt、およびトラッピングという 3 つのコンポーネントがあります。適合ハーフトーン設定はエッジの鮮明度を上げます。トラッピングは、隣接するオブジェクトのエッジをわずかに重ね合わせることによって、不正確な色配置の影響を抑えます。カラー REt オプションは、エッジを滑らかにします。



注記 オブジェクト間に白い隙間が空いたり、エッジにシアン、マゼンタ、またはイエローのわずかな影が見られる場合は、エッジ コントロール設定を選択してトラッピング レベルを高くします。

エッジコントロールには次の 4 つのレベルがあります。

- **[最大]** は、最も強力なトラッピング設定です。適合ハーフトーン設定とカラー REt 設定はオンです。
- **[標準]** は、デフォルトのトラッピング設定です。トラッピングは中程度です。適合ハーフトーン設定とカラー REt 設定はオンです。
- **[薄め]** では最低レベルのトラッピングが設定されます。適合ハーフトーン設定とカラー REt 設定はオンです。
- **[オフ]** は、トラッピング、適合ハーフトーン設定、カラー REt をオフにします。

ハーフトーン オプション

ハーフトーン オプションは、カラー出力の解像度と鮮明度を制御します。テキスト、グラフィックス、写真のハーフトーン設定は個別に選択できます。ハーフトーン オプションには、**[スムーズ]** および **[詳細]** の 2 つがあります。

- **[スムーズ]** オプションは、塗りつぶされた領域が広範囲にわたっている場合に適しています。また、細かいカラー グラデーションを平滑化することによって写真の品質も高くなります。均一で滑らかな結果を優先する場合は、このオプションを選択してください。
- **[詳細]** オプションは、線または色を厳密に区別しなければならないテキストやグラフィックス、または、パターンや細部が含まれている画像に適しています。鮮明なエッジおよび細部を優先する場合は、このオプションを選択してください。



注記 一部のアプリケーションでは、テキストまたはグラフィックスはビットマップ画像に変換されます。このような場合に **[写真]** のカラー オプションを設定すると、テキストとグラフィックスの表示にも影響を及ぼします。

グレー中間色

[グレー中間色] 設定は、テキスト、グラフィックス、および写真で使用するグレー色を生成するための方法を指定します。

[グレー中間色] 設定には 次の 2 つの値があります。

- **[黒のみ]** は、黒いトナーだけを使用して無彩色 (グレーと黒) を印刷します。これによって、カラー印刷でなく白黒印刷されます。
- **[4 色]** は、全色のトナーを組み合わせることによって無彩色 (グレーと黒) を生成します。この方法では、有彩色への変化がよりスムーズで、深みのある黒が生成されます。



注記 一部のアプリケーションでは、テキストまたはグラフィックスはラスター画像に変換されます。このような場合に **[写真]** のカラー オプションを設定すると、テキストとグラフィックスの表示にも影響を及ぼします。

カラー印刷の制限

HP Color LaserJet 4730mfp には、ネットワーク プリンタ用の **[RESTRICT COLOR USE]** 設定が備わっています。ネットワーク管理者は、この設定を使用してカラー印刷機能へのユーザー アクセスを制限すると、カラー トナーを節約することができます。カラーで印刷できない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

カラー印刷を制限する方法の詳細については、Web サイト <http://www.hp.com/go/coloraccess> をご覧ください。

1. **Menu** ボタンを押してメニューを表示します。
2. **[PRINT QUALITY]** にスクロールして押します。
3. **[SYSTEM SETUP]** にスクロールして押します。
4. **[RESTRICT COLOR USE]** にスクロールして押します。
5. 次のいずれかのオプションにスクロールして選択します。
 - **[DISABLE COLOR]** : どのユーザーもプリンタのカラー機能を使用できません。
 - **[ENABLE COLOR]** : すべてのユーザーがプリンタのカラー機能を使用できます (デフォルト設定)。
 - **[COLOR IF ALLOWED]**: ネットワーク管理者は、この設定を使用すると、カラー印刷機能の使用を特定のユーザーにのみ許可することができます。カラー印刷を実行できるユーザーを指定するには、内蔵 Web サーバーを使用します。
6. **OK** を押します。

ネットワーク管理者は、色を使用するジョブのログを印刷することにより、特定の HP Color LaserJet 4730mfp における色の使用を監視することができます。

Macintosh コンピュータでのプリンタのカラー品質の管理

通常、カラー品質を [自動] に設定すると、通常の印刷条件での印刷品質が最高になります。ただし、書類によっては、カラー品質を手動で設定した方がきれいに仕上がります。このような書類の例としては、画像を多く含むマーケティング用パンフレットやプリンタ ドライバにリストされていない種類の用紙に印刷する場合などがあります。

[印刷] ダイアログ ボックスの **[カラー品質]** ポップアップ メニューで、グレースケールでの印刷やカラー品質の変更ができます。

プリンタ ドライバへのアクセス方法の詳細については、[プリンタ ドライバへのアクセス](#)を参照してください。

グレースケールでの印刷

プリンタ ドライバから **[グレー印刷]** オプションを選択すると、書類が黒とグレー階調で印刷されます。このオプションは、スライドやハードコピーの試し刷りや、コピーまたはファックス送信するカラーの書類の印刷に役立ちます。

手動カラー オプション

手動カラー調整を使用すると、印刷ジョブの **[カラー]** (または **[カラー マップ]**) および **[ハーフトーン]** オプションを調整できます。

ハーフトーン オプション

ハーフトーン オプションは、カラー出力の解像度と鮮明度を制御します。テキスト、グラフィックス、写真のハーフトーン設定は個別に選択できます。ハーフトーン オプションには、**[テキスト]** および **[詳細]** の 2 つがあります。

- **[テキスト]** オプションは、塗りつぶされた領域が広範囲にわたっている場合に適しています。また、細かいカラー グラデーションを滑らかにすることによって、写真の品質も上がります。均一で滑らかな仕上がりを優先する場合は、このオプションを選択してください。
- **[詳細]** オプションは、線または色を厳密に区別しなければならないテキストやグラフィックス、または、パターンや細かい描写が含まれている画像に適しています。鮮明なエッジおよび細部を優先する場合は、このオプションを選択してください。



注記 一部のソフトウェア プログラムでは、テキストまたはグラフィックスはラスター画像に変換されます。このような場合は、**[写真]** 設定を使用して、テキストおよびグラフィックスを制御できます。

グレー中間色

[グレー中間色] 設定は、テキスト、グラフィックス、および写真で使用するグレー色を生成するための方法を指定します。

[グレー中間色] 設定には 次の 2 つの値があります。

- **[黒のみ]** は、黒いトナーだけを使用して無彩色 (グレーと黒) を生成します。これによって、カラー印刷でなく白黒印刷されます。
- **[4 色]** は、全色のトナーを組み合わせることによって無彩色 (グレーと黒) を生成します。この方法では、有彩色への変化がよりスムーズで、深みのある黒が生成されます。



注記 一部のソフトウェア プログラムでは、テキストまたはグラフィックスはラスター画像に変換されます。このような場合は、**[写真]** 設定を使用して、テキストおよびグラフィックスを制御できます。

RGB カラー

[RGB カラー] 設定には、次の 5 つの値を指定できます。

- 通常の印刷には、**[高速 (sRGB)]** を選択します。この設定は、RGB カラーを sRGB として解釈するようにプリンタに指示します。sRGB は、Microsoft および World Wide Web 機関 (WWW) 認定の規格です。
- **[画像最適化 sRGB]** は、.GIF や .JPEG ファイルなどのビットマップ画像が内容の大半を占める書類に適しています。この設定は、ビットマップ画像の sRGB をレンダリングする場合に最適なカラーを使用するようにプリンタに指示します。この設定は、テキストやベクトルベースのグラフィックスには効果がありません。光沢紙でこの設定を使用すると、最大の効果が得られます。
- sRGB の代わりに AdobeRGB カラー スペースを使用する書類には、**[Adobe RGB]** を選択します。たとえば、一部のデジタル カメラでは画像を AdobeRGB で取り込み、Adobe PhotoShop で作成した書類では AdobeRGB カラー スペースを使用します。AdobeRGB を使用する専門家向けソフトウェア プログラムから印刷する場合は、ソフトウェア プログラムのカラー マネジメント機能をオフにして、プリンタ ソフトウェアでカラー スペースを管理できるようにする必要があります。
- **[なし]** を指定すると、RGB データをソース デバイス モードで印刷するようにプリンタに指示します。このオプションを選択した場合、書類を適切にレンダリングするには、使用しているプログラムまたはオペレーティング システムでカラーを管理する必要があります。



注意 このオプションは、ソフトウェア プログラムまたはオペレーティング システムでのカラー管理の手順に精通している場合のみ使用してください。

- 別のプリンタからの印刷結果を複製する場合や、セピア トーンなどの特殊効果を使用する場合は、**[カスタム プロファイル]** を指定します。この設定は、カスタム入力プロファイルを使用してカラー出力をより正確に予測およびコントロールするようプリンタに指示します。カスタム プロファイルは www.hp.com からダウンロードできます。

輪郭コントロール

[輪郭コントロール] 設定は、輪郭部分のレンダリング方法を指定します。輪郭コントロールには、適合ハーフトーン設定、REt、およびトラッピングという 3 つのコンポーネントがあります。適合ハーフトーン設定は輪郭の鮮明度を上げます。トラッピングは、隣接するオブジェクトの輪郭をわずかに重ね合わせることによって、カラー プレーンのずれの影響を抑えます。カラー REt オプションは、輪郭を滑らかにします。



注記 オブジェクト間に白い隙間が空いたり、輪郭部分にシアン、マゼンタ、イエローの影がわずかに見える場合は、トラッピング レベルを上げる輪郭コントロール設定を選択してください。

エッジコントロールには次の 4 つのレベルがあります。

- **[最大]** は、最も強力なトラッピング設定です。適合ハーフトーン設定とカラー REt 設定はオンです。
- **[標準]** は、デフォルトのトラッピング設定です。トラッピングは中程度です。適合ハーフトーン設定とカラー REt 設定はオンです。

- **【薄め】**では最低レベルのトラッピングが設定されます。適合ハーフトーン設定とカラー REt 設定はオンです。
- **【オフ】**は、トラッピング、適合ハーフトーン設定、カラー REt をオフにします。

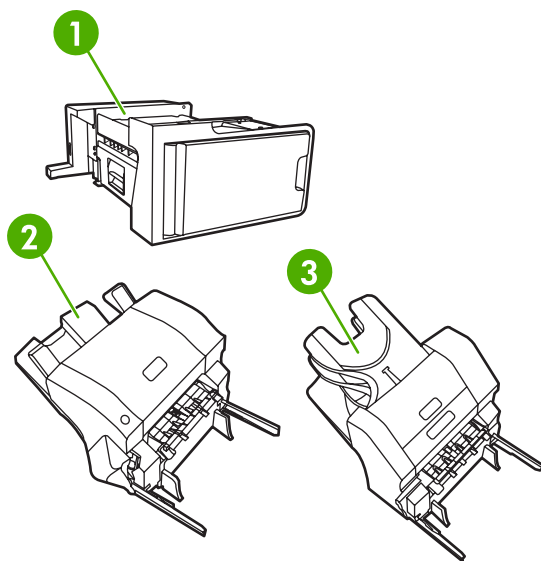
9 オプションの出力デバイス

この章には、次の出力デバイスと入力デバイスの使用方法およびトラブルシューティングに関する情報が記載されています。

- [出力アクセサリ ブリッジ](#)
- [3 ビン メールボックス](#)
- [ステイプラ/スタッカ アクセサリ](#)
- [出力アクセサリのトラブルシューティング](#)

出力アクセサリ ブリッジ

3 ピン メールボックスまたはステイブラ/スタッカが MFP に取り付けられている場合は、出力アクセサリ ブリッジが必要です。出力アクセサリ ブリッジは、MFP と出力デバイスをつなぐ経路です。出力アクセサリ ブリッジの取り付け方法の詳細については、『インストール ガイド』を参照してください。出力アクセサリ ブリッジの紙詰まりを解除する方法については、「[紙詰まりの除去](#)」を参照してください。



- | | |
|---|--------------|
| 1 | 出力アクセサリ ブリッジ |
| 2 | ステイブラ/スタッカ |
| 3 | 3 ピン メールボックス |

3 ビン メールボックス

3 ビン メールボックスには、500 枚までの用紙を収容できるビンが 1 つと、それぞれ 100 枚までの用紙を収容できるビンが 2 つ付いており、合計で 700 枚分の容量があります。

3 ビン メールボックスには、メールボックス モード、スタッカ モード、機能別モードの 3 つの動作モードがあります。各モードについては、次の各セクションで説明します。

メールボックス モード

ビンを利用者またはユーザー グループに割り当てることができます。割り当てたユーザーまたはユーザー グループが送信するすべての印刷、コピー、およびファックスのジョブは、指定したビンに送信されます。各ユーザーはプリンタ ドライバまたはコントロール パネルでビンを選択できます。

指定したビンがいっぱいになると、印刷が停止します。印刷を継続するには、ビン为空にする必要があります。

スタッカ モード

3 ビン メールボックスのビンを結合して、スタッカとして機能させることができます。75 g/m² のボンド紙を 700 枚まで収容できます。ジョブはまず下部ビンに送信され、次に中間ビンに送信され、その後上部ビンに送信されます。500 枚以上の用紙が必要な印刷ジョブでは、下部ビンがいっぱいになったら、引き続き中間ビンと上部ビンに収容されます。

すべてのビンがいっぱいになると、印刷が停止します。印刷を継続するには、上部ビンから用紙を取り除く必要があります。上部ビンから用紙を取り除く前に下部ビンまたは中間ビンから用紙を取り除いた場合、印刷が再開されません。



注記 上部ビンから取り除いた用紙をビンに戻さないでください。いったん取り除いた用紙をビンに戻すと、正しくない順序でページが積み重ねられます。

3 ビン メールボックスがスタッカ モードの場合、ジョブが特定のビンに送信されるように指定することはできません。

機能別モード

印刷ジョブ、コピー ジョブ、ファックスなどの特定の MFP 機能から送信されたジョブを受信するようにビンを設定できます。たとえば、すべてのコピー ジョブが上部ビンに送信されるように指定できます。

指定したビンがいっぱいになると、MFP の機能が停止します。印刷、コピー、またはファックスを継続するには、ビン为空にする必要があります。

3 ビン メールボックス/ステイプラ/スタッカを認識させるためのプリンタ ドライバの設定

このセクションでは、3 ビン メールボックスとステイプラ/スタッカについてプリンタ ドライバを設定する方法に関する情報が記載されています。

Windows

1. [プリンタ] フォルダを開きます。
2. [HP Color LaserJet 4730mfp] を選択します。

3. [ファイル] メニューで、[プロパティ] をクリックします。
4. [デバイスの設定] タブを選択します。
5. 次のいずれかの方法で、ステイブラ/スタッカを選択します。
 - [Automatic Configuration] にスクロールダウンして、[Update Now] を選択し、[Update Now] をクリックします。
 - [Accessory Output Bin] にスクロールダウンして、[HP HP 500 sheet stapler/stacker] または [HP 700 Sheet 3-bin Mailbox] を選択し、[Apply] をクリックします。

Macintosh

1. [Printer Center] ユーティリティを開きます。
2. [HP Color LaserJet 4730] を選択します。
3. [ファイル] メニューの [情報を見る (command + i)] をクリックします。
4. [Installable Options] タブを選択します。
5. [Accessory Output Bins] にスクロールダウンして、[HP 500 sheet stapler/stacker] または [HP 700 Sheet 3-bin Mailbox] を選択します。
6. [Apply Changes] をクリックします。

コントロール パネルで動作モードを選択するには

1. [Menu] を押します。
2. CONFIGURE DEVICE にスクロールして押します。
3. MBM-3 CONFIGURATION にスクロールして押します。
4. OPERATION MODE を押します。使用する動作モードを選択します。
5. OK を押します。

コントロール パネルで排紙ビンを設定するには (メールボックス モードと機能別モード)

1. Menu を押します。
2. CONFIGURE DEVICE にスクロールして押します。
3. PRINTING、COPYING、または FAX を押します。
4. PAPER DESTINATION を押します。使用する排紙ビンを選択します。
5. OK を押します。

プリンタ ドライバで動作モードを選択するには (Windows 2000 および Windows XP)

1. [スタート] ボタンをクリックして [設定] をポイントし、[プリンタ] (Windows 2000 の場合) または [プリンタとファックス] (Windows XP の場合) をクリックします。
2. HP 製品のアイコンを右クリックし、[プロパティ] または [印刷設定] をクリックします。

3. **[デバイスの設定]** タブをクリックします。

4. 次のいずれかの操作を行います。

自動設定を行うには、**[Installable Options]**にある**[Automatic Configuration]**リストの**[Update Now]**をクリックします。

または

手動設定を行うには、**[Installable Options]**にある**[Accessory Output Bin]**リストで適切な動作モードを選択します。

5. 設定値を保存するには、**[OK]**をクリックします。

Windows 98、Windows Me、および Windows NT 4.0

1. **[スタート]** ボタンをクリックして**[設定]**をポイントし、**[プリンタ]**をクリックします。

2. HP 製品のアイコンを右クリックし、**[プロパティ]** (Windows 98 および Windows ME の場合)、または**[ドキュメントのデフォルト]** (NT 4.0 の場合) をクリックします。

3. 次のいずれかの操作を行います。

プリンタ制御言語 (PCL) プリンタ ドライバを使用している場合： 自動設定を行うには、**[Configure]** タブをクリックし、**[Update Now]** をクリックします。手動設定を行うには、**[Optional Paper Destinations]** リストで適切な動作モードを選択します。

または

PostScript (PS) プリンタ ドライバを使用している場合： **[デバイス オプション]** タブ (Windows 98 および Windows Me の場合) または **[デバイスの設定]** タブ (Windows NT 4.0 の場合) をクリックします。**[Installable Options]**にある**[Accessory Output Bin]**リストで適切な動作モードを選択します。

4. 設定値を保存するには、**[OK]**をクリックします。

Mac OS X

1. **[Apple]** メニューの**[システム環境設定]**をクリックします。

2. **[システム環境設定]** ボックスの**[Print and Fax]**をクリックします。

3. **[Set Up Printers]** をクリックします。**[Printer List]**が表示されます。

4. HP 製品を選択し、**[Printers]** メニューの**[Show Info]**をクリックします。

5. **[Installable Options]** パネルを選択します。

6. **[Accessory Output Bins]** リストで**[HP 3-Bin Mailbox]**を選択します。

7. **[Mailbox Mode]** リストで、適切な動作モードを選択し、**[Apply Changes]**をクリックします。

ステイブラ/スタッカ アクセサリ

オプションのステイブラ/スタッカを使用して、30 枚までの 75 g/m² 用紙のジョブにステイブラを使用できます。ステイプルで留めることができる用紙のサイズは、A4、レター、リーガル、エグゼクティブ (JIS)、および 8.5 × 13 です。ステイブラには、500 枚までの用紙を収容できます。

- 用紙の重さは、60 ～ 120 g/m² の範囲です。カードストックや光沢紙などの重い用紙をステイプルで留める場合は、20 枚までに制限される場合があります。



注記 オプションのステイブラ/スタッカ アクセサリでは、耐久紙をステイプルで留めることができません。

- ジョブに含まれている用紙が 1 枚しかない場合や、30 枚を超える場合、ジョブは MFP からビンに送信されますが、ステイブラは使用されません。
- ステイブラは普通紙のみをサポートしています。封筒、OHP フィルム、ラベル紙などのその他の印刷メディアはステイプルで留めないでください。

ドキュメントをステイプルで留めるように MFP を設定する場合、ソフトウェアでステイブラを選択します。通常は、プログラムまたはプリンタのドライバでステイブラを選択できます。ただし、プリンタのドライバでのみ利用可能なオプションもあります。選択する画面と方法は、ご使用のプログラムまたはプリンタ ドライバによって異なります。

プログラムまたはプリンタ ドライバでステイブラを選択できない場合は、MFP のコントロール パネルでステイブラを選択します。

ステイプルがなくなっている場合、ステイブラでは印刷ジョブが受け入れられますが、ページはステイプルで留められません。ステイプル カートリッジが空の場合はステイプル オプションを無効にするようにプリンタ ドライバを設定できます。

オプションのステイブラ/スタッカを認識させるためにプリンタ ドライバを設定するには

オプションのステイブラ/スタッカを認識するようにプリンタ ドライバを設定する必要があります。これは 1 回限り必要な設定です。アクセサリを認識するようにドライバを設定する手順は、使用しているオペレーティング システムによって異なります。

Windows

1. **[プリンタ]** フォルダを開きます。
2. **[HP Color LaserJet 4730mfp]** を選択します。
3. **[ファイル]** メニューの **[プロパティ]** をクリックします。
4. **[デバイスの設定]** タブを選択します。
5. 次のいずれかの方法で、ステイブラ/スタッカを選択します。

[Automatic Configuration] にスクロールして、**[Update Now]** を選択し、**[Apply]** をクリックします。

または

[Accessory Output Bin] にスクロールして、**[HP 500 sheet stapler/stacker]** または **[HP 700 sheet 3-bin Mailbox]** を選択し、**[Apply]** をクリックします。

Macintosh

1. [Printer Center] ユーティリティを開きます。
2. [HP Color LaserJet 4730] を選択します。
3. [ファイル] メニューで、[情報を見る (command + i)] をクリックします。
4. [Installable Options] タブを選択します。
5. [Accessory Output Bins] にスクロールして、[HP 500 sheet stapler/stacker] または [HP 700 sheet 3-bin Mailbox] を選択します。
6. [Apply Changes] をクリックします。

印刷したジョブについてコントロール パネルでステイプラを選択するには

1. Menu を押します。
2. CONFIGURE DEVICE にスクロールして押します。
3. STAPLER/STACKER を押します。
4. STAPLE を押します。
5. 使用するオプションとして、NONE または ONE を押します。



注記 MFP のコントロール パネルでステイプラを選択すると、デフォルトの設定が [STAPLE] に変更されます。すべての印刷ジョブにステイプラを使用できる場合があります。ただし、コントロール パネルで変更した設定は、プリンタ ドライバで変更した設定によって上書きされます。

印刷したジョブについてプリンタ ドライバでステイプラを選択するには (Windows)

1. [スタート] をクリックして [設定] をポイントし、[プリンタ] (Windows 2000) または [プリンタとファックス] (Windows XP) をクリックします。
2. HP 製品のアイコンを右クリックし、[プロパティ] または [プリンタの基本設定] をクリックします。
3. [デバイスの設定] タブをクリックします。
4. [Output] タブで、[Staple] の下にあるドロップダウン リストをクリックし、[One-edge] をクリックします。

印刷ジョブについてプリンタ ドライバでステイプラを選択するには (Mac)

プリンタ ドライバで新しいプリセットを作成して、ステイプラを選択します。

1. ドキュメントを開き、[ファイル] メニューの [プリント] をクリックします。
2. 適切なステイプル留めのオプションを選択します。
3. [Presets] ポップアップ メニューの [Save As] をクリックし、プリセットの名前を入力します。

すべてのコピー ジョブについてコントロール パネルでステイプラを設定するには



注記 次の手順を実行すると、すべてのコピー ジョブのデフォルト設定が変更されます。

1. **Menu** を押します。
2. **CONFIGURE DEVICE** にスクロールして押します。
3. **COPYING** を押します。
4. **STAPLE** を押します。
5. 使用するオプションとして、**NONE** または **CORNER** を押します。

1つのコピー ジョブについてコントロール パネルでステイプラを設定するには



注記 次の手順を実行すると、現在のコピー ジョブに限り、ステイプル留めオプションが設定されます。

1. **COPY** を押します。
2. **COPY SETTINGS** を押します。
3. **STAPLE** を押します。
4. 使用するオプションとして、**NONE** または **ONE** を押します。

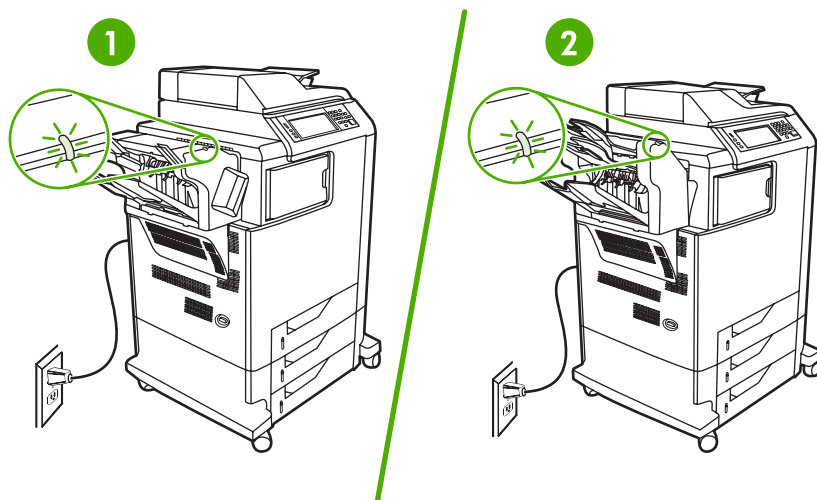
ステイプル カートリッジが空になった時点で処理を停止するか継続するかを MFP に設定するには

ステイプル カートリッジが空になった時点で印刷を停止するかどうか、またはジョブにステイプラを使用しないで印刷を継続するかどうかを指定できます。

1. **Menu** を押します。
2. **CONFIGURE DEVICE** にスクロールして押します。
3. **STAPLER/STACKER** を押します。
4. **STAPLES OUT** を押します。
5. 使用するオプションを押します。
 - ステイプル カートリッジを交換するまですべての印刷を停止する場合は、**Stop** を選択します。
 - ステイプラを使用しないでジョブの印刷を継続する場合は、**CONTINUE** を選択します。

出力アクセサリのトラブルシューティング

3 ビン メールボックスまたはステイプラ/スタッカが出力アクセサリ ブリッジに正しく取り付けられている場合は、アクセサリ上部にある LED が緑色に点灯します。LED が消えている場合、点滅している場合、またはオレンジ色に点灯している場合、問題が発生しています。「[3 ビン メールボックスとステイプラ/スタッカのアクセサリ ランプについて](#)」を参照してください。紙詰まりの解除方法については、「[紙詰まりの除去](#)」を参照してください。



- 1 | ステイプラ/スタッカの LED
- 2 | 3 ビン メールボックスの LED

10 セキュリティ機能

このセクションでは、MFP で利用できる重要なセキュリティ機能について説明します。

- [内蔵 Web サーバーのセキュリティ保護](#)
- [Foreign Interface Harness \(FIH\)](#)
- [Secure Disk Erase](#)
- [ジョブ保存機能](#)
- [DSS 認証](#)
- [コントロール パネル メニューのロック](#)
- [フォーマッタ ケージのロック](#)

内蔵 Web サーバーのセキュリティ保護

内蔵 Web サーバーにアクセスするためのパスワードを割り当てて、権限のないユーザーによって MFP 設定が変更されるのを防ぎます。

内蔵 Web サーバーのセキュリティを保護するには

1. 内蔵 Web サーバーを開きます。「[内蔵 Web サーバーの使用](#)」を参照してください。
2. **[Settings]** タブをクリックします。
3. ウィンドウの左側で **[Security]** をクリックします。
4. **[New Password]** の隣にパスワードを入力し、**[Verify Password]** の隣にパスワードを再入力します。
5. **[Apply]** をクリックします。パスワードを書き留めて、安全な場所に保管します。

Foreign Interface Harness (FIH)

Foreign Interface Harness (FIH) は、MFP のポータルを提供します。FIH およびサードパーティ製装置を使用すると、MFP で作成したコピーに関する情報を追跡できます。

要件

- Windows 9X、Windows Me、Windows 2000、または Windows XP
- Equitrac デバイスや Copitrack デバイスなどのサードパーティ製課金ハードウェア ソリューションへのアクセス

FIH の使用

FIH を使用するには、FIH ソフトウェアをダウンロードしてインストールする必要があります。ソフトウェアは http://www.hp.com/go/clj4730mfp_software から入手できます。このソフトウェアは、FIH ポータルを有効または無効にするために使用します。また、管理者の暗証番号 (PIN) を設定および変更するためにも使用します。

管理者は PIN オプションを使用して FIH を設定し、権限のない変更を防ぐことができます。変更は、PIN が正しく認証された場合にのみ実行できます。



注記 FIH 管理ソフトウェアに割り当てられている PIN を記憶しておくことが重要です。PIN は、FIH を変更する場合に必ず必要になります。

FIH ポータルを有効にするには

1. FIH.EXE ファイルをダブルクリックします。[Foreign Interface Harness] ダイアログ ボックスが表示されます。
2. [OK] をクリックします。
3. [Enable] をクリックします。
4. PIN を以前に入力していない場合は、[No] をクリックします。PIN を以前に入力した場合は、[Yes] をクリックします。[No] をクリックした場合は、PIN を入力して確認し、[OK] をクリックします。[Yes] をクリックした場合は、PIN を入力し、[OK] をクリックします。



注記 PIN には数値を入力する必要があります。

5. 接続タイプに対応するボタンをクリックします。オプションは、[Direct] または [Network] のいずれかです。[Direct] を選択した場合は、MFP ポートを入力します。[Network] を選択した場合は、MFP の IP アドレスとポートを入力します。



注記 MFP の IP アドレスは設定ページに含まれています。設定ページをコントロールパネルから印刷するには、Menu、INFORMATION、および PRINT CONFIGURATION の順に押します。

間違った IP アドレスを入力すると、エラー メッセージが表示されます。アドレスが正しい場合は、ポータルが有効になります。

FIH ポータルを無効にするには

1. FIH.EXE ファイルをダブルクリックします。[Foreign Interface Harness] ダイアログ ボックスが表示されます。
2. [OK] をクリックします。
3. [Disable] をクリックします。
4. PIN を入力し、[OK] をクリックします。
5. 接続タイプに対応するボタンをクリックします。オプションは、[Direct] または [Network] のいずれかです。[Direct] を選択した場合は、MFP ポートを入力し、[OK] をクリックします。[Network] を選択した場合は、MFP の IP アドレスとポートを入力し、[OK] をクリックします。ポータルが無効になります。



注記 PIN 番号を書いたメモをなくしてしまった場合にポータルを無効にするには、無効にするためのデフォルトの PIN を試してみてください。ヘルプが必要な場合は、内蔵 Web サーバーまたは <http://instant.support.hp.com> から利用できる HP Instant Support サービスを使用してください。「[内蔵 Web サーバーの使用](#)」を参照してください。

Secure Disk Erase

削除したデータを MFP ハード ドライブへの権限のないアクセスから保護するには、Secure Disk Erase 機能を使用します。この機能を使用すると、印刷およびコピー ジョブをハード ドライブから安全に消去することができます。

Secure Disk Erase 機能には、次のレベルのディスク セキュリティが用意されています。

- **安全でない高速消去。**これは、単純なファイル テーブル消去機能です。ファイルへのアクセスは削除されますが、実際のデータはその後のデータ保存操作によって上書きされるまでディスクに残ります。これは最も高速なモードです。安全でない高速消去はデフォルトの消去モードです。
- **安全な高速消去。**ファイルへのアクセスが削除され、固定の同一文字パターンでデータが上書きされます。これは安全でない高速消去よりも低速ですが、すべてのデータが上書きされます。安全な高速消去は、米国国防総省 5220-22.M ディスク メディア消去に関する要件を満たしています。
- **安全なクリーニング消去。**このレベルは安全な高速消去モードと似ています。ただし、データが永続的に残留することを防ぐアルゴリズムを使用して、データが繰り返し上書きされます。このモードではパフォーマンスが低下します。安全なクリーニング消去は、米国国防総省 5220-22.M ディスク メディア クリーニングに関する要件を満たしています。

影響を受けるデータ

安全なディスクの消去機能により影響を受ける (対象となる) データには、印刷およびコピー プロセス中に作成される一時ファイル、保存されているジョブ、試し刷りおよび保留ジョブ、ディスクベースのフォント、およびディスクベースのマクロ (フォーム) が含まれます。



注記 保存されているジョブは、適切な消去モードが設定された後に MFP の **[RETRIEVE JOB]** メニューを使用して削除されている場合にのみ安全に上書きされます。「[ジョブ取得メニュー](#)」を参照してください。

この機能は、デフォルト設定、ページ数などのデータを保存するのに使用されるフラッシュベースの非揮発性 RAM (NVRAM) に保存されているデータには影響を与えません。この機能は、システム RAM ディスク (使用している場合) に保存されているデータには影響を与えません。この機能は、フラッシュベースのシステム ブート RAM に保存されているデータには影響を与えません。

Secure Disk Erase モードを変更しても、ディスク上の以前のデータが上書きされることはなく、ディスク全体のクリーニングが直ちに実行されることもありません。Secure Disk Erase モードを変更すると、消去モードの変更後に MFP がジョブの一時データを消去する方法が変更されます。

Secure Disk Erase 機能へのアクセス

HP Web Jetadmin を使用して Secure Disk Erase 機能にアクセスし、この機能を設定します。

補足情報

HP Secure Disk Erase 機能の詳細については、HP のサポート リーフレットを参照するか、<http://www.hp.com/go/webjetadmin/> をご覧ください。

ジョブ保存機能

この MFP にはいくつかのジョブ保存機能が用意されています。これらの機能には、プライベート ジョブの印刷、印刷ジョブの保存、ジョブのクイック コピー、およびジョブの試し刷りと保留があります。

ジョブ保存機能の詳細については、「[保存コピー ジョブの作成](#)」を参照してください。

DSS 認証

MFP の Digital Sending Software (DSS) は、別途購入により利用できるオプションです。このソフトウェアは、認証プロセスを含む高度な送信プログラムを提供します。このプロセスでは、ユーザーは認証に必要な DSS 機能のいずれかを使用する際に、ユーザー ID とパスワードを入力する必要があります。

注文情報については、「[部品、サプライ品、アクセサリなどの注文方法](#)」を参照してください。

コントロール パネル メニューのロック

MFP 設定が変更されるのを防ぐために、コントロール パネル メニューをロックすることができます。これによって、権限のないユーザーは SMTP サーバーなどの設定を変更できなくなります。次の手順では、HP Web Jetadmin ソフトウェアを使用してコントロール パネル メニューへのアクセスを制限する方法について説明します。「[HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用](#)」を参照してください。

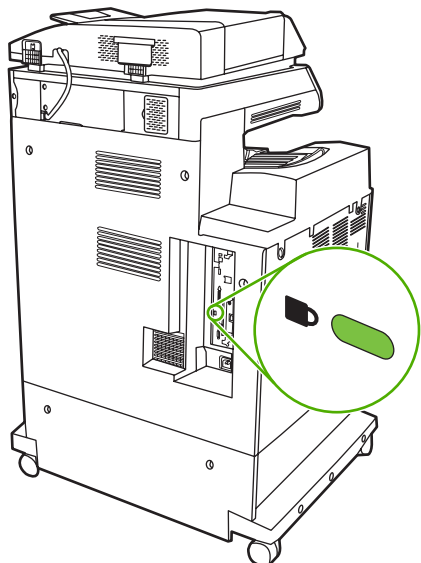
コントロール パネル メニューをロックするには

1. HP Web Jetadmin プログラムを開きます。
2. **[Navigation]** パネルのドロップダウン リストにある **[DEVICE MANAGEMENT]** フォルダを開きます。**[DEVICE LISTS]** フォルダに移動します。
3. MFP を選択します。
4. **[DEVICE TOOLS]** ドロップダウン リストで、**[Configure]** を選択します。
5. **[Configuration Categories]** リストから **[Security]** を選択します。
6. **[Device Password]** に入力を行います。
7. **[Control Panel Access]** セクションで、**[Maximum Lock]** を選択します。これによって、権限のないユーザーは構成にアクセスできなくなります。

フォーマッタ ケージのロック

HP Color LaserJet 4730mfp のフォーマッタ ケージ用ロック アクセサリを購入するには、HP (<http://www.hp.com/support/clj4730mfp>) にお問い合わせください。

次の図に、ロックの配置場所を示します。



11 MFP の管理と保守

この章では、次の項目について説明します。

- [内蔵 Web サーバーの使用](#)
- [HP Easy Printer Care Software の使用](#)
- [HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用](#)
- [Macintosh 用 HP Printer ユーティリティの使用](#)
- [IP アドレスの設定と確認](#)
- [リアルタイム クロックの設定](#)
- [警報の設定](#)
- [MFP 設定の確認](#)
- [ファームウェアのアップグレード](#)
- [プリント カートリッジの管理](#)
- [サプライ品の交換](#)
- [予防保守の実行](#)
- [MFP のクリーニング](#)
- [スキャナのキャリブレーション](#)

内蔵 Web サーバーの使用

内蔵 Web サーバーを使用すると、MFP のコントロール パネルの代わりにコンピュータを使用して、MFP とネットワークのステータスの確認や、印刷機能の管理を行うことができます。内蔵 Web サーバーを使用して実行できる機能の例を次に示します。



注記 プリンタがコンピュータに直接接続されている場合、プリンタのステータスを表示するには HP Easy Printer Care Software を使用します。

- MFP ステータス情報の表示
- 各トレイにセットされているメディアのタイプ設定
- サプライ品すべての寿命の確認と新しいサプライ品の注文
- トレイ設定の表示と変更
- MFP のコントロールパネル メニューの設定の表示と変更
- 内部ページの表示と印刷
- MFP およびサプライ品のイベント通知の受信
- ネットワーク設定の表示と変更

内蔵 Web サーバーを使用するには、Microsoft Internet Explorer 5.01 以降、または Windows、Mac OS、および Linux (Netscape のみ) 向けの Netscape 6.2 以降をインストールする必要があります。Netscape Navigator 4.7 は、HP-UX 10 および HP-UX 11 向けである必要があります。内蔵 Web サーバーは、MFP が IP ベースのネットワークに接続されている場合に機能します。内蔵 Web サーバーは、IPX ベースの MFP 接続をサポートしていません。内蔵 Web サーバーを起動して使用する場合は、インターネットに接続する必要はありません。

MFP をネットワークに接続すると、内蔵 Web サーバーが自動的に使用可能になります。



注記 内蔵 Web サーバーの使用方法については、HP Color LaserJet 4730mfp シリーズのソフトウェア CD-ROM に収録されている『内蔵 Web サーバー ユーザーズ ガイド』を参照してください。

内蔵 Web サーバーの起動

1. コンピュータでサポートされている Web ブラウザで、MFP の IP アドレスを入力します。IP アドレスを確認するには、設定ページを印刷します。設定ページの印刷方法の詳細については、「[設定ページ](#)」を参照してください。



注記 URL を開いたら、いつでもすぐに表示できるようにお気に入り (ブックマーク) に追加することができます。

2. 内蔵 Web サーバーには、MFP に関する設定や情報を確認するための **[Information]** タブ、**[Settings]** タブ、**[Digital Sending]** タブ、**[Networking]** タブがあります。表示するタブをクリックしてください。
3. 各タブの詳細については、次のセクションを参照してください。

[Information] タブ

[Information] ページ グループには、次のページがあります。

- **[Device Status]** : MFP ステータスと HP サプライ品の寿命を表示します。寿命が 0% のときはサプライ品が空になっている状態を示します。各トレイにセットされている印刷メディアのタイプとサイズも表示されます。デフォルトの設定を変更する場合は、**[Change Settings]** をクリックします。
- **[Configuration page]** : MFP の設定ページの情報を表示します。
- **[Supplies Status]** : HP サプライ品の寿命を表示します。寿命が 0% のときはサプライ品が空になっている状態を示します。サプライ品の部品番号も表示されます。新しいサプライ品を注文する場合は、ウィンドウにある **[Other Links]** 領域の **[Order Supplies]** をクリックします。Web サイトにアクセスする場合は、インターネットに接続する必要があります。
- **[Event log]** : MFP のすべてのイベントとエラーを表示します。
- **[Usage page]** : MFP のすべての使用方法の詳細を表示します。
- **[Device information]** : このページには、MFP のネットワーク名、アドレス、およびモデル情報が表示されます。これらのエントリを変更する場合は、**[Settings]** タブの **[Device Information]** をクリックします。
- **[Control panel]** : MFP のコントロール パネルの現在のステータスを表示します。
- **[Print]** : ネットワークまたは Web 上にあるファイルを選択して、印刷する MFP に送信します。ドキュメントは、.PS、.PDF、.PCL、または.TXT ファイルなどの印刷可能なドキュメントである必要があります。

[Settings] タブ

このタブを使用すると、コンピュータから MFP を設定することができます。**[Settings]** タブはパスワードで保護できます。MFP がネットワークに接続されている場合は、このタブで設定を変更する前に必ずシステム管理者に相談してください。

[Settings] タブには、次のページがあります。

- **[Configure Device]** : このページで MFP のすべての設定を変更できます。このページには、コントロールパネル ディスプレイを使用してアクセスできる従来のメニューが表示されます。メニューには、**[Information]**、**[Paper Handling]**、**[Configure Device]**、および **[Diagnostics]** があります。
- **[e-mail Server]** : このページを使用すると、MFP の電子メール アラートを送信するために使用される SMTP サーバーを設定できます (**[Alerts]** ページで設定)。
- **[Alerts]** : ネットワーク プリンタ専用です。さまざまな MFP およびサプライ品のイベントの電子メール アラートを設定できます。これらのアラートは、最大 20 の電子メール、モバイル デバイス、または Web サイトの宛先のリストに送信できます。
- **自動送信** : **[AutoSend]** 画面を使用すると、製品設定および使用情報をサービス プロバイダに定期的に送信できます。この機能によって、Hewlett-Packard 社または別のサービス プロバイダとの関係が確立され、サポート契約や使用状況の追跡などのサービスが提供されます。
- **[Security]** : **[Settings]**、**[Digital Sending]**、および **[Networking]** タブにアクセスするために入力する必要があるパスワードを設定します。EWS の任意の機能をオンまたはオフにします。

- **[Edit Other Links]**：別の Web サイトへのリンクを追加またはカスタマイズできます。このリンクは、内蔵 Web サーバーのすべてのページにある **[Other Links]** 領域に表示されます。**[Other Links]** 領域に常時表示される固定リンクは、**[HP Instant Support]**、**[Order Supplies]**、および **[Product Support]** です。
- **[Device Information]**：MFP に名前を付けて、資産番号を割り当てることができます。MFP に関する情報を受信するユーザーの名前を入力します。
- **[Language]**：内蔵 Web サーバーの表示言語を指定します。
- **日付 & 時刻**：デバイスの正しい日付と時刻を設定します。時刻を設定すると、デバイスのリアルタイム クロックによって正確な時刻が維持されます。
- **スリープ復帰時刻ページ**：スリープ復帰時刻は、毎日特定の時刻に MFP のスリープを解除するように設定できます。スリープ復帰時刻は 1 日に 1 回しか設定できませんが、各日で異なるスリープ復帰時刻を設定できます。また、このページでスリープモードの時刻遅延も設定できます。

[Digital Sending] タブ

[Digital Sending] タブを使用すると、デジタル送信機能を設定できます。



注記 MFP がオプションの HP Digital Sending Software を使用するように設定されている場合は、これらのタブのオプションは使用できません。その代わりに、すべてのデジタル送信設定が HP Digital Sending Software を使用して実行されます。

- **一般ページ**：システム管理者の連絡先情報を設定します。
- **電子メールに送信ページ**：デジタル送信用の電子メールを設定します。SMTP サーバー、デフォルトの「差出人」アドレス、およびデフォルトの件名を指定できます。また、添付できる最大のファイル サイズも設定できます。
- **アクセス方法ページ**：デジタル送信用の LDAP サーバーを設定します。LDAP サーバーは、デジタル送信用の電子メール アドレスを取得するために使用できます。このページの上部にあるチェックボックスをオンにしてこの機能を有効にします。**[Find Server]** をクリックしてネットワーク上にある LDAP サーバーを検索し、ページの下部近くにある **[Test]** をクリックしてサーバーへのアクセスをテストします。LDAP サーバーの使用の詳細については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
- **アドレスブックページ**：カンマ区切り値 (CSV) ファイルの形式の電子メール アドレスを MFP の内部アドレス ブックにインポートします。このプロセスは、LDAP サーバーを使用して電子メール アドレスを検索しない場合にのみ必要です。
- **アクティビティ ログページ**：MFP 用のデジタル送信アクティビティ ログを表示します。ログには、発生したエラーなどのデジタル送信ジョブ情報が含まれます。
- **基本設定ページ**：デフォルトのページサイズやデフォルトの設定リセット遅延などのデジタル送信のデフォルトを設定します。また、MFP のコントロールパネル メニューを使用して、これらの設定値を設定できます。

ネットワーク タブ

MFP が IP ベース ネットワークに接続されている場合、ネットワーク管理者は、このタブを使用して MFP のネットワーク関連の設定を制御できます。このタブは、MFP がコンピュータに直接接続されている場合、または MFP が HP Jetdirect プリント サーバー以外を使用してネットワークに接続されている場合は表示されません。

その他のリンク

このセクションには、インターネットに接続するリンクが表示されます。これらのリンクを使用するには、インターネットにアクセスできる環境が必要です。ダイヤルアップ接続を使用しており、内蔵 Web サーバーを最初に起動したときにインターネットに接続しなかった場合は、これらの Web サイトにアクセスする前にインターネットに接続する必要があります。インターネットに接続する場合は、内蔵 Web サーバーをいったん閉じて再起動しなければならない場合があります。

- **[HP Instant Support]** : トラブルの解決方法を参照するために HP の Web サイトに接続します。このサービスは、MFP のエラー ログと設定情報を分析して、その MFP に合った診断とサポート情報を提供するものです。
- **[Order Supplies]** : このリンクをクリックすると、プリント カートリッジや用紙などの HP 純正サプライ品を注文できる HP の Web サイトに接続されます。
- **[Product Support]** : HP Color LaserJet 4730mfp シリーズのサポート サイトに接続します。一般的なトピックに関連したヘルプを検索できます。

HP Easy Printer Care Software の使用

HP Easy Printer Care Software は、次のタスクを行うときに使用するアプリケーションです。

- プリンタ ステータスをチェックする。
- サプライ品のステータスをチェックする。
- 警告を設定する。
- トラブルシューティングおよび保守ツールにアクセスする。

HP Easy Printer Care Software は、プリンタをコンピュータに直接接続している場合や、ネットワークに接続している場合のみ使用できます。HP Easy Printer Care Software を使用するには、ソフトウェアをフルインストールする必要があります。



注記 HP Easy Printer Care Software を起動して使用する場合は、インターネットに接続する必要はありません。ただし、Web ベースのリンクをクリックする場合は、リンクに関連付けられたサイトに移動するためにインターネット アクセスが必要となります。

HP Easy Printer Care Software の詳細については、<http://www.hp.com/go/easyprintercare> をご覧ください。

対応オペレーティング システム

HP Easy Printer Care Software は、Windows 2000 および Windows XP に対応しています。


HP Easy Printer Care Software を使用するには


以下のいずれかの方法で HP Easy Printer Care Software を起動します。

- Windows のシステム トレイ/タスク バー (デスクトップの右下隅) の **[HP Easy Printer Care Software]** をクリックします。
- HP Easy Printer Care Software アイコンをダブルクリックします。
- デスクトップ アイコンをダブルクリックします。

HP Easy Printer Care Software のセクション

HP Easy Printer Care Software には、以下の表に示すセクションがあります。

セクション	説明
[概要] タブ	<ul style="list-style-type: none">● [デバイス] リスト：選択可能なプリンタを表示します。
プリンタの基本的なステータス情報を表示します。	<ul style="list-style-type: none">● [Device Status] セクション：プリンタのステータス情報が表示されます。このセクションには、プリント カートリッジが空になった場合など、プリンタの警報状態が表示されます。また、デバイスの識別情報、コントロールパネルのメッセージ、プリント カートリッジの消費レベルなども示されます。プリンタの問題を解決したら、 (Refresh) ボタンをクリックして、このセクションを更新します。● [Supplies Status] セクション：プリント カートリッジのトナー残量や各トレイにセットされているメディアの状態など、サプライ品に関する詳細なステータスが表示されます。● [サプライ品詳細] リンク：プリンタのサプライ品、注文情報、リサイクル情報に関する詳細を表示するサプライ品ステータス ページを開きます。

セクション	説明
<p>[サポート] タブ</p> <p>ヘルプ情報および各種のリンクを表示します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 注意すべき項目に関する警告などのデバイス情報を表示します。 ● トラブルシューティングおよび保守ツールへのリンクを表示します。 ● 登録、サポート要求、サプライ品の注文などを行うための HP Web サイトへのリンクが含まれています。 <p> 注記 ダイアルアップ接続を使用しており、HP Easy Printer Care Software を最初に起動したときにインターネットに接続しなかった場合は、これらの Web サイトにアクセスする前にインターネットに接続する必要があります。</p>
<p>[サプライ品の注文] ウィンドウ</p> <p>サプライ品をオンラインまたは電子メールで注文できます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● [注文] リスト：プリンタごとに注文可能なサプライ品を表示します。特定のサプライ品を注文する場合は、サプライ品のリストで必要なサプライ品の [注文] チェック ボックス をオンにします。 ● [Shop Online for Supplies (サプライ品のオンライン注文)] ボタン：新しいブラウザ ウィンドウに HP のサプライ品 Web サイトを開きます。[注文] チェック ボックス がオンのサプライ品がある場合は、それらのサプライ品に関する情報が Web サイトに転送されます。 ● [Print Shopping List (購入リストの印刷)] ボタン：[注文] チェック ボックス をオンにしたサプライ品の情報を印刷します。 ● [Email Shopping List (購入リストの電子メール送信)] ボタン：[注文] チェック ボックス をオンにしたサプライ品のテキスト リストを作成します。このリストは、サプライヤーに送信する電子メール メッセージにコピーできます。
<p>[警告の設定] ウィンドウ</p> <p>プリンタに関する問題を自動的に通知するように設定できます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 警告のオン/オフ：特定のプリンタに対して警告機能を有効または無効にします。 ● 警告を表示するタイミング：警告をいつ表示するかを設定します。特定のプリンタに印刷するとき、またはプリンタ イベントが発生するたびに表示できます。 ● 警告のイベント タイプ：重大なエラーのみ、または継続可能なエラーを含むすべてのエラーのどちらに対して警告を表示するかを設定します。 ● 通知タイプ：表示する警告のタイプを設定します。タイプにはポップアップ メッセージまたはシステム トレイ警告、および電子メール メッセージがあります。
<p>[Device List (デバイス リスト) タブ]</p> <p>[デバイス] リストの各プリンタに関する情報を表示します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● プリンタ名、製造元、モデルなどのプリンタ情報 ● アイコン ([View as (表示形式)] ドロップダウン ボックスでデフォルト設定の [Tiles (並べて表示)] が設定されている場合) ● プリンタに関する現在の警告 <p>リスト内のプリンタをクリックすると、HP Easy Printer Care Software を介して、選択したプリンタの [概要] タブが表示されます。</p> <p>[Device List (デバイス リスト)] タブには、以下の情報が含まれます。</p>
<p>[Find Other Printers (他のプリンタを検索)] ウィンドウ</p> <p>プリンタ リストにプリンタを追加できます。</p>	<p>[デバイス] リストにある [Find Other Printers (他のプリンタを検索)] リンクをクリックすると、[Find Other Printers (他のプリンタを検索)] ウィンドウが開きます。[Find Other Printers (他のプリンタを検索)] ウィンドウには、その他のネットワーク プリンタを検出する機能があり、検出したプリンタを [デバイス] リストに追加してリスト内のプリンタをコンピュータから監視することができます。</p>

HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用

HP Web Jetadmin は、ネットワーク接続された周辺機器のインストール、監視、およびトラブルシューティングをリモートで行うための Web ベースのソフトウェア ソリューションです。直感的なブラウザ インタフェースによって、HP および HP 以外のプリンタを含むさまざまなデバイスのプラットフォームを超えた管理が簡単にできます。管理は事前に行われるため、ネットワーク管理者はユーザーが影響を受ける前にプリンタの問題を解決することができます。この強化されたソフトウェアは Web サイト http://www.hp.com/go/webjetadmin_software から無償でダウンロードできます。

HP Web Jetadmin へのプラグインを取得するには、**[plug-ins]** をクリックし、取得するプラグインの名前の隣にある **[download]** リンクをクリックします。新しいプラグインが使用可能な場合は、HP Web Jetadmin ソフトウェアによって自動的に通知されます。**[Product Update]** ページで、指示に従って HP Web サイトに自動的に接続します。

HP Web Jetadmin がホスト サーバーにインストールされている場合は、Windows の Microsoft Internet Explorer 6.0 または Linux の Netscape Navigator 7.1 などのサポートされている Web ブラウザを介してどのクライアントでも使用できます。HP Web Jetadmin のホストを参照します。



注記 ブラウザは Java が有効になっている必要があります。Apple Macintosh コンピュータからの参照はサポートされていません。

Macintosh 用 HP Printer ユーティリティの使用

Mac OS X バージョン 10.2 または バージョン 10.3 搭載コンピュータからプリンタを設定および管理するには、HP Printer ユーティリティを使用します。このセクションでは、HP Printer ユーティリティで実行できるいくつかの機能について説明します。

HP Printer ユーティリティを開く

HP Printer ユーティリティの開始プロセスは、使用している Macintosh オペレーティング システムによって異なります。

Mac OS X バージョン 10.2 で HP Printer ユーティリティを開くには

1. Finder を開いて **[アプリケーション]** をクリックします。
2. **[ライブラリ]** をクリックし、**[プリンタ]** をクリックします。
3. **[hp]** をクリックし、**[ユーティリティ]** をクリックします。
4. **[HP Printer Selector]** をダブルクリックして、HP Printer Selector を開きます。
5. 設定するプリンタを選択し、**[ユーティリティ]** をクリックします。

HP Printer ユーティリティを Mac OS X バージョン 10.3 で開くには

1. Dock で **[プリンタ設定ユーティリティ]** アイコンをクリックします。



注記 Dock に **[プリンタ設定ユーティリティ]** アイコンが表示されない場合は、Finder を開いて **[アプリケーション]**、**[ユーティリティ]** の順にクリックし、**[プリンタ設定ユーティリティ]** をダブルクリックします。

2. 設定するプリンタを選択し、**[ユーティリティ]** をクリックします。

クリーニング ページの印刷

プリンタの印刷品質に満足できない場合は、クリーニング ページを印刷してください。

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. **[コンフィギュレーション設定]** リストで、**[カラー クリーニング]** を選択します。
3. **[クリーニング ページを印刷]** をクリックして、クリーニング ページを印刷します。

設定ページの印刷

プリンタ設定を見るには、設定ページを印刷してください。設定ページの印刷方法の詳細については、「[設定ページ](#)」を参照してください。

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. **[コンフィギュレーション設定]** リストで、**[設定ページ]** を選択します。
3. **[設定ページを印刷]** をクリックして、設定ページを印刷します。

サプライ用品のステータスの表示

プリンタのサプライ用品 (プリント カートリッジ、イメージング ドラム、印刷用紙など) のステータスをコンピュータに表示します。

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. **[コンフィギュレーション設定]** リストで、**[サプライ用品のステータス]** を選択します。
3. 交換可能な各種サプライ用品のステータスを表示するには **[サプライ用品]** タブをクリックし、印刷用紙のステータスを表示するには **[用紙]** タブをクリックします。
 - 詳細ステータス リストを表示するには、**[サプライ用品の詳細情報]** をクリックします。**[サプライ用品の情報]** ダイアログ ボックスが表示されます。
 - サプライ用品をオンラインで注文するには、**[HP サプライ用品を注文]** をクリックします。オンラインで注文するための Web ページにアクセスするには、インターネットに接続してください。オンライン注文の詳細については、[サプライ用品のオンライン注文およびその他のサポート機能の使用](#)を参照してください。

サプライ用品のオンライン注文およびその他のサポート機能の使用

HP の Web サイトを使用して、プリンタのサプライ用品の注文、プリンタの登録、カスタマ サポートの利用、またはプリンタのサプライ用品のリサイクル方法が参照できます。サプライ用品およびサポート用の Web ページにアクセスするには、インターネットに接続してください。

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. **[コンフィギュレーション設定]** リストで、**[HP サポート]** を選択します。
3. 以下のいずれかのボタンをクリックします。
 - **[インスタント サポート]**: 技術的なサポートを得られる Web ページを開きます。
 - **[サプライ用品のオンライン注文]**: プリンタのサプライ用品を注文できる Web ページを開きます。
 - **[オンライン登録]**: プリンタを登録できる Web ページを開きます。
 - **[返却 & リサイクル]**: 使用済みのサプライ用品のリサイクルについての情報を検索できる Web ページを開きます。

ファイルをプリンタにアップロードする

コンピュータからプリンタにファイルを送信します。プリンタで実行される処理は、送信するファイルの種類によって異なります。たとえば、.PS ファイルや .PCL ファイルなどの印刷可能なドキュメントを送信した場合は、プリンタによってファイルが印刷されます。

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. **[コンフィギュレーション設定]** リストで、**[ファイル アップロード]** を選択します。
3. **[選択]** をクリックしてアップロードするファイルを指定し、**[OK]** をクリックします。
4. **[アップロード]** をクリックして、ファイルをロードします。

フォントをプリンタにアップロードする

コンピュータのフォントをプリンタに追加します。

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. **[コンフィギュレーション設定]** リストで、**[フォントのアップロード]** を選択します。
3. **[プリンタ内のフォント]** ポップアップメニューで、フォントを保存するプリンタ上の場所を選択します。指定した記憶装置内のフォントのリストが、ポップアップメニューの下に表示されます。
4. **[追加]** をクリックして、プリンタにアップロードするフォント ファイルを指定します。
5. **[アップロード]** をクリックして、フォントをプリンタにアップロードします。



注記 フォントをプリンタから削除するには、HP Printer ユーティリティを開いて **[フォントのアップロード]** を選択し、ポップアップメニューから適切な記憶装置を選択し、削除するフォントを選択して、**[削除]** をクリックします。

ファームウェアのアップデート

コンピュータから新しいファームウェア ファイルをロードして、プリンタ ファームウェアをアップデートします。プリンタの新しいファームウェアは、www.hp.com から入手できます。

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. **[コンフィギュレーション設定]** リストで、**[ファームウェアのアップデート]** を選択します。
3. **[選択]** をクリックしてアップロードするファームウェア ファイルを指定し、**[OK]** をクリックします。
4. **[アップロード]** をクリックして、ファームウェア ファイルをロードします。

両面印刷モードの有効化

自動両面印刷ユニットが装備されたプリンタの両面印刷機能をオンにします。

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. **[コンフィギュレーション設定]** リストで、**[両面印刷モード]** を選択します。
3. **[両面印刷モードを可能にする]** を選択して両面印刷モードを有効にし、**[今すぐ適用]** をクリックします。

EconoMode 印刷モードの有効化

EconoMode 設定を使用して、プリンタのサプライ用品を節約します。

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. **[コンフィギュレーション設定]** リストで、**[EconoMode トナー濃度]** を選択します。
3. **[EconoMode をオンにする]** を選択し、**[今すぐ適用]** をクリックします。

トナー濃度の変更

トナー濃度のレベルを変更することで、プリント カートリッジのトナーを節約します。トナー濃度を低くするほど、トナーの使用量は少なくなります。

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. **[コンフィギュレーション設定]** リストで、**[EconoMode トナー濃度]** を選択します。
3. **[トナー濃度]** ポップアップ メニューでトナー濃度のレベルを選択し、**[今すぐ適用]** をクリックします。

解像度設定の変更

コンピュータから解像度の設定を変更します。解像度エンハンスメント テクノロジ (REt) の設定も変更できます。

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. **[コンフィギュレーション設定]** リストで、**[解像度]** を選択します。
3. **[解像度]** ポップアップ メニューで解像度のレベルを選択し、**[今すぐ適用]** をクリックします。



注記 REt 設定を変更するには、**[REt レベル]** ポップアップ メニューで手順 3 を繰り返します。

プリンタ記憶装置のロック/ロック解除

プリンタ記憶装置へのアクセスをコンピュータから管理します。

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. **[コンフィギュレーション設定]** リストで、**[リソースのロック]** を選択します。
3. **[コントロールパネル アクセスレベル]** ポップアップ メニューで、プリンタ コントロール パネルに設定するアクセス レベルを選択します。
4. ロックするデバイスを選択し、ロック解除するデバイスを消去します。
5. **[今すぐ適用]** をクリックします。

ジョブの保存/保存ジョブの印刷

プリンタのジョブ保存機能をオンにしたり、保存ジョブをコンピュータから印刷したりします。保存された印刷ジョブを削除することもできます。

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. [コンフィギュレーション設定] リストで、[保存されたジョブ] を選択します。
3. 以下のいずれかの作業を実行します。
 - ジョブ保存機能をオンにするには、[ジョブの保存を可能にする] を選択し、[今すぐ適用] をクリックします。
 - 保存ジョブを印刷するには、リストから保存ジョブを選択し、必要な暗証番号 (PIN) を [セキュア ジョブ PIN を入力] ボックスに入力し、コピー部数を [印刷部数] ボックスに入力し、[印刷] をクリックします。
 - 保存したジョブを削除するには、リストから保存ジョブを選択し、[削除] をクリックします。

トレイの設定

デフォルトのプリンタ トレイ設定をコンピュータから変更します。

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. [コンフィギュレーション設定] リストで、[トレイ構成] を選択します。
3. [トレイ] リストで、設定するトレイを選択します。



注記 選択したトレイを印刷時のデフォルトのトレイに指定するには、[デフォルトに設定] をクリックします。

4. [デフォルトの用紙サイズ] ポップアップメニューで、トレイのデフォルトの用紙サイズを選択します。
5. [デフォルトの用紙の種類] ポップアップメニューで、トレイのデフォルトの用紙の種類を選択します。
6. [今すぐ適用] をクリックします。

ネットワーク設定の変更

ネットワーク インターネット プロトコル (IP) 設定をコンピュータから変更します。内蔵 Web サーバを開いて、その他の設定を変更することもできます。詳細については、「[内蔵 Web サーバーの使用](#)」を参照してください。

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. [コンフィギュレーション設定] リストで、[IP 設定] を選択します。
3. 以下のポップアップメニューまたはフィールドで設定を変更します。
 - [設定]
 - [ホスト名]

- [IP アドレス]
- [サブネット マスク]
- [デフォルト ゲートウェイ]

内蔵 Web サーバでさらに設定を変更する場合は、[追加のネットワーク設定] をクリックします。内蔵 Web サーバが開き、[ネットワーク] タブが表示されます。

4. [今すぐ適用] をクリックします。

内蔵 Web サーバを開く

内蔵 Web サーバを HP Printer ユーティリティから開きます。詳細については、「[内蔵 Web サーバーの使用](#)」を参照してください。

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. [コンフィギュレーション設定] リストで、[追加の設定] を選択します。
3. [内蔵 Web サーバを開く] をクリックします。

電子メール警告の設定

プリント カートリッジのトナーの残量が少なくなるなど、特定のイベントがプリンタで発生した場合に警告する電子メール メッセージを設定します。

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. [コンフィギュレーション設定] リストで、[電子メール警告] を選択します。
3. [サーバ] タブをクリックし、[SMTP サーバ] ボックスにサーバ名を入力します。
4. [送信先] タブをクリックし、追加 ([+]) ボタンをクリックして、警告メッセージの送信先となる電子メールのアドレス、モバイル デバイスの番号、または Web サイトの URL を入力します。



注記 プリンタが電子メール リストに対応している場合は、電子メールのアドレスを追加するのと同じ方法で特定のイベントの警告リストを作成できます。

5. [イベント] タブをクリックし、リストで電子メール警告を送信する対象となるイベントを定義します。
6. 警告設定をテストするには、[サーバ] タブをクリックし、[テスト] をクリックします。設定が正しい場合は、サンプル メッセージが定義済みの電子メール アドレスに送信されます。
7. [今すぐ適用] をクリックします。

IP アドレスの設定と確認

次のブラウザベースのオプションを使用すると、HP Jetdirect プリント サーバーに TCP/IP アドレスを割り当てて設定できます。

- HP Web Jetadmin
- 内蔵 Web サーバー
- コントロール パネル

TCP/IP の割り当て

システム管理者またはユーザーは、特定のプリント サーバーに TCP/IP アドレスを指定する必要があります。TCP/IP アドレスがわからない、またはネットワーク上の TCP/IP の使用に不慣れである場合は、HP の Web サイト <http://www.hp.com/> をご覧ください。Web ページの左上隅にある **[Search]** をクリックして **[TCP/IP Overview]** を検索します。

自動検出

製品には、HP Jetdirect プリント サーバーが内蔵されています。製品のインストール時に BootP または DHCP サーバーが使用できる場合は、ネットワーク上で使用する IP アドレスがプリント サーバーに自動的に割り当てられます。プリント サーバーがネットワーク上で BootP または DHCP サーバーから IP アドレスを取得できない場合は、192.0.0.192 (Legacy のデフォルト) または 169.254.x.x (自動 IP) にデフォルト設定されます。割り当てられるデフォルトは、感知アルゴリズムを使用して、特定のネットワーク (小規模/プライベートまたはエンタープライズ) によって異なります。

新しい IP アドレスを調べるには、設定ページを印刷して TCP/IP ステータスおよびアドレスを確認してください。

Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP)

製品の電源をオンにすると、HP Jetdirect プリント サーバーは DHCP 要求を送信します。DHCP は、ネットワーク サーバーから IP アドレスを自動的にダウンロードします。DHCP サーバーは、固定の IP アドレスのセットを維持しており、プリント サーバーに IP アドレスを貸すだけです。オペレーティング システムのマニュアルを確認して、ネットワーク上の DHCP サービスを設定します。

TCP/IP 設定の確認

コントロール パネルで設定ページを印刷します。TCP/IP ステータスと TCP/IP アドレスを確認します。情報が正しくない場合は、ハードウェア接続 (ケーブル、ハブ、ルーター、またはスイッチ) を確認するか、TCP/IP アドレスが有効であることを再確認します。

IP アドレスの変更

製品の TCP/IP アドレスを変更する必要がある場合は、次の手順を実行します。

HP Web Jetadmin を使用して IP アドレスを変更するには

HP Web Jetadmin を起動します。**[Quick Device Search]** フィールドに TCP/IP アドレスを入力して **[Go]** をクリックします。上部のメニュー バーで、次の手順に従ってオプションを検出します。

1. ドロップダウン メニューで、**[Devices]** をクリックします。
2. ドロップダウン メニューで、**[New Devices]** をクリックします。**[Go]** をクリックします。

3. 選択肢の列見出し (IP アドレスまたはデバイス モデルなど) をクリックして使用可能なデバイスの一覧を昇順または降順に並べ替えます。
4. 設定する製品をハイライトし、**[Open Device]** をクリックします。
5. HP Web Jetadmin 画面の上部にあるサブメニューで、**[Configuration]** をクリックします。
6. 設定画面の左側にあるネットワーク リンクをクリックします。
7. 新しい IP 情報を入力します。詳細なオプションについては、スクロールダウンする必要があります。
8. 設定値を保存するには、**[Apply]** をクリックします。
9. 画面の右側のクエスチョン マークの隣にある **[Refresh]** ボタンをクリックします。
10. **[Status Diagnostics]** をクリックするか、設定ページを印刷して、IP 情報を確認します。

内蔵 Web サーバーを使用して IP アドレスを変更するには

MFP には、TCP/IP パラメータを変更するために使用できる Web サーバーが内蔵されています。内蔵 Web サーバーを使用するには、HP Jetdirect プリント サーバーの IP アドレスが設定済みである必要があります。これは、製品を最初にインストールする際にネットワーク上で自動的に行われます。

1. サポートされている Web ブラウザで、HP Jetdirect プリント サーバーの現在の IP アドレスを URL として入力します。内蔵 Web サーバーの **[Device Status]** ページが表示されます。
2. **[Networking]** をクリックします。このページで、MFP ネットワーク設定を変更できます。

コントロール パネルを使用して IP アドレスを変更するには

コントロール パネルを使用して IP アドレスを変更する方法については、「[3 ビン メールボックス/ステイプラ/スタッカを認識させるためのプリンタ ドライバの設定](#)」を参照してください。

1. **Menu** ボタンを押します。
2. **CONFIGURE DEVICE** にスクロールして押します。
3. **I/O** にスクロールして押します。
4. **EMBEDDED JETDIRECT MENU** にスクロールして押します。
5. **TCP/IP** にスクロールして押します。
6. **CONFIG METHOD** にスクロールして押します。
7. **MANUAL** にスクロールして押します。
8. **MANUAL SETTINGS** にスクロールして押します。
9. **IP ADDRESS** にスクロールして押します。
10. 左矢印キーまたは右矢印キーを使用して、IP アドレスの各バイトを選択します。
11. 数字キーを使用して、各バイト数を入力します。
12. **OK** を押して IP アドレスを保存します。
13. **SUBNET MASK** にスクロールして押します。

14. 左矢印キーまたは右矢印キーを使用して、サブネット マスクの各バイトを選択します。
15. 数字キーを使用して、サブネット マスクの各バイト数を入力します。
16. OK を押してサブネット マスクを保存します。
17. DEFAULT GATEWAY にスクロールして押します。
18. 左矢印キーまたは右矢印キーを使用して、デフォルト ゲートウェイの各バイトを選択します。
19. 数字キーを使用して、デフォルト ゲートウェイの各バイト数を入力します。
20. OK を押してデフォルト ゲートウェイを保存します。

リアルタイム クロックの設定

日付と時刻を設定するには、リアルタイム クロック機能を使用します。日付と時刻の情報は保存済み印刷、ファックス、およびデジタル送信ジョブにアタッチされ、保存済み印刷ジョブの最新バージョンを特定できるようになります。また、MFP を自動的に起動し、各日の設定時間に使用可能な状態にするように設定することもできます。

日付と時刻の設定

日付と時刻を設定する際は、日付形式、日付、時刻形式、および時刻を設定できます。

日付形式を設定するには

1. **Menu** ボタンを押します。
2. **CONFIGURE DEVICE** にスクロールして押します。
3. **SYSTEM SETUP** にスクロールして押します。
4. **Date/Time** を押します。
5. **DATE FORMAT** を押します。
6. 目的の形式を押します。設定が保存され、コントロール パネルが **[Date/Time]** サブメニューに戻ります。
7. **EXIT** を押してメニューを終了します。

日付を設定するには

1. **Menu** ボタンを押します。
2. **CONFIGURE DEVICE** にスクロールして押します。
3. **SYSTEM SETUP** にスクロールして押します。
4. **Date/Time** を押します。
5. **DATE** を押します。
6. 適切なオプションを押して、正しい月、日、および年を設定します。



注記 月、日、および年を変更する順序は、日付形式の設定によって異なります。

7. 設定が保存され、コントロール パネルが **[Date/Time]** サブメニューに戻ります。
8. **EXIT** を押してメニューを終了します。

時刻形式を設定するには

1. **Menu** ボタンを押します。
2. **CONFIGURE DEVICE** にスクロールして押します。
3. **SYSTEM SETUP** にスクロールして押します。
4. **Date/Time** を押します。

5. **TIME FORMAT** を押します。
6. 適切な形式を押します。設定が保存され、コントロール パネルが **[Date/Time]** サブメニューに戻ります。
7. **EXIT** を押してメニューを終了します。

時刻を設定するには

1. **Menu** ボタンを押します。
2. **CONFIGURE DEVICE** にスクロールして押します。
3. **SYSTEM SETUP** にスクロールして押します。
4. **Date/Time** を押します。
5. **TIME** を押します。
6. 適切なオプションを押して、正しい時、分、および午前/午後を設定します。



注記 時、分、および午前/午後の設定を変更する順序は、時刻形式の設定によって異なります。

7. 設定が保存され、コントロール パネルが **[Date/Time]** サブメニューに戻ります。
8. **EXIT** を押してメニューを終了します。

スリープ復帰時刻を設定するには

スリープ復帰時刻機能を使用すると、毎日の設定時間に MFP のスリープを解除できます。スリープ復帰時刻を設定する場合は、拡張スリープ遅延期間を使用します。「[スリープ遅延の設定](#)」を参照してください。

スリープ復帰時刻を設定するには

1. **Menu** ボタンを押します。
2. **CONFIGURE DEVICE** にスクロールして押します。
3. **SYSTEM SETUP** にスクロールして押します。
4. **WAKE TIME** にスクロールして押します。
5. スリープ復帰時刻を設定する曜日を押します。
6. **CUSTOM** を押します。
7. 適切なオプションを押して、正しい時、分、および午前/午後を設定します。
8. 各日の同じ時刻に MFP のスリープを解除する場合は、**[APPLY TO ALL DAYS]** 画面で、**YES** を押します。
9. それぞれの日で時刻を設定する場合は、**NO** を押して、それぞれの日について手順を繰り返します。
10. 設定が保存され、コントロール パネルが **[WAKE TIME]** サブメニューに戻ります。
11. **EXIT** を押してメニューを終了します。

スリープ遅延の設定

スリープ遅延機能を使用すると、MFP がスリープ モードに入る前にアイドルでなくてはならない時間を設定できます。



注記 スリープ遅延機能が **[Reset]** メニューでオフになっている場合は、MFP はスリープ モードに切り替わりません。スリープ遅延の値を選択すると、スリープ機能が自動的にオンになります。スリープ遅延設定のデフォルト値は 45 分です。

スリープ遅延を設定するには

1. **Menu** ボタンを押します。
2. **CONFIGURE DEVICE** にスクロールして押します。
3. **SYSTEM SETUP** にスクロールして押します。
4. **SLEEP DELAY** を押します。
5. 目的のスリープ遅延設定にスクロールして押します。
6. 設定が保存され、コントロール パネルが **[SYSTEM SETUP]** サブメニューに戻ります。
7. **EXIT** を押してメニューを終了します。

警報の設定

HP Web Jetadmin または MFP の内蔵 Web サーバーを使用して、MFP に問題が発生したときに警告を出すようにシステムを設定することができます。警報は、電子メール メッセージの形式で電子メール アカウントまたはユーザー指定のアカウントに送信されます。

次の項目を設定することができます。

- 監視するプリンタ
- 受け取る警報の内容 (紙詰まり、用紙切れ、サプライ品ステータス、カバーの開放に関する警報など)
- 警報を送信する電子メール アカウント

ソフトウェア	参照情報
HP Web Jetadmin	HP Web Jetadmin の一般情報については、「 HP Web Jetadmin 」を参照してください。 警報および警報の設定方法の詳細は、HP Web Jetadmin ヘルプシステムを参照してください。
内蔵 Web サーバー	内蔵 Web サーバーの一般情報については、「 HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用 」を参照してください。 警報および警報の設定方法の詳細は、内蔵 Web サーバーのヘルプシステムを参照してください。

MFP 設定の確認

コントロール パネルから、MFP とその現在の設定についての詳細を確認するページを印刷できます。このセクションでは、次の情報ページについて説明します。

- メニュー マップ
- 設定ページ
- HP Jetdirect ページ
- サプライ品ステータス ページ
- 使用状況ページ
- PCL または PS フォント リスト

これらの情報ページを印刷するには、次の手順を実行します。各ページの詳細については、次のセクションを参照してください。

情報ページを印刷するには

1. **Menu** ボタンを押します。
2. **INFORMATION** を押します。
3. 印刷する情報ページにスクロールして、適切なページを押します。ページが自動的に印刷されます。

メニュー マップ

コントロール パネルで利用できるメニューと項目の現在の設定を確認するには、コントロール パネルのメニュー マップを印刷します。

これらの値の多くは、ドライバまたはプログラムから無効にすることができます。後で参考に行できるようにメニュー マップを MFP の近くに保管します。

メニュー マップの内容は、MFP に現在インストールされているオプションによって異なります。コントロール パネルの項目および可能な値の完全な一覧については、「[コントロール パネルの使用](#)」を参照してください。

設定ページ

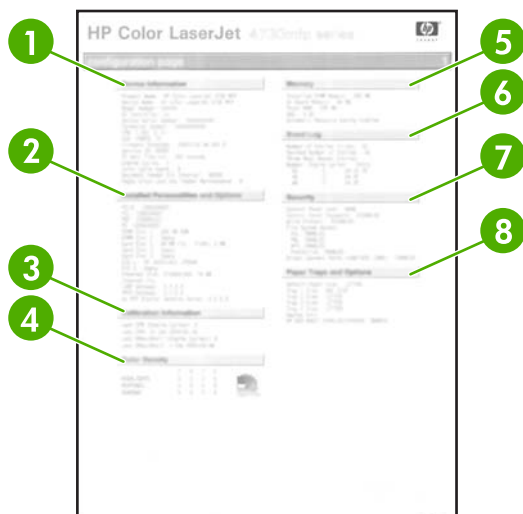
設定ページを使用して、現在の MFP の設定を確認したり、MFP の問題のトラブルの解決に役立てたり、メモリ (DIMM) やプリンタ言語などのオプション アクセサリのインストール状況を確認したりすることができます。



注記 オプションの 3 ビン メールボックスまたはステイプラ/スタッカがインストールされている場合は、そのデバイスのページも印刷されます。

注記 Analog Fax Accessory がインストールされている場合は、ファックス アクセサリ ページも印刷されます。ファックス アクセサリ ページの詳細については、ファックス アクセサリ に付属している『*HP LaserJet Analog Fax Accessory 300 ユーザーズ ガイド*』を参照してください。

MFP の設定ページには、次の情報が含まれています。



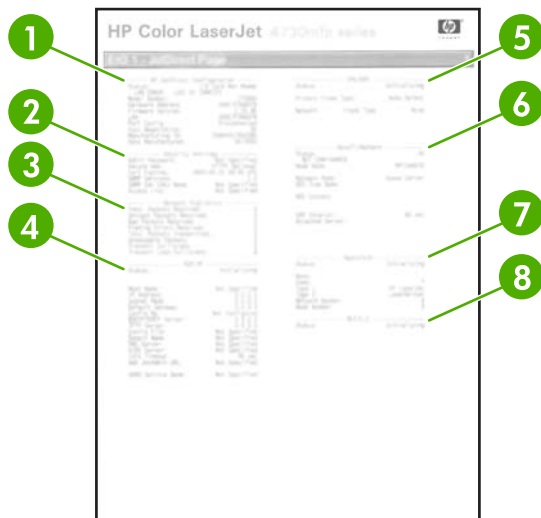
1	Device Information : MFP のシリアル番号、ページ数、ファームウェアの日付コード、保守キット数、キャリブレーション情報、色濃度、およびその他の情報が表示されます。
2	Installed Personalities and Options : インストールされている MFP のすべての言語 (PCL、PS など) と各 DIMM スロットおよび EIO スロットにインストールされているオプションが表示されます。
3	Calibration Information : 最後の CPR と最後の DMax/DHalf キャリブレーションが表示されます。
4	Color Density : ハイライト、ミッドトーン、およびシャドウの現在の設定が表示されます。
5	Memory : MFP のメモリ情報、PCL Driver Work Space (DWS)、I/O バッファおよびリソース セーブ情報が表示されます。
6	Event Log : ログのエントリの数、表示可能なエントリの最大数、および過去 3 つのエントリが表示されます。イベント ログの 2 ページ目は製造元ページです。このページには、HP カスタマ ケアの担当者が MFP の問題を解決するのに役立つ情報が含まれています。
7	Security : コントロールパネル ロックのステータス、コントロールパネル パスワード、およびディスク ドライブが表示されます。
8	Paper Trays and Options : すべてのトレイのサイズ設定とインストールされている用紙処理アクセサリが表示されます。



注記 設定ページの内容は、MFP に現在インストールされているオプションによって異なります。

HP Jetdirect ページ

設定ページの 2 ページ目は HP Jetdirect ページで、次の情報が含まれています。



1	HP Jetdirect Configuration : MFP のステータス、モデル番号、ハードウェアのファームウェア バージョン、ポート選択、ポート設定、自動交渉、製造元識別番号、および製造日が表示されます。
2	セキュリティ設定の情報
3	Network Statistics : 受信したパケットの総数、受信したユニキャスト パケット、受信した不良パケット、受信したフレーミング エラー、送信されたパケットの総数、送信不可能なパケット、送信衝突、および送信遅延衝突が表示されます。
5	TCP/IP : IP アドレスなどの情報が表示されます。
6	IPX/SPX の情報
7	Novell/NetWare の情報
8	AppleTalk の情報
9	DLC/LLC の情報

ステータス ラインに "I/O Card Ready" と常に表示されていることを確認してください。

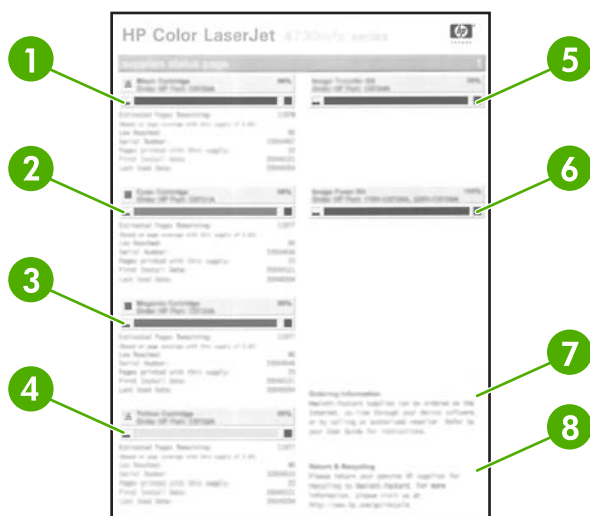
サプライ品ステータス ページ

サプライ品のステータス ページを使用すると、MFP にインストールされているプリント カートリッジ、プリント カートリッジのトナー残量、印刷されたページ数およびジョブに関する詳細が得られます。また、このページを使用すると、各保守キットの次回の予防保守のスケジュールもわかります。



注記 MFP には、フューザ、トランスファー ユニット、および ADF (自動文書フィーダ) 用の 3 つの保守キットがあります。詳細については、「[サプライ品とアクセサリ](#)」を参照してください。

サプライ品のステータス ページには、次の情報が含まれています。

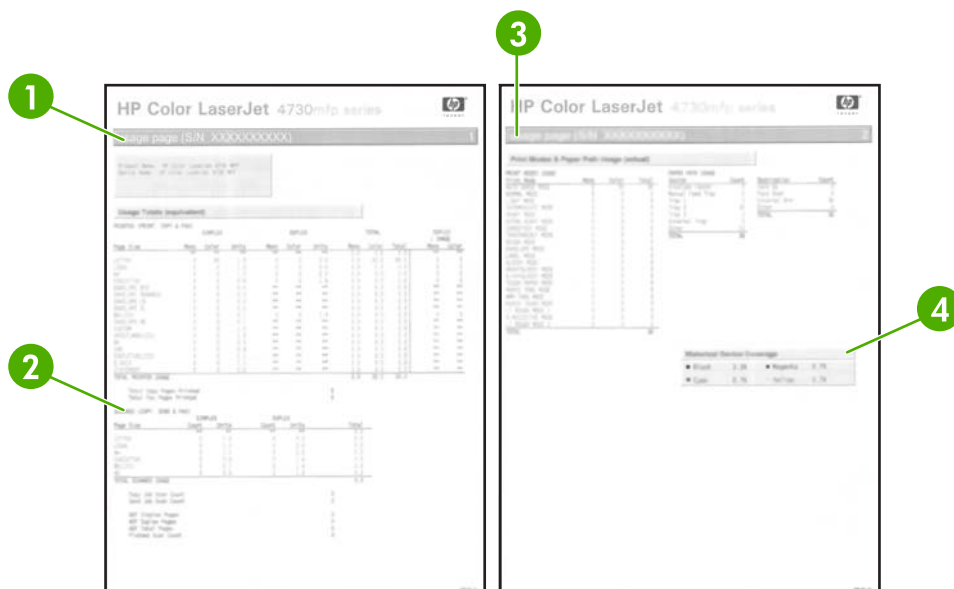


1	Black Cartridge : 部品番号、プリント カートリッジのトナー残量、予想される残りページ数、印刷されたページおよびジョブの総計、プリント カートリッジのシリアル番号、インストール日、および前回使用日が表示されます。
2	Cyan Cartridge : 部品番号、プリント カートリッジのトナー残量、予想される残りページ数、印刷されたページおよびジョブの総計、プリント カートリッジのシリアル番号、インストール日、および前回使用日が表示されます。
3	Magenta Cartridge : 部品番号、プリント カートリッジのトナー残量、予想される残りページ数、印刷されたページおよびジョブの総計、プリント カートリッジのシリアル番号、インストール日、および前回使用日が表示されます。
4	Yellow Cartridge : 部品番号、プリント カートリッジのトナー残量、予想される残りページ数、印刷されたページおよびジョブの総計、プリント カートリッジのシリアル番号、インストール日、および前回使用日が表示されます。
5	Image Transfer Kit : 部品番号とステータスが表示されます。
6	Image Fuser Kit : 部品番号とステータスが表示されます。
7	Ordering Information : 新しい HP MFP のサプライ品の注文に関する情報が表示されます。
8	Return & Recycling : HP MFP のサプライ品のリサイクルに関する情報が表示されます。

使用状況ページ

使用状況ページには、ページ サイズと印刷、コピー、および送信されたページ数が表示されます。

使用状況ページには、次の情報が含まれています。



- 1 **Usage Totals: Printed (Print, Copy & Fax)** : 印刷されたページのタイプ、印刷された片面ページの数、印刷された両面ページの数 (両面印刷ユニットがインストールされている場合)、実行されたコピーの総数、および印刷されたファックス ページの総数が表示されます。
- 2 **Usage Totals: Scanned (Copy, Send & Fax)** : スキャンされたページのタイプ、スキャンされた片面および両面ページの数、コピーおよび送信ジョブ数、およびスキャナ モードでスキャンされたページが表示されます。
- 3 **Print Modes and Paper Path Usage** : 各フューザ モードで印刷されたページ数、各給紙トレイから印刷されたページ数、および各排紙ビンに印刷されたページ数が表示されます。
- 4 **Historical Device Coverage** : 印刷されたすべてのページで使用されたトナーの平均パーセンテージが表示されます。

PCL または PS フォント リスト

MFP に現在インストールされているフォントを確認するには、フォント リストを使用します (また、フォント リストには、ハード ディスクやフラッシュ DIMM に存在するフォントも表示されます)。

PS フォント リストには、インストールされている PS フォントが表示され、それらのフォントのサンプルが提供されます。PCL フォント リストの情報について説明します。

- フォントには、フォント名とサンプルがあります。
- ピッチ/ポイントは、フォントのピッチおよびポイント サイズを示します。
- 指定されたフォントを選択するには、エスケープ文字列 (PCL 5e プログラム コマンド) が使用されます (フォント リスト ページの下部にある凡例を参照してください)。
- フォント番号は、ソフトウェア アプリケーションではなく、コントロール パネルからフォントを選択するために使用される番号です。フォント番号をフォント ID と間違えないようにしてく

ださい (次の情報を参照してください)。番号は、フォントが保存されている DIMM スロットを示しています。

- ソフト：その他のフォントをダウンロードして置き換えるか、MFP をオフにするまで MFP に存在するダウンロードされたフォント。
- 内蔵：MFP に永久的に存在するフォント。
- フォント ID は、ソフトウェアを使用してダウンロードした際にソフト フォントに割り当てた番号です。

ファームウェアのアップグレード

MFP には、リモート ファームウェア アップデート (RFU) 機能があります。このセクションの情報を 使用して MFP のファームウェアをアップグレードします。プロセス全体には次の手順が含まれま す。

1. MFP にインストールされているファームウェアの現在のレベルを確認します。
2. HP の Web サイトにアクセスして、ファームウェアの更新があるかどうかを確認します。更新で きる場合は、コンピュータに最新のファームウェアをダウンロードします。
3. 新しいファームウェアをコンピュータから MFP に転送します。

ファームウェアの現在のレベルの確認

ファームウェアの現在のレベルを確認するには、MFP のコントロール パネルで設定情報を表示しま す。設定情報を表示するには、次の手順を実行します。

1. **Menu** ボタンを押します。
2. **[INFORMATION]** を押します。
3. **[PRINT CONFIGURATION PAGE?]** を押します。
4. ファームウェアの日付コードは、**[Device Information]** というセクションに表示されます。ファ ームウェアの日付コードの形式は、YYYYMMDD XX.XXX.X. です。数字の最初の文字列は日付 で、YYYY は年、MM は月、DD は日を表します。たとえば、20040225 で始まるファームウェ アの日付コードは 2004 年 2 月 25 日を表します。

HP の Web サイトからの新しいファームウェアのダウンロード

MFP の最新のファームウェア アップグレードを探すには、http://www.hp.com/go/clj4730mfp_software にアクセスしてください。このページでは、ファームウェアの新しいバージョンをダウンロードする 手順を説明しています。

MFP への新しいファームウェアの転送

ファームウェアを更新するには、次のいずれかの方法を使用します。

FTP を使用したブラウザによるファームウェアのアップロード

FTP を使用してブラウザで MFP ファームウェアを更新するには、次の手順を実行します。

ブラウザを使用してファームウェアを更新するには



注記 次の手順は、Windows と Macintosh の両方のオペレーティング システムに使用できま す。

1. 設定ページを印刷して、EIO Jetdirect ページに記載された TCP/IP アドレスを書き留めます。
2. ブラウザ ウィンドウを開きます。
3. ブラウザのアドレス行に、ftp://<ADDRESS> と入力します。ここで、<ADDRESS> は MFP の TCP/IP アドレスです。たとえば、TCP/IP アドレスが 192.168.0.90 である場合は、ftp:// 192.168.0.90 と入力します。

4. MFP 用にダウンロードした .RFU ファイルを見つけます。
5. .RFU ファイルをブラウザ ウィンドウの **[PORT1]** アイコンにドラッグ アンド ドロップします。



注記 MFP の電源が自動的にオフになった後でオンになり、更新が有効になります。更新処理が完了すると、MFP のコントロール パネルに **[Ready]** メッセージが表示されます。

FTP を使用したネットワーク接続でのファームウェアのアップグレード



注記 MFP は、「受信可能」の状態である限り、.RFU ファイルの更新を受信できます。

更新に要する時間は I/O の転送時間だけでなく、MFP を再初期化するのに要する時間によっても異なります。I/O の転送時間は、更新を送信するホスト コンピュータの速度などのさまざまな条件によって異なります。リモート ファームウェア アップデートのプロセスが、ファームウェアがダウンロードされる前に中断された場合 (**[Receiving upgrade]** がコントロールパネル ディスプレイに表示されている間)、ファームウェア ファイルを再度送信する必要があります。フラッシュ DIMM の更新時に電源が切れた場合 (**[Performing upgrade]** というメッセージがコントロールパネル ディスプレイに表示されている間)、アップデートは中断されて **[Resend upgrade]** というメッセージ (英語のみ) がコントロールパネル ディスプレイに表示されます。この場合は、パラレル ポートを使用してアップグレードを送信する必要があります。最後に、更新が処理される前に、キューにある RFU ジョブの前のジョブが完了されます。

FTP を使用してアップグレードを実行するには、次の手順を実行します。



注記 ファームウェアの更新には、不揮発性ランダム アクセス メモリ (NVRAM) の形式での変更が含まれます。デフォルト設定から変更されているメニュー設定はデフォルト設定に戻る場合があります、デフォルトとは異なる設定にする場合は再度変更する必要があります。

FTP を使用してネットワーク接続でファームウェアをアップグレードするには

1. HP Jetdirect ページの IP アドレスを書き留めます。HP Jetdirect ページは、設定ページを印刷する際に印刷される 2 ページ目です。



注記 ファームウェアをアップグレードする前に、MFP がスリープ モードでないことを確認してください。また、エラー メッセージがコントロールパネル ディスプレイに表示されていないことも確認してください。

2. コンピュータ上で MS-DOS コマンド プロンプトを起動します。
3. ftp TCP/IP ADDRESS> と入力します。たとえば、TCP/IP アドレスが 192.168.0.90 である場合は、ftp 192.168.0.90 と入力します。
4. ファームウェア ファイルが保存されているフォルダに移動します。
5. キーボードの **Enter** キーを押します。
6. ユーザー名のプロンプトが表示されたら、**Enter** キーを押します。
7. パスワードのプロンプトが表示されたら、**Enter** キーを押します。
8. コマンド プロンプトで bin と入力します。
9. **Enter** キーを押します。コマンド ウィンドウに **[200 Types set to I, Using binary mode to transfer files]** というメッセージが表示されます。

10. put と入力してから、ファイル名（たとえば、ファイル名が 4730mfp.efn である場合は 4730mfp.efn）を入力します。

11. **[200 PORT command successful]**

[150 Opening BINARY mode data connection]

または

[226 Ready]

または

[226 Processing Job]

または

[226 Transfer complete]

12. ダウンロードのプロセスが開始され、ファームウェアが MFP 上で更新されます。更新には約 5 分かかります。MFP またはコンピュータではその他の操作をしないでプロセスが完了するのを待ってください。



注記 MFP の電源が自動的にオフになり、アップグレードのプロセスが終了すると再びオンになります。

13. コマンド プロンプトで、bye と入力し、ftp コマンドを終了します。
14. コマンド プロンプトで、exit と入力し、Windows のインタフェースに戻ります。

HP Web Jetadmin を使用したファームウェアのアップグレード

この手順では、コンピュータに HP Web Jetadmin Version 7.0 以降をインストールしている必要があります。「[HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用](#)」を参照してください。HP の Web サイトから .RFU ファイルをダウンロードした後に、次の手順を実行し、HP Web Jetadmin を使用して 1 つのデバイスを更新します。

1. HP Web Jetadmin を起動します。
2. **[Navigation]** パネルのドロップダウン リストで **[Device Management]** フォルダを開きます。**[Device Lists]** フォルダに移動します。
3. **[Device Lists]** フォルダを展開し、**[All Devices]** を選択します。デバイスのリストで MFP を探してクリックします。

HP Color LaserJet 4730mfp シリーズの複数の MFP のファームウェアをアップグレードする必要がある場合は、**Ctrl** キーを押したまま各 MFP の名前をクリックしてすべての MFP を選択します。

4. ウィンドウの右上隅にある **[Device Tools]** のドロップダウン ボックスを見つけます。アクション リストから **[Update Printer Firmware]** を選択します。
5. **[All Available Images]** ボックスに .RFU ファイルの名前が表示されていない場合は、**[Upload New Firmware Image]** ダイアログ ボックスの **[Browse]** をクリックし、この手順の開始時に Web サイトからダウンロードした .RFU ファイルの場所に移動します。ファイル名が表示されている場合は、ファイル名を選択します。

6. **[Upload]** をクリックして、.RFU ファイルをハード ドライブから HP Web Jetadmin サーバーに移動します。アップロードが完了したら、ブラウザ ウィンドウが更新されます。
7. **[Printer Firmware Update]** ドロップダウン メニューで .RFU ファイルを選択します。
8. **[Update Firmware]** をクリックします。HP Web Jetadmin によって、選択した .RFU ファイルが MFP に送信されます。コントロール パネルにアップグレードの進行状況を示すメッセージが表示されます。アップグレードのプロセスが終了すると、コントロール パネルに **[Ready]** というメッセージが表示されます。

MS-DOS コマンドを使用したファームウェアのアップグレード

ネットワーク接続を使用してファームウェアを更新するには、次の手順を実行します。

1. コマンド プロンプトまたは MS-DOS ウィンドウで、`copy /B FILENAME> \\COMPUTERNAME> \\SHARENAME>` と入力します。ここで、<FILENAME> はパスなどの .RFU ファイルの名前で、<COMPUTERNAME> は MFP が共有されているコンピュータの名前です。また、<SHARENAME> は MFP の共有名です。たとえば、`C:\>copy /b C:\9200FW.RFU \\YOUR_SERVER\YOUR_COMPUTER` となります。



注記 ファイル名またはパスにスペースが含まれている場合は、ファイル名またはパスを引用符で囲む必要があります。たとえば、`C:\>copy /b "C:\MY DOCUMENTS \3500FW.RFU" \\YOUR_SERVER\YOUR_COMPUTER` と入力します。

2. キーボードの **Enter** キーを押します。コントロール パネルにファームウェアのアップグレードの進行状況を示すメッセージが表示されます。アップグレードのプロセスが終了すると、コントロール パネルに **[Ready]** というメッセージが表示されます。コンピュータ画面に **[1 file(s) copied]** というメッセージが表示されます。

HP Jetdirect ファームウェアの使用

MFP の HP Jetdirect ネットワーク インタフェースには、MFP ファームウェアから個別にアップグレードできるファームウェアがあります。この手順では、コンピュータに HP Web Jetadmin Version 7.0 以降をインストールしている必要があります。「[HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用](#)」を参照してください。次の手順を実行し、HP Web Jetadmin を使用して HP Jetdirect ファームウェアを更新します。

1. HP Web Jetadmin プログラムを起動します。
2. **[Navigation]** パネルのドロップダウン リストで **[Device Management]** フォルダを開きます。**[Device Lists]** フォルダに移動します。
3. 更新するデバイスを選択します。
4. **[Device Tools]** ドロップダウン リストで、**[Jetdirect Firmware Update]** を選択します。
5. **[Jetdirect firmware version]** の下に HP Jetdirect のモデル番号および現在のファームウェア バージョンが表示されます。これらの情報を書き留めてください。
6. http://www.hp.com/go/wja_firmware にアクセスします。
7. HP Jetdirect のモデル番号の一覧にスクロールダウンし、書き留めたモデル番号を見つけます。
8. モデルの現在のファームウェアのバージョンを見て、書き留めたバージョンより新しいものであることを確認します。新しいものである場合は、ファームウェアのリンクを右クリックし、Web ページの手順を実行して新しいファームウェアのファイルをダウンロードします。ファイルは、HP Web Jetadmin ソフトウェアを実行しているコンピュータの <ドライブ>:\PROGRAM FILES

\\HP WEB JETADMIN\DOC\PLUGINS\HPWJA\FIRMWARE\JETDIRECT フォルダに保存する必要があります。

9. HP Web Jetadmin で、メイン デバイス リストに戻り、デジタル差出人を再度選択します。
10. **[Device Tools]** ドロップダウン リストで、**[Jetdirect Firmware Update]** を再度選択します。
11. HP Jetdirect ファームウェア ページで、ファームウェアの新しいバージョンが **[Jetdirect Firmware Available on HP Web Jetadmin]** の下に表示されます。**[Update Firmware Now]** ボタンをクリックして Jetdirect ファームウェアを更新します。

プリント カートリッジの管理

最高の印刷結果を得るために、必ず HP 純正プリント カートリッジを使用してください。このセクションでは、HP プリント カートリッジの適切な使用方法と保存方法について説明します。HP 製品ではないプリント カートリッジの使用についても説明します。

HP プリント カートリッジ

新しい HP 純正プリント カートリッジを使用している場合は、次のサプライ品情報を表示することができます。

- サプライ品の残量パーセンテージ
- 予測される残りページ数
- 印刷済みページ数



注記 カートリッジの注文情報については、「[サプライ品とアクセサリ](#)」を参照してください。

HP 以外のプリント カートリッジ

Hewlett-Packard 社では、新品または再生品のどちらについても、HP 以外のプリント カートリッジの使用はお勧めしません。HP 純正品ではないため、HP ではその品質を管理することができません。HP 以外のプリント カートリッジを使用した結果必要になったサービスや修理については、MFP の保証対象となりません。

HP 以外のプリント カートリッジを使用している場合は、この HP 以外の サプライ品を使用した結果、トナー残量データなどの特定の機能が使用できなくなる場合があります。

HP 以外のプリント カートリッジが HP 純正品として販売されていた場合は、「[カスタマ ケア センタ](#)」を参照してください。

プリント カートリッジの認証

HP Color LaserJet 4730mfp シリーズは、カートリッジが MFP に差し込まれると、プリント カートリッジを自動的に認証します。認証時に、カートリッジが HP 純正プリント カートリッジであるかどうかを示されます。

MFP のコントロール パネルに、これが HP 純正プリント カートリッジではないことを示すメッセージが表示され、ユーザーが HP プリント カートリッジを購入したと確信している場合は、カスタマ ケア センタにお電話ください。

HP 以外のプリント カートリッジのエラー メッセージを解除するには、**OK** を押してください。

カスタマ ケア センタ

HP プリント カートリッジを取り付けたときに、カートリッジが HP 製でないことを示すメッセージが表示されたら、カスタマ ケア センタへご連絡ください。HP 社はその製品が純正品かどうかを調べ、問題を解決するための措置をとるお手伝いをします。

次の点に気づいた場合、お手元のプリント カートリッジは HP 純正プリント カートリッジでない可能性があります。

- プリント カートリッジに問題が多発している。
- カートリッジの外観が通常の外観と異なる (たとえば、パッケージが HP 製のパッケージと違うなど)。

プリント カートリッジの保管

使用するまでは、プリント カートリッジをパッケージから出さないでください。



注意 プリント カートリッジの損傷を防ぐため、数分以上プリント カートリッジに光を当てないでください。

表 11-1 プリント カートリッジの温度仕様

環境条件	推奨	許容値	保管時/スタンバイ時
温度 (プリント カートリッジ)	17° ~ 25° C (62.6° ~ 77° F)	15° ~ 30° C (59° ~ 78° F)	-20° ~ 40° C (-4° ~ 104° F)

プリント カートリッジの寿命

プリント カートリッジの寿命は、使用パターンと、印刷ジョブが必要とするトナーの量によって異なります。各プリント カートリッジで 5% の範囲をレターまたは A4 サイズの用紙に印刷する場合、HP プリント カートリッジは平均 12,000 ページ持続します。使用条件と印刷内容によって実際の結果は異なります。

次のようにトナー残量を調べることによって、いつでも寿命を確認することができます。

プリント カートリッジの寿命の確認

プリント カートリッジの寿命は、MFP のコントロール パネル、内蔵 Web サーバー、MFP ソフトウェア、HP Easy Printer Care Software、または HP Web Jetadmin ソフトウェアを使用して確認できます。

MFP のコントロール パネルの使用

1. **Menu** ボタンを押します。
2. **INFORMATION** を押します。
3. **PRINT SUPPLIES STATUS PAGE** を押します。

内蔵 Web サーバーの使用

1. ご使用のブラウザで、プリンタのホームページの IP アドレスを入力します。プリンタ ステータス ページが表示されます。「[サプライ品ステータス ページ](#)」を参照してください。
2. 画面の左側にある **[Supplies Status]** をクリックします。サプライ品ステータス ページが表示されます。このページでプリント カートリッジの情報を参照することができます。

HP Easy Printer Care Software の使用

[Supplies Status] セクションの [Overview] タブで [Supplies Details] (サプライ品の詳細) をクリックし、サプライ品のステータス ページを開きます。

HP Web Jetadmin の使用

HP Web Jetadmin でプリンタ デバイスを選択します。デバイス ステータス ページにプリント カートリッジ情報が表示されます。

プリント カートリッジの交換

プリント カートリッジの寿命が終わりに近づくと、コントロール パネルに交換の準備を勧めるメッセージが表示されます。コントロール パネルにカートリッジの交換を指示するメッセージが表示されるまでは、MFP は現在のプリント カートリッジを使用して印刷を続けることができます。

プリンタは4色を使用し、色ごとに黒 (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、およびイエロー (Y) の異なるプリント カートリッジがあります。

MFP のコントロール パネルに **[REPLACE <COLOR> CARTRIDGE]** というメッセージが表示されたら、プリント カートリッジを交換します。コントロール パネル ディスプレイには、交換が必要な色も表示されます (現在、HP 社の純正のカートリッジが取り付けられている場合)。



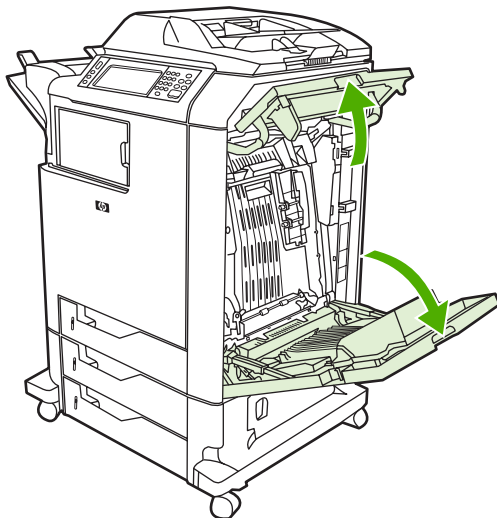
注意 トナーが洋服に付いた場合は、乾いた布で拭き取り、冷水で洗ってください。温水を使用するとトナーが布に染み込みます。



注記 使用済みのプリント カートリッジのリサイクルの詳細については、「[環境製品ステewardシップ プログラム](#)」を参照するか、または HP LaserJet サプライ品 Web サイト <http://www.hp.com/go/recycle> にアクセスしてください。

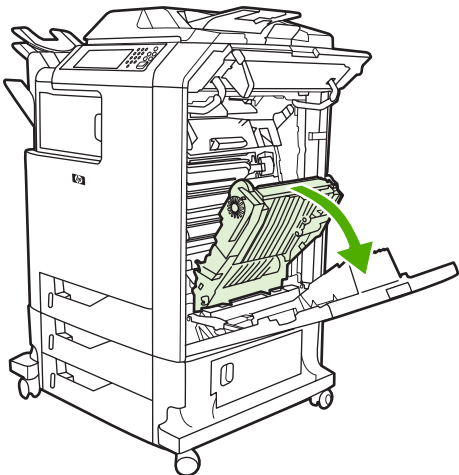
プリント カートリッジを交換するには

1. ハンドルを使用して、MFP の右側にあるカバーを開きます。



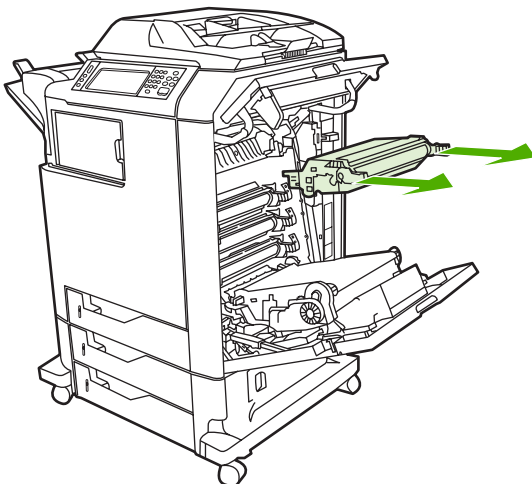
注意 フューザが熱くなっていることがあります。

2. トランスファー ユニットの緑色のハンドルをつかみ、下ろして開きます。



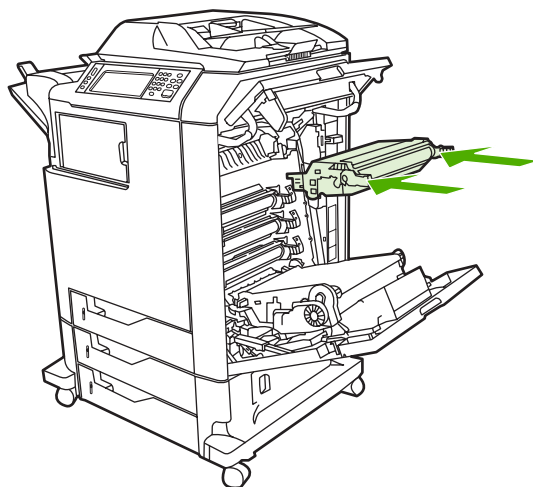
注意 トランスファー ユニットが開いているときは、その上に何も載せないでください。トランスファー ユニットが損傷を受けると、印刷の品質に問題が発生する場合があります。

3. MFP から使用済みプリント カートリッジを取り出します。



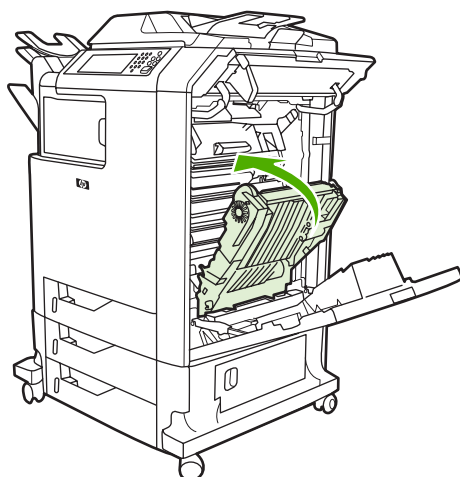
4. 袋から新しいプリント カートリッジを取り出します。再利用のために、使用済みプリント カートリッジを袋に入れます。

5. プリント カートリッジと MFP 内のトラックの位置を合わせ、完全に設置されるまでカートリッジを挿入します。

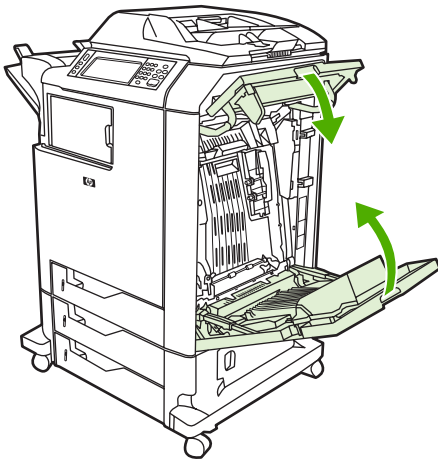


注記 カートリッジを挿入したスロットが間違っている場合、コントロール パネルには **[INCORRECT <COLOR> CARTRIDGE]** というメッセージが表示されます。

6. トランスファー ユニットを閉じます。



7. MFP の右側にあるカバーを閉じます。しばらくすると、コントロール パネルに **[Ready]** と表示されます。



8. 設置が完了しました。新しいカートリッジが梱包されていた箱に使用済みカートリッジを入れます。リサイクル手順については、同梱されているリサイクル手順書を参照してください。
9. HP 社以外のプリント カートリッジを使用している場合の詳細な手順については、コントロール パネルを確認してください。

補足説明については、<http://www.hp.com/support/clj4730mfp> をご覧ください。

サプライ品の交換

HP 純正サプライ品を使用している場合は、サプライ品の寿命が近づくと自動的に通知されます。サプライ品注文が通知されても、サプライ品を交換する必要があるまでには新しいサプライ品を注文する十分な時間があります。サプライ品の注文方法の詳細については、「[サプライ品とアクセサリ](#)」を参照してください。

サプライ品の識別

サプライ品はラベルと青いプラスチック ハンドルで識別します。

次の図に各サプライ品の場所を示します。

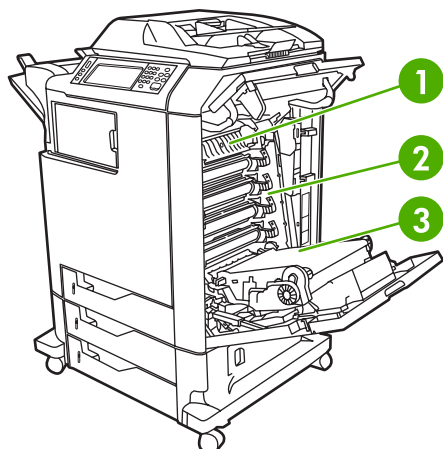


図 11-1 サプライ品の場所

1	フューザ
2	プリント カートリッジ
3	トランスファー ユニット

ステイプル カートリッジの詳細については、「[ドキュメントのステイプル留め](#)」を参照してください。

サプライ品交換のガイドライン

簡単にサプライ品を交換するには、MFP のセットアップ時に次のガイドラインに従ってください。

- サプライ品を取り外すには、MFP の上および正面には十分な間隔が必要です。
- MFP は平らでしっかりした場所に設置する必要があります。

サプライ品の取り付け手順については、各サプライ品に付属のインストール ガイドを参照するか、<http://www.hp.com/support/clj4730mfp> をご覧ください。アクセスした後、**[Solve a Problem]** を選択してください。



注意 Hewlett-Packard では、この MFP には HP 純正製品を使用することをお勧めします。HP 以外の製品を使用すると、Hewlett-Packard の保証期間延長またはサービス契約の対象外のサービスを必要とする問題が発生する場合があります。

MFP の周囲にサプライ品を交換するための間隔を空ける

次の図に、サプライ品の交換のために MFP の正面、上、および側面に必要な間隔を示します。

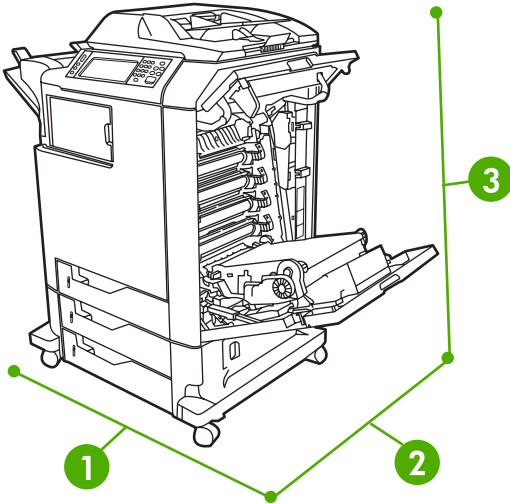


図 11-2 サプライ品を交換するための間隔

1	1160 mm。ステイブラ/スタッカまたは 3 ビン メールボックスがインストールされている場合は、1460 mm です。
2	980 mm
3	1050 mm

サプライ品の交換予定時期

次の表に、サプライ品の交換予定時期および各 부품の交換を要求するコントロール パネル メッセージを示します。使用条件と印刷内容によって結果は異なります。

項目	プリンタ メッセージ	ページ数	おおよその時期
黒カートリッジ	[REPLACE BLACK CARTRIDGE]	12,000 ページ ¹	3 か月
カラー カートリッジ	[REPLACE <COLOR> CARTRIDGE]	12,000 ページ ¹	3 か月
イメージ トランスファー キット	[REPLACE TRANSFER KIT]	120,000 ページ ²	40 か月
イメージ フューザキット	[REPLACE FUSER KIT]	150,000 ページ	50 か月

¹ 各カラーで A4 サイズまたはレターサイズの 5% の範囲を印刷した場合の、おおよその平均ページ数

² 月あたり 4,000 ページとしての、おおよその寿命

サプライ品は内蔵 Web サーバーを使用して注文できます。詳細については、「[内蔵 Web サーバーの使用](#)」を参照してください。

予防保守の実行

MFP では、最適な性能を維持するために定期的な保守が必要です。予防保守キットを購入する時期になると、コントロールパネル メッセージによって警告されます。MFP のプリンタ部分と ADF では、個別の保守手順が必要です。

ADF 保守キット

ADF を使用して 90,000 ページが給紙されると、コントロールパネル ディスプレイに **[REPLACE DOCUMENT FEEDER KIT]** というメッセージが表示されます。このメッセージは、キットの交換が必要になる約 1 か月前から表示されます。このメッセージが表示されたら、新しいキットを注文してください。新しい ADF 保守キットの注文の詳細については、「製品番号」を参照してください。

ADF 保守キットには、次のアイテムが含まれます。

- ピックアップ ローラー アセンブリ (1)
- 仕切りパッド (1)
- マイラー シート キット (1)
- 手順シート

キットに付属している手順に従って、キットをインストールしてください。

キットを交換した後に、ADF 保守キットのカウントをリセットしてください。

ADF 保守キットのカウントをリセットするには

1. MFP の電源を切って入れ直します。
2. コントロールパネル ディスプレイに XXXMB が表示されたら、3 つすべての LED が一度点滅して点灯するまで **6** を押したままにします (これには、最長 20 秒かかります)。
3. **6** を離して、**3** を 2 回押します。
4. **6** を押して **[NEW DOCUMENT FEEDER KIT]** を選択します。
5. MFP が初期化のシーケンスを完了します。ADF 保守キットのカウンタが自動的にリセットされます。

MFP のクリーニング

印刷品質を維持するには、印刷品質の問題が発生したときやプリントカートリッジを交換したときは必ず MFP を十分にクリーニングします。



警告！ MFP のクリーニング中は、フューザ部分に触れないようにしてください。熱くなっていることがあります。



注意 プリントカートリッジに修理できない傷をつけないようにするために、指示されている場合を除き、MFP やその付近で、アンモニアが含まれているクリーナーを使用しないでください。

MFP の外側のクリーニング

- MFP の外側に目に見える汚れがあれば、クリーニングします。
- 水、または水と中性洗剤で湿らせた柔らかい布を使用します。

タッチスクリーンのクリーニング

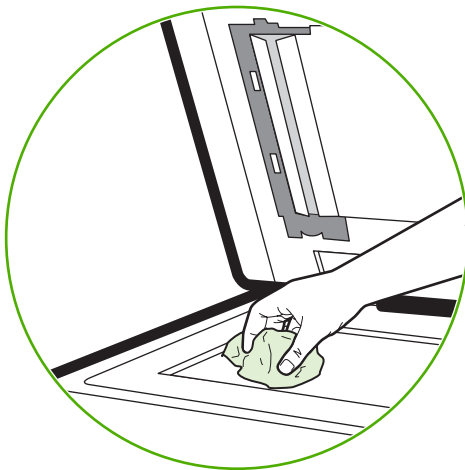
指紋やほこりを取り除く必要があればいつでもタッチスクリーンをクリーニングします。タッチスクリーンは、水で湿らせた清潔な柔らかい布でそっと拭きます。



注意 水のみを使用してください。溶剤やクリーナーを使用すると、タッチスクリーンに損傷を与える場合があります。タッチスクリーンに直接水をかけたり吹き付けたりしないでください。

スキャナ ガラスをクリーニングするには

- スキャナ ガラスは、汚れが目に見えたり、または線などが現れ、コピー品質が低下した場合にのみクリーニングします。
- スキャナ ガラスは、少し湿らせた清潔な柔らかい布でそっと拭いてクリーニングします。アンモニアが含まれている界面活性クリーナーは、水で湿らせた布でスキャナ ガラスの汚れが落ちない場合にのみ使用します。





注意 スキャナ ガラスに直接液体をかけたり吹き付けたりしないでください。ガラス表面を強く押さないでください (ガラスが割れる場合があります)。

ADF 給紙システムのクリーニング

ADF は、汚れが目に見えたり、または線などが現れ、コピー品質が低下した場合にのみクリーニングします。

ADF 給紙システムをクリーニングするには

1. スキャナのカバーを開きます。

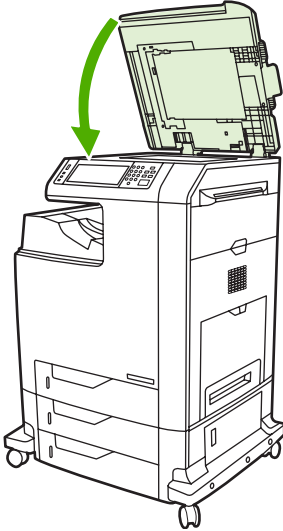


2. 白いビニールの ADF の裏張りを見つけます。



3. ADF の裏張りを湿らせた清潔な柔らかい布で拭いてクリーニングします。アンモニアが含まれている界面活性クリーナーは、水で湿らせた布で ADF のコンポーネントの汚れが落ちない場合にのみ使用します。

4. スキャナ ガラスは、少し湿らせた清潔な柔らかい布でそっと拭いてクリーニングします。アンモニアが含まれている界面活性クリーナーは、水で湿らせた布でスキャナ ガラスの汚れが落ちない場合にのみ使用します。
5. スキャナのカバーを閉じます。



ADF ローラーをクリーニングするには

給紙に失敗したり、原稿が ADF から排紙されるときに汚れが付いたりした場合に、ADF のローラーをクリーニングする必要があります。

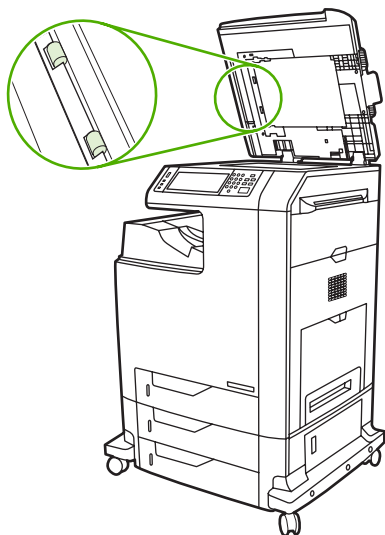


注意 ローラーは、給紙に失敗したり、原稿に汚れが付いたり、ローラーにほこりがある場合にのみクリーニングしてください。ローラーを頻繁にクリーニングすると、デバイス内にほこりが入る場合があります。

1. スキャナのカバーを開きます。



2. 白いビニールの ADF の裏張りの近くにあるローラーを見つけます。

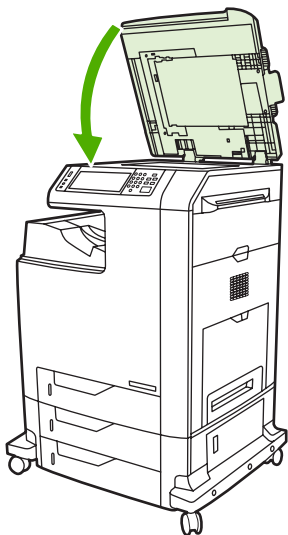


3. ローラーは、水で湿らせた清潔な柔らかい布でそっと拭きます。

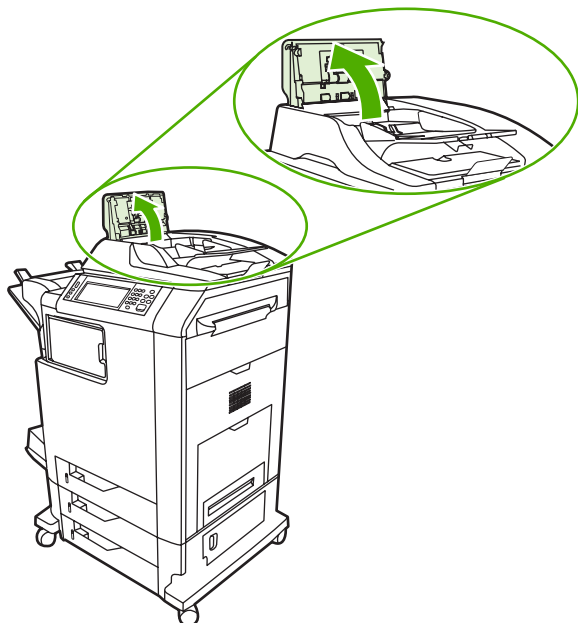


注意 ローラーに直接水をかけないでください。デバイスに損傷を与える場合があります。

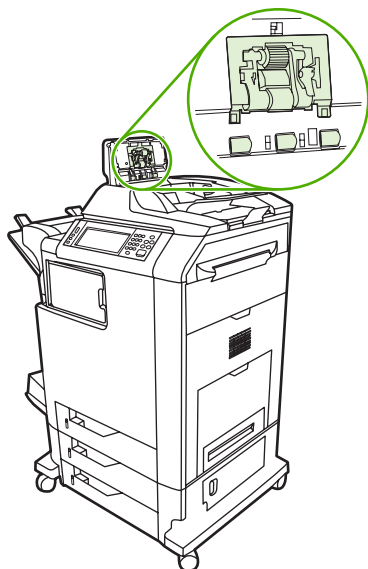
4. スキャナのカバーを閉じます。



5. 解除レバーを引いて ADF のカバーを開きます。



6. ローラーを見つけます。



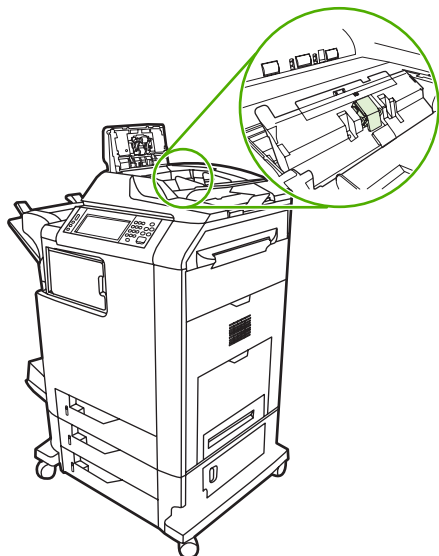
7. ローラーは、水で湿らせた清潔な柔らかい布で拭きます。



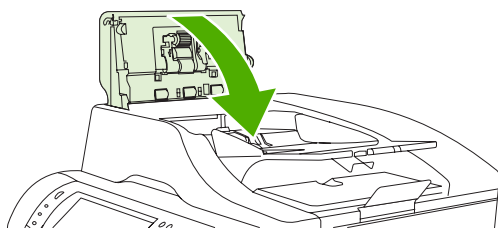
注意
す。

ローラーに直接水をかけないでください。デバイスに損傷を与える場合があります。

8. 仕切りパッドを見つけます。



9. パッドは、水で湿らせた清潔な柔らかい布で拭きます。
10. ADF のカバーを閉めます。



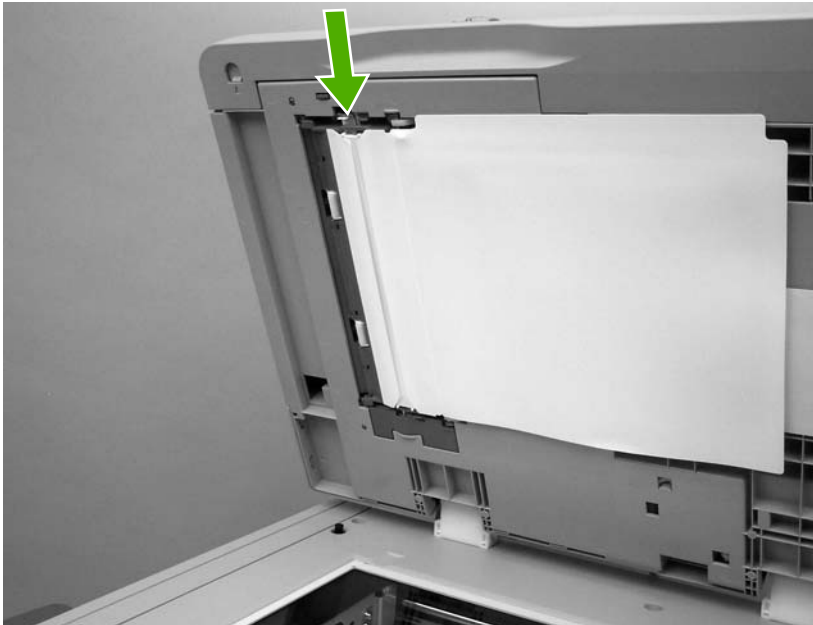
Mylar フィルムのクリーニング

スキャナ カバーの下面にある Mylar フィルムは、ADF を使用したコピー時に縦線が現れるなど、コピー品質が低下した場合にのみクリーニングします。

Mylar フィルムをクリーニングするには

1. スキャナのカバーを開きます。

2. Mylar フィルムを見つけます。



3. Mylar フィルムは、湿らせた清潔な柔らかい布でクリーニングします。
4. スキャナのカバーを閉じます。



注記 交換用の Mylar フィルムは、ADF の白いビニール製の裏当ての下にある封筒に保管されています。封筒の中の説明書の指示に従ってください。

スキャナのキャリブレーション

スキャナのキャリブレーションを行って、ADF およびフラットベッド スキャンのスキャナ イメージング システム (キャリッジ ヘッド) のオフセット値に補正します。機械の許容範囲によって、スキャナのキャリッジ ヘッドで画像の位置を正確に読み取れない場合があります。キャリブレーションの手順時に、スキャナのオフセット値が計算されて保存されます。オフセット値は、文書の正しい位置が取り込まれるようにスキャンを生成している際に使用されます。

スキャナのキャリブレーションは、スキャンされた画像にオフセットの問題がある場合にのみ実行する必要があります。スキャナは出荷前にキャリブレーションが行われます。再度キャリブレーションを行う必要はほとんどありません。

スキャナのキャリブレーションを行う前に、キャリブレーション ターゲットを印刷します。

キャリブレーション ターゲットを印刷するには

1. トレイ 1 にレターまたは A4 サイズ用紙を置いて、両側のガイドを調整します。
2. **Menu** ボタンを押してメニューを表示します。
3. **DIAGNOSTICS** にスクロールして押します。
4. **CALIBRATE SCANNER** にスクロールして押します。
5. **OK** を押し、キャリブレーション ターゲットを通過させて印刷します。
6. 矢印が MFP に向くように、最初に通過させたキャリブレーション ターゲットを表を下にしてトレイ 1 に置きます。
7. **OK** を押し、2 回目の通過をさせて印刷します。最終的なキャリブレーション ターゲットは、次の図のようにならなくてはなりません。



注意 キャリブレーション ターゲットがこの図のようにならない場合は、キャリブレーション プロセスに失敗し、スキャンの品質が低下します。黒い部分はページの短辺に完全に伸びていなくてはなりません。そうでない場合は、黒いマーカーを使用して黒い部分をページの端まで伸ばしてください。用紙が正しくセットされていることを確認します。

8. キャリブレーション ターゲットを表を下にして ADF に置き、両側のガイドを調整します。
9. キャリブレーション ターゲットが ADF を一度通過したら、表を下にして ADF に再度置き、**OK** を押します。
10. キャリブレーション ターゲットを、表を下にしてスキャナ ガラスの上に置き、**OK** を押してページをスキャンします。これが通過したら、キャリブレーションは完了します。キャリブレーションが成功すると、コントロール パネルに **Scanner calibration successful** と表示されます。

12 問題の解決

この章では、次の項目について説明します。

- [一般的な問題の解決](#)
- [MFP の問題の特定](#)
- [トラブルシューティング情報ページ](#)
- [コントロール パネルのメッセージの種類](#)
- [コントロール パネルのメッセージ](#)
- [紙詰まり](#)
- [紙詰まりの除去](#)
- [メディアの取り扱いに関する問題](#)
- [MFP のメッセージについて](#)
- [3 ビン メールボックスとステイプラ/スタッカのアクセサリ ランプについて](#)
- [フォーマッタのランプについて](#)
- [カラー印刷の問題](#)
- [印字品質とコピー品質に関する問題の解決](#)
- [電子メールの問題の解決](#)
- [ネットワーク接続に関する問題の解決](#)
- [Macintosh で発生する一般的な問題の解決](#)

一般的な問題の解決

MFP が正しく応答していない場合は、次のチェックリストに示す手順を順番に実行してください。チェックリスト内の項目に MFP が合格しない場合は、その項目に対応するトラブルシューティングのアドバイスに従ってください。特定の手順を終了したところで問題が解決された場合は、チェックリストの後続の手順を実行する必要はなく、そこで作業を終了できます。

トラブルシューティングのチェックリスト

1. MFP の印字可ランプが点灯していることを確認します。ランプが点灯していない場合は、次の手順を実行します。
 - a. 電源ケーブルの接続を確認します。
 - b. 電源スイッチがオンになっていることを確認します。
 - c. MFP を壁面または延長コードの別のコンセントに直接差し込んで、電源コンセントを確認します。
 - d. 上記のどれを行っても電源が復旧しない場合は、HP カスタマ ケアにお問い合わせください(「[HP カスタマ ケア](#)」または MFP に同梱されているサポートに関するリーフレットを参照してください)。
2. ケーブル接続を確認します。
 - a. MFP とコンピュータまたはネットワーク ポートとの間のケーブル接続を調べて、しっかり接続されていることを確認します。
 - b. 可能な場合は別のケーブルを使用して、ケーブル自体に不具合がないかどうかを確認します。
 - c. ネットワーク接続を確認します。「[ネットワーク接続に関する問題の解決](#)」を参照してください。
3. ご使用の印刷メディアが仕様を満たしていることを確認します。「[印刷メディアの仕様](#)」を参照してください。
4. 設定ページを印刷します(「[設定ページ](#)」を参照してください。MFP がネットワークに接続されている場合は、HP Jetdirect ページも印刷されます)。
 - a. 設定ページが印刷されない場合は、印刷メディアがセットされているトレイが少なくとも 1 つあることを確認します。
 - b. MFP に紙詰まりがある場合は、「[紙詰まりの除去](#)」を参照してください。
5. 設定ページが印刷された場合は、次の項目を確認します。
 - a. 設定ページが正しく印刷される場合、MFP ハードウェアは正しく動作しています。問題は、ご使用のコンピュータ、プリンタ ドライバ、またはプログラムにあります。
 - b. 設定ページが正しく印刷されない場合、問題は MFP ハードウェアにあります。HP カスタマ ケアにお問い合わせください(「[HP カスタマ ケア](#)」または MFP に同梱されているサポートに関するリーフレットを参照してください)。
6. 次のオプションのいずれかを選択します。

Windows の場合： [スタート]、[設定]、[プリンタ] または [プリンタとファックス] の順にクリックします。[HP Color LaserJet 4730mfp] をダブルクリックします。

または

Mac OS X の場合： **[Print Center]** (または、Mac OS X v. 10.3 の場合は **[Printer Setup Utility]**) を開き、**[HP Color LaserJet 4730mfp]** の行をダブルクリックします。

7. HP Color LaserJet 4730mfp シリーズ プリンタ ドライバがインストールされていることを確認します。プログラムを確認して、HP Color LaserJet 4730mfp シリーズ プリンタ ドライバが使用されていることを確認します。
8. 過去に正しく機能していた別のプログラムを使用して、簡単なドキュメントを印刷します。これで問題が解決される場合は、問題をご使用のプログラムにあります。これで問題が解決されない (ドキュメントが印刷されない) 場合は、次の手順を実行してください。
 - a. MFP ソフトウェアがインストールされている別のコンピュータからジョブの印刷を試みます。
 - b. MFP をネットワークに接続してある場合は、パラレル ケーブルを使用して MFP をコンピュータに直接接続します。MFP を正しいポートにリダイレクトするか、ソフトウェアを再インストールして新しい接続タイプを選択します。
9. 問題がまだ解決されない場合は、「[MFP の問題の特定](#)」を参照してください。

MFP の問題の特定

状況/メッセージ	解決策
コントロールパネル ディスプレイに何も表示されず、内部ファンが稼動していません。	MFP の電源が入っていることを確認します。すべてのキーを押し、はまって動かなくなっているキーがないかどうかを調べます。それでも問題が解決されない場合は、正規の HP サービス代理店にお問い合わせください。「 HP カスタマケア 」を参照してください。
MFP の電源が入っていますが、内部ファンが稼動していません。	電源電圧が MFP の電源設定に適合していることを確認します (電圧要件については、MFP の上部カバーの内側にあるラベルを参照してください)。電源ストリップを使用しており、電源ストリップの電圧が仕様に適合していない場合は、MFP を電源コンセントに直接差し込みます。
MFP の電圧が正しくありません。	電源電圧が正しい範囲にあることを確認します (電圧要件については、MFP の上部カバーの内側にあるラベルを参照してください)。
コントロールパネル ディスプレイにメッセージが表示されません。	「 MFP のメッセージについて 」を参照してください。
MFP で紙詰まりが発生しています。	紙詰まりがないかどうかを確認します。詳細については、「 紙詰まりの除去 」を参照してください。
コントロール パネル ディスプレイに間違った言語や見慣れない文字が表示されます。	コントロールパネル ディスプレイの言語を再設定します。 <ol style="list-style-type: none">1. MFP の電源を切って入れ直します。2. コントロールパネル ディスプレイに [XXXMB] と表示されたら、3 つの LED がすべて点滅した後で点灯するまで、6 を押したままにします (LED が点灯するまでに最高 20 秒かかる場合があります)。3. 6 を離してから、6 をもう一度押します。4. MFP の初期化シーケンスが完了するまで待ちます。初期化が完了すると、コントロールパネル ディスプレイに [Select A Language] と表示されます。正しい言語までスクロールして押します。
デジタル送信ジョブの最中にエラーが発生し、ジョブが失敗しました。	デジタル送信ジョブの実行中に MFP でエラーが発生しました。SMTP サーバーの状態を管理者に確認してもらう必要があります。「 電子メールの問題の解決 」を参照してください。
添付ファイルが大きすぎるので、電子メール ゲートウェイがジョブを受け入れられませんでした。	電子メールの添付ファイルの最大サイズを設定して、添付ファイルのサイズを削減します。内蔵 Web サーバーの [Digital Sending] タブで、添付ファイルの最大サイズを設定します。「 内蔵 Web サーバーの使用 」を参照してください。 別のファイル形式を使用するか、ドキュメントを一度に数ページずつ送信してみます。
デジタル送信を行うにはネットワーク接続が必要です。	MFP がネットワーク接続を検出できません。MFP がネットワークに接続されているかどうかを管理者に確認してもらう必要があります。「 ネットワーク接続に関する問題の解決 」を参照してください。

トラブルシューティング情報ページ

MFP のコントロール パネルから、MFP の問題の診断に役立つページを印刷できます。このセクションでは、次の情報ページを印刷する手順について説明します。

- 設定ページ



注記 MFP の診断を開始する前に、設定ページを印刷することをお勧めします。

- 用紙経路テスト ページ
- レジストレーション ページ
- イベント ログ

設定ページ

設定ページを使用して、現在の MFP の設定を確認または復元したり、MFP の問題のトラブルの解決に役立てたり、DIMM、用紙ハンドリング アクセサリ、プリンタ言語などのオプション アクセサリのインストール状況を確認したりすることができます。

1. **Menu** ボタンを押して **[MENUS]** を表示します。
2. **INFORMATION** を押します。
3. **PRINT CONFIGURATION** を押します。

設定ページの印刷中は、**[Printing... CONFIGURATION]** というメッセージが表示されます。印刷後、MFP は **[Ready]** 状態に戻ります。



注記 MFP で HP Jetdirect プリント サーバー、両面印刷ユニット、またはステイプラ/スタックが設定されている場合、それらのデバイスの情報を含んでいる追加の設定ページが印刷されます。

用紙経路テスト ページ

用紙経路テスト ページは、MFP の用紙ハンドリング機能をテストするときに役立ちます。給紙元、排紙先、MFP で指定可能なその他のオプションを選択することによって、テストする用紙経路を定義することができます。

1. **Menu** ボタンを押して **[MENUS]** を表示します。
2. **DIAGNOSTICS** を押します。
3. **PAPER PATH TEST** を押します。

用紙経路のテスト中は、**[Performing... PAPER PATH TEST]** というメッセージが表示されます。用紙経路テスト ページの印刷が終了すると、**[Ready]** 状態に戻ります。

レジストレーション ページ

レジストレーション ページには、ページの中央からどのくらい離れた場所に画像を印刷できるかを示す水平矢印と垂直矢印が表示されます。ページの表面と裏面の画像が中央に位置合わせされるよう

に、トレイのレジストレーション値を設定することができます。画像の配置は、トレイごとにわずかに異なります。各トレイに対してレジストレーション手順を実行してください。

1. **Menu** ボタンを押して **[MENUS]** を表示します。
2. **CONFIGURE DEVICE** を押します。
3. **PRINT QUALITY** を押します。
4. **SET REGISTRATION** を押します。



注記 **[SOURCE]** を指定して、トレイを選択することができます。デフォルトの **[SOURCE]** はトレイ 2 です。トレイ 2 のレジストレーションをそのまま維持するには、手順 7 に進みます。それ以外の場合は次の手順に進みます。

5. **[SOURCE]** を押します。
6. トレイを選択します。
トレイを選択すると、MFP のコントロール パネルが **[SET REGISTRATION]** メニューに戻ります。
7. **PRINT TEST PAGE** を押します。
8. 印刷されたページの指示に従います。

イベント ログ

イベント ログには、MFP の紙詰まり、サービス エラー、MFP のその他の状態などのイベントが記載されています。

1. **Menu** ボタンを押して **[MENUS]** を表示します。
2. **DIAGNOSTICS** を押します。
3. **PRINT EVENT LOG** を押します。

イベント ログの印刷中は、**[Printing... EVENT LOG]** というメッセージが表示されます。イベント ログの印刷が終了すると、**[Ready]** 状態に戻ります。

コントロール パネルのメッセージの種類

コントロール パネルのメッセージは、その重大度によって次の 3 種類に分かれます。

- ステータス メッセージ
- 警告メッセージ
- エラー メッセージ

エラー メッセージ カテゴリでは、**致命的エラー** メッセージにランク付けされるメッセージもあります。このセクションでは、コントロール パネルのメッセージの種類の違いについて説明します。

ステータス メッセージ

ステータス メッセージは現在の MFP の状態を示します。MFP の正常な動作を表すメッセージなので、メッセージを消す必要はありません。MFP の状態が変わるとメッセージも変わります。MFP が使用中ではなく印刷の準備が完了しており、保留の警告メッセージがないときは、MFP がオンラインになっていれば必ず **[Ready]** というステータス メッセージが表示されます。

警告メッセージ

警告メッセージは、データおよび印刷エラーをユーザーに通知します。これらのメッセージは通常、**[Ready]** または **[Status]** メッセージと交互に表示され、エラーが解決されるまで表示されています。MFP の設定メニューで **[CLEARABLE WARNINGS]** が **[JOB]** に設定されていると、これらのメッセージは次の印刷ジョブによって消去されます。

エラー メッセージ

エラー メッセージは、用紙の補給や紙詰まりの除去など、あるアクションの実行が必要なことを通知します。

一部のエラー メッセージは自動継続可能です。つまり、**[AUTO CONTINUE=ON]** に設定されている場合は、自動継続可能なエラー メッセージが 10 秒間表示された後に継続して MFP の通常動作が行われます。



注記 自動継続可能なエラー メッセージが 10 秒間表示されている間にいずれかのボタンを押すと、自動継続機能より、押したボタンの機能の方が優先されます。たとえば、**Menu** ボタンを押すと、メインメニューが表示されます。

致命的エラー メッセージ

致命的エラー メッセージは、デバイスの故障を通知します。これらのメッセージは、MFP の電源を切ってから、電源を入れ直すと消える場合があります。**[AUTO CONTINUE]** 設定は、これらのメッセージに影響を与えません。致命的エラー メッセージが消えない場合は、カスタマ ケア センタへご連絡ください。

次の表では、コントロール パネルのメッセージについて、数字、アルファベット、五十音順に説明しています。

コントロールパネルのメッセージ

メッセージの一覧

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[[FS] FILE] [OPERATION FAILED] [To clear touch "OK".] (交互に表示) [Ready]	非論理的な操作 (存在しないディレクトリへのファイルのダウンロードなど) を実行しようとする PJI ファイル システム コマンドを受信しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. メッセージを消すには、OK を押しします。 2. メッセージが消えない場合は、MFP の電源を切って入れ直します。 3. メッセージが再び表示される場合は、ソフトウェア アプリケーションに問題がある可能性があります。
[[FS] NOT] [INITIALIZED]	デバイスが初期化されていません。	Web JetAdmin を使用してデバイスを初期化できます。
[[FS] NOT] [INITIALIZED] [To clear touch "OK".] (交互に表示) <現在のステータス メッセージ>	Flash ファイル システムが初期化されていません。Flash ファイル システムを使用するには、まず初期化する必要があります。	OK を押して続行します。
[10.00.YY SUPPLY] [MEMORY ERROR] (交互に表示) ⓘ を押して詳細情報を表示します。 サプライ品ゲージにプリント カートリッジの消費レベルが表示されます。	1 つ以上のプリント カートリッジ メモリ タグの読み取りまたは書き込みができません。 YY の値は次のとおりです。 00 = 黒プリント カートリッジ 01 = シアン プリント カートリッジ 02 = マゼンタ プリント カートリッジ 03 = イエロー プリント カートリッジ	<ol style="list-style-type: none"> 1. MFP の電源を切って入れ直します。 2. エラー メッセージで示されたプリント カートリッジを取り付け直すか、新しいプリント カートリッジがある場合はそれを取り付けます。 3. ⓘ を押して詳細情報を表示します。 4. エラー メッセージが消えない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
[10.10.YY SUPPLY] [MEMORY ERROR] (交互に表示) ⓘ を押して詳細情報を表示します。 サプライ品ゲージにプリント カートリッジの消費レベルが表示されます。	メモリ タグがないプリント カートリッジが少なくとも 1 つあります。 YY の値は次のとおりです。 00 = 黒プリント カートリッジ 01 = シアン プリント カートリッジ 02 = マゼンタ プリント カートリッジ 03 = イエロー プリント カートリッジ	<ol style="list-style-type: none"> 1. MFP の電源を切って入れ直します。 2. エラー メッセージで示されたプリント カートリッジを取り付け直すか、新しいプリント カートリッジがある場合はそれを取り付けます。 3. ⓘ を押して詳細情報を表示します。
[10.90.XY REPLACE] [[COLOR] CARTRIDGE] [For help press ⓘ]	カラー カートリッジのトナーが切れているため、交換する必要があります。	カラー カートリッジを交換してください。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[10.92.YY CARTRIDGES] [NOT ENGAGED]	プリントカートリッジがMFPに正しく取り付けられていません。	プリントカートリッジを取り外し、取り付け直します。
[11.X INTERNAL CLOCK ERROR] [To continue touch "OK".]	このメッセージは、フォーマッタボードのリアルタイムクロックに問題が発生した場合に表示されます。 XX=01 クロックバッテリー電圧低下 XX=02 リアルタイムクロック異常	OK を押して続行します。このエラーが発生した場合、MFPは電源が切られるまでプロセッサクロックを使用して時刻と日付を追跡記録します。エラーを修正しない限り、MFPの電源を切って入れ直すたびに日付と時刻をリセットすることを要求するプロンプトが表示されます。
[13.XX.YY EXTERNAL OUTPUT] [DEVICE PAPER JAM]	ステイプラ/スタッカに紙詰まりがあります。	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、紙詰まりの除去に関する詳細情報を表示します。 2. スクロールバーを使用して指示を表示し、それに従います。 3. すべての用紙を除去してもメッセージが消えない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
[13.XX.YYJAM IN] [OUTPUT DEVICE] [For help press 	外部の用紙ハンドリングデバイスで紙詰まりが発生しています。	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、紙詰まりの除去に関する詳細情報を表示します。 2. スクロールバーを使用して指示を表示し、それに従います。 3. すべての用紙を除去してもメッセージが消えない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
[13.XX.YY JAM IN] [DUPLEX PATH] [For help press 	両面印刷経路に紙詰まりがあります。	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、紙詰まりの除去に関する詳細情報を表示します。 2. スクロールバーを使用して指示を表示し、それに従います。 3. 詳細については、「紙詰まりの除去」を参照してください。 4. すべての用紙を除去してもメッセージが消えない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
[13.XX.YY JAM IN] [PAPER PATH] [For help press 	用紙経路に紙詰まりがあります。	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、紙詰まりの除去に関する詳細情報を表示します。 2. スクロールバーを使用して指示を表示し、それに従います。 3. 詳細については、「紙詰まりの除去」を参照してください。 4. すべての用紙を除去してもメッセージが消えない場合は、HP サポート

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
		http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
<p>[13.XX.YY JAM IN]</p> <p>[STAPLER]</p> <p>[For help press ?]</p>	<p>ステイブラにステイプルが詰まっています。ステイブラ/スタッカにステイプルが詰まっていないか確認します。詳細については、「ステイブラ/スタッカの紙詰まり」を参照してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ? を押して、紙詰まりの除去に関する詳細情報を表示します。 2. スクロール バーを使用して指示を表示し、それに従います。 3. すべての用紙を除去してもメッセージが消えない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfpまでご連絡ください。
<p>[13.XX.YY JAM IN]</p> <p>[TRAY 1]</p> <p>[Clear jam then]</p> <p>[touch OK]</p>	<p>トレイ 1 で紙詰まりが発生しています。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ? を押して、紙詰まりの除去に関する詳細情報を表示します。 2. スクロール バーを使用して指示を表示し、それに従います。 3. 詳細については、「紙詰まりの除去」を参照してください。 4. すべての用紙を除去してもメッセージが消えない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfpまでご連絡ください。
<p>[13.XX.YY JAM IN]</p> <p>[TRAY X]</p> <p>[For help press ?]</p>	<p>トレイ 2、3、または 4 で紙詰まりが発生しています。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ? を押して、紙詰まりの除去に関する詳細情報を表示します。 2. スクロール バーを使用して指示を表示し、それに従います。 3. 詳細については、「紙詰まりの除去」を参照してください。 4. すべての用紙を除去してもメッセージが消えない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfpまでご連絡ください。
<p>[13.XX.YY JAM INSIDE]</p> <p>[DUPLEXER]</p> <p>[For help press ?]</p>	<p>両面印刷ユニットで紙詰まりが発生しています。デバイスで詰まった用紙がないか確認します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ? を押して、紙詰まりの除去に関する詳細情報を表示します。 2. スクロール バーを使用して指示を表示し、それに従います。 3. 詳細については、「紙詰まりの除去」を参照してください。 4. すべての用紙を除去してもメッセージが消えない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfpまでご連絡ください。
<p>[13.XX.YY JAM INSIDE]</p> <p>[LEFT OUTPUT AREA]</p> <p>[For help press ?]</p>	<p>排紙エリアで紙詰まりが発生しています。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 画面に表示されるダイアログ ボックスの指示に従います。 2. 詳細については、「紙詰まりの除去」を参照してください。 3. すべての用紙を除去してもメッセージが消えない場合は、HP サポート

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
		http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
[13.XX.YY JAM IN TOP] [COVER OR DUPLEX AREA] [For help press ?]	上部カバー エリアに紙詰まりがあります。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ? を押して、紙詰まりの除去に関する詳細情報を表示します。 2. スクロール バーを使用して指示を表示し、それに従います。 3. 詳細については、「紙詰まりの除去」を参照してください。 4. すべての用紙を除去してもメッセージが消えない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfpまでご連絡ください。
[13.XX.YY MULTIPLE] [JAMS IN DUPLEX PATH] [For help press ?]	両面印刷経路に複数の紙詰まりがあります。これには上部カバー エリアが含まれます。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ? を押して、紙詰まりの除去に関する詳細情報を表示します。 2. スクロール バーを使用して指示を表示し、それに従います。 3. 詳細については、「紙詰まりの除去」を参照してください。 4. すべての用紙を除去してもメッセージが消えない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfpまでご連絡ください。
[13.XX.YY MULTIPLE] [JAMS IN PAPER PATH] [For help press ?]	給紙経路に複数の紙詰まりがあります。これには上部カバー エリアが含まれます。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ? を押して、紙詰まりの除去に関する詳細情報を表示します。 2. スクロール バーを使用して指示を表示し、それに従います。 3. 詳細については、「紙詰まりの除去」を参照してください。 4. すべての用紙を除去してもメッセージが消えない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfpまでご連絡ください。
[20 INSUFFICIENT MEMORY] [For help press ?] (交互に表示) [20 INSUFFICIENT MEMORY] [To continue touch "OK".]	使用可能なメモリに適したデータ量より多くのデータをコンピュータから受信しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. OK を押して印刷を続行します。 <div>  注記 データが消失する可能性があります。 </div> <ol style="list-style-type: none"> 2. 今後このエラーを避けるには、印刷ジョブを簡略化します。 3. MFP にメモリを増設すると、より複雑なページを印刷できます。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[22 EIO X] [BUFFER OVERFLOW] [To continue touch "OK".]	カードスロット X の EIO カードで、使用中に I/O バッファがオーバーフローしました。	1. OK を押して印刷を続行します。  注記 データが消失する可能性があります。 2. メッセージが消えない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
[22 EMBEDDED I/O] [BUFFER OVERFLOW] [To continue touch "OK".]	内蔵の JetDirect プリンタ サーバーがオーバーフローしました。	1. OK を押して続行します。このエラーが発生すると、データが失われる可能性があります。必要に応じて、MFP にジョブを再送信します。 2. メッセージが消えない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
[22 PARALLEL I/O] [BUFFER OVERFLOW] [For help press ?] (交互に表示) [22 PARALLEL I/O] [BUFFER OVERFLOW] [To continue touch "OK".]	パラレル バッファが使用中にオーバーフローしました。	1. OK を押して、印刷を再開します。  注記 データが消失する可能性があります。 2. メッセージが消えない場合は、パラレル ケーブルを両端で外して再び接続します。 3. それでもメッセージが消えない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
[22 USB I/O] [BUFFER OVERFLOW] [To continue touch "OK".]	USB バッファが使用中にオーバーフローしました。	1. OK を押して印刷を続行します。  注記 データが消失する可能性があります。 2. メッセージが消えない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
[30.1.YY SCANNER FAILURE]	スキャナでエラーが発生しました。	MFP の電源を切って入れ直します。 このエラー メッセージが消えない場合は、HP の正規サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください。HP のサポートに関するリーフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/clj4730mfp をご覧ください。
[40 EIO X BAD] [TRANSMISSION] [To continue touch "OK".]	EIO スロット X のカードとの接続が切断されました。	1. OK を押して印刷を続行します。  注記 データが消失する可能性があります。 2. メッセージが消えない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
[40 EMBEDDED I/O BAD]	内蔵の JetDirect プリント サーバーとの接続が切れました。	MFP の電源を切って入れ直します。 ? を押して詳細情報を表示します。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[TRANSMISSION] [To continue touch "OK".]		メッセージが消えない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
[41.3 UNEXPECTED] [SIZE IN TRAY X] [For help press ?] (交互に表示) [LOAD TRAY XX] [TYPE] [SIZE] [To use another] [tray touch OK]	トレイには、設定されたサイズより、給紙方向に対して長いまたは短い用紙がセットされています。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 間違ったサイズが選択されている場合は、ジョブをキャンセルするか、または ? を押してヘルプを表示します。 または 2. OK を押して、別のトレイを選択します。 3. スクロール バーを使用して指示を表示し、それに従います。
[41.5 UNEXPECTED] [TYPE IN TRAY X] [For help press ?] (交互に表示) [LOAD TRAY XX] [TYPE] [SIZE] [To use another] [tray touch OK]	用紙経路で、トレイで設定されていない異なる用紙タイプを検出しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 間違ったタイプが選択されている場合は、ジョブをキャンセルするか、または ? を押してヘルプを表示します。 または 2. OK を押して、別のトレイを選択します。 3. スクロール バーを使用して指示を表示し、それに従います。
[44.1 USB ACCESSORY] [ERROR] [For help press ?]	このメッセージは、接続された USB アクセサリが電力を消費しすぎる場合に表示されます。その場合、ACC ポートが無効になり、印刷は停止します。	スクロール バーを使用して指示を表示し、それに従います。
[49.XXXX] [PRINTER ERROR] [To continue] [turn off then on]	致命的なファームウェア エラーが発生しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. MFP の電源を切って入れ直します。 2. メッセージが消えない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
[50.X FUSER ERROR] 続けるには、電源を切って入れ直します。	フューザ エラーが発生しました。	MFP の電源を切って入れ直します。
[50.X FUSER ERROR] [For help press ?]	フューザ エラーが発生しました。 エラーの原因として、電源の不足、電源電圧の不足、またはフューザの問題が考えられます。 次のエラーは特定のフューザ エラーです。 50.1: メイン サーミスタでフューザ低温エラーが発生しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. MFP の電源を切って入れ直します。 2. メッセージが消えない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
	<p>50.2: フューザのウォーミングアップ サービス エラーが発生しました。</p> <p>50.1: メイン サーミスタでフューザ低温エラーが発生しました。</p> <p>50.6: オープン フューザ エラーが発生しました。</p> <p>50.7: フューザ圧力解放メカニズム エラーが発生しました。</p> <p>50.8: サブ サーミスタでフューザの低圧エラーまたは低温エラーが発生しました。</p> <p>50.9: サブ サーミスタでフューザの高圧エラーまたは高温エラーが発生しました。</p>	
<p>[51.2Y]</p> <p>[PRINTER ERROR]</p> <p>[For help press ?]</p> <p>(交互に表示)</p> <p>[51.2Y]</p> <p>[PRINTER ERROR]</p> <p>To continue</p> <p>[turn off then on]</p>	<p>レーザー ビームがエラーを検出したか、またはレーザー エラーが発生しました。</p> <p>Y の値は次のとおりです。</p> <p>Y の説明</p> <p>0 - 黒</p> <p>1 - シアン</p> <p>2 - マゼンタ</p> <p>3 - イエロー</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. MFP の電源を切って入れ直します。 2. 問題が解消されない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
<p>[51.XY PRINTER ERROR]</p> <p>(交互に表示)</p> <p>[To continue]</p> <p>[turn off then on]</p>	<p>フューザ エラーが発生しました。</p>	<p>印刷を続行するには、MFP の電源を切って入れ直します。</p>
<p>[52.XY PRINTER ERROR]</p> <p>(交互に表示)</p> <p>[To continue]</p> <p>[turn off then on]</p>	<p>MFP エラーが発生しました。</p>	<p>MFP の電源を切って入れ直します。 ? を押して詳細情報を表示します。</p> <p>メッセージが消えない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。</p>
<p>[53.XY.ZZ CHECK RAM]</p> <p>[DIMM SLOT X]</p>	<p>メモリ エラーが発生しました。</p>	<p>プロンプトが表示されたら、OK を押して続行します。MFP は [Ready] 状態になりますが、搭載されているメモリを十分に活用しません。</p> <p>そうでない場合は、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. MFP の電源を切ります。 2. すべての DDR SDRAM が仕様を満たし、正しく取り付けられていることを確認します。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
		3. MFP の電源を入れます。 4. 問題が解消されない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
[54.01 PRINTER] [ERROR] [To continue] [turn off then on]	印刷を継続できません。湿度環境センサが異常です。	1. MFP の電源を切って入れ直します。 2. 問題が解消されない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
[54.XX] [PRINTER ERROR] [To continue] [turn off then on]	センサの誤動作です。 XX の値は次のとおりです。 01 - 湿度センサ 05 - メディア センサ 07 - イエロー ドラム フェーズ (ホーム) 位置センサ 08 - マゼンタ ドラム フェーズ (ホーム) 位置センサ 09 - シアン ドラム フェーズ (ホーム) 位置センサ 0A - 黒ドラム フェーズ (ホーム) 位置センサ 0B - 濃度センサの値が範囲外 0C - ハーフトーン キャリブレーション 0D - ハーフトーン色拡散キャリブレーション 0B - CPR の値が範囲外	1. MFP の電源を切って入れ直します。 2. 問題が解消されない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
[55.0X.YY DC] [CONTROLLER ERROR] [For help press ?] (交互に表示) [55.0X.YY] [PRINTER ERROR] [To continue] [turn off then on]	プリンタ コマンド エラーが発生しました。	1. MFP の電源を切って入れ直します。 2. 問題が解消されない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
[56.XX] [PRINTER ERROR] [To continue] [turn off then on]	MFP エラーが発生しました。	1. MFP の電源を切って入れ直します。 2. 問題が解消されない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
<p>[57.0X]</p> <p>[PRINTER ERROR]</p> <p>[To continue]</p> <p>[turn off then on]</p>	MFP ファン エラーが発生しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. MFP の電源を切って入れ直します。 2. 問題が解消されない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
<p>[58.0X]</p> <p>[PRINTER ERROR]</p> <p>[For help press ?]</p> <p>(交互に表示)</p> <p>[58.0X]</p> <p>[PRINTER ERROR]</p> <p>[To continue]</p> <p>[turn off then on]</p>	メモリ タグ エラーが検出されました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. MFP の電源を切って入れ直します。 2. 問題が解消されない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
<p>[59.XY]</p> <p>[PRINTER ERROR]</p> <p>[For help press ?]</p> <p>(交互に表示)</p> <p>[59.XY]</p> <p>[PRINTER ERROR]</p> <p>[To continue]</p> <p>[turn off then on]</p>	MFP モーター エラーが発生しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. MFP の電源を切って入れ直します。 2. 問題が解消されない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。 <p>注記：このメッセージは、トランスファー ユニットが取り付けられていない場合や、間違っ取り付けられている場合も表示されることがあります。トランスファー ユニットが正しく取り付けられているかどうかを確認します。</p>
<p>[60.X]</p> <p>[PRINTER ERROR]</p> <p>(交互に表示)</p> <p>[To continue]</p> <p>[turn off then on]</p>	トレイの持ち上げでエラーが発生しました。X はトレイの番号です。	<ol style="list-style-type: none"> 1. スクロール バーを使用して指示を表示し、それに従います。 2. MFP の電源を切って入れ直します。 3. エラー メッセージが消えない場合は、メッセージを記録し、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
<p>[62 NO SYSTEM]</p> <p>[To continue]</p> <p>[turn off then on]</p>	システムが検出されませんでした。	<ol style="list-style-type: none"> 1. MFP の電源を切って入れ直します。 2. 問題が解消されない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[64 PRINTER ERROR] [To continue] [turn off then on]	スキャン バッファ エラーが発生しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. MFP の電源を切って入れ直します。 2. アクセサリが MFP に正しく取り付けられて接続されており、MFP とアクセサリの間に隙間がないことを確認します。アクセサリでケーブルが使用されている場合は、ケーブルを抜き取ってから再び差し込みます。接続用のネジがすべてしっかり締められていることを確認します。 3. このエラー メッセージが消えない場合は、HP の正規サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください。HP のサポートに関するリーフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/clj4730mfp をご覧ください。
[65.X.X OUTPUT] [DEVICE CONDITION]	印刷を再開する前に処置が必要な状態が外部出力デバイスで発生しています。	MFP の電源を切って入れ直します。必要に応じて、出力デバイスを設置し直します。出力デバイスが接続されており、ケーブルがしっかり差し込んであることを確認します。
[65.X.X OUTPUT] [DEVICE DISCONNECTED]	MFP とデバイス間の通信が途切れました。デバイスが接続されていない可能性があります。	<ol style="list-style-type: none"> 1. MFP の電源を切ります。MFP のステイプラ/スタッカを交換します。MFP の電源を入れます。 2. アクセサリが MFP に正しく取り付けられて接続されており、MFP とアクセサリの間に隙間がないことを確認します。アクセサリでケーブルが使用されている場合は、ケーブルを抜き取ってから再び差し込みます。接続用のネジがすべてしっかり締められていることを確認します。 3. エラー メッセージが消えない場合は、メッセージを記録し、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
[66.XX.X OUTPUT] [DEVICE FAILURE]	外部の用紙ハンドリング アクセサリでエラーが発生しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. MFP の電源を切ります。 2. アクセサリが MFP に正しく取り付けられて接続されており、MFP とアクセサリの間に隙間がないことを確認します。アクセサリでケーブルが使用されている場合は、ケーブルを抜き取ってから再び差し込みます。接続用のネジがすべてしっかり締められていることを確認します。 3. MFP の電源を入れます。 4. このエラー メッセージが消えない場合は、HP の正規サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください。HP のサポートに関するリーフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/clj4730mfp をご覧ください。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
<p>[68.X PERMANENT]</p> <p>[STORAGE FULL]</p> <p>[For help press ?]</p> <p>(交互に表示)</p> <p>[68.X PERMANENT]</p> <p>[STORAGE FULL]</p> <p>[To continue touch "OK".]</p>	<p>不揮発性ストレージ デバイスがいっぱいです。OK を押すと、メッセージが消えます。継続して印刷できますが、予想外の動作が発生することがあります。</p> <p>X の説明</p> <p>0 の場合、オンボード NVRAM (不揮発性 RAM)</p> <p>1 の場合、リムーバブル ディスク (フラッシュまたはハード)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. OK を押して続行します。 2. 68.0 エラーの場合は、MFP の電源を切って入れ直します。 3. 68.0 エラー メッセージが消えない場合は、HP サポートまでご連絡ください。 4. 68.1 エラーの場合は、HP Web Jetadmin ソフトウェアでディスク ドライブからファイルを消去します。 5. 68.1 エラー メッセージが消えない場合は、HP サポートまでご連絡ください。
<p>[68.X PERMANENT]</p> <p>[STORAGE WRITE FAIL]</p> <p>[To continue touch "OK".]</p>	<p>不揮発性ストレージ デバイスがいっぱいです。OK を押すと、メッセージが消えます。継続して印刷できますが、予想外の動作が発生することがあります。</p> <p>X の説明</p> <p>0 の場合、オンボード NVRAM (不揮発性 RAM)</p> <p>1 の場合、リムーバブル ディスク (フラッシュまたはハード)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. OK を押して続行します。 2. メッセージが消えない場合は、MFP の電源を切って入れ直します。 3. 問題が解消されない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
<p>[68.X STORAGE ERROR]</p> <p>[SETTINGS CHANGED]</p> <p>[For help press ?]</p> <p>(交互に表示)</p> <p>[68.X STORAGE ERROR]</p> <p>[SETTINGS CHANGED]</p> <p>[To continue touch "OK".]</p>	<p>不揮発性ストレージ デバイ스에保存されている 1 つ以上の MFP 設定が無効です。出荷時のデフォルト設定にリセットされました。OK を押すと、メッセージが消えます。継続して印刷できますが、予想外の動作が発生することがあります。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. OK を押して続行します。 2. メッセージが消えない場合は、MFP の電源を切って入れ直します。 3. 問題が解消されない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
<p>[69.X PRINTER ERROR]</p> <p>[For help press ?]</p> <p>(交互に表示)</p> <p>[69.X PRINTER ERROR]</p> <p>[To continue]</p> <p>[turn off then on]</p>	<p>MFP エラーが発生しました。</p>	<p>MFP の電源を切って入れ直します。? を押して詳細情報を表示します。</p>
<p>[79.XXXX]</p> <p>[PRINTER ERROR]</p> <p>[To continue]</p> <p>[turn off then on]</p>	<p>致命的なハードウェア エラーが発生しました。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. MFP の電源を切って入れ直します。 2. 問題が解消されない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[8X.YYYY] [EIO X ERROR]	スロット X の I/O アクセサリ カードに致命的なエラーが発生しました。 X の説明 1: スロット 1 のエラー 2: スロット 2 のエラー	1. MFP の電源を切って入れ直します。 2. 問題が解消されない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
[8X.YYYY EMBEDDED] [JETDIRECT ERROR]	このメッセージは、内蔵の JetDirect プリントサーバーでの障害によって生成されます。	MFP の電源を切って入れ直します。❗ を押して詳細情報を表示します。 メッセージが消えない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
[ABCDEFGHJIYW] [011000000000] (交互に表示) [To exit press] Stop	このメッセージは、用紙経路センサのテストまたは用紙経路テストを実行したときに表示されます。アルファベットの値は、確認中のセンサを示します。	操作は必要ありません。
[Access Denied] [MENUS LOCKED]	MFP 管理者によってコントロールパネルのセキュリティ機構が有効に設定されている場合に、メニュー項目を変更しようとした。メッセージはすぐに消え、MFP は [Ready] 状態に戻ります。	設定を変更する場合は、MFP 管理者に問い合わせてください。
[ADF Cover Open]	ADF カバーが開いています。	ADF カバーを閉めます。画面に表示されるダイアログボックスの指示に従います。
[ADF Output Bin Full]	ADF 排紙ビンには最高 50 枚の用紙を保持できます。排紙ビンがいっぱいになると、MFP は処理を停止します。	ADF 排紙ビンから用紙を取り除きます。
[ADF Paper Jam]	ADF で紙詰まりが発生しています。	画面に表示されるダイアログボックスの指示に従います。詳細については、「 紙詰まりの除去 」を参照してください。
[ADF Pick Error]	用紙の給紙中に ADF でエラーが発生しました。	原稿が 30 ページ以上でないことを確認します。画面に表示されるダイアログボックスの指示に従います。
[ADF Skew Error]	ADF で用紙ずれが発生しています。	用紙ガイドが原稿の側面にセットされており、原稿がすべて同じサイズであることを確認します。ADF から残っている用紙を取り除き、ADF カバーを閉めます。画面に表示されるダイアログボックスの指示に従います。
[Attachment Too Big]	スキャンされたドキュメントがサーバーのサイズ制限を超えています。	解像度、ファイルサイズ、またはページ数を少なくしてジョブを再送信します。添付ファイルのサイズを縮小する方法については、「 内蔵 Web サーバーの使用 」を参照してください。複数の電子メールを使用してスキャン後のドキュメントを送信できるようにするには、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[BAD DUPLEXER] [CONNECTION]	両面印刷ユニットが正しく接続されていません。印刷を再開する前に挿入し直してください。	MFP の電源を切ります。 スクロールバーを使用して指示を表示し、それに従います。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
(交互に表示) [For help press ?]		エラー メッセージが消えない場合は、メッセージを記録し、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
[BAD OPTIONAL TRAY] [CONNECTION]	500 枚給紙トレイが MFP に正しく接続されていません。	<ol style="list-style-type: none"> 1. MFP が平らな場所にあることを確認します。 2. MFP の電源を切ります。 3. 500 枚給紙トレイを MFP に入れ直します。 4. 500 枚給紙トレイを入れ直してから MFP の電源を入れます。
[Calibrating...]	キャリブレーションを実行しています。	操作は必要ありません。
[Canceling... X]	ジョブをキャンセルしています。ジョブを停止して、用紙経路から用紙を取り除き、有効なデータチャネルで残りの着信データを受信して破棄する間、このメッセージは継続して表示されます。	操作は必要ありません。
[CARD SLOT X NOT] [FUNCTIONAL]	スロット X のフラッシュ カードが正常に動作していません。	<ol style="list-style-type: none"> 1. MFP の電源を切ります。 2. 示されたスロットからカードを取り外して、新しいカードに交換します。
[Check Cables]	スキャナと MFP を接続するケーブルでエラーが発生しています。	スキャナと MFP の間のケーブルが接続されていることを確認します。MFP の電源を切って入れ直します。エラー メッセージが消えない場合は、ケーブルを交換します。それでもエラー メッセージが消えない場合は、HP の正規サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください。HP のサポートに関するリーフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/clj4730mfp をご覧ください。
[Check Cables Check Scanner]	スキャナがロックされているか、またはインタフェース ケーブルが正しく差し込まれていない可能性があります。	スキャナがロック解除されており、インタフェース ケーブルが正しく差し込まれていることを確認します。
[Checking paper path]	ローラーを回転して紙詰まりがないかどうかを確認しています。	操作は必要ありません。
[Checking printer]	内部テストを行っています。	操作は必要ありません。
[Check Output Device]	出力デバイスでエラーが発生しました。	出力デバイスを取り外して、取り付け直します。デバイスの LED に注目します。LED が点滅しているかオレンジ色に点灯している場合は、「 3 ビン メールボックスとステイブラ/スタッカのアクセサリ ランプについて 」を参照してください。
[Check The Glass]	デジタル送信ジョブまたはコピー ジョブがスキャナ ガラス面から実行されましたが、原稿を取り除く必要があります。	スキャナ ガラス面から原稿を取り除いて、 Start を押します。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[CHOSEN PERSONALITY] [NOT AVAILABLE] [To continue touch "OK".] (交互に表示) [CHOSEN PERSONALITY] [NOT AVAILABLE] [For help press ?]	MFP に存在していないユーザーの要求に遭遇しました。ジョブが取り消され、ページは印刷されません。	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して詳細情報を表示します。 2. スクロール バーを使用して指示を表示し、それに従います。 3. デバイスに合ったドライバを使用して印刷し直します。
[Cleaning...]	クリーニング ページの処理中です。	操作は必要ありません。
[CLEANING DISK X% COMPLETE]	ストレージ デバイスのクリーニング中です。MFP の電源を切らないでください。処理が完了すると、MFP は自動的に再起動します。	操作は必要ありません。
[Clearing event log]	このメッセージは、イベント ログのクリア時に表示されます。イベント ログが消去されると、MFP は [MENUS] を終了します。	操作は必要ありません。
[Clearing paper path]	電源を入れたときに用紙が詰まっていたか、または用紙が正しくセットされていませんでした。詰まっているページが自動的に排出されます。	操作は必要ありません。
[CLOSE FRONT COVERS] [For help press ?]	上部カバーを閉じる必要があります。	正面カバーを閉じます。 <div>  <div> 注記 フューザが取り付けられていない場合や、間違って取り付けられている場合も、このメッセージが表示されることがあります。フューザが正しく取り付けられているかどうかを確認します。 </div> </div>
[Close top cover]	MFP の上部カバーが開いています。	上部カバーを閉めます。
[Creating... CLEANING PAGE]	このメッセージは、クリーニング ページの生成中に表示されます。ページの生成が完了すると、コントロールパネルの表示は、1つ前の [PRINT QUALITY] メニューの画面に戻ります。	操作は必要ありません。 クリーニング ページが印刷されたら、ページに印刷された手順に従い、ページを処理します。
[DATA RECEIVED] [To print last page touch "OK"] (交互に表示)	データを受信し、フォーム フィードを待っています。別のファイルを受信すると、このメッセージは消えます。	OK を押して印刷を続行します。
[Ready]		
[Date/Time]	MFP の日付と時刻の設定を要求します。デフォルトの形式は [YYYY]/[MMM]/[DD] [HH]-[MM] です。	変更するには、 OK を押し、時刻と日付のプロンプトに従います。
[Deleting... X]	保存されているジョブを消去しています。	操作は必要ありません。
[DELETING PRIVATE JOBS]	MFP は保存されたプライベート ジョブを消去しています。プライベート ジョブの消去には PIN が必要です。	操作は必要ありません。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[Digital Send Communications Error]	デジタル送信タスクの実行中にエラーが発生しました。	ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[Digital Send Server Error]	MFP がサーバーに接続できません。	ネットワーク接続を確認します。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[DISK DEVICE] [FAILURE] [To clear touch "OK"]. (交互に表示) [Ready]	指定されたドライブでデバイスの故障が発生しました。ディスク ドライブへのアクセスが不要なジョブについては、印刷を継続することがあります。	<ol style="list-style-type: none"> 1. メッセージを消すには、OK を押します。 2. メッセージが消えない場合は、EIO ディスク ドライブを再度取り付けます。 3. 再び MFP の電源を入れます。 4. それでもメッセージが消えない場合は、EIO ディスク ドライブを交換します。
[DISK FILE] [OPERATION FAILED] [To clear touch "OK"]. (交互に表示) [Ready]	非論理的な操作 (存在しないディレクトリへのファイルのダウンロードなど) を実行しようとする PJI ファイル システム コマンドを受信しました。印刷を継続することもできます。	<ol style="list-style-type: none"> 1. メッセージを消すには、OK を押します。 2. メッセージが消えない場合は、MFP の電源を切って入れ直します。 3. メッセージが再び表示される場合は、ソフトウェア アプリケーションに問題がある可能性があります。
[DISK FILE] [SYSTEM IS FULL] [To clear touch "OK"]. (交互に表示) [Ready]	ファイル システムに何かを保存しようとする PJI ファイル システム コマンドを受信しましたが、ファイル システムに空き容量がないため失敗しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. HP Web Jetadmin ソフトウェアを使用して EIO ディスク ドライブからファイルを削除するか、MFP のコントロールパネルから保存されているジョブを消去します。 2. メッセージを消すには、OK を押します。 3. メッセージが消えない場合は、MFP の電源を切って入れ直します。
[DISK IS] [WRITE PROTECTED] [To clear touch "OK"]. (交互に表示) [Ready]	ファイル システム デバイスが書き込み禁止に設定されているため、新しいファイルを書き込むことができません。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ディスクへの書き込みを可能にするには、HP Web Jetadmin で書き込み禁止を解除します。 2. メッセージを消すには、OK を押します。 3. メッセージが消えない場合は、MFP の電源を切って入れ直します。
[EIO X disk] [initializing]	スロット X の EIO ディスク デバイスを初期化しています。	操作は必要ありません。
[EIO X disk] [spinning up]	スロット X の EIO ディスク デバイスでプラッタが回転しています。	操作は必要ありません。
[EIO X DISK] [NOT FUNCTIONAL] [For help press ?]	スロット X の EIO ディスクが正常に動作していません。	<ol style="list-style-type: none"> 1. MFP の電源を切ります。 2. 示されたスロットから EIO ディスクを取り外して、新しい EIO ディスク ドライブに交換します。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[E-mail Gateway did not respond. Job failed.]	ゲートウェイがタイムアウト値を超過しました。	SMTP IP アドレスを確認します。「電子メールの問題の解決」を参照してください。
[E-mail Gateway rejected the job because of the addressing information. Job failed.]	正しくない電子メール アドレスが 1 つ以上あります。	ジョブを再送信します。
[Error executing Digital Send job. Job failed.]	デジタル送信ジョブでエラーが発生し、ジョブを送信できません。	ジョブの送信を再試行します。
[Event Log Empty]	コントロール パネルから [SHOW EVENT LOG] が選択されましたが、イベント ログが空です。	操作は必要ありません。
[FLASH DEVICE] [FAILURE] [To clear touch "OK".] (交互に表示) [Ready]	指定されたドライブでデバイスの故障が発生しました。フラッシュ DIMM が不要なジョブについては、印刷を継続できます。	<ol style="list-style-type: none"> 1. メッセージを消すには、OK を押します。 2. メッセージが消えない場合は、EIO ディスク ドライブを再度取り付けます。 3. 再び MFP の電源を入れます。 4. それでもメッセージが消えない場合は、フラッシュ DIMM を交換します。
[FLASH FILE] [SYSTEM IS FULL] [To clear touch "OK".] (交互に表示) [Ready]	ファイル システムに何かを保存しようとする PJI ファイル システム コマンドを受信しましたが、ファイル システムに空き容量がないため失敗しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. HP Web Jetadmin ソフトウェアでフラッシュ メモリからファイルを消去して、再試行します。 2. メッセージを消すには、OK を押します。 3. メッセージが消えない場合は、MFP の電源を切って入れ直します。
[FLASH IS] [WRITE PROTECTED] [To clear touch "OK".] (交互に表示) [Ready]	ファイル システム デバイスが書き込み禁止に設定されているため、新しいファイルを書き込むことができません。	<ol style="list-style-type: none"> 1. フラッシュ メモリへの書き込みを可能にするには、HP Web Jetadmin で書き込み禁止を解除します。 2. メッセージを消すには、OK を押します。 3. メッセージが消えない場合は、MFP の電源を切って入れ直します。
[Front Side Optical System Error]	スキャナでエラーが発生しました。	ファックスを送信したり、電子メールに送信したりできるよう、エラー メッセージを一時的に消すには、 IGNORE を押します。このエラー メッセージが消えない場合は、HP の正規サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください。HP のサポートに関するリーフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/clj4730mfp をご覧ください。
[Genuine HP supplies installed]	新しい HP カートリッジが取り付けられました。約 10 秒後に [Ready] 状態に戻ります。	操作は必要ありません。
[HP Digital Sending: Delivery Error]	デジタル送信ジョブでエラーが発生し、ジョブを送信できません。	ジョブの送信を再試行します。
[Incorrect PIN]	間違った PIN が入力されました。間違った PIN を 3 回入力すると、MFP は [Ready] に戻ります。	正しい PIN を入力します。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[INCORRECT SUPPLIES] [For status touch "OK".] サプライ品ゲージにプリント カートリッジの消費レベルが表示されます。	1 つ以上のサプライ品が MFP に正しく取り付けられていません。また、他のサプライ品が取り付けられていないか、正しく取り付けられていないか、外れているか、または不足しています。	<ol style="list-style-type: none"> 1. OK を押して、[SUPPLIES STATUS] メニューにアクセスします。 2. スクロール バーを使用して、問題のあるサプライ品をハイライトします。 3. ? を押して、サプライ品のヘルプを表示します。 4. スクロール バーを使用して指示を表示し、それに従います。
[Initializing] [permanent storage]	MFP に電源を入れたときに、永久記憶装置が初期化されていることを示します。	操作は必要ありません。
[Initializing...]	MFP に電源を入れて各タスクの初期化が開始されるとすぐに、このメッセージが表示されます。	操作は必要ありません。
[INSERT OR CLOSE] [TRAY X] [For help press ?]	現在のジョブを印刷する前に、トレイ X を挿入するかまたは閉める必要があります。	示されているトレイを閉めてください。
[INSTALL FUSER]	フューザが取り付けられていないか、正しく取り付けられていません。	<ol style="list-style-type: none"> 1. MFP にフューザが取り付けられており、しっかり固定されていることを確認します。 2. スクロール バーを使用して指示を表示し、それに従います。
[INSTALL SUPPLIES] [For status touch "OK".] サプライ品ゲージにプリント カートリッジの消費レベルが表示されます。	1 つ以上のサプライ品が MFP に取り付けられていないか、または正しく取り付けられていません。また、他のサプライ品が取り付けられていないか、正しく取り付けられていないか、外れているか、または不足しています。サプライ品を挿入するか、またはサプライ品がしっかり固定されているかどうかを確認します。	<ol style="list-style-type: none"> 1. Menu を押して、[SUPPLIES STATUS] メニューにアクセスします。 2. [INFORMATION] を押します。 3. スクロール バーを使用して、問題のあるサプライ品をハイライトします。 4. ? を押して、サプライ品のヘルプを表示します。 5. スクロール バーを使用して指示を表示し、それに従います。
[INSTALL TRANSFER UNIT]	トランスファー ユニットが取り付けられていないか、正しく取り付けられていません。	<ol style="list-style-type: none"> 1. スクロール バーを使用して、[SUPPLIES STATUS] メニューにアクセスします。 2. スクロールしてトランスファー ユニットを選択します。 3. ? を押して、ヘルプを表示します。 4. スクロール バーを使用して指示を表示し、それに従います。
[INSUFFICIENT MEMORY] [TO LOAD FONTS/DATA] [For help press ?]	デバイスには、指定された場所からフロントやマクロなどのデータを読み込むために十分なメモリがありません。 [Device] は次のいずれかである可能性があります。	<ol style="list-style-type: none"> 1. データのないデバイスを使用するには、OK を押します。 2. 問題を解決するには、デバイスにメモリを追加します。DDR SDRAM メモ

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
(交互に表示) [Device] [To continue touch "OK"].	INTERNAL (内蔵) = フォーマッタ ボードの上の ROM CARD SLOT X (カードスロット X) = スロット X のフロント カード DIMM EIO X DISK (EIO X ディスク) = EIO スロット X にインストールされているリムーバブル ハード ディスク	リ : 128MB (Q2630A) または 256MB (Q2631A)
[Internal disk initializing]	内部ディスク デバイスを初期化しています。	操作は必要ありません。
[INTERNAL DISK NOT FUNCTIONAL]	内部ディスクが正常に動作していません。	MFP の電源を切って入れ直します。エラーメッセージが消えない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
[Internal disk spinning up]	内部ディスクが回転しています。このメッセージは、通常 MFP のスリープ モードが解除されたときに約 15 秒間表示されます。ジョブは印刷できますが、クイック コピー ジョブなど、ディスクへのアクセスが必要なジョブの場合は、ディスクが初期化されるまで待つ必要があります。	操作は必要ありません。
[JAM IN DOCUMENT FEEDER]	ADF で紙詰まりが発生しています。	詰まっている用紙を ADF から取り除きます。画面に表示されるダイアログ ボックスの指示に従います。詳細については、「 紙詰まりの除去 」を参照してください。 紙詰まりをすべて取り除いた後でもメッセージが消えない場合は、センサが動かなくなっているか、破損している可能性があります。HP の正規サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください。HP のサポートに関するリーフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/clj4730mfp をご覧ください。
[Loading] [program X] [DO NOT POWER OFF]	プログラムおよびフォントは MFP のファイル システムに保存され、MFP の電源を入れると RAM にロードされます。番号 XX は、現在ロードしているプログラムの番号を示します。	操作は必要ありません。MFP の電源を切らないでください。
[LOAD TRAY 1:] [<TYPE> <SIZE>] [For help press ?]	このメッセージは、トレイ 1 が選択されていてもメディアがセットされておらず、その他の給紙トレイも使用できない場合に表示されます。	<ol style="list-style-type: none"> 1. トレイ 1 に正しい用紙をセットします。 2. メディア ガイドが正しい位置にあることを確認します。 3. プロンプトが表示されたら、セットされている用紙のサイズおよびタイプを確認します。
[LOAD TRAY 1:] [<TYPE> <SIZE>] [To continue touch "OK"]. (交互に表示)	トレイ 1 がセットされ、ジョブで指定されているもの以外のタイプとサイズが設定されています。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 正しい用紙をセットしたら、OK を押します。 2. そうでない場合は、間違った用紙を取り除き、指定した用紙をトレイ 1 にセットします。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[LOAD TRAY 1:] [<TYPE> <SIZE>] [For help press ?]		3. プロンプトが表示されたら、セットされている用紙のサイズおよびタイプを確認します。 4. メディア ガイドが正しい位置にあることを確認します。 5. 別のトレイを使用するには、トレイ 1 から用紙を取り除き、OK を押します。
[LOAD TRAY 1:] [<TYPE> <SIZE>] [To use another] [tray touch OK] (交互に表示) [LOAD TRAY 1:] [<TYPE> <SIZE>] [For help press ?]	このメッセージは、トレイ 1 が選択されていてもメディアがセットされていない場合に、その他の給紙トレイを使用できるときに表示されます。	1. トレイ 1 に正しい用紙をセットします。 2. メディア ガイドが正しい位置にあることを確認します。 3. プロンプトが表示されたら、セットされている用紙のサイズおよびタイプを確認します。 4. 別のトレイを使用するには、トレイ 1 から用紙を取り除き、OK を押します。
[LOAD TRAY XX] [[TYPE] [SIZE]] [For help press ?]	このメッセージは、トレイ XX が選択されていてもメディアがセットされておらず、その他の給紙トレイも使用できない場合に表示されます。	トレイに正しい用紙をセットし、OK を押して続行します。
[LOAD TRAY XX] [[TYPE] [SIZE]] [To use another] [tray touch OK] (交互に表示) [LOAD TRAY XX] [[TYPE] [SIZE]] [For help press ?]	トレイ X に用紙がセットされていないか、またはトレイ X がジョブで指定されているものとは違うタイプとサイズに設定されており、使用可能なトレイが別にあります。	1. 指定された用紙を給紙トレイにセットします。 2. メディア ガイドが正しい位置にあることを確認します。 3. プロンプトが表示されたら、セットされている用紙のサイズおよびタイプを確認します。 4. 別のトレイを使用するには、OK を押します。
[MANUALLY FEED] [[TYPE] [SIZE]] (交互に表示) [MANUALLY FEED] [[TYPE] [SIZE]] [To use another] [tray touch OK]	ジョブでは [MANUAL FEED] が指定されていますが、トレイ 1 は空です。他のトレイは使用できません。	トレイ 1 に用紙を追加するか、OK を押して別のトレイを押します。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[MANUALLY FEED] [[TYPE] [SIZE]] [To continue touch "OK".]	[MANUAL FEED] と指定されたジョブが送信され、トレイ 1 は空です。 他のトレイは使用できません。	1. トレイ 1 に正しい用紙をセットし、 OK を押して続行します。 2. プロンプトが表示されたら、セットされている用紙のサイズおよびタイプを確認します。
[MANUALLY FEED] [[TYPE] [SIZE]] [To continue touch "OK".] (交互に表示) [MANUALLY FEED] [[TYPE] [SIZE]] [For help press ?]	ジョブでは [MANUAL FEED] が指定されていますが、トレイ 1 はすでにセットされ、ジョブで指定されているものの以外のタイプとサイズが設定されています。	1. トレイ 1 に正しい用紙がセットされている場合は、 OK を押して印刷します。 2. そうでない場合は、間違った用紙を取り除き、指定した用紙をトレイ 1 にセットします。 3. メディア ガイドが正しい位置にあることを確認します。 4. 別のトレイを使用するには、トレイ 1 から用紙を取り除き、 OK を押します。
[MANUALLY FEED] [[TYPE] [SIZE]] [To use another] [tray touch OK] (交互に表示) [MANUALLY FEED] [[TYPE] [SIZE]] [For help press ?]	[MANUAL FEED] と指定されたジョブが送信され、トレイ 1 は空です。他のトレイは使用できません。	1. トレイ 1 に指定された用紙をセットします。 2. プロンプトが表示されたら、セットされている用紙のサイズおよびタイプを確認します。 3. または、 OK を押して別のトレイを選択します。
[MANUALLY FEED] [OUTPUT STACK] (交互に表示) [Then touch OK to] [print second sides]	手動両面印刷ドキュメントの偶数ページの印刷が終了し、奇数ページを印刷するために、印刷された用紙が挿入されるのを待機しています。	コンピュータの [Print on Both Sides] ダイアログ ボックスの手順に従います。 または ? を押して、MFP のヘルプを表示します。
[Mechanical Error]	ADF でメカニカル エラーが発生しました。	MFP の電源を切って入れ直します。このメッセージを一時的に消すには、 IGNORE を押します。エラー メッセージが消えない場合は、HP の正規サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください。HP のサポートに関するリーフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/clj4730mfp をご覧ください。
[MIXED PAPER SIZES IN] [JOB TO STAPLE]	ジョブには、さまざまな用紙サイズが含まれているため、ステイプルで留めることができません。ステータス ランプは緑色で点灯しています。	ステイプラにジョブを送信する場合は、均一の用紙サイズを使用してください。
[Moving solenoid] [To exit press] Stop	コンポーネント テストを実行しています。選択されたコンポーネントはソレノイドです。	操作は必要ありません。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[Moving solenoid and motor] [To exit press] Stop	コンポーネント テストを実行しています。選択されたコンポーネントはソレノイドとモーターです。	操作は必要ありません。
[No job to cancel]	保存されたジョブで、キャンセルできるジョブはありません。	操作は必要ありません。
[NON HP SUPPLY] [IN USE] (交互に表示) [Ready] サプライ品ゲージにはプリント カートリッジの消費レベルが表示されますが、詰め替えたカートリッジのレベルは表示されません。	現在 HP 以外のプリント カートリッジが取り付けられていることを検出しました。	購入されたものが HP カートリッジである場合は、HP 偽造品ホットライン (北米内フリーダイヤル 1-877-219-3183) にお問い合わせください。
[NO STORED JOBS]	EIO ディスクにはジョブが保存されていません。このメッセージは、 [RETRIEVE JOB] メニューに進み、取得するジョブがない場合に 표시됩니다。	操作は必要ありません。
[ORDER [COLOR]] [CARTRIDGE] サプライ品ゲージにプリント カートリッジの消費レベルが表示されます。 (交互に表示) [Ready] サプライ品ゲージにプリント カートリッジの消費レベルが表示されます。	表示されたプリント カートリッジの耐用寿命が近づいています。印刷の準備はできているので、印刷可能なページ数まで継続して印刷できます。印刷可能な推定ページ数は、この MFP の履歴ページ範囲に基づいています。 サプライ品の交換の必要性が生じるまで、印刷は継続されます。	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、メッセージのヘルプを表示します。 2. 示されているプリント カートリッジの部品番号を取得します。 3. プリント カートリッジを注文します。 <div>  注記 サプライ品注文情報は、内蔵 Web サーバーからも利用できます。詳細については、「内蔵 Web サーバーの使用」を参照してください。 </div>
[ORDER FUSER KIT] [LESS THAN X PAGES] [For help press ?] (交互に表示) [Ready]	フューザの耐用寿命が近づいています。印刷の準備はできているので、印刷可能なページ数まで継続して印刷できます。 サプライ品の交換の必要性が生じるまで、印刷は継続されます。	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、メッセージのヘルプを表示します。 2. フューザ キットの部品番号を取得します。 3. フューザ キットを注文します。 <div>  注記 サプライ品注文情報は、内蔵 Web サーバーからも利用できます。詳細については、「内蔵 Web サーバーの使用」を参照してください。 </div>
[ORDER SUPPLIES] (交互に表示) [Ready] [For help press ?] サプライ品ゲージにプリント カートリッジの消費レベルが表示されます。	1 つ以上のサプライ品が足りません。 サプライ品の交換の必要性が生じるまで、印刷は継続されます。	<ol style="list-style-type: none"> 1. Menu ボタンを押してメニューにアクセスします。 2. INFORMATION を押します。 3. SUPPLIES STATUS を押します。 4. 注文する必要があるサプライ品名を押します。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
		<ol style="list-style-type: none"> ② を押して、サプライ品のヘルプにアクセスします。 サプライ品の部品番号を取得します。 サプライ品を注文します。 注文する必要があるサプライ品ごとに、必要に応じて前述の手順を繰り返します。 サプライ品注文情報は、内蔵 Web サーバーからも利用できます。詳細については、「内蔵 Web サーバーの使用」を参照してください。
[ORDER TRANSFER KIT] [LESS THAN X PAGES] [For help press ②] (交互に表示) [Ready]	<p>トランスファー ユニットの耐用寿命が近づいています。</p> <p>印刷を継続できます。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ② を押して、メッセージのヘルプを表示します。 ヘルプからトランスファー キットの部品番号を取得します。 トランスファー キットを注文します。 <div>  <p>注記 サプライ品注文情報は、内蔵 Web サーバーからも利用できます。詳細については、「内蔵 Web サーバーの使用」を参照してください。</p> </div>
[Output Bin X Full]	指定された排紙ビンがいっぱいで、印刷を続行できません。	排紙ビンを空にして、印刷を続行します。
[OUTPUT PAPER PATH OPEN]	MFP と出カデバイスの間の経路が開いており、この経路を閉じないと、印刷を続行できません。	<ol style="list-style-type: none"> 3 ビン メールボックスが取り付けられている場合は、紙詰まり用のドアが閉まっていることを確認します。 ステイプラ/スタッカが取り付けられている場合は、ステイプル カートリッジがしっかり固定されており、ステイプル カートリッジのドアが閉まっていることを確認します。
[Paused] [To return to Ready] [press RESUME key]	一時停止中なので、ディスプレイに保留状態のエラー メッセージはありません。I/O では、メモリがいっぱいになるまで継続してデータを受信します。	Stop ボタンを押します。
[Performing] [PRINT/STOP TEST]	印刷/停止のテストを実行しています。	操作は必要ありません。
[Performing] [upgrade]	ファームウェアをアップグレードしています。	[Ready] に戻るまで MFP の電源を切らないでください。
[Performing...] [PAPER PATH TEST]	用紙経路のテストを実行しています。	操作は必要ありません。
[Please wait]	データをクリアしています。	操作は必要ありません。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[Printing...] [CMYK SAMPLES]	このメッセージは、MFP の CMYK サンプルページの生成時に表示されます。	操作は必要ありません。
[Printing...] [CONFIGURATION]	設定ページを出力しています。ページ出力が終了すると、オンライン [Ready] 状態に戻ります。	操作は必要ありません。
[Printing...] [DEMO PAGE]	デモ ページを出力しています。ページ出力が終了すると、オンライン [Ready] 状態に戻ります。	操作は必要ありません。
[Printing...] [DIAGNOSTICS PAGE]	診断ページを出力しています。ページ出力が終了すると、オンライン [Ready] 状態に戻ります。	操作は必要ありません。
[Printing...] [ENGINE TEST]	エンジン テスト ページを出力しています。ページ出力が終了すると、オンライン [Ready] 状態に戻ります。	操作は必要ありません。
[Printing...] [Event Log]	イベント ログ ページを出力しています。ページ出力が終了すると、オンライン [Ready] 状態に戻ります。	操作は必要ありません。
[Printing...] [FILE DIRECTORY]	マス ストレージ ディレクトリ ページを出力しています。ページ出力が終了すると、 [Ready] 状態に戻ります。	操作は必要ありません。
[Printing...] [FONT LIST]	PCL または PS パーソナリティ書体リストのいずれかを出力しています。ページ出力が終了すると、 [Ready] 状態に戻ります。	操作は必要ありません。
[Printing...] [MENU MAP]	MFP のメニュー マップを出力しています。ページ出力が終了すると、 [Ready] 状態に戻ります。	操作は必要ありません。
[Printing...] [PQ TROUBLESHOOTING]	印刷品質のトラブルの解決ページを出力しています。ページの印刷が終了すると、 [Ready] 状態に戻ります。	印刷されたページの指示に従います。
[Printing...] [REGISTRATION PAGE]	レジストレーション ページを出力しています。ページ出力が終了すると、 [SET REGISTRATION] メニューに戻ります。	印刷されたページの指示に従います。
[Printing...] [RGB Samples]	このメッセージは、MFP の RGB サンプルページの生成時に表示されます。	操作は必要ありません。
[Printing...] [SUPPLIES STATUS]	サプライ品ステータス ページを出力しています。ページ出力が終了すると、オンライン [Ready] 状態に戻ります。	操作は必要ありません。
[Printing...] [Usage Page]	使用状況ページを出力しています。ページ出力が終了すると、オンライン [Ready] 状態に戻ります。	操作は必要ありません。
[PRINTING STOPPED] [To continue touch "OK".]	印刷/停止のテストを実行し、時間切れになると、このメッセージが表示されます。	OK を押して印刷を続行します。
[Processing...]	現在ジョブを処理していますが、まだページを選択していません。用紙の移動が始まると、このメッセージは、ジョブが印刷されているトレイを示すメッセージに変わります。	操作は必要ありません。


コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[Processing...] [copy <X> of <Y>]	現在、丁合いコピーを処理または印刷しています。このメッセージは、合計 Y セットのうち X 番目を現在処理していることを示します。	操作は必要ありません。
[Processing...] [from tray xx]	表示されたトレイからジョブを処理しています。	操作は必要ありません。
[Processing...] [INTERMITTENT MODE] [For help press ?]	高使用率の時間帯に、MFP がオーバーヒートすると、このメッセージが表示される場合があります。その場合、MFP は 1 分間印刷して 1 分間停止するモードに切り替わります。このサイクルは、動作温度が安定するまで続きます。	スクロール バーを使用して指示を表示し、それに従います。
[Processing duplex] [job] [Do not grab paper] [until job completes]	両面印刷時は、用紙が一時的に排紙ビンに入ります。ジョブが終了するまで用紙を取り除かないでください。	用紙が一時的に排紙ビンに入ったときに、用紙に手を触れないでください。ジョブが終了するとメッセージが消えます。
[RAM DISK] [SYSTEM IS FULL] [To clear touch "OK".] (交互に表示) [Ready]	ファイル システムに何かを保存しようとする PJI ファイル システム コマンドを受信しましたが、ファイル システムに空き容量がないため失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> ● メッセージを消すには、OK を押します。 ● メッセージが消えない場合は、MFP の電源を切って入れ直します。
[RAM DISK DEVICE] [FAILURE] [To clear touch "OK".] (交互に表示) [Ready]	指定されたドライブでデバイスの故障が発生しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. メッセージを消すには、OK を押します。 2. メッセージが消えない場合は、MFP の電源を切って入れ直します。 3. それでもメッセージが消えない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
[RAM DISK FILE] [OPERATION FAILED] [To clear touch "OK".] (交互に表示) [Ready]	非論理的な操作 (存在しないディレクトリへのファイルのダウンロードなど) を実行しようとする PJI ファイル システム コマンドを受信しました。 印刷を継続することもできます。	<ol style="list-style-type: none"> 1. メッセージを消すには、OK を押します。 2. メッセージが消えない場合は、MFP の電源を切って入れ直します。 3. メッセージが再び表示される場合は、ソフトウェア アプリケーションに問題がある可能性があります。
[RAM DISK IS] [WRITE PROTECTED] [To clear touch "OK".] (交互に表示) [Ready]	ファイル システム デバイスが書き込み禁止に設定されているため、新しいファイルを書き込むことができません。	<ol style="list-style-type: none"> 1. RAM ディスクへの書き込みを可能にするには、HP Web Jetadmin ソフトウェアで書き込み禁止を解除します。 2. メッセージを消すには、OK を押します。 3. メッセージが消えない場合は、MFP の電源を切って入れ直します。



注記 これによって、RAM に保存されていたすべてのファイルも消去されます。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[Ready] サプライ品ゲージにプリント カートリッジの消費レベルが表示されます。	MFP はオンラインです。データ印刷の準備ができています。ディスプレイ上に、保留状態のステータスまたはデバイス関連のメッセージはありません。	操作は必要ありません。
[Ready] [Diagnostics mode] [To exit press] Stop	MFP は特殊診断モードです。	Stop ボタンを押して特殊診断モードを終了します。 または 操作は必要ありません。
[Ready] [IP ADDRESS]	MFP はオンライン状態になっており、使用可能です。	操作は必要ありません。
[REATTACH OUTPUT BIN]	MFP の電源を入れたときに標準の排紙ビンが外れたか、ステイブラ/スタッカまたは 3 ビン メールボックスのケーブルが MFP に接続されていません。	MFP の電源を切ります。ステイブラ/スタッカまたは 3 ビン メールボックスを使用している場合は、ケーブルが MFP に接続されていることを確認します。排紙ビンを取り付け直して、MFP の電源を入れます。出力デバイスの LED に注目します。LED が点滅しているかオレンジ色に点灯している場合は、「 3 ビン メールボックスとステイブラ/スタッカのアクセサリ ランプについて 」を参照してください。
[Receiving] [upgrade]	ファームウェアをアップグレードしています。	[Ready] に戻るまで MFP の電源を切らないでください。
[REINSTALL OUTPUT DEVICE]	出力デバイスが取り外されているか、接続されていません。	排紙ビン、3 ビン メールボックス、またはステイブラ/スタッカが MFP に正しく取り付けられていることを確認します。
[REMOVE ALL] [PRINT CARTRIDGES] [To exit press] Stop	コンポーネント テストを実行しています。選択されたコンポーネントは [ベルトのみ] です。	すべてのプリント カートリッジを取り外します。
[Remove at least one] [print cartridge.] [To exit press] Stop	無効カートリッジ チェックまたはコンポーネント テストを実行しています。選択されたコンポーネントはカートリッジ モーターです。	1 つのプリント カートリッジを取り外します。
[REPLACE <COLOR>] [CARTRIDGE] サプライ品ゲージにプリント カートリッジの消費レベルが表示されます。 (交互に表示) [To continue touch "OK".] サプライ品ゲージにプリント カートリッジの消費レベルが表示されます。	表示されたプリント カートリッジの寿命が終わりました。[SYSTEM SETUP] メニューの [COLOR SUPPLY OUT] 設定は [STOP AT LOW] に設定されています。印刷を継続できます。	<ol style="list-style-type: none"> 適切なプリント カートリッジを注文します。 続けるには、OK を押します。 上部カバーと側面カバーを開けてから、イメージ トランスファー ユニットを開けます。 <div>  注意 イメージ トランスファー ユニットは壊れやすくなっています。 </div> <ol style="list-style-type: none"> 表示されたプリント カートリッジを取り外します。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
		<ol style="list-style-type: none"> 新しいプリント カートリッジを取り付けます。 イメージ トランスファー ユニットを閉じ、上部カバーと正面カバーを閉じます。 サプライ品注文情報は、内蔵 Web サーバーからも利用できます。詳細については、「内蔵 Web サーバーの使用」を参照してください。
[REPLACE FUSER KIT] [For help press ?]	フューザ キットの寿命が終わりました。フューザ キットを交換します。継続して印刷できますが、印刷品質が低下することがあります。	<ol style="list-style-type: none"> 上部カバーを開けます。 フューザ ユニットの紫色のハンドルをつかみます。 MFP から古いフューザを取り外します。 新しいフューザ ユニットを取り付け、蝶ねじを締めます。 上部カバーを閉めます。 サプライ品注文情報は、内蔵 Web サーバーからも利用できます。詳細については、「内蔵 Web サーバーの使用」を参照してください。
[REPLACE FUSER KIT] [For help press ?] (交互に表示) [REPLACE FUSER KIT] [To continue touch "OK".]	フューザの耐用寿命が近づいています。 [SYSTEM SETUP] メニューの [REPLACE SUPPLIES] 設定は [STOP AT LOW] に設定されています。印刷を継続できます。	<ol style="list-style-type: none"> フューザ キットを注文します。 印刷を続行するには、OK を押します。 フューザ キットを交換するには、次の手順を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> 上部カバーを開けます。 フューザ ユニットの紫色のハンドルをつかみます。 MFP から古いフューザを取り外します。 新しいフューザ ユニットを取り付けます。 上部カバーを閉めます。 サプライ品注文情報は、内蔵 Web サーバーからも利用できます。詳細については、「内蔵 Web サーバーの使用」を参照してください。
[REPLACE STAPLER] [CARTRIDGE]	<ul style="list-style-type: none"> ステイプラ カートリッジ内のステイプル針は 30 本を下回ったので、使用しないでください。ステイプラ カートリッジを交換する必要があります。 ステイプラ カートリッジが取り付けられていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ステイプラ カートリッジを交換します。詳細については、「サプライ品とアクセサリ」を参照してください。 ステイプラ カートリッジを取り付けます。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
<p>[REPLACE SUPPLIES]</p> <p>[For status touch "OK".]</p> <p>サプライ品ゲージにプリント カートリッジの消費レベルが表示されます。</p>	<p>複数のサプライ品の耐用寿命が終わりました。影響を受けるサプライ品がカートリッジのみの場合は、[SYSTEM SETUP] メニューの [REPLACE SUPPLIES] 設定が [STOP AT OUT] に設定されているため、印刷は停止します。影響を受けるサプライ品がカートリッジのみの場合は、印刷を続行できません。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. SUPPLIES STATUS メニューを押します。 2. 問題のあるサプライ品までスクロールします。 3.  を押して、サプライ品のヘルプを表示します。 4. スクロール バーを使用して指示を表示し、それに従います。 5. サプライ品注文情報は、内蔵 Web サーバーからも利用できます。詳細については、「内蔵 Web サーバーの使用」を参照してください。
<p>[REPLACE SUPPLIES]</p> <p>[Override in use]</p> <p>Status を押します。</p> <p>(交互に表示)</p> <p><現在のステータス メッセージ></p>	<p>[OVERRIDE AT OUT] が [REPLACE SUPPLIES] メニューで設定されており、トナー切れのカートリッジが少なくとも 1 つあります。印刷を継続できます。</p> <div>  <p>注意 上書きモードを使用すると、満足な印刷品質が得られない場合があります。HP では、[REPLACE SUPPLIES] メッセージが表示されたらサプライ品を交換することをお勧めします。サプライ品を上書きモードで使用すると、HP プレミアム保護保証は適用されなくなります。</p> </div>	<p>指定されたプリント カートリッジを交換します。</p>
<p>[REPLACE SUPPLIES]</p> <p>[To continue touch "OK".]</p> <p>サプライ品ゲージにプリント カートリッジの消費レベルが表示されます。</p>	<p>複数のサプライ品の耐用寿命が終わりました。[SYSTEM SETUP] メニューの [REPLACE SUPPLIES] 設定は [STOP AT LOW] に設定されています。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. SUPPLIES STATUS メニューを押します。 2. 問題のあるサプライ品までスクロールします。 3.  を押して、サプライ品のヘルプを表示します。 4. スクロール バーを使用して指示を表示し、それに従います。 5. サプライ品注文情報は、内蔵 Web サーバーからも利用できます。詳細については、「内蔵 Web サーバーの使用」を参照してください。
<p>[REPLACE SUPPLIES]</p> <p>[Using black only]</p> <p>Status を押します。</p> <p>(交互に表示)</p> <p><現在のステータス メッセージ></p>	<p>[AUTOCONTINUE BLACK] が [COLOR SUPPLY OUT] メニューで設定されており、トナー切れのカラー プリント カートリッジが少なくとも 1 つあります。モノクロだけで印刷を継続できます。</p>	<p>指定されたプリント カートリッジを交換します。</p>
<p>[REPLACE TRANSFER KIT]</p> <p>[For help press .</p>	<p>トランスファー ユニットの寿命が終わりました。継続して印刷できますが、印刷品質が低下することがあります。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上部カバーと側面カバーを開けます。 2. ユニットの上部にある緑色のハンドルを下に引くことにより、トランスファー ユニットを下げます。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
		<ol style="list-style-type: none"> 3. トランスファー ユニットの下部の両側にある小さな青色のラッチを押さえて、MFP からユニットを取り出します。 4. 新しいトランスファー ユニットを取り付けます。 5. 正面カバーと上部カバーを閉じます。 6. サプライ品注文情報は、内蔵 Web サーバーからも利用できます。詳細については、「内蔵 Web サーバーの使用」を参照してください。
[REPLACE TRANSFER KIT] [For help press ?] (交互に表示) [REPLACE TRANSFER KIT] [To continue touch "OK".]	トランスファー ユニットの耐用寿命が近づいています。 [SYSTEM SETUP] メニューの [REPLACE SUPPLIES] 設定は [STOP AT LOW] に設定されています。	<ol style="list-style-type: none"> 1. トランスファー キットを注文します。 2. 印刷を続行するには、OK を押します。 3. トランスファー キットを交換するには、次の手順を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 上部カバーと側面カバーを開けます。 ● ユニットの上部にある緑色のハンドルを下に引くことにより、トランスファー ユニットの下部の両側にある小さな青色のラッチを押さえて、MFP からユニットを取り出します。 ● 新しいトランスファー ユニットを取り付けます。 ● 正面カバーと上部カバーを閉じます。 ● サプライ品注文情報は、内蔵 Web サーバーからも利用できます。詳細については、「内蔵 Web サーバーの使用」を参照してください。
[Request accepted] [please wait]	内部ページの印刷要求を受信しましたが、内部ページの印刷前に現在のジョブを終了する必要があります。	操作は必要ありません。
[Resend] [upgrade]	ファームウェアのアップグレードが正常に終了しませんでした。	アップグレードを再試行します。
[Restoring...] [accessory #]	MFP はユーザーの要求に答えて、外部アクセサリ設定を復元中です。	操作は必要ありません。
[Restoring...]	設定を復元しています。このメッセージは、 [RESTORE COLOR VALUES] などの復元操作の実行中に表示されます。	操作は必要ありません。
[Restoring...] [factory settings]	出荷時のデフォルト設定を復元しています。	操作は必要ありません。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[Rotating <COLOR>] [motor] [To exit press] Stop	コンポーネント テストを実行しています。 選択されたコンポーネントは <色> カートリ ッジ モーターです。	このテストを停止する準備ができたなら、 Stop ボタンを押します。
[Rotating motor] [To exit press] Stop	コンポーネント テストを実行しています。 選択されたコンポーネントはモーターです。	このテストを停止する準備ができたなら、 Stop ボタンを押します。
[SANITIZING DISK X% COMPLETE] [DO NOT POWER OFF]	ストレージ デバイスのクリーニング中で す。MFP の電源を切らないでください。処 理が完了すると、MFP は自動的に再起動し ます。	操作は必要ありません。
[SCAN CARRIAGE LOCKED] [Check lock switch, cycle power.]	フラットヘッド スキャナ カートリッジに搬 送用ロックがかかっています。	MFP の電源を切って、スキャナ カートリッ ジのロックを解除し、MFP の電源を入れま す。
[Scan Failure] [Press "START" to rescan]	スキャンに失敗したので、ドキュメントを再 スキャンする必要があります。	必要に応じて、ドキュメントの位置を変更し て再スキャンし、 Start を押します。
[Setting saved]	メニュー選択を保存しました。	操作は必要ありません。
[SIZE MISMATCH] [TRAY X=paperShort] [For help press ?] (交互に表示) [Ready]	トレイには、設定されたサイズより、給紙方 向に対して長いまたは短い用紙がセットさ れています。	1. 両側および後部の給紙ガイドを用紙に 合わせて調整します。 2. 必要に応じて、トレイを閉めた後に OK を押し、トレイにセットされた用紙に 合わせて用紙のサイズまたはタイプの 設定を変更します。
[Sleep mode on]	MFP はスリープ モードです。ボタンを押す か、印刷可能データを受信するか、エラー状 態が発生するとこのメッセージが消えます。	操作は必要ありません。
[STACKER COVER OPEN]	スタッカ ユニットの上部カバーが開いてい ます。ユニットは機能できません。	上部カバーを閉じ、ジョブを再送信します。
[STAPLER DOOR OPEN]	ステイブラ モジュールのドアが開いていま す。この状態ではステイブラ/スタッカは動 作できません。ステイブラ/スタッカのオレ ンジ色のランプが点滅しています。	ステイブル モジュールのドアを閉めます。
[STAPLER DOOR OPEN]	ステイブラ ユニットの上部カバーが開いて います。ユニットは機能できません。	上部カバーを閉じ、ジョブを再送信します。
[STAPLER LOW] [ON STAPLES]	ステイブラ カートリッジには、使用できる ステイブルが 20 本以下しか残っていません。 ステータス ランプは緑色で点灯してい ます。	新しいステイブラ カートリッジを注文して 取り付けます。ステイブラ カートリッジの 交換の詳細については、「 サプ ライ品とアクセサリ 」を参照してください。
[STAPLES OUT]	ステイブラ/スタッカのステイブルが空にな っています。MFP の動作は、 出力セットア ップ サブメニューの [STAPLES OUT] がど のように設定されているかによって決まりま す。	<ul style="list-style-type: none"> STAPLES OUT=STOP に設定されてい る場合は、ステイブラを詰め替えるか OK を押すまで、印刷は停止されます。 これがデフォルト設定です。 STAPLES OUT=CONTINUE に設定さ れている場合、印刷は続行されます が、ステイブル留めは行われません。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
		ステイプラ カートリッジを交換します。詳細については、「 サプライ品とアクセサリ 」を参照してください。
[The Digital Sending Service at <IP Address> does not service this MFP. Contact administrator.]	MFP は指定された IP アドレスに接続できません。	IP アドレスを確認します。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[The Digital Sending Service must be upgraded to support this version of the MFP firmware. Contact administrator.]	MFP に対して現在インストールされているファームウェアのバージョンでは、デジタル送信サービスはサポートされていません。	ファームウェアのバージョンを確認します。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[TOO MANY PAGES] [IN JOB TO STAPLE]	ステイプルで留めることができる最大枚数は、用紙のタイプや重さにかかわらず 30 枚です。印刷ジョブは完了しますが、ステイプル留めは行われません。	30 枚を超える印刷ジョブの場合は、手作業でステイプル留めを行ってください。
[TOP BIN]	排紙ビンがいっぱいです。ステイプラ/スタッカのオレンジ色のランプが点滅しています。	排紙ビンから用紙を取り除きます。
[TOP DOOR OPEN]	紙詰まり用のドアが開いています。この状態ではステイプラ/スタッカは動作できません。ステイプラ/スタッカのオレンジ色のランプが点滅しています。	紙詰まり用のドアを閉めます。
[Transfer unit can] [be easily damaged.] (交互に表示) [FOR HELP TOUCH ?] サプライ品ゲージにプリント カートリッジの消費レベルが表示されます。	MFP にカートリッジが取り付けられていないか、または正しく取り付けられていません。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上部カバーと側面カバーを開けてから、イメージ トランスファー ユニットを開けます。 <div>  <p>注意 イメージ トランスファー ユニットは壊れやすくなっています。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 2. プリント カートリッジを挿入し、しっかり固定されていることを確認します。 3. イメージ トランスファー ユニットを閉め、上部カバーと側面カバーを閉めます。 4. エラー メッセージが消えない場合は、HP サポート http://www.hp.com/support/clj4730mfp までご連絡ください。
[TRAY X EMPTY] [TYPE] [SIZE] (交互に表示) [Ready]	指定されたトレイは空です。現在のジョブの印刷にはこのトレイは必要ありません。	都合のよいときにトレイに給紙します。
[TRAY X OPEN] [For help press ?] (交互に表示) [Ready]	表示されたトレイが開いているか、または完全に閉じられていません。	トレイを閉めてください。
[TRAY XX SIZE= <SIZE>]	メニューから選択されたサイズを保存しました。	操作は必要ありません。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[Setting saved]		
[TYPE MISMATCH] [TRAY X=[TYPE]] [For help press ?] (交互に表示) [Ready]	トレイにセットした用紙タイプがトレイに設定されている用紙タイプと一致しません。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 両側および後部のガイドを用紙に合わせて調整します。 2. 必要に応じて、トレイを閉めた後に OK を押し、トレイにセットされた用紙に合わせて用紙のサイズまたはタイプの設定を変更します。
[Unable to mopy job] (交互に表示)	メモリ、ディスク、または設定に問題があるため、印刷ジョブを実行できません。1つのコピーだけが生成されます。	MFP に増設メモリを取り付けるか、またはディスク ドライブを取り付けます。
[Processing...]		
[UNABLE TO SEND]		ファックスしたり電子メールに送信したりできるよう、このメッセージを一時的に非表示にするには、 IGNORE を押します。エラーメッセージが消えない場合は、HP の正規サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください。HP のサポートに関するリーフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/clj4730mfp をご覧ください。
[Unable to send Fax.] [Please check fax configuration.]	MFP はファックスを送信できませんでした。	ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[UNABLE TO SEND JOB]		ファックスしたり電子メールに送信したりできるよう、このメッセージを一時的に非表示にするには、 IGNORE を押します。エラーメッセージが消えない場合は、HP の正規サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください。HP のサポートに関するリーフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/clj4730mfp をご覧ください。
[Unable to Store Job] [JOB NAME] (交互に表示) [Processing...]	メモリ、ディスク、または設定に問題があるため、ジョブを保存できません。	MFP に増設メモリを取り付けるか、またはディスク ドライブを取り付けます。ディスク ドライブを取り付ける場合は、以前に保存した印刷ジョブを消去してください。
[USE TRAY X] [[TYPE] [SIZE]] [To change touch ▲ or ▼] [To use touch OK]	印刷ジョブに使用する代替の用紙の選択をしています。	<ol style="list-style-type: none"> 1. スクロール バーを使用して、トレイの設定 (タイプとサイズ) を表示します。 2. OK を押して、トレイを選択します。 3. 前のメッセージに戻るには、Back を押します。
[Wait for printer] [to reinitialize]	MFP が自動的に再起動する前に RAM ディスクの設定が変更されたか、外部デバイスモードが変更されたか、あるいは MFP の診断モードが解除されて自動的に再起動します。	操作は必要ありません。
[Waiting for]	MFP はトレイ 2 またはオプションのトレイが持ち上げられるのを待っています。	操作は必要ありません。

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[tray X to lift]		
[Warming up]	スリープ モードが解除されました。ウォームアップが終了するとすぐに印刷を続けます。	操作は必要ありません。

紙詰まり

この図を使用して、プリンタの紙詰まりを解除します。紙詰まりを解除する手順については、「[紙詰まりの除去](#)」を参照してください。



注記 紙詰まりの除去のために開く必要のある MFP の全エリアには、わかりやすいように緑色のハンドルが付いています。

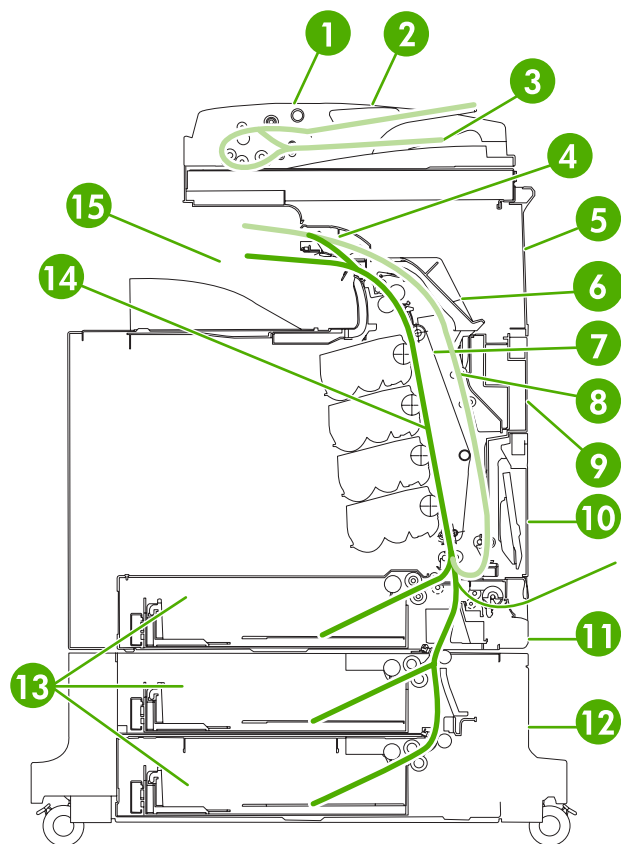


図 12-1 紙詰まりの位置

1	ADF アクセス カバー
2	ADF 給紙トレイ
3	ADF 排紙トレイ
4	両面印刷カバー
5	右上ドア
6	フューザ カバー
7	トランスファー ユニット
8	両面印刷の用紙経路
9	右中央ドア
10	用紙トレイ 1 (多目的トレイ)
11	トレイ 1 の下の引き出し
12	
13	
14	
15	

12	右下ドア
13	用紙トレイ 2、3、および 4
14	用紙の経路
15	排紙エリア

紙詰まりの解除

この MFP には紙詰まりを自動的に解除する機能があります。この機能を使用して、紙詰まりしたページを MFP が自動的に印刷し直すかどうかを設定することができます。次のオプションがあります。

- **[AUTO]** : MFP は、紙詰まりしたページを印刷し直します。
- **[OFF]** : MFP は、紙詰まりしたページを印刷し直しません。



注記 紙詰まり解除プロセスにおいて、紙詰まりが発生する前に印刷された正常なページが何枚か印刷し直される場合があります。必ず、重複するすべてのページを除去してください。

紙詰まり解除機能を無効にするには

1. **Menu** ボタンを押して **[MENUS]** を表示します。
2. **CONFIGURE DEVICE** を押します。
3. **SYSTEM SETUP** を押します。
4. **JAM RECOVERY** を押します。
5. **OFF** を押します。
6. **EXIT** を押します。

印刷速度を改善し、メモリ リソースを増やすには、紙詰まり解除機能を無効にします。紙詰まり解除機能を無効にすると、紙詰まりが発生したページは再印刷されません。

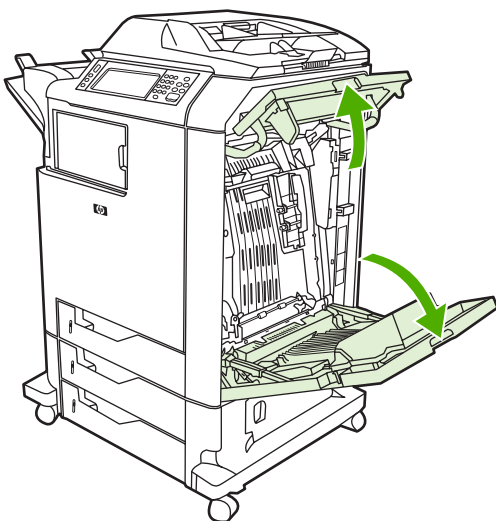
紙詰まりの除去

このセクションでは、紙詰まりを除去するための次の手順について説明します。

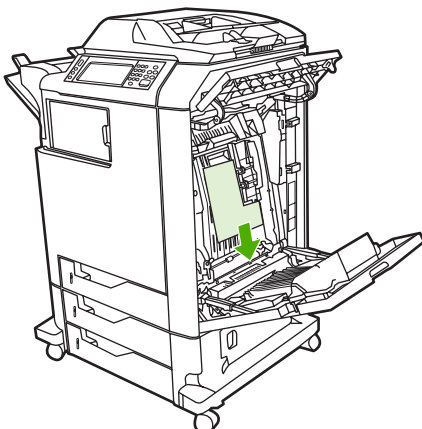
- 右カバーの紙詰まりの除去
- トレイ 1 の紙詰まり
- トレイ 2、3、または 4 の紙詰まり
- ステイプラ/スタッカの紙詰まり
- 詰まったステイプル
- 3 ビン メールボックスの紙詰まり
- 排紙アクセサリ ブリッジのその他の紙詰まり
- ADF の紙詰まり

右カバーの紙詰まりの除去

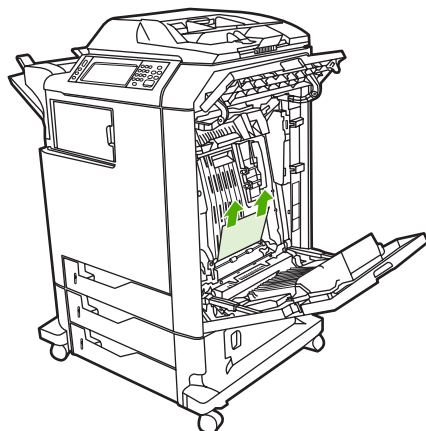
1. ハンドルを使用して、プリンタの右側にあるカバーを開けます。



2. 上部にメディアがある場合は、その両隅をつかみ、下方に引っ張ります。

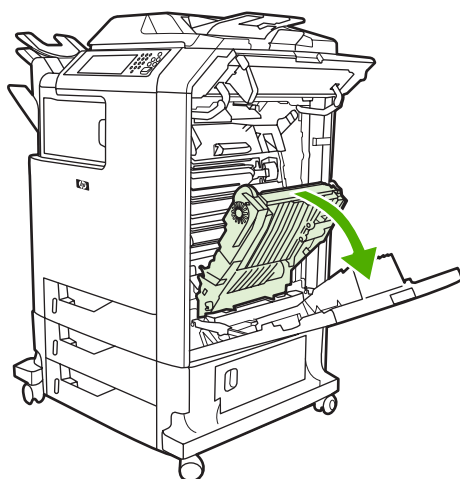


3. 下部にメディアがある場合は、その両隅をつかみ、上方に引っ張ります。

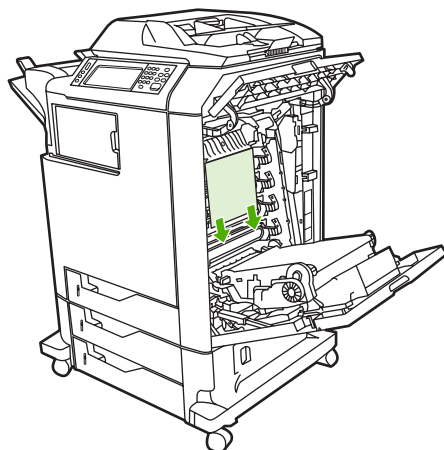


注記 これらの場所にメディアがない場合は、次の手順に進みます。

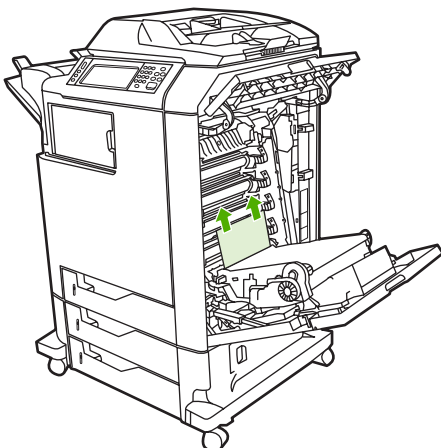
4. トランスファー ユニットの緑色のハンドルをつかんで下ろし、トランスファー ユニットを開けます。



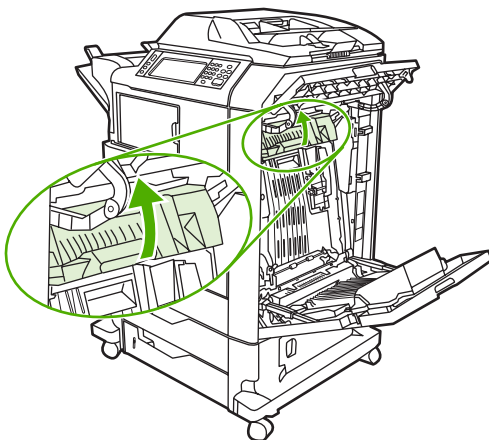
5. 上部にメディアがある場合は、その両隅をつかみ、下方に引っ張ります。



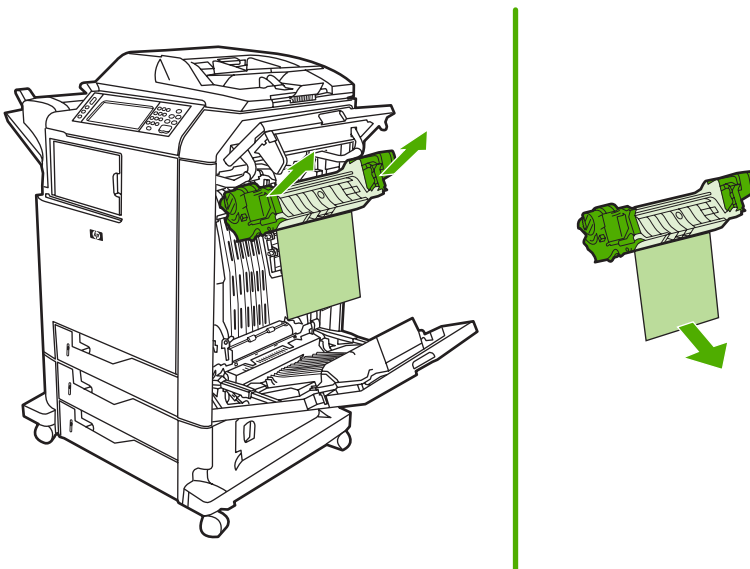
6. 下部にメディアがある場合は、その両隅をつかみ、上方に引っ張ります。



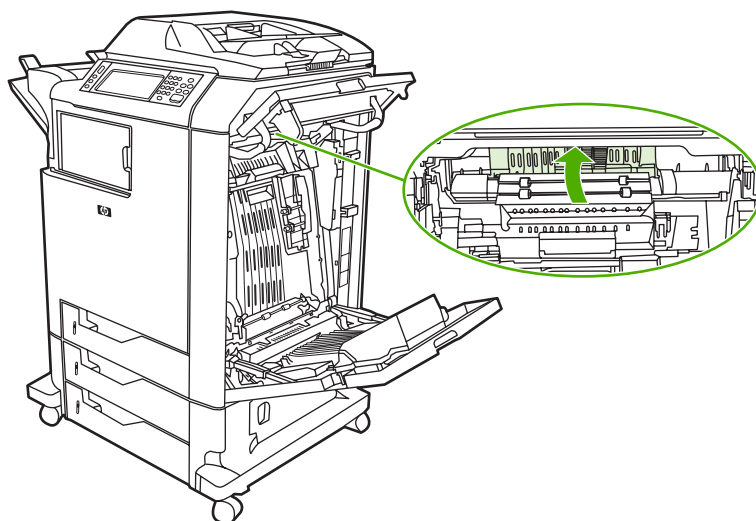
7. フューザ カバーの緑色のハンドルを上げて、カバーを開けます。



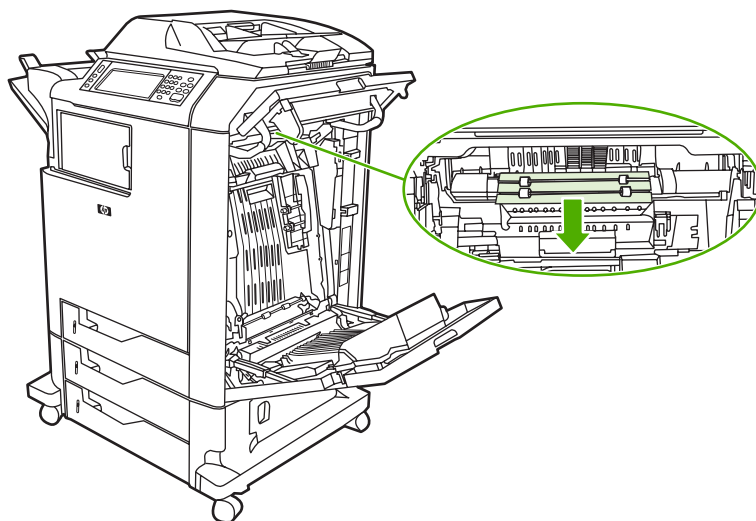
8. フューザを上方に引っ張って、用紙をすべて取り除きます。



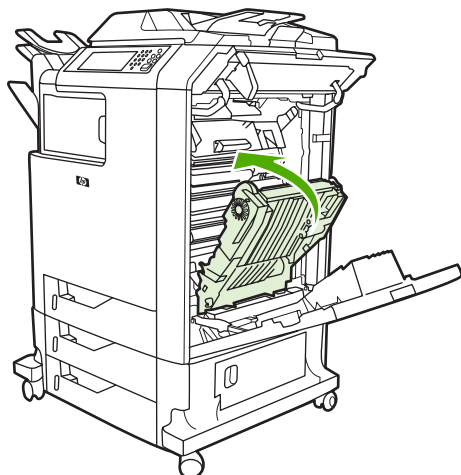
9. 両面印刷カバーの緑色のハンドルを上げて、カバーを開けます。



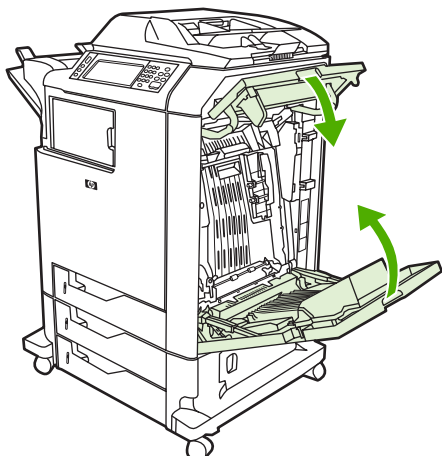
10. 詰まっている用紙をすべて取り除きます。



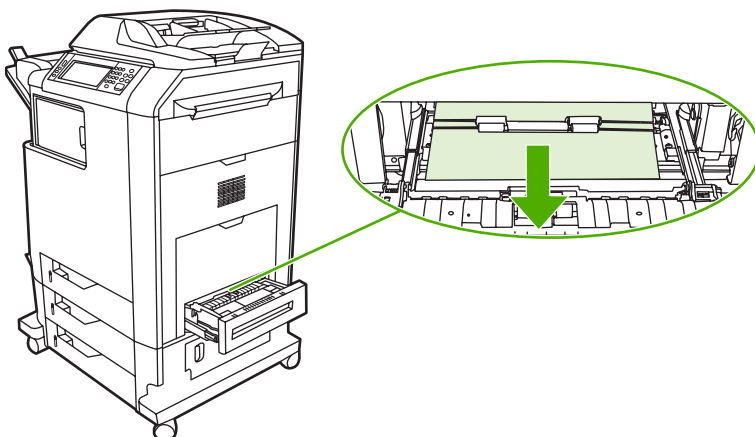
11. トランスファー ユニットを閉じます。



12. プリンタの右側のカバーを開めます。

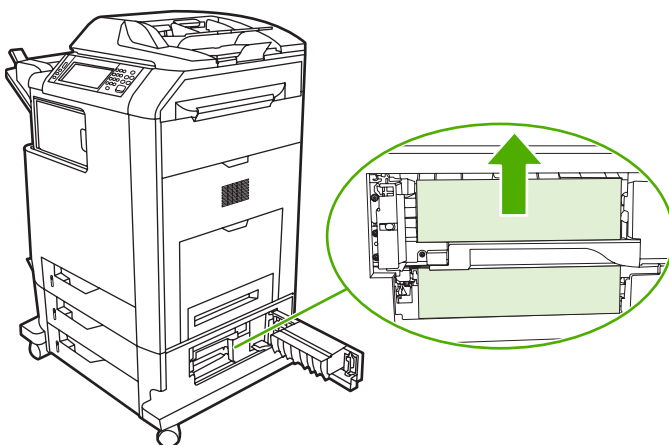


13. 紙詰まりが除去されていない場合は、トレイ 1 の下の引き出しを開けて、詰まっている用紙をすべて取り除きます。



14. 引き出しを閉めます。

15. 紙詰まりがまだ除去されない場合は、下部のアクセス ドアを開けて、詰まっている用紙をすべて取り除きます。



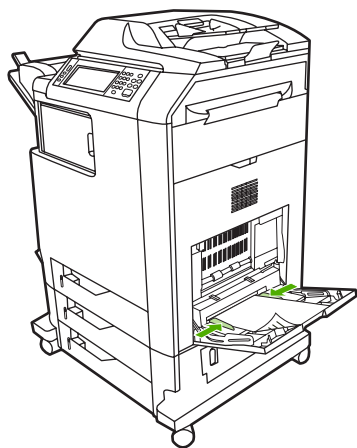
16. 下部のアクセス ドアを開めます。紙詰まりが除去された場合は、印刷ジョブが続行されます。
17. 紙詰まりがまだ除去されず、トレイ 1 を使用して印刷している場合は、「[トレイ 2、3、または 4 の紙詰まり](#)」を参照してください。

トレイ 1 の紙詰まり



注記 プリンタを最初に取り付けたときに保護インサートが正しく排出されない場合は、次の手順に従って紙詰まりを除去します。

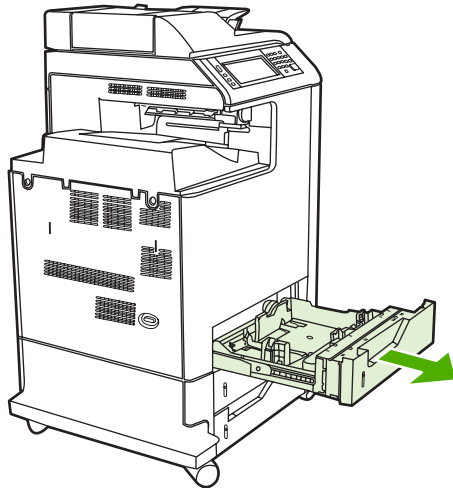
1. 「[右カバーの紙詰まりの除去](#)」の手順を実行します。
2. セットされているメディアを取り除きます。
3. トレイから詰まっている用紙をすべて取り除きます。
4. メディアをセットし直します。
5. メディアが正しい位置にあり、タブを越えていないことを確認します。
6. ガイドが正しい位置にあることを確認します。



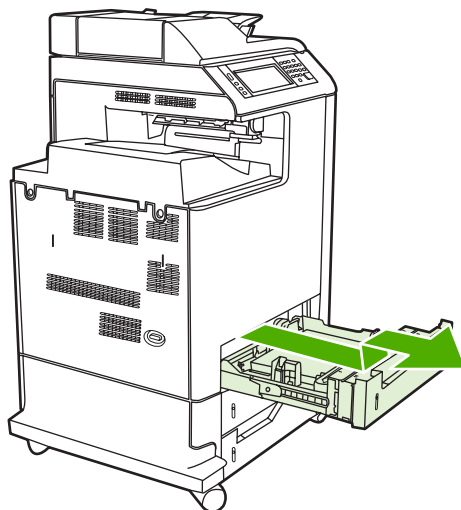
トレイ 2、3、または 4 の紙詰まり

1. 「[右カバーの紙詰まりの除去](#)」の手順を実行します。

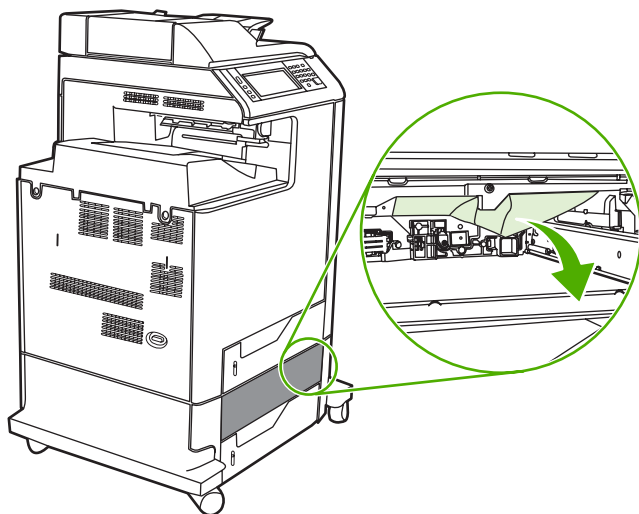
2. メッセージで特定されたトレイを引き出して、詰まっている用紙をすべて取り除きます。



3. トレイを閉めてください。紙詰まりが除去された場合は、印刷ジョブが続行されます。
4. 紙詰まりがまだ除去されない場合は、トレイを上げて MFP から取り外します。次の図にトレイ 2 を取り外す場合の例を示します。



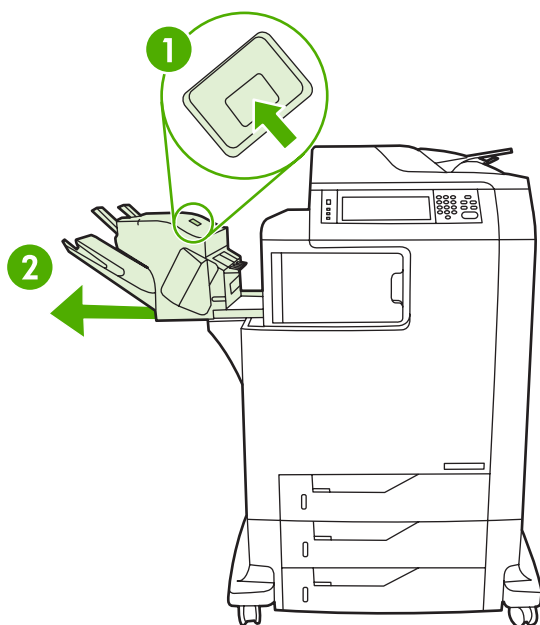
5. トレイの後ろに詰まっている用紙をすべて取り除きます。次の図にトレイ 2 の後ろの紙詰まりの例を示します。これと同じ手順に従って、トレイ 3 と 4 の紙詰まりを除去します。



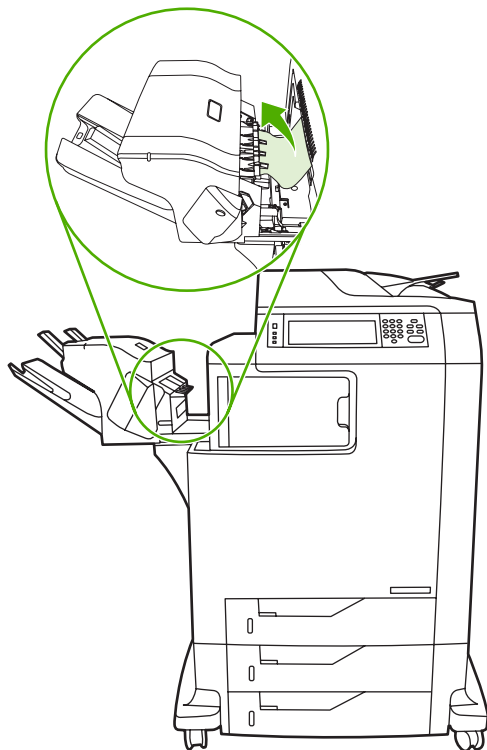
6. 用紙トレイを差し込みます。

ステイブラ/スタッカの紙詰まり

1. ステイブラ/スタッカ上部のリリース レバーを押します。
2. ステイブラ/スタッカを引き出します。



3. ステイプラ/スタッカと MFP の間のメディアをすべて取り除きます。



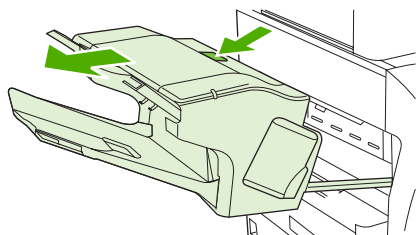
4. 紙詰まりが除去されない場合は、「[排紙アクセサリ ブリッジのその他の紙詰まり](#)」を参照してください。

詰まったステイプルを除去するには、「[詰まったステイプル](#)」を参照してください。

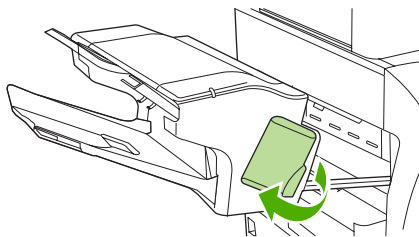
詰まったステイプル

ステイプラ/スタッカにステイプルが詰まってしまう場合もあります。印刷ジョブのステイプル留めが正しく行われていないか、まったく行われていない場合は、次の手順に従って詰まったステイプルを除去します。

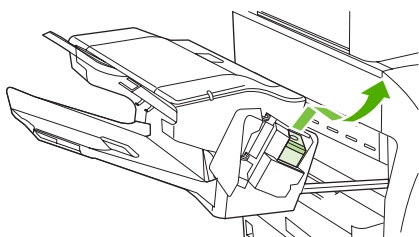
1. MFP の電源を切ります。
2. ステイプラ/スタッカ上部のリリース ボタンを押したままにします。ステイプラ/スタッカを MFP から引き離します。



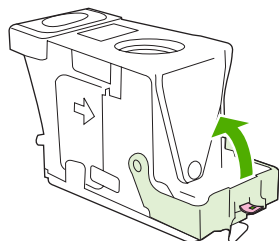
3. ステイプル カートリッジのカバーを開けます。



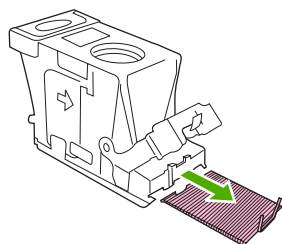
4. ステイプル カートリッジを取り外すには、緑色のハンドルを上方に引っ張って、カートリッジを引き出します。



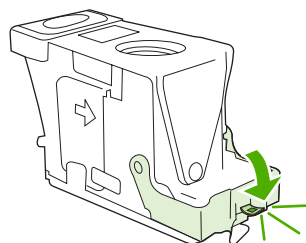
5. ステイプル カートリッジの背後にある小さなレバーを引き上げます。



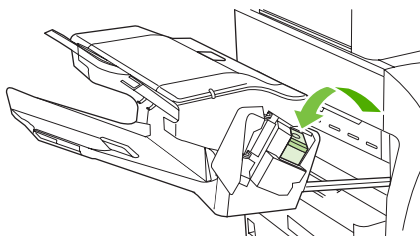
6. ステイプル カートリッジからはみ出ているステイプルを取り除きます。



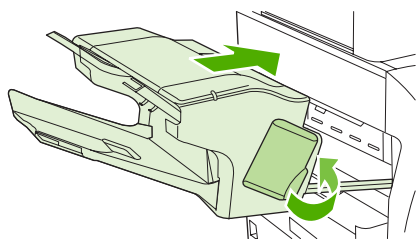
7. ステイプル カートリッジの背後にあるレバーを下げてます。カチッという音がするまでレバーを下げて下さい。



8. ステップル カートリッジをステップル カートリッジ ホルダに挿入し直して、カチッという音がするまで緑色のハンドルを押し下げます。

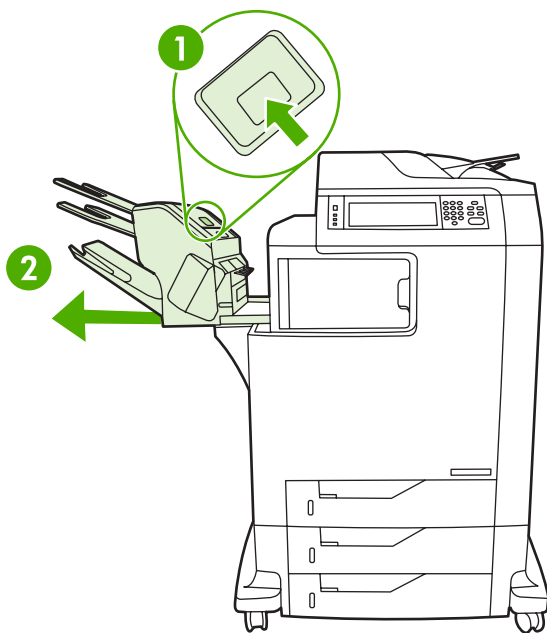


9. ステップル カートリッジのカバーを閉めて、ステプラ/スタッカを MFP に差し込みます。

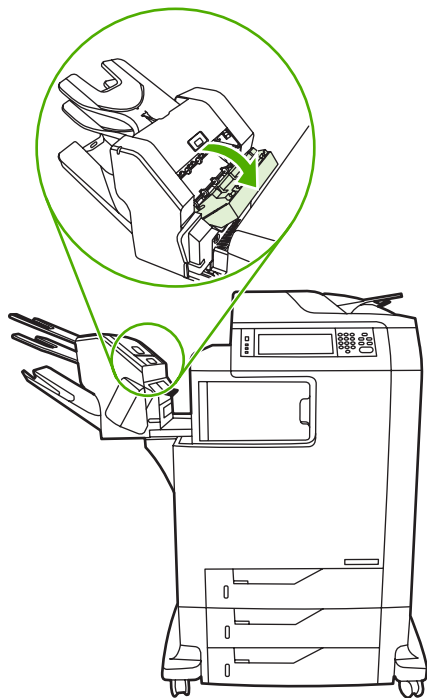


3 ビン メールボックスの紙詰まり

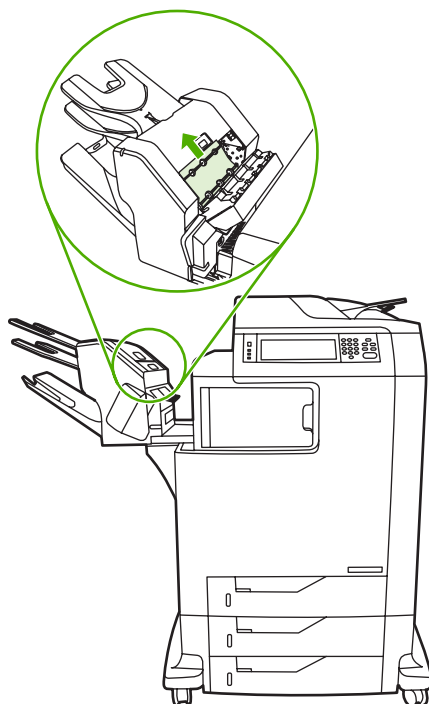
1. 3 ビン メールボックス上部のリリース ボタンを押します。
2. 3 ビン メールボックスを MFP から引き出します。



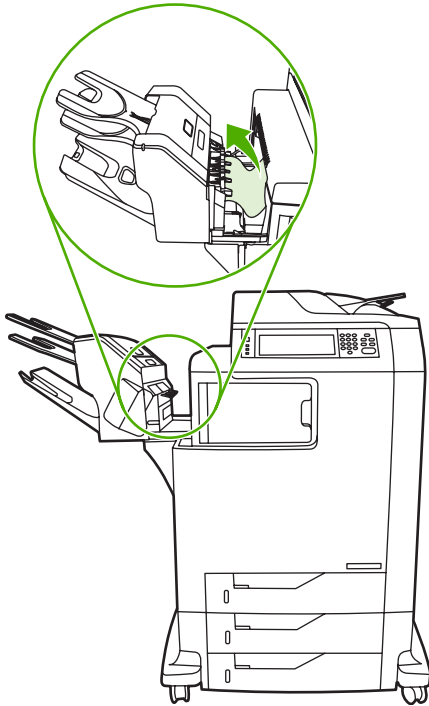
3. 3ピンメールボックス上部のカバーを開けます。



4. カバーの内側のメディアをすべて取り除きます。



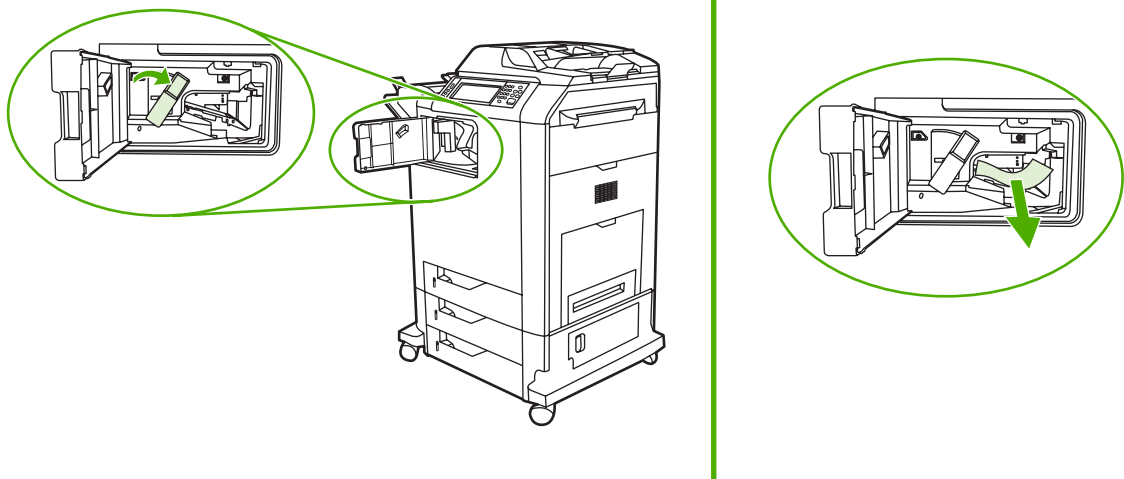
5. ドアを閉めて、MFP と 3 ビン メールボックスの間にあるメディアをすべて取り除きます。



排紙アクセサリ ブリッジのその他の紙詰まり

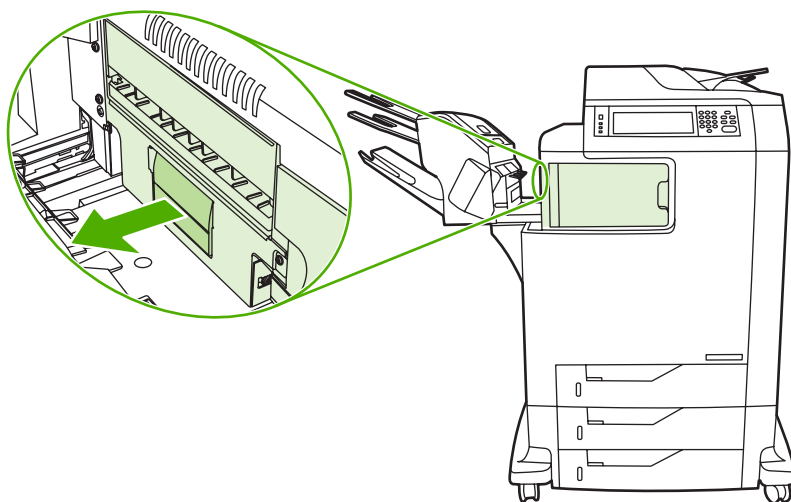
3 ビン メールボックスまたはステイプラ/スタッカが MFP に取り付けられている場合に、排紙アクセサリ ブリッジの紙詰まりを除去するには、次の手順に従います。

1. 排紙アクセサリ ブリッジのカバーを開きます。
2. 緑色のレバーを押し下げ、排紙アクセサリ ブリッジの内部にあるメディアをすべて取り除いて、緑色のレバーを押し上げます。

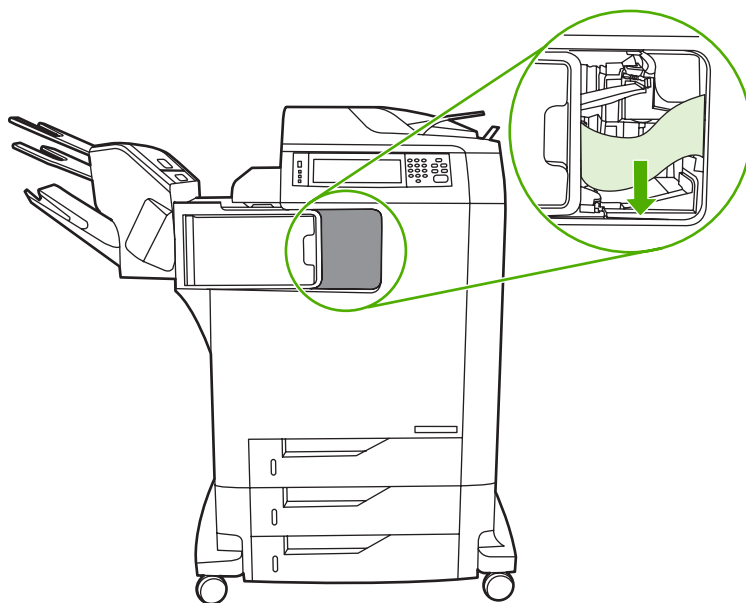


3. 排紙アクセサリ ブリッジのカバーを閉めます。

4. 紙詰まりがまだ除去されない場合は、排紙アクセサリブリッジのハンドルをつかんで、ブリッジを MFP から引き離します。



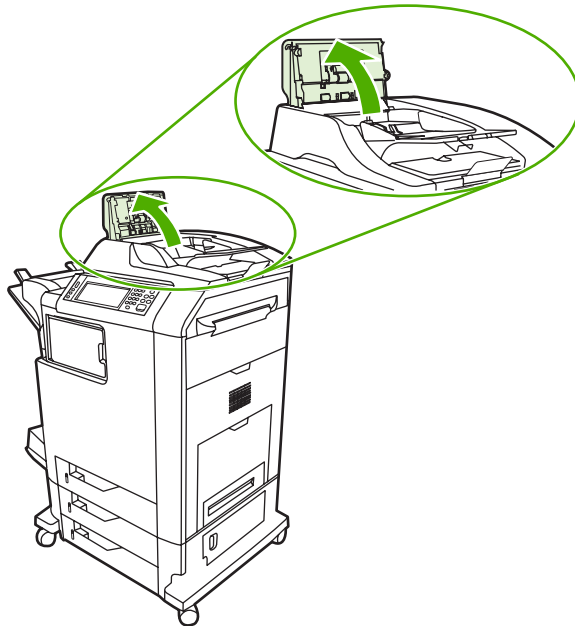
5. 排紙アクセサリブリッジの上部で用紙を探します。



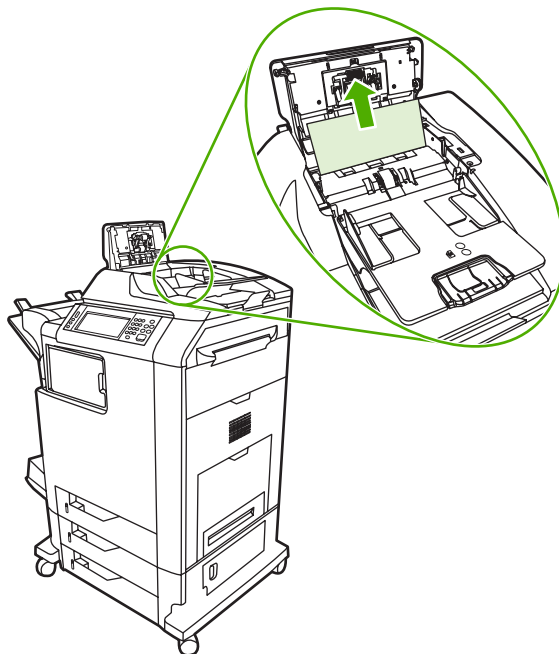
6. 排紙アクセサリブリッジを MFP に挿入し直します。
7. 3 ビン メールボックスまたはステイブラ/スタッカを MFP に挿入し直します。

ADF の紙詰まり

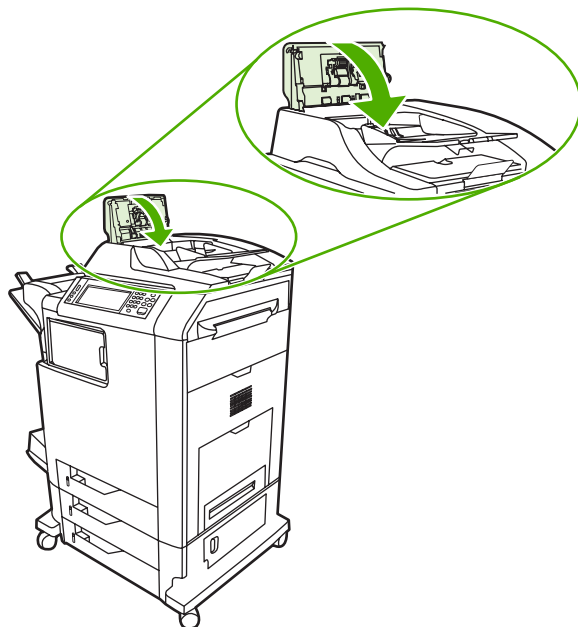
1. ADF カバーを開けます。



2. 詰まっているメディアをすべて取り除きます。



3. ADF カバーを閉めます。




メディアの取り扱いに関する問題

『HP LaserJet Printer Family Print Media Guide』で説明している仕様を満たすメディアのみを使用してください。注文については、「[サプライ品とアクセサリ](#)」を参照してください。

この MFP の用紙の仕様については、「[使用可能なメディアの重量とサイズ](#)」を参照してください。

プリンタが複数枚の用紙を給紙する

プリンタが複数枚の用紙を給紙する

原因	解決方法
給紙トレイがいっぱいです。	余分なメディアを給紙トレイから取り除きます。
印刷するメディアが互にくっついていてます。	メディアを取り出し、曲げたり、前後や上下を逆にした後、トレイに再びセットします。
	 注記 メディアを扇形に広げないでください。メディアを扇形に広げると静電気が発生し、メディアが互にくっつく原因になります。
メディアがこの MFP の仕様に合いません。	この MFP の HP 仕様を満たすメディアのみを使用します。 「 使用可能なメディアの重量とサイズ 」を参照してください。
トレイが正しく調整されていません。	後ろ側のメディア長さガイドが使用するメディアの長さを示していることを確認します。

間違ったページ サイズが給紙される

間違ったページ サイズが給紙される

原因	解決方法
正しいサイズのメディアが給紙トレイにセットされていません。	給紙トレイに正しいサイズのメディアをセットします。
ソフトウェア アプリケーションまたはプリンタ ドライバで正しいサイズのメディアが選択されていません。	アプリケーションの設定によってプリンタ ドライバおよびコントロール パネル設定が優先され、コントロール パネル設定はプリンタ ドライバの設定によって優先されるので、アプリケーションおよびプリンタ ドライバの設定が適切であることを確認します。詳細については、「 プリンタドライバ 」または「 Macintosh コンピュータ用プリンタ ドライバ 」を参照してください。
MFP のコントロール パネルで、トレイ 1 のメディアに正しいサイズが選択されていません。	コントロール パネルでトレイ 1 のメディアに正しいサイズを選択します。
給紙トレイのメディア サイズが正しく設定されていません。	設定ページを印刷するか、またはコントロール パネルを使用して、トレイに設定されているメディア サイズを調べます。
トレイ内のガイドが用紙に触れていません。	後ろ側と幅のメディア ガイドが用紙に触れていることを確認してください。

間違ったトレイから給紙される

間違ったトレイから給紙される

原因	解決方法
別のプリンタのドライバを使用しています。詳細については、「 プリンタドライバ 」または「 Macintosh コンピュータ用プリンタドライバ 」を参照してください。	このプリンタのドライバを使用します。
指定したトレイは空です。	指定したトレイにメディアをセットします。
指定されたトレイの動作は、[CONFIGURE DEVICE] メニューの [SYSTEM SETUP] サブメニューで [FIRST] に設定されています。	設定を [EXCLUSIVELY] に変更します。
給紙トレイのメディア サイズが正しく設定されていません。	設定ページを印刷するか、またはコントロールパネルを使用して、トレイに設定されているメディア サイズを調べます。
トレイ内のガイドが用紙に触れていません。	ガイドが用紙に触れていることを確認してください。

メディアが自動的に給紙されない

メディアが自動的に給紙されない

原因	解決方法
ソフトウェア アプリケーションで手差しが選択されています。	トレイ 1 にメディアをセットするか、メディアがセットされている場合は OK を押します。
正しいサイズのメディアがセットされていません。	正しいサイズのメディアをセットします。
給紙トレイは空です。	給紙トレイにメディアをセットします。
前回、紙詰まりしたメディアが完全に取り除かれていません。	MFP を開き、給紙経路にあるメディアを取り除きます。紙詰まりのフューザ領域を注意して調べます。「 紙詰まり 」を参照してください。
給紙トレイのメディア サイズが正しく設定されていません。	設定ページを印刷するか、またはコントロールパネルを使用して、トレイに設定されているメディア サイズを調べます。
トレイ内のガイドが用紙に触れていません。	後ろ側と幅のメディア ガイドが用紙に触れていることを確認してください。

トレイ 2、3、または 4 からメディアが給紙されない

トレイ 2、3、または 4 からメディアが給紙されない

原因	解決方法
正しいサイズのメディアがセットされていません。	正しいサイズのメディアをセットします。
給紙トレイは空です。	給紙トレイにメディアをセットします。
MFP のコントロール パネルで、給紙トレイのメディア タイプが正しく選択されていません。	MFP のコントロール パネルから、給紙トレイに合った正しいメディア タイプを選択します。
前回、紙詰まりしたメディアが完全に取り除かれていません。	MFP を開き、給紙経路にあるメディアを取り除きます。紙詰まりのフューザ領域を注意して調べます。「 紙詰まり 」を参照してください。

トレイ 2、3、または 4 からメディアが給紙されない

原因	解決方法
オプションのトレイが給紙トレイ オプションとして表示されません。	オプションのトレイが取り付けられている場合は、それらは使用可能として表示されます。オプションのトレイがすべて正しく取り付けられていることを確認します。プリンタ ドライバがオプションのトレイを認識するように設定されていることを確認します。詳細については、「 プリンタドライバ 」または「 Macintosh コンピュータ用プリンタ ドライバ 」を参照してください。
オプションのトレイが間違っ取り付けられています。	設定ページを印刷して、オプションのトレイが取り付けられていることを確認します。取り付けられていない場合は、トレイが正しく MFP に接続されていることを確認します。
給紙トレイのメディア サイズが正しく設定されていません。	設定ページを印刷するか、またはコントロール パネルを使用して、トレイに設定されているメディア サイズを調べます。
トレイ内のガイドが用紙に触れていません。	ガイドが用紙に触れていることを確認してください。

OHP フィルムまたは光沢紙が給紙されない

OHP フィルムまたは光沢紙が給紙されない

原因	解決方法
ソフトウェアまたはプリンタ ドライバで正しいメディア タイプが指定されていません。	ソフトウェア アプリケーションまたはプリンタ ドライバで正しいメディア タイプが選択されていることを確認します。
給紙トレイがいっぱいです。	余分なメディアを給紙トレイから取り除きます。光沢紙 200 枚以上、または OHP フィルム 100 枚以上のメディアをトレイ 2、3、または 4 にセットしないでください。トレイ 1 の最大スタック高を超えないようにしてください。
他のトレイのメディアは OHP フィルムと同じサイズで、MFP はデフォルトで他のトレイに設定されています。	OHP フィルムまたは光沢紙をセットした給紙トレイがソフトウェア アプリケーションまたはプリンタ ドライバで選択されていることを確認します。MFP のコントロール パネルを使用して、セットしたメディア タイプにトレイを設定できません。詳細については、「 プリンタドライバ 」または「 Macintosh コンピュータ用プリンタ ドライバ 」を参照してください。
OHP フィルムまたは光沢紙をセットしたトレイがタイプに合わせて正しく設定されていません。	OHP フィルムまたは光沢紙をセットした給紙トレイがソフトウェア アプリケーションまたはプリンタ ドライバで選択されていることを確認します。MFP のコントロール パネルを使用して、セットしたメディア タイプにトレイを設定できません。「 給紙トレイの設定 」を参照してください。
OHP フィルムまたは光沢紙が、サポートされているメディアの仕様を満たしていない可能性があります。	この MFP の HP 仕様を満たすメディアのみを使用します。「 使用可能なメディアの重量とサイズ 」を参照してください。

封筒の紙詰まり、または封筒が MFP に給紙されない

封筒の紙詰まり、または封筒が MFP に給紙されない

原因	解決方法
封筒がサポートされていないトレイにセットされています。封筒を給紙できるのは、トレイ 1 のみです。	トレイ 1 に封筒をセットします。
封筒がめくれているか折れています。	別の封筒を試します。封筒は管理された環境で保存してください。
水分含有率が高すぎるため、封筒が密着しています。	別の封筒を試します。封筒は管理された環境で保存してください。
封筒の向きが間違っています。	封筒が正しくセットされていることを確認します。「 給紙トレイの設定 」を参照してください。
この MFP は、封筒の使用をサポートしません。	「 使用可能なメディアの重量とサイズ 」または『 <i>HP LaserJet Printer Family Print Media Guide</i> 』を参照してください。
トレイ 1 は封筒以外のサイズに設定されています。	トレイ 1 のサイズを封筒用に設定します。

印刷出力がめくれている、またはしわが寄っている

印刷出力がめくれている、またはしわが寄っている

原因	解決方法
メディアがこの MFP の仕様に合いません。	この MFP の HP 仕様を満たすメディアのみを使用します。「 使用可能なメディアの重量とサイズ 」を参照してください。
メディアが折れているか汚れています。	メディアを給紙トレイから取り除き、良好な状態にあるメディアをセットします。
プリンタの動作環境の湿度が非常に高くなっています。	印刷環境が湿度の仕様範囲内にあることを確認します。「 環境仕様 」を参照してください。
大きな塗りつぶされた領域を印刷しています。	大きな塗りつぶされた領域は、非常にめくれやすくなります。別のパターンを印刷してみます。
使用したメディアの保存状態が悪く、湿気を吸収しています。	メディアを取り除き、新しい、未開封のメディアと交換します。
メディアの端がぎざぎざです。	メディアを取り出し、曲げたり、前後や上下を逆にした後、給紙トレイに再びセットします。メディアを扇形に広げないでください。問題が発生する場合は、メディアを交換します。
特定のメディア タイプがトレイに設定されていないか、ソフトウェアで選択されていません。	メディアに合わせてソフトウェアを設定します (ソフトウェアのマニュアルを参照)。メディアに対応するトレイの設定については、「 給紙トレイの設定 」を参照してください。

両面印刷しないか、または正しく両面印刷しない

両面印刷しないか、または正しく両面印刷しない

原因	解決方法
両面印刷しようとしているメディアはサポートされていません。	両面印刷するメディアをサポートしていることを確認します。「 使用可能なメディアの重量とサイズ 」を参照してください。
プリンタ ドライバが両面印刷に合わせて設定されていません。	プリンタ ドライバを設定して、両面印刷を有効にします。
印刷済みフォームまたはレターヘッドの裏面に最初のページが印刷されています。	レターヘッドまたは印刷面を上にし、ページの底面から MFP に給紙されるようにして、印刷済みフォームおよびレターヘッドをトレイ 1 にセットします。トレイ 2、3、および 4 の場合は、メディアの印刷面を下向きにし、ページの上が MFP の奥になるようにセットします。

MFP のメッセージについて


コントロールパネル ディスプレイにメッセージが表示され、MFP の正常なステータス ([Processing...] など) または注意が必要なエラー状態が中継されます。「[コントロールパネルのメッセージ](#)」には、注意を払う必要があるメッセージや疑問を生じさせる可能性があるメッセージが列挙されています。メッセージは、番号のメッセージから始まりアルファベット順に並んでいます。このリストには、説明がなくても理解できるメッセージ ([Ready] など) は含まれていません。




注記 一部のメッセージは、コントロールパネルの [CLEARABLE WARNINGS] メニューの [CONFIGURE DEVICE] サブメニューにある [AUTO CONTINUE] 設定の影響を受けます。詳細については、「[システムのセットアップサブメニュー](#)」を参照してください。

MFP ヘルプ システムの使い方

この MFP では、大半の MFP エラーを解決する方法を説明したヘルプ システムがコントロール パネルに備わっています。一部のコントロールパネル メッセージは、ヘルプ システムの使い方に関する説明と交互に表示されます。

[?] がエラー メッセージに表示されるか、メッセージが [FOR HELP TOUCH ?] と交互に表示される場合は、必ず  (ヘルプ) ボタンを押してヘルプを表示してください。

ヘルプ システムを終了するには、 (ヘルプ) ボタンを押します。

メッセージが消えない場合

- 一部のメッセージ (トレイに用紙をセットするよう求めるメッセージや以前の印刷ジョブが MFP のメモリに残っていることを通知するメッセージなど) に対しては、**CONTINUE** を押して印刷を続行するか、**Stop** を押してジョブとメッセージを消去することができます。
- 推奨される操作をすべて行ってもメッセージが消えない場合は、HP の正規サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください (HP のサポートに関するリーフレットを参照するか、<http://www.hp.com/support/clj4730mfp> をご覧ください)。

3 ビン メールボックスとステイプラ/スタッカのアクセサリ ランプについて

次の表は、3 ビン メールボックスまたはステイプラ/スタッカで発生する可能性のあるエラーの一覧です。3 ビン メールボックスまたはステイプラ/スタッカのランプが示すエラーに関連した情報は、コントロール パネルに表示されます。

アクセサリ ランプ

薄手用紙	説明と解決策
緑色に点灯	<ul style="list-style-type: none">アクセサリは電源の供給を受け、使用可能な状態になっています。ステイプラのステイプル残量が少なくなっています。コントロールパネル ディスプレイに [STAPLER LOW ON STAPLES] と表示されます。ステイプルカートリッジには、ステイプルが 19 本以下しか残っていません。ステイプルカートリッジを交換します。「ステイプルのセット」を参照してください。ジョブのページ数が、ステイプルで留めることができる 30 ページを超えていると、[TOO MANY PAGES IN JOB TO STAPLE] が MFP のコントロールパネルに表示されます。31 ページ以上のジョブの場合は、ステイプル留めを手作業で行ってください。
オレンジ色に点灯	<ul style="list-style-type: none">アクセサリのハードウェア誤動作を示します。コントロールパネル ディスプレイに [66.XX.X OUTPUT DEVICE FAILURE] が表示されます (「コントロール パネルのメッセージの種類」でこのメッセージに関するセクションを参照してください)。

薄手用紙	説明と解決策
オレンジ色に点滅	<ul style="list-style-type: none"> ● アクセサリにステイブルが詰まっています。コントロールパネル ディスプレイに [STAPLER JAM] が表示されます (「コントロール パネルのメッセージの種類」でこのメッセージに関するセクションを参照してください)。 ● アクセサリで紙詰まりが発生しているか、用紙詰まりでなくとも、用紙を装置から取り除く必要があります。コントロールパネル ディスプレイに [13.XX.YY JAM IN TOP OUTPUT BIN] と表示されます (「コントロール パネルのメッセージの種類」でこのメッセージに関するセクションを参照してください)。 ● ビンがいっぱいです。コントロールパネル ディスプレイに [STACKER BIN FULL] と表示されます (「コントロール パネルのメッセージの種類」で [Output Bin X Full] に関するセクションを参照してください)。 ● ステイブラのステイブルがなくなりました。コントロールパネル ディスプレイに [REPLACE STAPLER CARTRIDGE] と表示されます (「コントロール パネルのメッセージの種類」でこのメッセージに関するセクションを参照してください)。 ● 紙詰まりアクセス カバーが開いています。コントロールパネル ディスプレイに [OUTPUT PAPER PATH OPEN] と表示されます (「コントロール パネルのメッセージの種類」でこのメッセージに関するセクションを参照してください)。 ● ステイブラ ユニットが開いています。コントロールパネル ディスプレイに [OUTPUT PAPER PATH OPEN] と表示されます。ステイブラカートリッジカバーが完全に閉まっていることを確認してください (「コントロール パネルのメッセージの種類」でこのメッセージに関するセクションを参照してください)。 ● ファームウェアが破損しています。コントロールパネル ディスプレイに [CORRUPT FIRMWARE IN EXTERNAL ACCESSORY] と表示されます (「コントロール パネルのメッセージの種類」でこのメッセージに関するセクションを参照してください)。
オフ	<ul style="list-style-type: none"> ● MFP がスリープ モードである可能性があります。コントロール パネルのいずれかのボタンを押します。 ● アクセサリに電源が供給されていません。MFP の電源を切ります。アクセサリが MFP に正しく取り付けられて接続されており、MFP とアクセサリの間に隙間がないことを確認します。MFP の電源を入れます。 ● MFP の電源が入っている間に、アクセサリが取り外され再接続された可能性があります。コントロールパネル ディスプレイに [REINSTALL OUTPUT DEVICE] と表示されます。アクセサリのケーブルを接続し直します。 ● MFP とアクセサリの間でジョブが停止している可能性があります。コントロールパネル ディスプレイに [Processing...] と表示されます。MFP の電源を切って入れ直します。

アクセサリまたはアクセサリ部品の交換

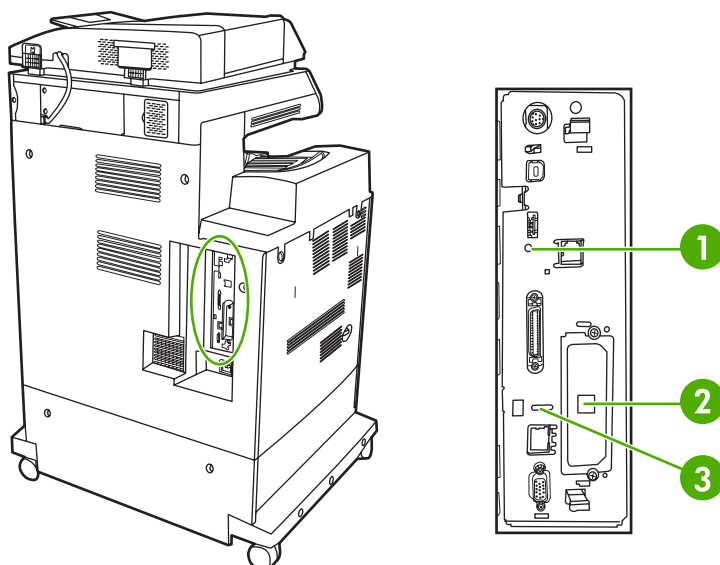
3 ビン メールボックスまたはステイブラ/スタッカ アクセサリのランプによって示された問題を解決できない場合は、HP カスタマ ケア センタにお問い合わせください (「[HP カスタマ ケア](#)」を参照してください)。HP カスタマ ケア センタから 3 ビン メールボックス、ステイブラ/スタッカ、またはステ

イプル カートリッジの交換を勧められた場合は、交換部品の注文について、「[部品、サプライ品、アクセサリなどの注文方法](#)」と「[製品番号](#)」を参照してください。

- 3 ビン メールボックス全体またはステイプラ/スタッカ全体を交換する手順については、アクセサリに付属の装着ガイドを参照してください。
- ステイプル カートリッジを交換する手順については、「[ステイプルのセット](#)」を参照してください。

フォーマッタのランプについて

フォーマッタに付いている 3 つの LED には、MFP が正しく機能しているかどうかを示されます。



1	電源確認 LED
2	HP Jetdirect LED (この LED は HP Jetdirect が取り付けられている場合にのみ存在します。)
3	ファックス LED

HP Jetdirect LED

内蔵 HP Jetdirect プリント サーバーには 2 つの LED が備わっています。黄色の LED はネットワーク活動を示し、緑色の LED は接続状態を示します。黄色の LED が点滅している場合は、ネットワークトラフィックがあることを意味します。緑色の LED が点灯していない場合は、接続が確立されなかったことを意味します。

接続エラーが発生した場合は、ネットワーク ケーブルのすべての接続箇所を確認します。また、MFP のコントロールパネル メニューを使用して、内蔵プリント サーバーの接続設定を手動で指定することもできます。

1. **Menu** ボタンを押します。
2. **CONFIGURE DEVICE** を押します。
3. **I/O** を押します。
4. **EMBEDDED JETDIRECT MENU** を押します。
5. **LINK SPEED** を押します。適切な接続速度を選択します。

電源確認 LED

電源確認 LED には、フォーマッタが正しく機能しているかどうかを示されます。MFP の電源を入れた後で初期化が行われている間、電源確認 LED は急速に点滅した後で消えます。MFP の初期化シーケンスが完了すると、電源確認 LED は規則的にオンとオフを繰り返します。

電源確認 LED が消えている場合は、フォーマッタに問題がある可能性があります。HP の正規サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください。HP のサポートに関するリーフレットを参照するか、<http://www.hp.com/support/clj4730mfp> をご覧ください。

ファックス LED

Analog Fax Accessory に付いている LED には、ファックスが正しく機能しているかどうかを示されます。ファックス LED が消えている場合は、問題の解決方法について『*HP LaserJet Analog Fax Accessory 300 ユーザーズガイド*』を参照してください。

カラー印刷の問題


印刷出力カラー エラー

表 12-1 カラーではなく黒で印刷されてしまう

原因と解決策	
原因	解決方法
ソフトウェア アプリケーションまたはプリンタ ドライバで、[Color] モードが選択されていません。	ソフトウェア アプリケーションまたはプリンタ ドライバで、[Grayscale] または [Monochrome] ではなく、[Color] モードを選択してください。詳細については、「 プリンタドライバ 」または「 Macintosh コンピュータ用プリンタ ドライバ 」を参照してください。
ソフトウェア アプリケーションで正しいプリンタ ドライバが選択されていません。	正しいプリンタ ドライバを選択します。
設定ページに色が表示されません。	最寄りのサービス代理店にご相談ください。

陰影が印刷される

表 12-2 陰影が印刷される

原因と解決策	
原因	解決方法
メディアがこの MFP の仕様に合いません。	メディア指定の詳細については、「 使用可能なメディアの重量とサイズ 」を参照してください。
非常に湿度の高い状況で MFP を操作しています。	印刷環境が湿度の仕様範囲内にあることを確認します。「 環境仕様 」を参照してください。
	 注記 カラーの品質に関する詳細については、「 MFP のキャリブレーション 」を参照してください。

印刷されない色がある

表 12-3 印刷されない色がある

原因と解決策	
原因	解決方法
HP のプリント カートリッジが不良です。	カートリッジを交換してください。
HP 社製以外のカートリッジを取り付けている可能性があります。	必ず HP 社純正のプリント カートリッジを使用します。

カートリッジ エラー

表 12-4 プリント カートリッジを取り付けた後の色の異常

原因と解決策


原因	解決方法
他のプリント カートリッジの残量が少ない場合があります。	コントロール パネルのサプライ品ゲージをチェックするか、サプライ品のステータス ページを印刷します。「 MFP 設定の確認 」を参照してください。
プリント カートリッジが正しく取り付けられていない可能性があります。	各プリント カートリッジが正しく取り付けられていることを確認してください。
HP 社製以外のカートリッジを取り付けている可能性があります。	必ず HP 社純正のプリント カートリッジを使用します。

カラー マッチング エラー

表 12-5 印刷した色が画面の色と合わない

原因と解決策

原因	解決方法
画面上で非常に明るい色は印刷されません。	ソフトウェア アプリケーションは非常に明るい色を白として読み取ることがあります。このような場合は、非常に明るい色を使用しないようにします。
画面上で非常に濃い色は黒として印刷されます。	ソフトウェア アプリケーションは非常に濃い色を黒として読み取ることがあります。このような場合は、非常に濃い色を使用しないようにします。
コンピュータの画面上の色が MFP の出力と異なります。	プリンタ ドライバの [Color Control] タブで [Screen Match] を選択します。



注記 印刷された色と画面の色を一致させる機能は、いくつかの要因の影響を受けます。これらの要因には、印刷メディア、オーバーヘッド照明、ソフトウェア アプリケーション、オペレーティングシステムのパレット、モニター、ビデオ カードとドライバなどがあります。

印字品質とコピー品質に関する問題の解決

このセクションでは、印字品質に関する問題とその解決方法について説明します。印字品質に関する問題は、多くの場合、MFP が正しく保守されていることを確認したり、HP の仕様に合った印刷メディアを使用したり、クリーニング ページを印刷したりすることによって簡単に解決できます。

メディアに関連する印字品質の問題

印字品質の問題は、不適切なメディアの使用により発生することがあります。

- HP 仕様を満たす用紙のみを使用します。「[使用可能なメディアの重量とサイズ](#)」を参照してください。
- メディアの表面がなめらかすぎます。HP 仕様を満たす用紙のみを使用します。「[使用可能なメディアの重量とサイズ](#)」を参照してください。
- プリンタ ドライバの設定が間違っている可能性があります。使用している用紙用の正しいドライバ設定が選択されていることを確認します。
- 印刷モードが間違っていて設定されているか、用紙が推奨される仕様を満たしていない可能性があります。詳細については、[使用可能なメディアの重量とサイズ](#) をご覧ください。
- 使用している OHP フィルムのトナー定着は、使用目的に適していません。HP Color LaserJet プリンタ用の OHP フィルムのみを使用してください。
- 用紙の水分含有率にばらつきがあるか、高すぎるか、または低すぎます。別のソースまたは未開封の用紙を使用します。
- 用紙にトナーをはじく部分があります。別のソースまたは未開封の用紙を使用します。
- 使用しているレターヘッドが粗い用紙に印刷されています。なめらかなコピー用紙を使用します。これによって問題が解決された場合、レターヘッドを印刷したプリンタを調べて、使用した用紙がこの MFP の仕様に合うことを確認してください。「[使用可能なメディアの重量とサイズ](#)」を参照してください。

OHP フィルムの欠陥

OHP フィルムでは、他のメディア タイプでも発生する画像品質の問題のほかに、OHP フィルム特有の欠陥が発生する可能性があります。さらに、OHP フィルムは印刷経路を通過するとき曲がりやすいため、メディアを取り扱うコンポーネントに注意する必要があります。



注記 印刷した OHP フィルムは、少なくとも 30 秒間冷ましてから取り扱ってください。

- プリンタ ドライバの **[Paper]** タブで、メディア タイプとして **[Transparency]** を選択します。さらに、トレイが OHP フィルムに合わせて正しく設定されていることを確認します。
- OHP フィルムがこの MFP の仕様を満たしていることを確認します。「[使用可能なメディアの重量とサイズ](#)」を参照してください。

注文については、「[サプライ品とアクセサリ](#)」を参照してください。

- OHP フィルムは端を持って取り扱います。手の脂分が OHP フィルムの表面に付着すると、しみや汚れの原因になります。
- 塗りつぶされたページの終端の小さい、ランダムな濃い領域は、OHP フィルムが排紙ビン内で互いにくっつく原因になります。少量に分けてジョブを印刷してください。

- 印刷した結果、選択した色が希望と違った場合、ソフトウェア アプリケーションまたはプリンタ ドライバで別の色を選択します。
- 反射式オーバーヘッドプロジェクターを使用している場合、代わりに標準オーバーヘッドプロジェクターを使用します。

環境に関連する印字品質の問題

MFP の動作環境が非常に湿度が高いか、または乾燥しています。印刷環境が仕様範囲内にあることを確認します。「[環境仕様](#)」を参照してください。

紙詰まりに関連する印字品質の問題

- すべてのメディアが用紙経路から取り除かれていることを確認します。「[紙詰まりの解除](#)」を参照してください。
- 最近 MFP が紙詰まりを起こしました。2、3 ページ印刷して MFP をクリーニングします。
- メディアがフューザを通過しないでイメージの欠陥を発生し、後続の文書に印刷されます。2、3 ページ印刷して MFP をクリーニングします。ただし、問題が解決されなければ、次のセクションを参照してください。

印字品質トラブルの解決ページ

印字品質トラブルの解決ページでは、印字品質に影響を及ぼす MFP の状況に関する情報が示されます。

1. **Menu** ボタンを押して **[MENUS]** を表示します。
2. **DIAGNOSTICS** を押します。
3. **PQ TROUBLESHOOTING** を押します。

印字品質トラブルの解決情報を印刷し終わるまで、**[Printing... PQ troubleshooting]** というメッセージが表示されます。印字品質トラブルの解決情報の印刷後、MFP は **[Ready]** 状態に戻ります。

印字品質トラブルの解決情報には、印字品質に関する MFP 統計、情報の解釈に関する説明、および印字品質の問題を解決する手順が、各色 (黒、マゼンタ、シアン、およびイエロー) に 1 ページずつ含まれています。

印字品質トラブルの解決ページで推奨する手順に従っても印字品質が改善されない場合は、<http://www.hp.com/support/clj4730mfp> をご覧ください。

印字品質のトラブルシューティング ツール

印字品質のトラブルシューティング ツールを使用して、HP Color LaserJet 4730 MFP の印字品質の問題を特定し、解決できます。このツールには、標準イメージを使用して一般的な診断環境を提供する、多くの印字品質の問題解決方法が含まれています。このツールは、直感的な順を追った手順を印字品質のトラブルシューティング ページに表示するように設計されています。これらのページを使用して、印字品質の問題を特定し、可能な解決方法を見つけることができます。

印字品質のトラブルシューティング ツールを利用するには、次の URL にアクセスしてください。
<http://www.hp.com/go/printquality/clj4730>

イメージの欠陥の例

このセクションは、2つの表で構成されます。1つは、印字品質に関する一般的な問題の例を示したもので、もう1つは、自動用紙フィーダ (ADF) の使用時に発生する可能性があるコピー品質に関する一般的な問題の例を示したものです。これらの表には、各問題に対する解決策も記載されています。表に記載される解決策を試しても問題が解決されない場合は、HP カスタマ サポートまでお問い合わせください (「[HP カスタマ ケア](#)」を参照してください)。

表 12-6 印刷中に発生する可能性がある欠陥



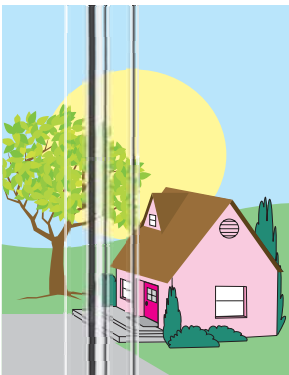



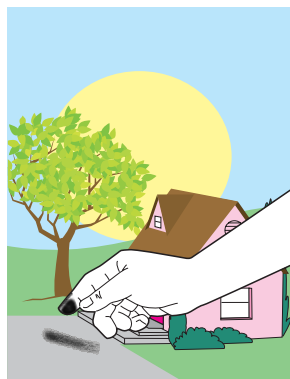
	<p>横の線や縞</p> <ul style="list-style-type: none"> MFP の操作および位置の要件を満たしていることを確認します。 印字品質トラブルの解決ページ (「MFP のキャリブレーション」を参照) を印刷し、最初のページにリストされている診断手順を実行して、欠陥を特定のコンポーネントに分離します。 		<p>色のずれ</p> <ul style="list-style-type: none"> MFP のキャリブレーションを行います。「MFP のキャリブレーション」の指示に従います。
	<p>縦の線</p> <ul style="list-style-type: none"> 印字品質トラブルの解決ページ (「MFP のキャリブレーション」を参照) を印刷し、最初のページにリストされている診断手順を実行して、欠陥を特定のコンポーネントに分離します。 		<p>連続した欠陥</p> <ul style="list-style-type: none"> MFP の操作および位置の要件を満たしていることを確認します。 印字品質トラブルの解決ページ (「MFP のキャリブレーション」を参照) を印刷し、最初のページにリストされている診断手順を実行して、欠陥を特定のコンポーネントに分離します。
	<p>すべての色の色あせ</p> <ul style="list-style-type: none"> MFP の操作および位置の要件を満たしていることを確認します。 MFP のキャリブレーションを行います。 		<p>1つの色の色あせ</p> <ul style="list-style-type: none"> MFP の操作および位置の要件を満たしていることを確認します。 MFP のキャリブレーションを行います。 印字品質トラブルの解決ページ (「MFP のキャリブレーション」を参照) を印刷し、最初のページにリストされている診断手順を実行して、欠陥を特定のコンポーネントに分離します。

表 12-6 印刷中に発生する可能性がある欠陥 (続き)



指紋およびメディアのくぼみ

- サポートされているメディアを使用していることを確認します。
- 使用しているメディアに処理によってできたしわやくぼみがないことや、メディアが目に見える指紋やその他の異物で汚れていないことを確認します。
- 印字品質トラブルの解決ページ (「[MFP のキャリブレーション](#)」を参照) を印刷し、最初のページにリストされている診断手順を実行して、欠陥を特定のコンポーネントに分離します。



こぼれたトナー

- MFP の操作および位置の要件を満たしていることを確認します。
- サポートされているメディアを使用していることを確認します。
- コントロールパネルで使用するメディア用にトレイのメディアタイプとサイズが正しく設定されていることを確認します。
- メディアが正しくセットされており、サイズガイドがメディアの束の端に触れていることを確認します。

使用しているメディアに処理によってできたしわやくぼみがないことや、メディアが目に見える指紋やその他の異物で汚れていないことを確認します。



トナーの汚れ

- サポートされているメディアを使用していることを確認します。

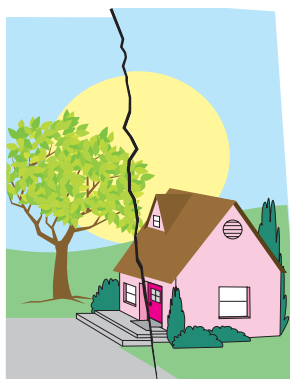


ページの白い領域 (欠落)

- MFP の操作および位置の要件を満たしていることを確認します。
- サポートされているメディアを使用していることを確認します。
- 使用しているメディアに処理によってできたしわやくぼみがないことや、メディアが目に見える指紋やその他の異物で汚れていないことを確認します。
- コントロールパネルで使用するメディア用にトレイのメディアタイプとサイズが正しく設定されていることを確認します。
- MFP のキャリブレーションを行います。
- 印字品質トラブルの解決ページ (「[MFP のキャリブレーション](#)」を参照) を印刷し、最初のページにリストされている診断手順を実行して、欠陥を

表 12-6 印刷中に発生する可能性がある欠陥 (続き)

特定のコンポーネントに分離します。



メディアの損傷 (しわ、めくれ、折り目、裂け目)

- MFP の操作および位置の要件を満たしていることを確認します。
- サポートされているメディアを使用していることを確認します。
- メディアが正しくセットされていることを確認します。
- コントロールパネルで使用するメディア用にトレイのメディアタイプとサイズが正しく設定されていることを確認します。
- 使用しているメディアに処理によってできたしわやくぼみがないことや、メディアが目に見える指紋やその他の異物で汚れていないことを確認します。
- 次のサプライ品が正しく取り付けられていることを確認します。
 - フューザ
 - 転送ローラ
- 紙詰まりの領域を調べ、検知されていない紙詰まりや破れたメディアを取り除きます。



トナーのしみ

- MFP の操作および位置の要件を満たしていることを確認します。
- サポートされているメディアを使用していることを確認します。
- コントロールパネルで使用するメディア用にトレイのメディアタイプとサイズが正しく設定されていることを確認します。
- MFP のキャリブレーションを行います。
- 印字品質トラブルの解決ページ ([「MFP のキャリブレーション」](#)を参照) を印刷し、最初のページにリストされている診断手順を実行して、欠陥を特定のコンポーネントに分離します。



ページのずれ、伸び、または中心のずれ

- MFP の操作および位置の要件を満たしていることを確認します。
- サポートされているメディアを使用していることを確認します。
- メディアが正しくセットされていることを確認します。
- ページのずれの問題については、メディアの束の上下と前後を逆さにします。

表 12-6 印刷中に発生する可能性がある欠陥 (続き)

- フューザと転送ローラが正しく取り付けられていることを確認します。
- 紙詰まりの領域を調べ、検知されていない紙詰まりや破れたメディアを取り除きます。
- 多目的トレイを使用して印刷している場合は、両側のガイドが正しくセットされていることを確認します。

表 12-7 ADF の使用時に発生する可能性がある欠陥


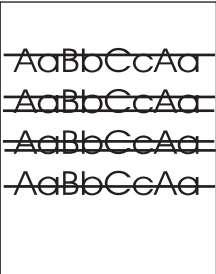

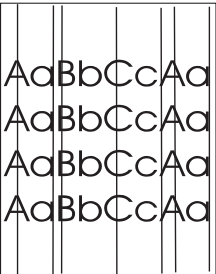
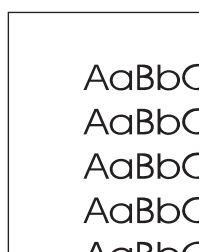
	<p>空白ページ</p> <ol style="list-style-type: none">1. 原稿を ADF から取り除き、原稿を上向きにして ADF に挿入し直します。2. 一度に 2 ページ以上が給紙されている場合は、ADF の分離パッドとローラーが破損していないかどうか調べます。ローラーが汚れている場合はクリーニングします。「ADF 給紙システムのクリーニング」を参照してください。ADF の分離パッドまたはローラーが磨耗している場合は、交換してください。		<p>横の線</p> <ol style="list-style-type: none">1. ADF をクリーニングします。「ADF 給紙システムのクリーニング」を参照してください。2. スキャナのガラス面上に用紙がないこと、またはスキャナ カバーの下に用紙がくっついていないことを確認します。3. Mylar フィルムが汚れているか磨耗している場合は交換します。交換用の Mylar フィルムは、ADF の白いビニール製の裏当ての下にある封筒に保管されています。封筒の中の説明書の指示に従ってください。
	<p>ページのずれ</p>		<p>縦の線</p> <ol style="list-style-type: none">1. ADF をクリーニングします。「ADF 給紙システムのクリーニング」を参照してください。2. スキャナのガラス面上に用紙がないこと、またはスキャナ カバーの下に用紙がくっついていないことを確認します。3. Mylar フィルムが汚れているか磨耗している場合は交換します。交換用の Mylar フィルムは、ADF の白いビニール製の裏当ての下にある封筒に保管されています。封筒の中の説明書の指示に従ってください。

表 12-7 ADF の使用時に発生する可能性がある欠陥 (続き)

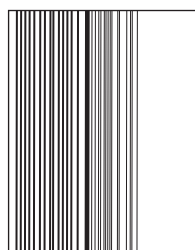
MFP のずれ仕様は次のとおりです。

- カット紙 (片面または両面) : 長さ 260 mm につき 1.5 mm 未満
 - 封筒 : 長さ 220 mm につき 3.3 mm 未満
1. ADF の給紙トレイ ガイドが用紙の側面に軽く触れるように調整されていることを確認します。
 2. Mylar フィルムが押しのけられたり、折れ曲がったり、間違った取り付け方をされている場合は、正しく取り付けます。Mylar フィルムが磨耗している場合は交換します。交換用の Mylar フィルムは、ADF の白いビニール製の裏当ての下にある封筒に保管されています。封筒の中の説明書の指示に従ってください。
 3. ADF ローラーをクリーニングします。「[ADF 給紙システムのクリーニング](#)」を参照してください。
 4. 問題が解決されない場合は、スキャナのキャリブレーションを行います。「[スキャナのキャリブレーション](#)」を参照してください。



イメージのずれ

イメージがページ上で横方向、縦方向、または両方向にずれる場合は、スキャナが正しくキャリブレーションされていないことを意味します。「[スキャナのキャリブレーション](#)」を参照してください。

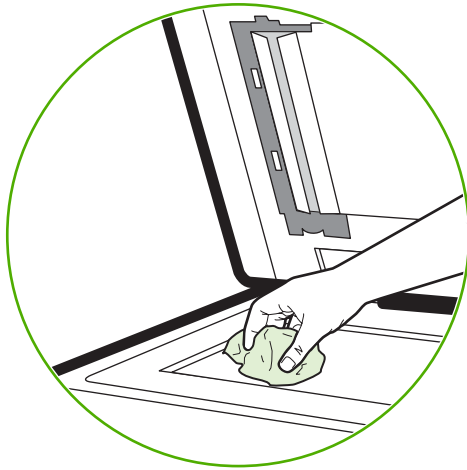


予期せぬイメージ

コピーが原稿とまったく違った外観になる場合は、前回コピーしたメディアがフラットベッド ガラス上に残っていないことを確認します。

スキャナ ガラス面のクリーニング

スキャナのガラス面のクリーニングは、汚れが見える場合や、印字品質上の問題 (縞など) が発生している場合にのみ行ってください。



スキャナをクリーニングするには、水で湿らせた清潔な柔らかい布で拭きます。アンモニアが含まれている界面活性クリーナーは、水で湿らせた布でスキャナ ガラスの汚れが落ちない場合にのみ使用します。クリーナーは布に散布するか垂らし、スキャナのガラス面上に直接散布したり垂らしたりしないでください。

MFP のキャリブレーション

MFP では、最高レベルの印字品質を維持するために、キャリブレーションとクリーニングがさまざまなタイミングで自動的に行われます。**[CALIBRATION]** および **[PRINT QUALITY]** メニューの **[QUICK CALIBRATE NOW]** または **[FULL CALIBRATE NOW]** を使用して、MFP のコントロール パネルから MFP のキャリブレーションを要求することもできます。**[QUICK CALIBRATE NOW]** は、カラー トーン キャリブレーション (D-Half) に使用されます。色濃度またはトーンに問題がある場合は、クイック キャリブレーションを実行します。フル キャリブレーションにはクイック キャリブレーション ルーチンが含まれ、それにドラム フェーズ キャリブレーション、カラー プレーン レジストレーション (CPR)、およびコピー パラメータ キャリブレーションの各ルーチンが追加されています。印刷されたページの色階層 (黒、マゼンタ、シアン、およびイエロー) が相互にずれる場合は、**[FULL CALIBRATE NOW]** を実行する必要があります。

HP Color LaserJet 4730 MFP には適切な場合にはキャリブレーションをスキップする新機能が組み込まれており、その結果、MFP をよりすばやく使用できるようになります。たとえば、MFP の電源を切ってからすぐ (20 秒以内) に入れた場合は、キャリブレーションは必要なく、スキップされます。この場合、MFP は約 1 分早く **[Ready]** 状態に達します。

MFP のキャリブレーションおよびクリーニング時には、キャリブレーションまたはクリーニングを完了するまでの間、印刷は停止されます。ほとんどのキャリブレーションおよびクリーニングでは印刷ジョブは中断されませんが、ジョブの終了後キャリブレーションまたはクリーニングが行われます。

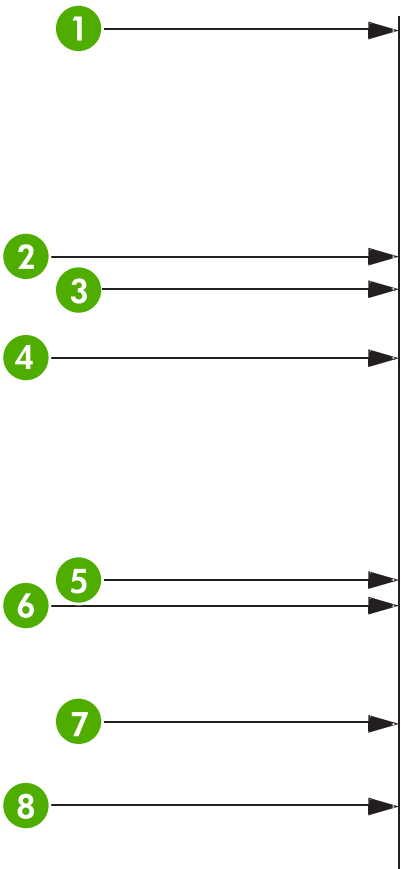
1. **Menu** ボタンを押して **[MENUS]** を表示します。
2. **CONFIGURE DEVICE** を押します。
3. **PRINT QUALITY** を押します。
4. **QUICK CALIBRATE NOW** を押します。

または

フル キャリブレーションを実行する場合は、手順 3 および 4 で **[QUICK CALIBRATE NOW]** ではなく **[FULL CALIBRATE NOW]** を使用します。

連続した欠陥の定規

ページ上、欠陥が定期的に繰り返される場合は、この定規を使用して原因と欠陥を識別します。定規の一番上を最初の欠陥に置きます。次に発生する欠陥の横のマークは、どのコンポーネントが交換を必要としているかを示します。



1	欠陥の最初の発生例 (ページの一番上から欠陥までの距離は異なる場合があります)
2	プリント カートリッジ 34.3mm
3	プリント カートリッジまたはトランスファー ローラー (欠陥が 1 つのカラーでのみ発生する場合は、プリント カートリッジに欠陥があり、欠陥がすべてのカラーで発生する場合は、ETB に欠陥があります) (37.7mm)
4	プリント カートリッジ 42.7mm
5	ETB 75mm
6	フューザ 76.0mm
7	フューザ 81.0mm
8	プリント カートリッジ 94.2mm

プリント カートリッジを注文する前に、プリント カートリッジが問題であるかどうかを特定するには、別の HP Color LaserJet 4730mfp シリーズがあれば、そこからプリント カートリッジを挿入します。

欠陥が 94.0mm 間隔で繰り返される場合は、フューザを交換する前にプリント カートリッジを交換します。

電子メールの問題の解決

デジタル送信機能を使用して電子メールを送信できない場合は、SMTP ゲートウェイ アドレスまたは LDAP ゲートウェイ アドレスを再設定する必要が生じる場合があります。設定ページを印刷して、SMTP と LDAP の現在のゲートウェイ アドレスを確認します。「[設定ページ](#)」を参照してください。次の手順に従って、SMTP と LDAP のゲートウェイ アドレスが有効であるかどうかを確認します。

SMTP ゲートウェイ アドレスを確認するには



注記 この手順は Windows オペレーティング システムに適用されます。

1. MS-DOS コマンド プロンプトを開きます ([スタート] メニューの [ファイル名を指定して実行] をクリックし、「cmd」と入力します)。
2. 「telnet」の後に SMTP ゲートウェイ アドレスを入力し、MFP の通信に使用されるポート番号「25」を続けて入力します。たとえば、「telnet 123.123.123.123 25」と入力した場合、「123.123.123.123」は SMTP ゲートウェイ アドレスを表します。
3. **Enter** を押します。SMTP ゲートウェイ アドレスが有効でない場合は、「Could not open connection to the host on port 25: Connect Failed (ポート 25 のホストに接続できませんでした。接続に失敗しました)」というメッセージが戻されます。
4. SMTP ゲートウェイ アドレスが有効でない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

LDAP ゲートウェイ アドレスを確認するには



注記 この手順は Windows オペレーティング システムに適用されます。

1. Windows エクスプローラを開きます。アドレス バーに、「LDAP://」と LDAP ゲートウェイ アドレスを続けて入力します。たとえば、「LDAP://12.12.12.12」と入力した場合、「12.12.12.12」は LDAP ゲートウェイ アドレスを表します。
2. **Enter** を押します。LDAP ゲートウェイ アドレスが有効な場合は、**[Find People]** ダイアログ ボックスが表示されます。
3. LDAP ゲートウェイ アドレスが有効でない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

ネットワーク接続に関する問題の解決

MFP でネットワーク接続に関する問題が発生している場合は、このセクションの指示に従って問題を解決してください。

ネットワーク印刷に関する問題のトラブルシューティング



注記 MFP をネットワークにインストールして設定するには、MFP CD-ROM を使用することをお勧めします。

- ネットワーク ケーブルが MFP の RJ45 コネクタにしっかり差し込まれていることを確認します。
- フォーマッタ上のリンク LED が点灯していることを確認します。「[フォーマッタのランプについて](#)」を参照してください。
- I/O カードが使用可能な状態になっていることを確認します。設定ページを印刷します（「[設定ページ](#)」を参照）。HP Jetdirect プリント サーバーが取り付けられている場合は、設定ページを印刷すると、ネットワーク設定とネットワーク状態を示した別のページも印刷されます。



注記 HP Jetdirect プリント サーバーは、さまざまなネットワーク プロトコル (TCP/IP、IPX/SPX、Novell Netware、AppleTalk、および DCL/LLC) をサポートしています。適切なプロトコルとネットワーク パラメータが正しく設定されていることを確認します。

HP Jetdirect の設定ページで、ご使用のプロトコルに関する次の項目を確認します。

- 「HP Jetdirect Configuration」セクションのステータスが「I/O Card Ready」になっている。
- プロトコルのステータスが「Ready」になっている。
- IP アドレスが記載されている。
- 設定方法 (Config by:) が正しく記載されている。どの方法が正しいか不明な場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 別のコンピュータからジョブの印刷を試行します。
- MFP がコンピュータと正しく連動していることを確認するには、パラレル ケーブルを使用して、MFP をコンピュータに直接接続します。印刷ソフトウェアを再インストールする必要があります。過去に印刷を正しく実行できたプログラムを使用して、ドキュメントを印刷します。正しく印刷される場合、問題はネットワークにあることが考えられます。
- サポートが必要な場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。

ネットワーク上の通信の確認

HP Jetdirect の設定ページに MFP の IP アドレスが示されている場合に、MFP がネットワーク上の他のデバイスと通信していることを確認するには、次の手順に従います。

ネットワーク上の通信を確認するには

1. **Windows の場合**：[スタート] メニューの [ファイル名を指定して実行] をクリックし、「cmd」と入力します。MS-DOS コマンド プロンプトが開きます。

または

Mac の場合：[アプリケーション] メニューの [ユーティリティ] をクリックして、ターミナルアプリケーションを開きます。ターミナル ウィンドウが開きます。

2. 「ping」の後に IP アドレスを入力します。たとえば、「ping XXX.XXX.XXX.XXX」と入力した場合、「XXX.XXX.XXX.XXX」は HP Jetdirect の設定ページに印刷される IP アドレスになります。MFP がネットワーク上で通信している場合は、MFP からの応答のリストが戻されます。
3. アドレス解決プロトコル (arp -a) コマンドを使用して、IP アドレスがネットワーク上の重複アドレスでないことを確認します。プロンプトで「arp -a」と入力します。リストで IP アドレスを見つけ、HP Jetdirect の設定ページの「HP Jetdirect Configuration」セクションにあるハードウェアアドレスとこの IP アドレスの物理アドレスを比較します。アドレスが一致する場合は、すべてのネットワーク通信が有効であることを意味します。
4. MFP がネットワーク上で通信していることを確認できない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Macintosh で発生する一般的な問題の解決

このセクションでは、Mac OS バージョン 9.x または Mac OS X の使用時に発生する可能性のある問題について説明します。

Mac OS バージョン 9.x での問題の解決



注記 USB 印刷および IP 印刷の設定は [デスクトッププリンタユーティリティ] で実行します。この場合、プリンタはセレクトには表示されません。

表 12-8 Mac OS バージョン 9.x での問題

プリンタ名または IP アドレスが [デスクトッププリンタユーティリティ] に表示されません。

原因	解決方法
プリンタが使用可能な状態になっていない可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていること、プリンタの電源がオンになっていること、そして [印字可] ランプが点灯していることを確認してください。USB ハブまたは Ethernet ハブを介して接続している場合は、コンピュータに直接接続するか、あるいは別のポートを使用してみてください。
間違った接続タイプが選択されている可能性があります。	プリンタとコンピュータ間の接続タイプに合わせて、[デスクトッププリンタユーティリティ] で [プリンタ (USB)] または [プリンタ (LPR)] が選択されていることを確認します。
間違ったプリンタ名または IP アドレスが使用されています。	プリンタ名や IP アドレスを確認するには、設定ページを印刷します。設定ページのプリンタ名や IP アドレスが、[デスクトッププリンタユーティリティ] に表示されるプリンタ名や IP アドレスと一致していることを確認します。
インタフェース ケーブルに不具合があるか、品質に問題がある可能性があります。	インタフェース ケーブルを交換します。高品質のケーブルを使用するようにしてください。

[デスクトッププリンタユーティリティ] で PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイルが選択項目として表示されません。

原因	解決方法
プリンタ ソフトウェアがインストールされていないか、正しくインストールされていない可能性があります。	LaserJet 4700 PPD がハードディスクの System Folder/Extensions/Printer Descriptions フォルダにあることを確認してください。必要であれば、ソフトウェアを再インストールします。手順については、セットアップ ガイドを参照してください。
PPD ファイルが壊れています。	ハードドライブの System Folder/Extensions/Printer Descriptions フォルダから PPD ファイルを削除してください。その後、ソフトウェアをインストールし直します。手順については、セットアップ ガイドを参照してください。

印刷ジョブが選択したプリンタに送られませんでした。

原因	解決方法
プリント キューが停止している可能性があります。	プリント キューを再起動します。デスクトップ プリンタ アイコンを選択し、上部のメニュー バーから [印刷] メニューを開き、 [プリント キューの起動] をクリックします。

表 12-8 Mac OS バージョン 9.x での問題 (続き)

印刷ジョブが選択したプリンタに送られませんでした。

原因	解決方法
間違ったプリンタ名または IP アドレスが使用されています。送信した印刷ジョブを、名前または IP アドレスが同じ、または類似している別のプリンタが受信した可能性があります。	プリンタ名や IP アドレスを確認するには、設定ページを印刷します。設定ページのプリンタ名や IP アドレスが、[デスクトッププリンタユーティリティ] に表示されるプリンタ名や IP アドレスと一致していることを確認します。
プリンタが使用可能な状態になっていない可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていること、プリンタの電源がオンになっていること、そして [印字可] ランプが点灯していることを確認してください。USB ハブまたは Ethernet ハブを介して接続している場合は、コンピュータに直接接続するか、あるいは別のポートを使用してみてください。
インタフェース ケーブルに不具合があるか、品質に問題がある可能性があります。	インタフェース ケーブルを交換します。高品質のケーブルを使用するようにしてください。

プリンタが印刷している間、コンピュータを使用できません。

原因	解決方法
[バックグラウンド印刷] が選択されていません。	LaserWriter 8.6 以降の場合: [ファイル] メニューで [デスクトップの印刷] を選択し、ポップアップ メニューで [バックグラウンド印刷] を選択して、バックグラウンド印刷をオンにします。

EPS (Encapsulated PostScript) ファイルが正しいフォントで印刷されません。

原因	解決方法
この問題は一部のプログラムにおいて発生します。	<ul style="list-style-type: none"> ファイルをバイナリ エンコードではなく ASCII フォーマットで送信してください。 EPS ファイル内に格納されているフォントを、印刷する前にプリンタにダウンロードしてみてください。

ドキュメントが New York や Geneva、Monaco フォントで印刷されません。


原因	解決方法
プリンタ側でフォントが代用されている可能性があります。	[ページ設定] ダイアログ ボックスで [オプション] をクリックし、代用フォントの選択を解除します。

サードパーティ製 USB カードから印刷できません。

原因	解決方法
このエラーは、USB プリンタ用のソフトウェアがインストールされていない場合に発生します。	サードパーティ製 USB カードを追加するときに Apple USB Adapter Card Support ソフトウェアが必要となる場合があります。このソフトウェアの最新版は Apple の Web サイトから入手できます。

表 12-8 Mac OS バージョン 9.x での問題 (続き)

USB ケーブルで接続したときに、ドライバの選択後にプリンタがデスクトッププリンタユーティリティや Apple システム・プロフィールに表示されません。

原因	解決方法
この問題は、ソフトウェアとハードウェア コンポーネントのいずれかが原因で発生します。	ソフトウェアで発生する問題の解決 <ul style="list-style-type: none">お使いの Macintosh で USB がサポートされていることを確認します。Macintosh のオペレーティング システムが Mac OS バージョン 9.1 以降であることを確認します。Macintosh に Apple 製の適切な USB ソフトウェアがインストールされていることを確認します。 <div> 注記 iMac およびブルーの G3 デスクトップ Macintosh システムは、USB デバイスを接続するための上記の要件をすべて満たしています。</div> ハードウェアで発生する問題の解決 <ul style="list-style-type: none">プリンタの電源がオンになっていることを確認します。USB ケーブルが正しく接続されていることを確認します。適切なハイスピード USB ケーブルが使用されていることを確認します。チェーンにつながっている、電力を消費する USB デバイスが多すぎないことを確認します。チェーンに接続されているデバイスをすべて外し、ケーブルをホスト コンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。チェーンにおいて、バスパワー動作の USB ハブが 3 つ以上連続して接続されていないかを確認します。チェーンに接続されているデバイスをすべて外し、ケーブルをホスト コンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。 <div> 注記 iMac のキーボードはバスパワー動作の USB ハブです。</div>

Mac OS X での問題の解決

表 12-9 Mac OS X での問題

プリンタ ドライバがプリントセンターまたはプリンタ設定ユーティリティに表示されません。

原因	解決方法
プリンタ ソフトウェアがインストールされていないか、正しくインストールされていない可能性があります。	プリンタの PPD がハードディスクの Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<lang>.lproj フォルダにあることを確認してください。ここで、<lang> は使用する言語を表す 2 文字の言語コードです。必要であれば、ソフトウェアを再インストールします。手順については、セットアップ ガイドを参照してください。
PPD ファイルが壊れています。	PPD ファイルをハードディスクの Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<lang>.lproj フォルダから削除します。ここで、<lang> は使用する言語を表す 2 文字の言語コードです。ソフトウェアを再インストールします。手順については、セットアップ ガイドを参照してください。

表 12-9 Mac OS X での問題 (続き)

プリンタ名、IP アドレス、あるいは Rendezvous ホスト名がプリントセンターまたはプリンタ設定ユーティリティのプリンタリストに表示されません。

原因	解決方法
プリンタが使用可能な状態になっていない可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていること、プリンタがオンになっていること、そして [印字可] ランプが点灯していることを確認してください。USB ハブまたは Ethernet ハブを介して接続している場合は、コンピュータに直接接続するか、あるいは別のポートを使用してみてください。
間違った接続タイプが選択されている可能性があります。	プリンタとコンピュータの間の接続タイプに応じて、USB、IP 印刷、または Rendezvous が選択されていることを確認します。
間違ったプリンタ名、IP アドレス、または Rendezvous ホスト名が使用されています。	プリンタ名、IP アドレス、または Rendezvous ホスト名を確認するには、設定ページを印刷します。設定ページのプリンタ名、IP アドレス、または Rendezvous ホスト名が、プリントセンターまたはプリンタ設定ユーティリティに表示されるプリンタ名、IP アドレス、または Rendezvous ホスト名と一致しているかを確認します。
インタフェース ケーブルに不具合があるか、品質に問題がある可能性があります。	インタフェース ケーブルを交換します。高品質のケーブルを使用するようにしてください。

プリントセンターまたはプリンタ設定ユーティリティで選択したプリンタがプリンタ ドライバによって自動的に設定されません。

原因	解決方法
プリンタが使用可能な状態になっていない可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていること、プリンタがオンになっていること、そして [印字可] ランプが点灯していることを確認してください。USB ハブまたは Ethernet ハブを介して接続している場合は、コンピュータに直接接続するか、あるいは別のポートを使用してみてください。
プリンタ ソフトウェアがインストールされていないか、正しくインストールされていない可能性があります。	プリンタの PPD がハードディスクの Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<lang>.lproj フォルダから削除します。ここで、<lang> は使用する言語を表す 2 文字の言語コードです。必要であれば、ソフトウェアを再インストールします。手順については、セットアップ ガイドを参照してください。
PPD ファイルが壊れています。	PPD ファイルをハードディスクの Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<lang>.lproj フォルダから削除します。ここで、<lang> は使用する言語を表す 2 文字の言語コードです。ソフトウェアを再インストールします。手順については、セットアップ ガイドを参照してください。
プリンタが使用可能な状態になっていない可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていること、プリンタがオンになっていること、そして [印字可] ランプが点灯していることを確認してください。USB ハブまたは Ethernet ハブを介して接続している場合は、コンピュータに直接接続するか、あるいは別のポートを使用してみてください。
インタフェース ケーブルに不具合があるか、品質に問題がある可能性があります。	インタフェース ケーブルを交換します。高品質のケーブルを使用するようにしてください。

表 12-9 Mac OS X での問題 (続き)

印刷ジョブが選択したプリンタに送られませんでした。

原因	解決方法
プリント キューが停止している可能性があります。	プリント キューを再起動します。 [プリントモニタ] を開き、 [ジョブを開始] を選択します。
間違ったプリンタ名または IP アドレスが使用されています。送信した印刷ジョブを、名前、IP アドレス、または Rendezvous ホスト名が同じ、または類似している別のプリンタが受信した可能性があります。	プリンタ名、IP アドレス、または Rendezvous ホスト名を確認するには、設定ページを印刷します。設定ページのプリンタ名、IP アドレス、または Rendezvous ホスト名が、プリントセンターまたはプリンタ設定ユーティリティに表示されるプリンタ名、IP アドレス、または Rendezvous ホスト名と一致しているかを確認します。

EPS (Encapsulated PostScript) ファイルが正しいフォントで印刷されません。

原因	解決方法
この問題は一部のプログラムにおいて発生します。	<ul style="list-style-type: none"> EPS ファイル内に格納されているフォントを、印刷する前にプリンタにダウンロードしてみてください。 ファイルをバイナリ エンコードではなく ASCII フォーマットで送信してください。

サードパーティ製 USB カードから印刷できません。

原因	解決方法
このエラーは、USB プリンタ用のソフトウェアがインストールされていない場合に発生します。	サードパーティ製 USB カードを追加するときに Apple USB Adapter Card Support ソフトウェアが必要となる場合があります。このソフトウェアの最新版は Apple の Web サイトから入手できます。

USB ケーブルで接続した場合、ドライバを選択しても、プリントセンターまたはプリンタ設定ユーティリティにプリンタが表示されません。

原因	解決方法
この問題は、ソフトウェアとハードウェア コンポーネントのいずれかが原因で発生します。	<p>ソフトウェアで発生する問題の解決</p> <ul style="list-style-type: none"> お使いの Macintosh で USB がサポートされていることを確認します。 Macintosh のオペレーティング システムが Mac OS X バージョン 10.1 以降であることを確認します。 Macintosh に Apple 製の適切な USB ソフトウェアがインストールされていることを確認します。 <p>ハードウェアで発生する問題の解決</p> <ul style="list-style-type: none"> プリンタの電源がオンになっていることを確認します。 USB ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 適切なハイスピード USB ケーブルが使用されていることを確認します。 チェーンにつながっている、電力を消費する USB デバイスが多すぎないことを確認します。チェーンに接続されているデバ

表 12-9 Mac OS X での問題 (続き)

USB ケーブルで接続した場合、ドライバを選択しても、プリントセンターまたはプリンタ設定ユーティリティにプリンタが表示されません。

原因	解決方法
	<p>イスをすべて外し、ケーブルをホストコンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> チェーンにおいて、バスパワー動作の USB ハブが 3 つ以上連続して接続されていないかを確認します。チェーンに接続されているデバイスをすべて外し、ケーブルをホストコンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。
	<div data-bbox="863 512 922 569"></div> <div data-bbox="948 520 1466 573"> 注記 iMac のキーボードはバスパワー動作の USB ハブです。 </div>

A メモリ カードとプリント サーバー カード の扱い方

プリンタのメモリとフォント

MFP には 200 ピン DDR SDRAM スロットが 2 基付いています。1 つは MFP のメモリ増設用です。このスロットには、128 MB モジュールと 256 MB モジュールの 2 種類の DDR SDRAM メモリを装着できます。



注記 メモリの仕様： HP Color LaserJet 4730mfp シリーズでは、128 MB または 256 MB の RAM を装着できる 200 ピンのスモール アウトライン デュアル インライン メモリ モジュール (SO-DIMM) を使用しています。

また MFP には、MFP ファームウェア、フォント、およびその他のソリューション用の フラッシュ メモリ カード スロットも 3 基付いています。

- 最初のフラッシュ メモリ カード スロットは MFP ファームウェア用に予約されています。



注記 このフラッシュ メモリ カード スロットはファームウェア専用で、"Firmware Slot (ファームウェア用スロット)" と記されています。

- その他の 2 基のフラッシュ メモリ カード スロットは、フォントを追加したり、シグネチャやパーソナリティが指定されたサードパーティ製ソリューションを追加したりする場合に使用します。これらのスロットには、"Slot 2 (スロット 2)" および "Slot 3 (スロット 3)" と記されています。



注記 フラッシュ メモリ カードはコンパクト フラッシュの仕様とサイズに準拠します。



注意 このシリーズの MFP には、デジタル カメラ用のフラッシュ メモリ カードを装着しないでください。MFP では、フラッシュ メモリ カードに保存されている写真データを直接印刷することはできません。デジタル カメラ用のフラッシュ メモリ カードを装着すると、フラッシュ メモリ カードを再フォーマットするかどうかを尋ねるメッセージがコントロール パネルに表示されます。カードを再フォーマットするように選択すると、カードに記憶されているすべてのデータが失われます。

複雑なグラフィックや PS 文書を頻繁に印刷したり、ダウンロードしたフォントを多数使用したりする場合は、MFP にメモリを追加することをお勧めします。また、メモリを追加すると、複数の丁合いコピーを高速印刷できます。



注記 前バージョンの HP LaserJet プリンタで使用されていたシングル インライン メモリ モジュール (SIMM)/デュアル インライン メモリ モジュール (DIMM) は、MFP では使用できません。

注記 DDR SDRAM の注文については、「[サプライ品とアクセサリ](#)」を参照してください。

追加メモリをご注文の際は、設定ページを印刷して、現在取り付けられているメモリの総容量を確認してください。

設定ページの印刷

1. **メニュー** を押して **[MENUS]** を表示します。
2. **INFORMATION** を選択します。
3. **PRINT CONFIGURATION** を選択します。

メモリとフォントのインストール

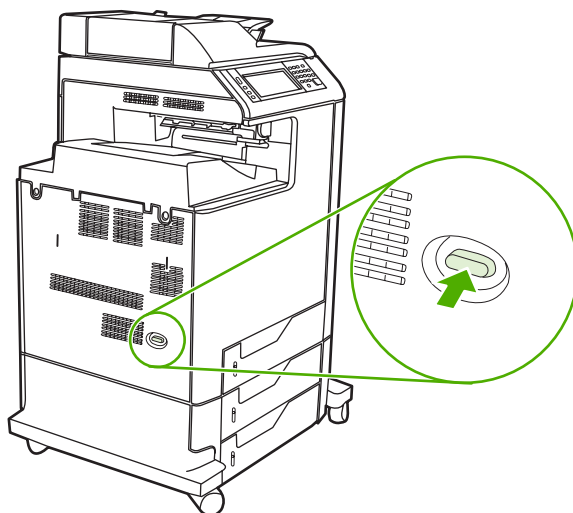
MFP には、メモリを追加するだけでなく、中国語やキリル語などの言語の文字を印刷できるフォントカードを取り付けることもできます。



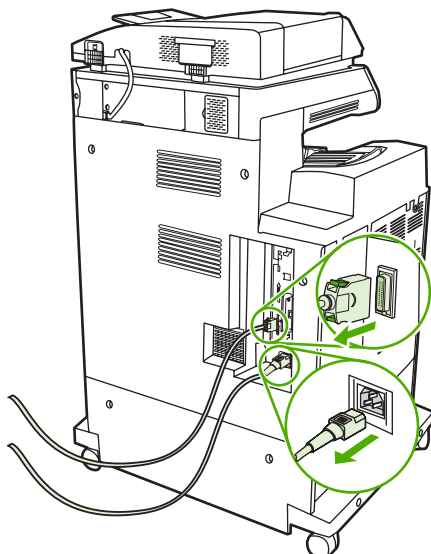
注意 静電気は DIMM に損傷を与えます。DIMM の取り扱い時には、静電気防止用リストストラップを着用するか、頻繁に DIMM の静電気防止パッケージの表面に触れてから、MFP の露出した金属部に触れるようにしてください。

DDR メモリ DIMM をインストールするには

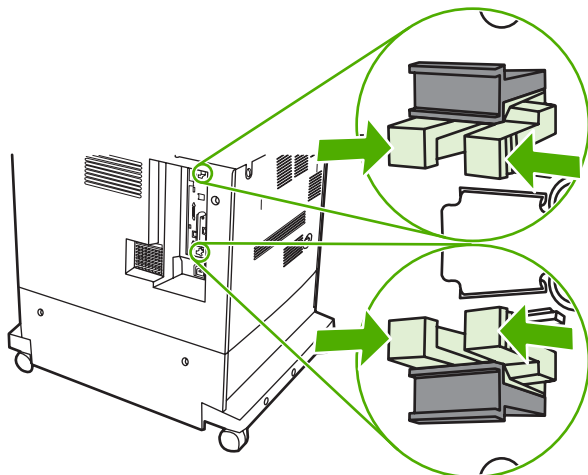
1. MFP の電源を切ります。



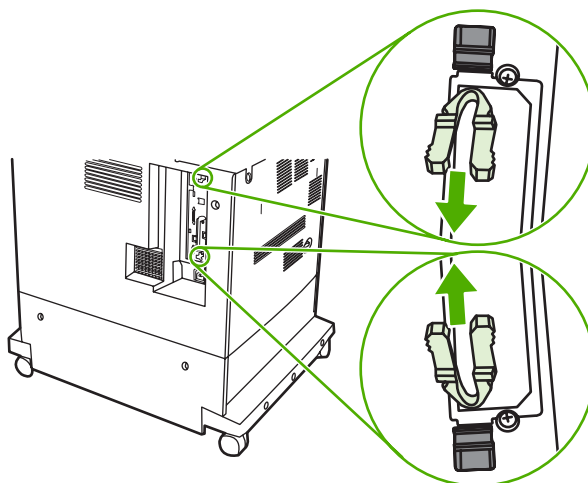
2. すべての電源ケーブルとインターフェース ケーブルを取り外します。



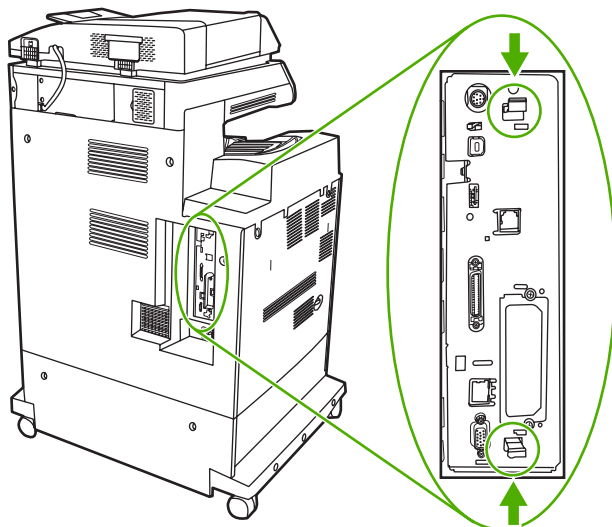
3. MFP 背面のフォーマッタ ボードにある灰色のフォーマッタ 圧力解放タブを探します。



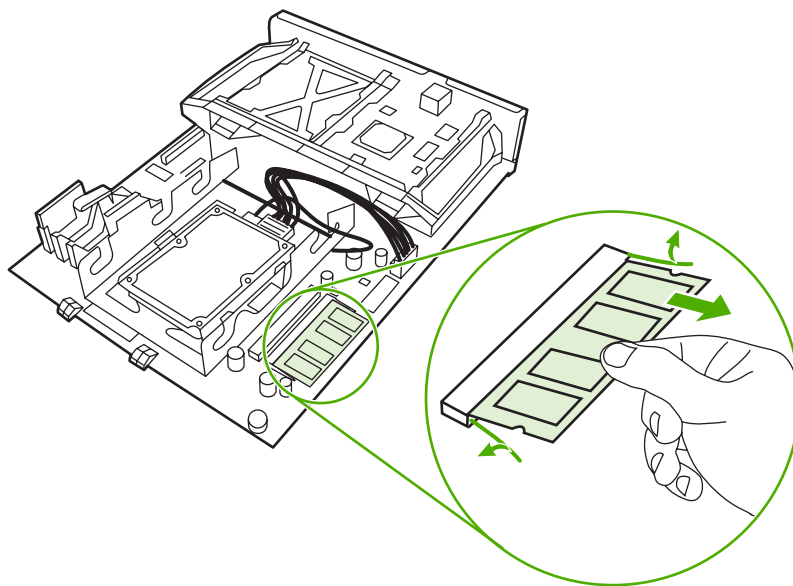
4. タブを軽くつかんで、フォーマッタ から引き出します。



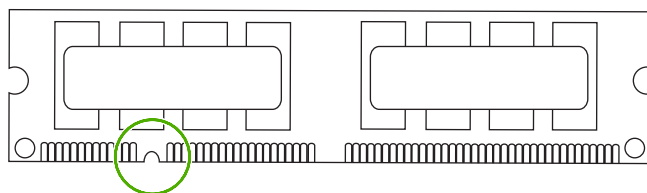
5. 黒いタブを軽く引き、フォーマッタ ボードを MFP から引き出します。引き出したフォーマッタ ボードを清潔で平らな接地面に置きます。



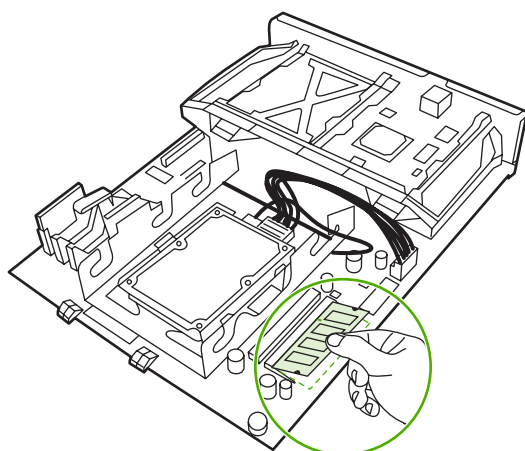
6. 現在装着されている DDR DIMM を交換するには、DIMM スロットの両側にあるラッチを開き、DDR DIMM を少し傾けながら押し上げて取り外します。



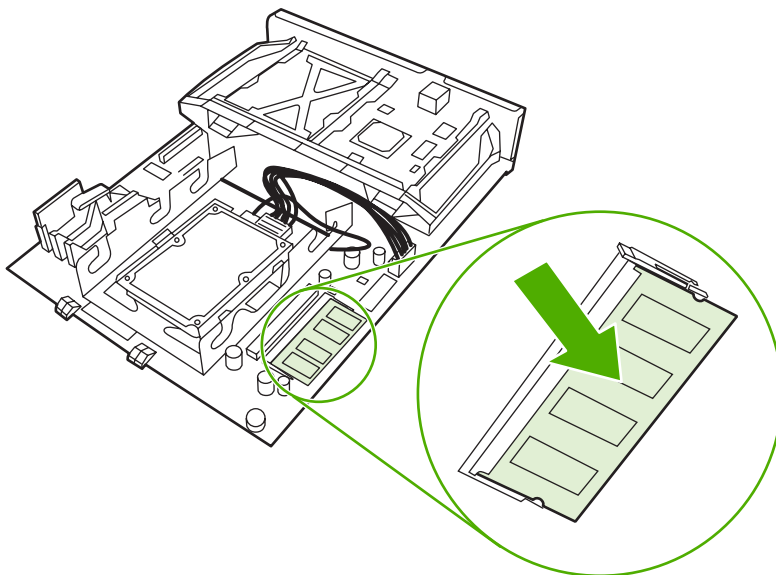
7. 静電気防止パッケージから DIMM を取り出します。DIMM の下端にある位置合わせ用切り込みの位置を確認します。



8. DIMM の端をつかみ、少し傾けながら DIMM の位置合わせ用切り込みを DIMM スロットのバーに揃え、DIMM を押し込んで固定します。金属製の接触部が見えなくなれば、正しく装着されています。



9. 両側のラッチで固定されるまで DIMM を押します。

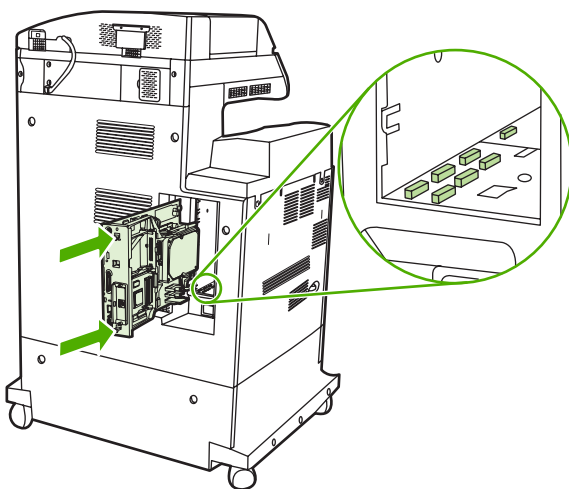


注記 DIMM を装着できない場合は、DIMM 下端の切り込みと DIMM スロットのバーがずれていないことを確認してください。それでも DIMM を挿入できない場合は、DIMM のタイプが間違っていないことを確認してください。

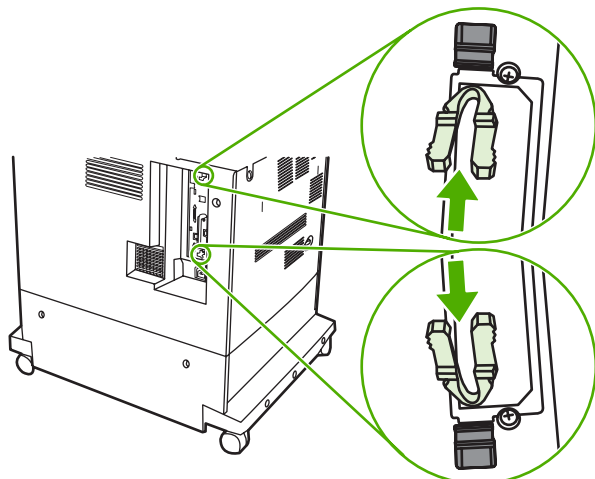
10. スロットの下部の溝にフォーマッタ ボードを合わせ、ボードをプリンタ側へスライドします。



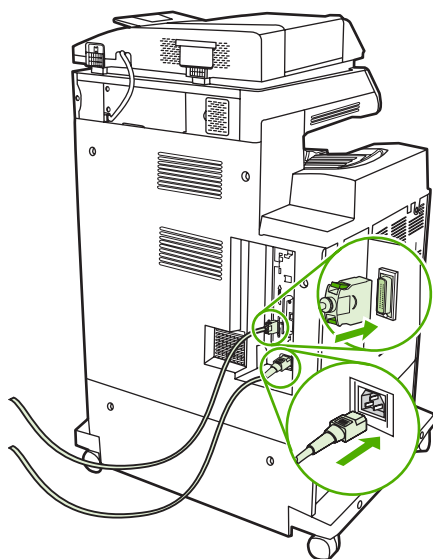
注記 フォーマッタ ボードへの損傷を避けるために、フォーマッタ ボードが溝にはまっていることを確認します。



11. フォーマッタ圧力解放タブをつかんでフォーマッタに押し入れ、挿入し直します。



12. 電源ケーブルとインタフェース ケーブルを再び接続し、MFP の電源を入れます。



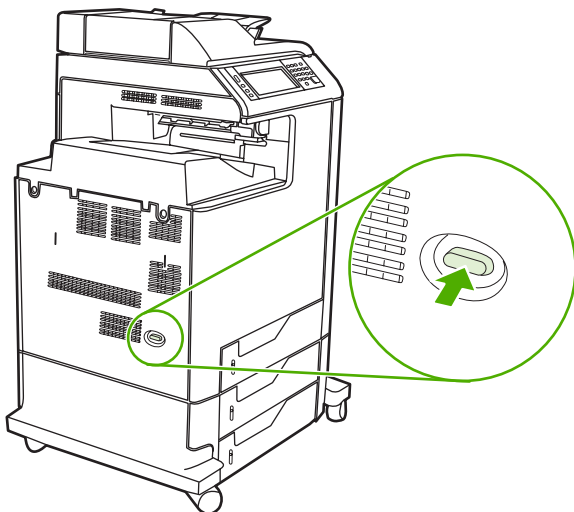
13. メモリ DIMM を取り付けたら、「メモリの有効化」に進みます。

フラッシュ メモリ カードを装着するには

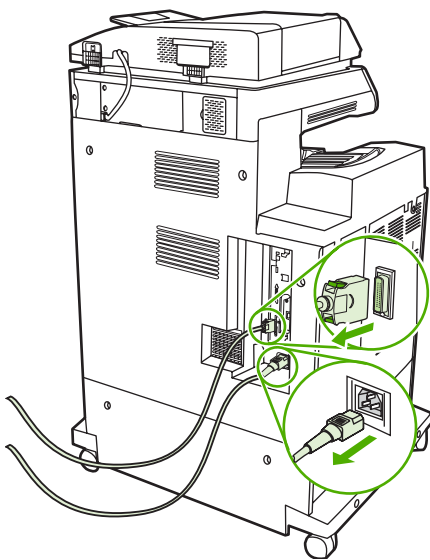


注意 このシリーズの MFP には、デジタル カメラ用のフラッシュ メモリ カードを装着しないでください。MFP では、フラッシュ メモリ カードに保存されている写真データを直接印刷することはできません。デジタル カメラ用のフラッシュ メモリ カードを装着すると、フラッシュ メモリ カードを再フォーマットするかどうかを尋ねるメッセージがコントロール パネルに表示されます。カードを再フォーマットするように選択すると、カードに記憶されているすべてのデータが失われます。

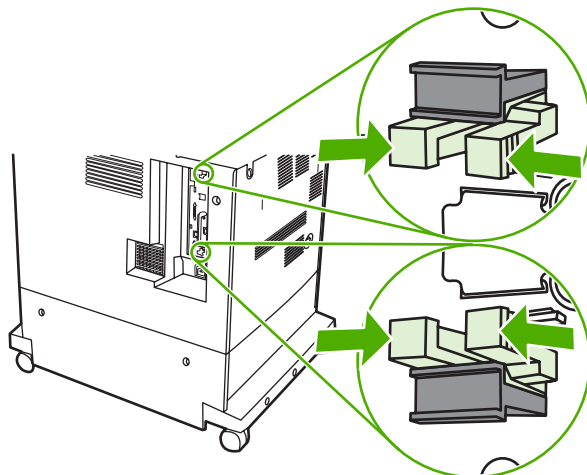
1. MFP の電源を切ります。



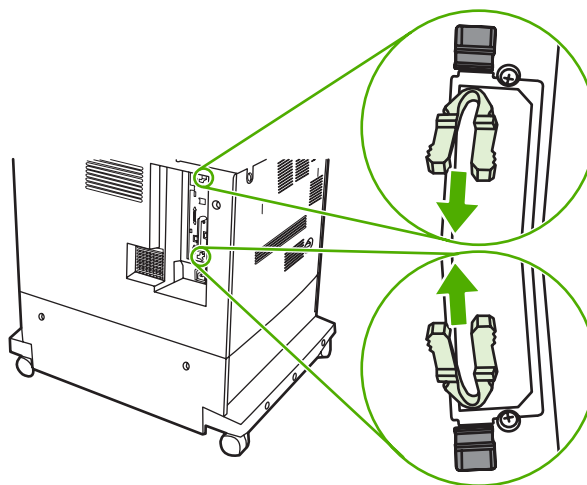
2. すべての電源ケーブルとインタフェース ケーブルを取り外します。



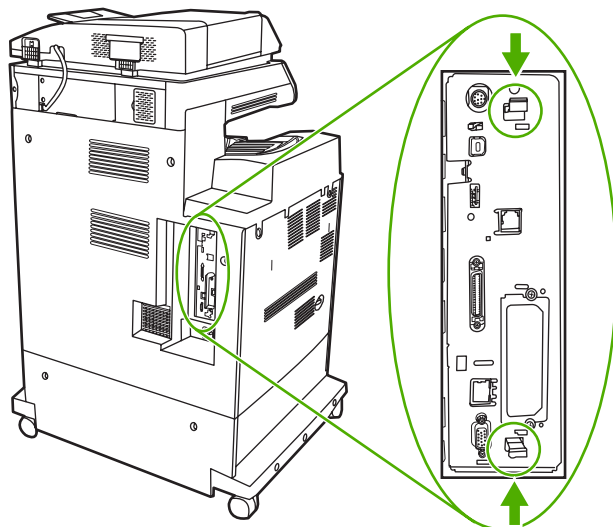
3. MFP 背面のフォーマッタ ボードにある灰色のフォーマッタ圧力解放タブを探します。



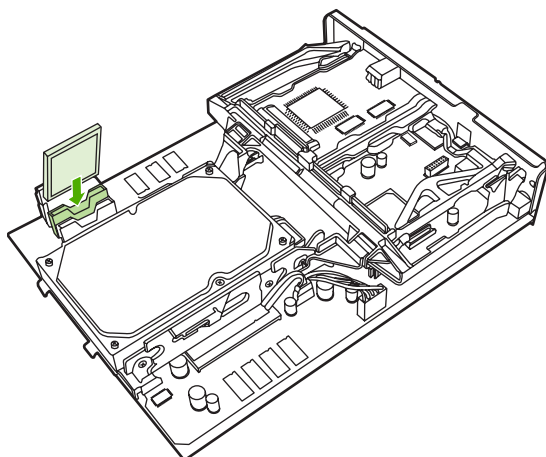
4. タブを軽くつかんで、フォーマッタから引き出します。



5. 黒いタブを軽く引き、フォーマッタ ボードを MFP から引き出します。引き出したフォーマッタ ボードを清潔で平らな接地面に置きます。



6. フラッシュ メモリ カードの側面にある溝をコネクタの切り込みに合わせ、奥まで押して固定します。



注意 フラッシュ メモリ カードは角度を付けないように差し込んでください。

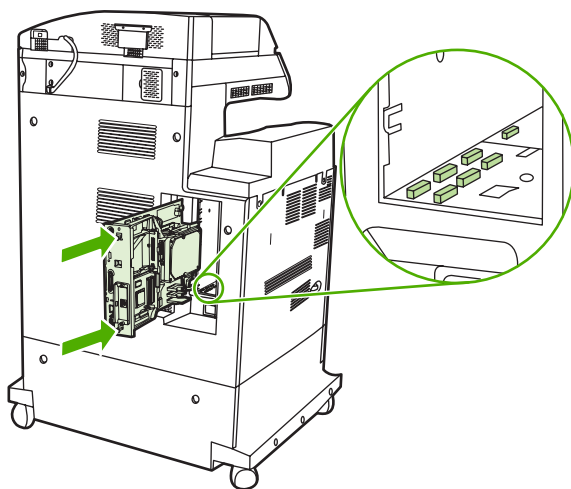


注記 "Firmware Slot (ファームウェア用スロット)" と記されている最初のフラッシュ メモリ スロットはファームウェア専用に予約されています。その他のソリューションの装着には、スロット 2 および 3 を使用してください。

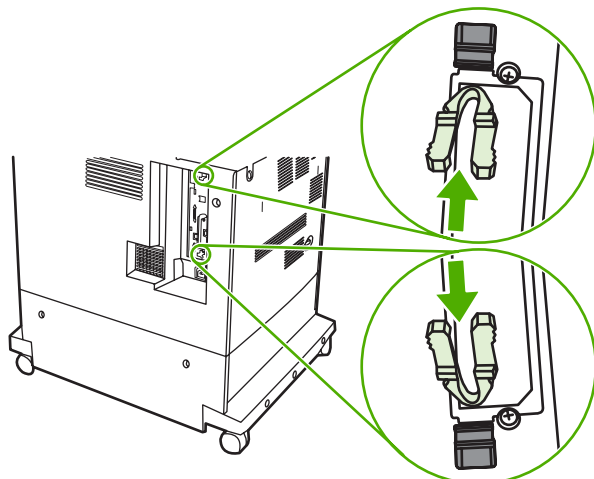
7. スロットの上下の溝にフォーマッタ ボードを合わせ、ボードを MFP 側へスライドします。



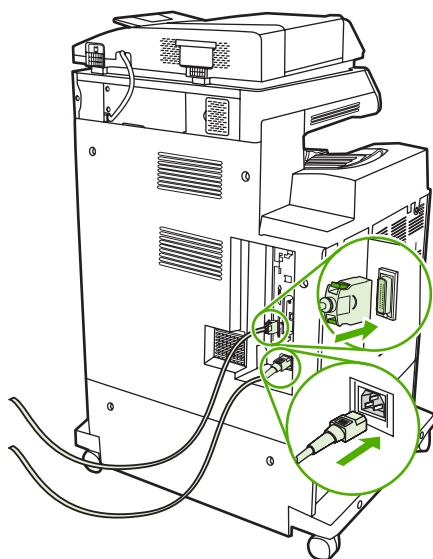
注記 フォーマッタ ボードへの損傷を避けるために、フォーマッタ ボードが溝にはまっていることを確認します。



8. フォーマッタ圧力解放タブをつかんでフォーマッタに押し入れ、挿入し直します。



9. 電源ケーブルとインタフェース ケーブルを再び接続し、MFP の電源を入れます。



メモリの有効化

メモリ DIMM を取り付けたら、このメモリが認識されるように MFP ドライバを設定します。

Windows 98 および Me でメモリを有効にするには

1. [スタート] メニューから [設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。
2. プリンタ アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択します。
3. [設定] タブで [詳細] をクリックします。
4. [Total Memory] フィールドで、現在取り付けられているメモリの総容量を入力または選択します。
5. [OK] をクリックします。

Windows 2000 および XP でメモリを有効にするには

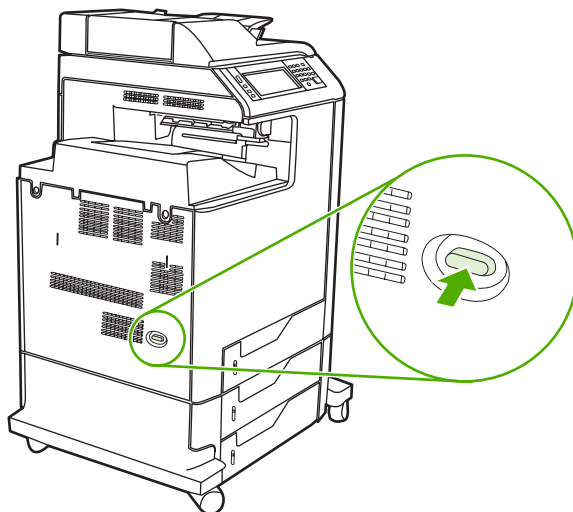
1. [スタート] メニューから [設定] をポイントし、[プリンタ] または [プリンタとファックス] をクリックします。
2. プリンタ アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択します。
3. [デバイスの設定] タブで、[Installable Options] セクションの [Printer Memory] をクリックします。
4. 現在装着されているメモリの総容量を選択します。
5. [OK] をクリックします。

HP Jetdirect プリント サーバー カードの取り付け

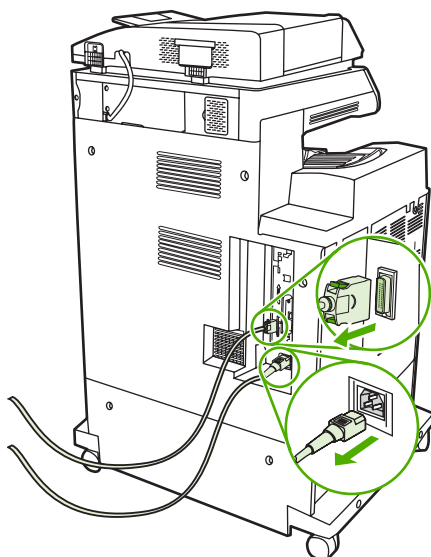
HP Color LaserJet 4730mfp には HP Jetdirect プリント サーバー ポートが装備されています。必要に応じて、追加 I/O カードを EIO スロットにインストールできます。

HP Jetdirect プリント サーバー カードを取り付けるには

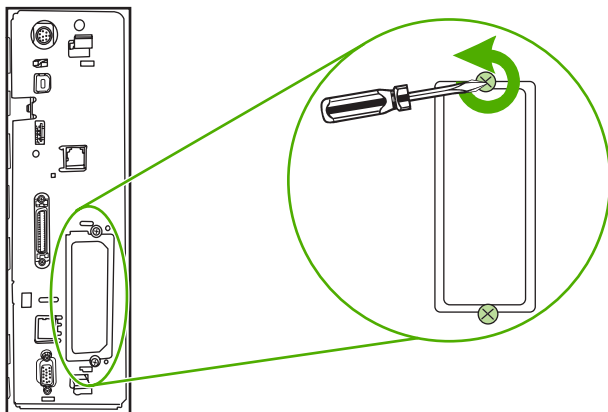
1. MFP の電源を切ります。



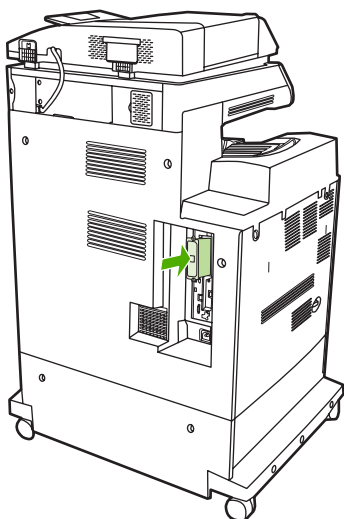
2. すべての電源ケーブルとインタフェース ケーブルを取り外します。



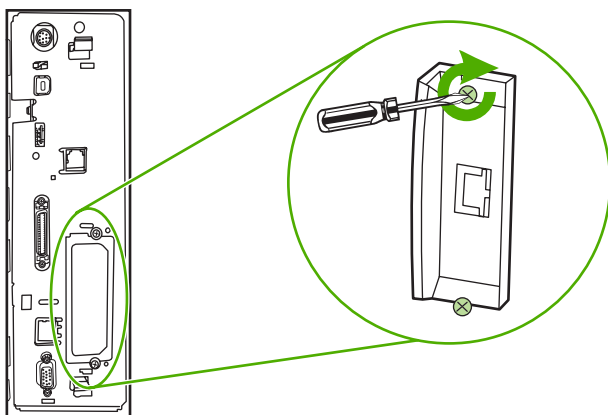
3. 空の EIO スロットを見つけます。EIO スロットのカバーを固定している 2 個の留めネジを緩めて外し、カバーを取り外します。これらのネジとカバーはもう必要ありません。廃棄してもかまいません。



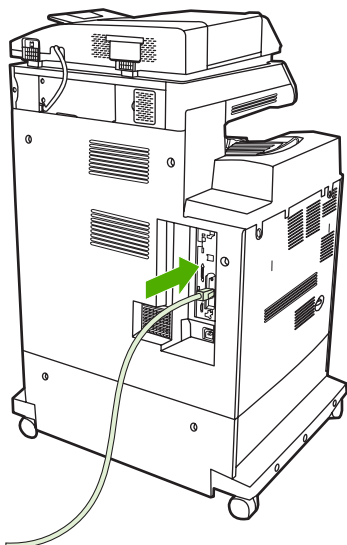
4. HP Jetdirect プリント サーバー カードを EIO スロットにしっかりと挿入します。



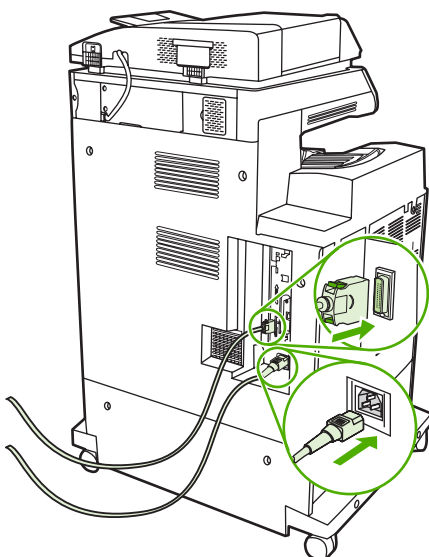
5. プリント サーバー カードに付属の留めネジをはめ、締めます。



6. ネットワーク ケーブルを接続します。



7. 電源ケーブルを再び接続し、MFP の電源を入れます。



8. 設定ページを印刷します (「[サプライ品とアクセサリ](#)」を参照)。プリンタ設定ページやサプライ品ステータス ページだけでなく、ネットワーク設定およびステータス情報が含まれている HP Jetdirect 設定ページも印刷されます。

印刷されない場合は、プリント サーバー カードを取り外して取り付け直し、スロットにしっかり固定してください。

9. 次のいずれかの手順を実行します。

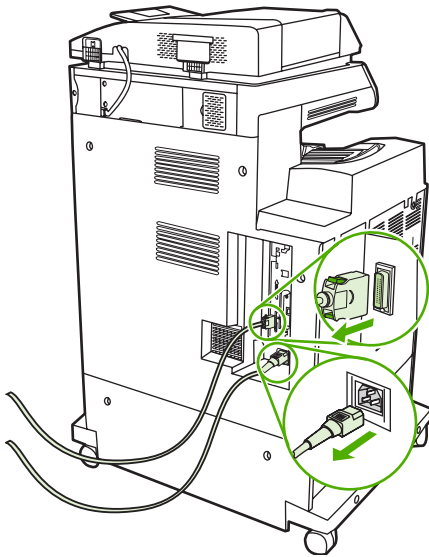
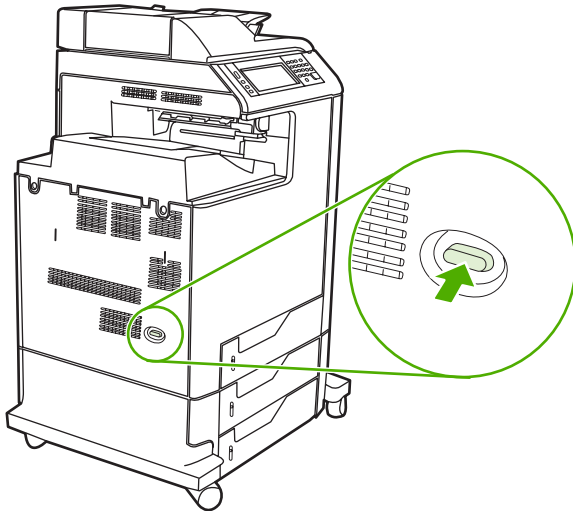
- 正しいポートを選択します。手順については、コンピュータまたは OS のマニュアルを参照してください。
- ソフトウェアをインストールし直し、ネットワーク インストール プロセスを確認します。

EIO カードの取り付け

次の手順に従って EIO カードを取り付けます。

EIO カードを取り付けるには

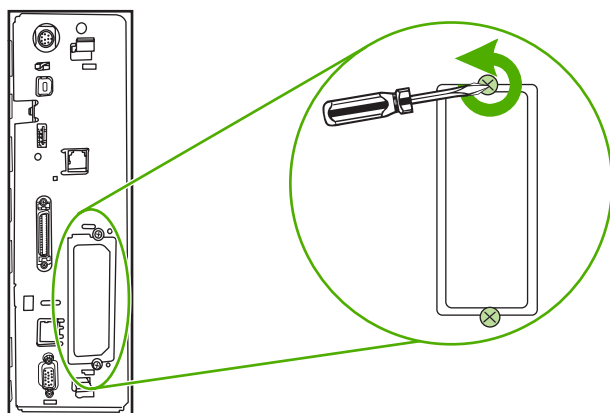
1. MFP の電源を切り、すべてのケーブルを取り外します。



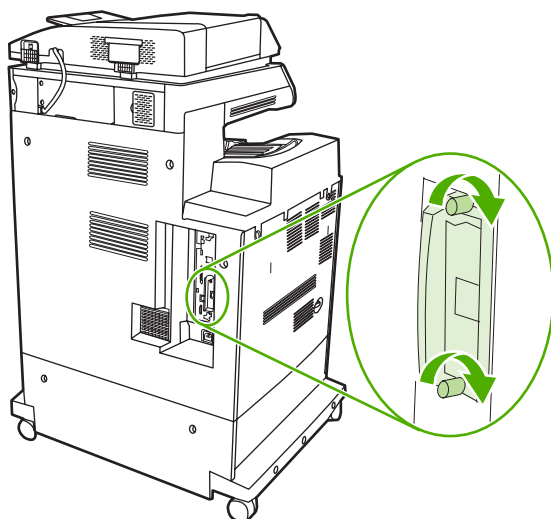
2. MFP の左側にある EIO スロットから 2 本のネジを抜いてカバーを取り外します。



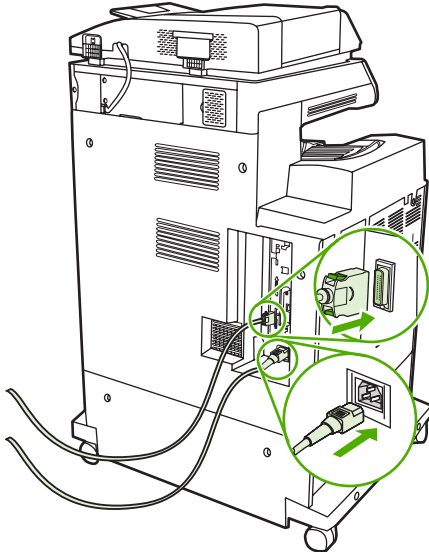
注記 ネジとカバーは捨てないでください。将来 EIO カードを取り外す場合に備えて保存しておいてください。



3. EIO カードを EIO スロットに取り付けてネジを締めます。



4. すべてのケーブルを再び接続して、MFP の電源を入れます。



5. 設定ページを印刷して EIO カードが正常にインストールされたことを確認します。「[設定ページ](#)」を参照してください。

B サプライ品とアクセサリ

このセクションでは、部品、サプライ品、アクセサリなどの注文方法を説明します。この MFP 用に特別設計された部品やアクセサリのみを使用してください。

- [部品、サプライ品、アクセサリなどの注文方法](#)
- [製品番号](#)

部品、サプライ品、アクセサリなどの注文方法

部品、サプライ品、アクセサリなどの注文方法はいくつかあります。

- [HP に直接注文する方法](#)
- [サービスまたはサポート プロバイダを通して注文する方法](#)
- [内蔵 Web サーバーを介して直接注文する方法 \(ネットワークに接続しているプリンタの場合\)](#)

HP に直接注文する方法

次の製品は HP に直接注文できます。

- **交換部品**：米国内で交換部品を注文するには、<http://www.hp.com/buy/parts> をご覧ください。米国外での部品注文は、最寄りの正規 HP サービス センタにお問い合わせください。
- **サプライ品とアクセサリ**：米国内でサプライ品を注文するには、<http://www.hp.com/go/ljsupplies> をご覧ください。米国以外からサプライ品を注文する場合は、<http://www.hp.com/ghp/buyonline.html> をご覧ください。アクセサリを注文する場合は、<http://www.hp.com/support/clj4730mfp> をご覧ください。

サービスまたはサポート プロバイダを通して注文する方法

部品またはアクセサリを注文するには、正規の HP サービスまたはサポート プロバイダにお問い合わせください (「[HP カスタマ ケア](#)」を参照してください)。

内蔵 Web サーバーを介して直接注文する方法 (ネットワークに接続しているプリンタの場合)

印刷用のサプライ品を内蔵 Web サーバーを介して注文するには次の手順を実行します (この機能の説明は「[内蔵 Web サーバーの使用](#)」を参照してください)。

内蔵 Web サーバーを介して直接注文するには

1. コンピュータの Web ブラウザ上で MFP の IP アドレスを入力します。MFP のステータス ウィンドウが表示されます。
2. [その他のリンク] 領域で [サプライ品の発注が必要] をダブルクリックします。これで、消耗品購入ページが表示されます。サプライ品の情報が製品番号および MFP 情報と共に表示されます。
3. 注文する品目の製品番号を選択して、画面の指示に従います。

製品番号

次のアクセサリ一覧はこのマニュアルの印刷時現在のものです。MFP の耐用期間中に注文情報や入手可能なアクセサリが変更される場合があります。

アクセサリ

項目	説明	製品番号
3 ビン メールボックス	合計 700 枚が入る 3 つの排紙ビンを提供します。	Q7520A
	 注記 3 ビン メールボックスには、排紙アクセサリ ブリッジが含まれています。	
500 枚用ステイブラ/スタッカ	自動仕上げでの大量印刷を可能にします。最高 30 枚までステイブルで留めることができます。	Q7519A
	 注記 ステイブラ/スタッカには、排紙アクセサリ ブリッジが含まれています。	
5,000 本ステイブル カートリッジ	ステイブル カートリッジ 1 個	C8091A
HP LaserJet Analog Fax Accessory 300	MFP にファックス機能を提供します。これは HP Color LaserJet 4730xmp、4730xs mfp、および 4730xm mfp の各モデルに装備されています。	Q3701A
3 ビン メールボックスとステイブラ/スタッカ		
中間用紙トランスファー ユニット		

プリント カートリッジ

項目	説明	製品番号
HP LaserJet プリント カートリッジ (黒)	12,000 ページ黒カートリッジ	Q6460A
HP LaserJet プリント カートリッジ (シアン)	2,000 ページ シアン カートリッジ	Q6461A
HP LaserJet プリント カートリッジ (イエロー)	2,000 ページ イエロー カートリッジ	Q6462A
HP LaserJet プリント カートリッジ (マゼンタ)	2,000 ページ マゼンタ カートリッジ	Q6463A

保守キット

項目	説明	製品番号
イメージ トランスファー(ETB) キット		Q7504A
イメージ フューザ キット	110V	Q7502A
イメージ フューザ キット	220V	Q7503A
ADF Mylar 予防保守キット		Q4696-67901
ADF 予防保守キット		Q5997A

交換可能なユニット

項目	説明	製品番号
カセット ピックアップ ローラー交換キット		Q7517-67905
コントロール パネル交換キット		Q7517-60601
フォーマッタ交換キット		Q7517-69001
MP ピックアップ ローラー キット		Q7517-67904
MP ピックアップ ユニット交換キット		RM1-2199-000CN

メモリ

項目	説明	製品番号
100 ピン DDR メモリ DIMM (dual inline memory module)	128 MB	Q7721AA
	256 MB	Q7722A
	512 MB	Q7723A
大きなあるいは複雑な印刷ジョブを扱う能力を強化します。		

ケーブルおよびインタフェース

項目	説明	製品番号
拡張 I/O (EIO) カード	HP Jetdirect 625n Gigabit Ethernet (10/100/1000Base-T) プリント サーバー	J7960A
パラレル ケーブル	2m IEEE 1284-C ケーブル	C2950A
	3m IEEE 1284-C ケーブル	C2951A
USB ケーブル		

印刷メディア

メディア サプライ品の詳細については、<http://www.hp.com/go/ljsupplies> をご覧ください。

項目	説明	製品番号
HP LaserJet 用紙	レター 216 x 279mm、500 枚/パック、10 パック入りカートン	HPJ1124/北米
HP LaserJet プリンタ用。レターヘッド、重要書類、法的文書、ダイレクトメール、手紙などに適しています。	リーガル 216 x 356mm、500 枚/パック、10 パック入りカートン	HPJ1424/北米
仕様：白色度 96、90g/m ²	A レター (220 x 280mm)、500 枚/パック、5 パック入りカートン	Q2398A/アジア太平洋の国/地域
	A4 (210 x 297mm)、500 枚/パック、5 パック入りカートン	Q2400A/アジア太平洋の国/地域
	A4 (210 x 297mm)、500 枚/パック	CHP310/ヨーロッパ
HP プリンタ用紙	レター 216 x 279mm、500 枚/パック、10 パック入りカートン	HPP1122/北米およびメキシコ
HP LaserJet および inkjet プリンタ用。小規模オフィスや家庭での使用に適しています。コピー用紙より厚く白色度が高くなっています。	レター 216 x 279mm、500 枚/パック、3 パック入りカートン	HPP113R/北米
仕様：白色度 92、22 ポンド	A4 (210 x 297mm)、500 枚/パック、5 パック入りカートン	CHP210/ヨーロッパ
	A4 (210 x 297mm)、300 枚/パック、5 パック入りカートン	CHP213/ヨーロッパ
HP マルチ用紙	レター 216 x 279mm、500 枚/パック、10 パック入りカートン	HPM1120/北米
レーザーおよびインクジェット プリンタ、コピー機、ファックス機などすべての事務機で使用できます。すべての事務用紙を 1 種類の用紙で間に合わせたい場合に適しています。他の事務用紙に比べて白色度が高く滑らかです。	レター 216 x 279mm、500 枚/パック、5 パック入りカートン	HPM115R/北米
	レター 216 x 279mm、250 枚/パック、12 パック入りカートン	HPM113H/北米
仕様：白色度 90、75g/m ²	レター 216 x 279mm、3 穴、500 枚/パック、10 パック入りカートン	HPM1420/北米
	リーガル 216 x 356mm、500 枚/パック、10 パック入りカートン	
HP 事務用紙	レター 216 x 279mm、500 枚/パック、10 パック入りカートン	HPC8511/北米およびメキシコ
レーザーおよびインクジェット プリンタ、コピー機、ファックス機などすべての事務機で使用できます。大量印刷に適しています。	レター 216 x 279mm、3 穴、500 枚/パック、10 パック入りカートン	HPC3HP/北米
仕様：白色度 84、75g/m ²	リーガル 216 x 356mm、500 枚/パック、10 パック入りカートン	HPC8514/北米
	レター 216 x 279mm、簡易パック、2,500 枚入りカートン	HP2500S/北米およびメキシコ
	レター 216 x 279mm、簡易パック 3 穴、2,500 枚入りカートン	HP2500P/北米
	A レター (220 x 280mm)、500 枚/パック、5 パック入りカートン	Q2408A/アジア太平洋の国/地域
	A4 (210 x 297mm)、500 枚/パック、5 パック入りカートン	Q2407A/アジア太平洋の国/地域
	A4 (210 x 297mm)、500 枚/パック、5 パック入りカートン	CHP110/ヨーロッパ

項目	説明	製品番号
	A4 (210 x 297mm)、簡易パック、 2500 枚/パック、5 パック入りカート ン	CHP113/ヨーロッパ
HP オフィス再生紙	レター 216 x 279mm、500 枚/パッ ク、10 パック入りカートン	HPE1120/北米
レーザーおよびインクジェット プリンタ、 コピー機、ファックス機などすべての事務機 で使用できます。大量印刷に適しています。	レター 216 x 279mm、3 穴、500 枚/ パック、10 パック入りカートン	HPE113H/北米
環境保護のために好ましい製品に関する米国 大統領命令 13101 を満足します。	リーガル 216 x 356mm、500 枚/パッ ク、10 パック入りカートン	HPE1420/北米
仕様：白色度 84、20 ポンド、古紙配合率 30%。		
HP LaserJet 用 OHP フィルム	レター 216 x 279mm、50 枚入りカー トン	92296T/北米、アジア太平洋の国/地 域、およびヨーロッパ
HP LaserJet モノクロ プリンタでのみ使用。 鮮明な文字と画像を提供します。モノクロ の HP LaserJet プリンタ用に設計され検証済 みの唯一の OHP フィルムです。	A4 (210 x 297mm)、50 枚入りカート ン	922296U/アジア太平洋の国/地域およ びヨーロッパ
仕様：紙厚 4.3 ミル		

C サービスおよびサポート

Hewlett-Packard 限定保証書条項

HP 製品

限定保障期間

HP LaserJet 4370mfp、HP LaserJet 4730x mfp、HP LaserJet 4730xs mfp、HP LaserJet 4730xm mfp

1 年間、オンサイト

HP は、HP のハードウェア、アクセサリ、およびサプライ品に、原材料および製造上の不具合があった場合、上記の期間中保証します。この保証期間中に HP が材料上または製造上の不具合に関する通知を受領した場合、HP は同社の裁量によって不具合があると証明された製品の修理または交換を行います。交換製品には新品または新品同様の製品が使用されます。

HP は、HP 製のソフトウェアのプログラムは適切にインストールおよび使用されるかぎり、材料上または製造上の不具合による実行上の問題がないことを上記の期間中保証します。この保証期間中に HP が材料上または製造上の不具合による実行不可能なソフトウェアの問題に関する通知を受領した場合、HP はそのソフトウェアメディアの交換を行います。

HP は、HP 製品の使用における中断やエラーがないことを保証するものではありません。HP が、保証された条件に見合うよう正当な時間内に製品の修理または交換ができない場合、製品を返納することにより、購入価額の払い戻しを受けることができます。

HP 製品には、新品と同様の性能があると認められた再生品がある場合や、臨時に使用されたことがある場合があるものもあります。

この保証は、(a) 不適切または不十分な保守やキャリブレーション、(b) HP 以外の業者により供給されたソフトウェア、インタフェース、部品、またはサプライ品の使用、(c) 権限のない改ざんや不正使用、(d) その製品の対象とする印刷環境仕様外での使用、または (e) 使用場所の不適切な準備および保守状態などに起因する不具合には適用されません。

現地の法律で許されている範囲内において、上記の保証は排他的であり、その他の保証は、書面または口頭を問わず、明示および黙示されません。HP 社は、商品価値、満足のゆく品質または特定の目的に対する適合性を含むいかなる黙示的な保証または条件に対する責任も負いません。現地の法律で許されている範囲内において、この保証条項の救済措置はユーザーの唯一および排他的な救済措置です。上記の規定以外は、契約あるいは法に基づくか否かにかかわらず、いかなる場合であっても、直接的損害、特殊な損害、間接的損害、必然的損害 (利益逸失やデータ消失を含む)、その他の損害やデータの損失に対して HP 社およびその代理店は一切の責任を負いません。

オーストラリアおよびニュージーランドで購入した場合、ここに含まれている保証条項は、法律で許される範囲を除いて、本製品の販売に適用されるお客様の必須の法的権利を除外、制限、変更するものではなく、それらの権利に追加されるものです。

保障期間は納品日から、ただし HP がインストールした場合はインストールした日から始まります。お客様の都合で、HP によるインストールが納品日から 30 日以上先になった場合、保障期間は納品日から 31 日目に始まります。

プリント カートリッジ限定保証条項

HP プリント カートリッジは材料上または製造上の不具合がないことが保証されています。

この限定保証は、(a) トナーの再充填、再生、または改ざんした製品、(b) 誤用、不適切な保管、またはプリンタ製品の公表されている環境仕様以外で使用した場合の問題、(c) 通常の使用により摩耗したプリント カートリッジには適用されません。

限定保証サービスを受けるには、問題を記述した書面と印刷サンプルを添付して製品を購入店に返品するか、HP カスタマ サポートにお問い合わせください。HP は、自らの判断で、不具合があると証明された製品を交換するか、またはお客様に購入価額を払い戻します。

現地の法律で許されている範囲内において、上記の保証は排他的であり、その他の保証や条件は、書面または口頭を問わず、明示および黙示されません。HP 社は、商品性、満足のゆく品質または特定の目的に対する適合性を含むいかなる黙示的な保証または条件に対する責任も負いません。

現地の法律で許されている範囲内において、契約あるいは法に基づくか否かにかかわらず、いかなる場合であっても、直接的損害、特殊な損害、間接的損害、必然的損害 (利益逸失やデータ消失を含む)、その他の損害に対して、HP 社およびその代理店は一切の責任を負いません。

ここに含まれている保証条項は、法律で許される範囲を除いて、本製品の販売に適用されるお客様の必須の法的権利を除外、制限、変更するものではなく、それらの権利に追加されるものです。

フューザおよびトランスファー ユニット限定保証条項

この HP 製品は、プリンタのコントロールパネルに耐用期限が近づいたことが表示されるまで、材料および仕上げに不具合がないことを保証します。

この限定保証は、(a) 改造、再生、または改ざんした製品、(b) 誤用、不適切な保管、またはプリンタ製品の公表されている環境仕様以外で使用した場合の問題、(c) 通常の使用により摩耗した製品には適用されません。

限定保証サービスを受けるには、問題を記述した書面を添付して製品を購入店に返品するか、HP カスタマ サポートにお問い合わせください。HP は、自らの判断で、不具合があると証明された製品を交換するか、またはお客様に購入価額を払い戻します。

現地の法律で許されている範囲内において、上記の保証は排他的であり、その他の保証や条件は、書面または口頭を問わず、明示および黙示されません。HP 社は、商品性、満足のゆく品質または特定の目的に対する適合性を含むいかなる黙示的な保証または条件に対する責任も負いません。

現地の法律で許されている範囲内において、契約あるいは法に基づくか否かにかかわらず、いかなる場合であっても、直接的損害、特殊な損害、間接的損害、必然的損害 (利益逸失やデータ消失を含む)、その他の損害に対して、HP 社およびその代理店は一切の責任を負いません。

ここに含まれている保証条項は、法律で許される範囲を除いて、本製品の販売に適用されるお客様の必須の法的権利を除外、制限、変更するものではなく、それらの権利に追加されるものです。

利用可能なサポートおよびサービス

HP は世界各地でさまざまなサービスおよびサポート オプションを販売しています。購入可能なサービスおよびサポート オプションは購入する国/地域によって異なります。

HP 社保守契約

HP 社では、幅広いサポートの需要を満たすため複数のタイプの保守契約をご用意しています。保守契約は標準保証に含まれていません。サポート サービスは国/地域によって異なります。ご利用可能なサービスについては、最寄りの HP 販売店にお問い合わせください。

オンサイト サービス契約

お客様のニーズに合ったサポートを提供するため、HP 社では 3 段階のオンサイト サービス契約で対応します。

優先オンサイト サービス

この契約では、HP 社の通常営業時間内にお電話を頂くと 4 時間以内に対応します。

翌日オンサイト サービス

この契約では、サービスを申し込まれた次の営業日までにサポートを提供します。対象時間の延長および HP 社が規定するサービス エリア外への出張は、ほとんどのオンサイト契約で可能です (追加料金)。

週間 (ボリューム) オンサイト サービス

この契約では、多数の HP 社製品をお持ちの企業を毎週定期的に訪問します。この契約は、プリンタ、プロッタ、コンピュータ、およびディスク ドライブを含む、25 台以上のワークステーション製品を使用している現場を対象としています。

D MFP の仕様

このセクションでは、次の仕様を説明します。

- [物理仕様](#)
- [電氣的仕様](#)
- [稼動音仕様](#)
- [環境仕様](#)

Analog Fax Accessory の仕様については、『*HP LaserJet Analog Fax Accessory 300 User Guide*』を参照してください。このマニュアルの印刷版は HP Color LaserJet 4730x mfp、HP Color LaserJet 4730xs mfp、および HP Color LaserJet 4730xm mfp と共に提供されています。

物理仕様

表 D-1 製品寸法

製品	高さ	奥行き	幅	重量 ¹
HP Color LaserJet 4730mfp シリーズ	1153mm	639mm	788mm	124kg
HP Color LaserJet 4730x mfp	1153mm	639mm	788mm	124kg
HP Color LaserJet 4730xs mfp	1153mm	639mm	1106mm	136kg
HP Color LaserJet 4730xm mfp	1153mm	639mm	1106mm	136kg

¹ プリント カートリッジなしでの重量

表 D-2 すべてのドアおよびトレイを完全に開いた状態での製品寸法

製品	高さ	奥行き	幅
HP Color LaserJet 4730mfp シリーズ	1580mm	980mm	1160mm
HP Color LaserJet 4730x mfp	1580mm	980mm	1160mm
HP Color LaserJet 4730xs mfp	1580mm	980mm	1588mm
HP Color LaserJet 4730xm mfp	1580mm	980mm	1588mm

電氣的仕様



警告！ 電源条件は MFP が販売されている国/地域のものであります。稼働電圧を変換しないでください。それによって MFP が損傷し、製品保証が無効になる可能性があります。

表 D-3 電源条件 (HP LaserJet 4370mfp シリーズ)

仕様	110V モデル	230V モデル
電源条件	100 ~ 127V (± 10%) 50/60 Hz (± 2 Hz)	220 ~ 240V (± 10%) 50/60 Hz (± 2 Hz)
定格電流	9.0A	4.5A

表 D-4 消費電力 HP LaserJet 4370mfp シリーズ (平均ワット数)^{1、2}

製品モデル	コピー時 ³	印刷時 ³	印字可 ⁴	スリープ ^{5、6}	オフ
HP Color LaserJet 4730mfp シリーズ	615	604	83	24	0.5
HP Color LaserJet 4730x mfp	615	604	83	24	0.5
HP Color LaserJet 4730xs mfp	615	604	83	24	0.5
HP Color LaserJet 4730xm mfp	640	626	86	25	0.5

¹ 値は変更されることがあります。最新の情報については、<http://www.hp.com/support/clj4730mfp> をご覧ください。

² 消費電力は、標準電圧で測定されたすべての値のうちの最大値です。

³ HP Color LaserJet 4730mfp シリーズの印刷およびコピー速度は、レター サイズで 31 ppm、A4 サイズで 30 ppm です。

⁴ 印字可モードでの熱放散は 288 BTU/時です。

⁵ 印字可モードからスリープモードへのデフォルトの移行時間は 45 分です。

⁶ スリープモードからの回復時間は 20 秒以内です。

稼動音仕様

表 D-5 発生騒音および音圧レベル¹ (HP LaserJet 4370mfp シリーズ)

発生騒音レベル	ISO 9296 準拠宣言
印刷時 ²	$L_{WAd}=6.7$ ベル (A) [67dB (A)]
コピー時 ³	$L_{WAd}=6.8$ ベル (A) [68dB (A)]
印字可	$L_{WAd}=5.8$ ベル (A) [58dB (A)]
音圧レベル	ISO 9296 準拠宣言
印刷時 ²	$L_{pAm}=50$ dB (A)
コピー時 ³	$L_{pAm}=52$ dB (A)
印字可	$L_{pAm}=37$ dB (A)

¹ 値は変更されることがあります。最新の情報については、<http://www.hp.com/support/clj4730mfp> をご覧ください。

² HP Color LaserJet 4730mfp シリーズの印刷速度は A4 用紙で 30ppm です。テスト構成 (HP Color LaserJet 4730mfp) : 基本モデル、A4 紙での片面印刷

³ テスト構成 (HP Color LaserJet 4730mfp) 基本モデル、ADF から A4 紙へ片面コピー)

環境仕様

環境条件	推奨	許容値	保管時/スタンバイ時
温度 (MFP およびプリント カートリッジ)	17° ~ 25° C (62.6° ~ 77° F)	15° ~ 30° C (50° ~ 86° F)	-20° ~ 40° C (-4° ~ 104° F)
相対湿度	相対湿度 (RH) 30 ~ 70%	10% ~ 80% RH	10% ~ 90%
高度	該当せず	0 m ~ 2600 m	該当せず

E メディア仕様

印刷メディアの仕様

このセクションでは、この MFP で使用できるメディアの仕様を説明します。詳細については、「[特殊なメディアへの印刷](#)」を参照してください。

カテゴリ	仕様
酸含有量	5.5 pH ~ 8.0 pH
紙厚	0.094 ~ 0.18mm (3.0 ~ 7.0 ミル)
用紙のそり	そり許容範囲は平らから 5mm 以内
切り口	鋭い刃物で切って、切り口に目に見える毛羽立ちがないもの
接着剤	200° C (392° F) で 0.1 秒間加熱して、焼け焦げる、溶ける、トナーが流れる、危険なガスを放出するなどの事態が発生しないもの
繊維	長繊維
水分含有量	重さの 3% ~ 9%
滑らかさ	100 ~ 250 Sheffield

印刷および用紙保管環境

印刷と用紙保管の環境は室温に近く、程よい湿度に保たれているのが理想です。紙は吸湿性が高く、水分の放出や吸収が急速に行われます。

湿気に熱が加わるとさらに紙が傷みます。熱は水分の蒸発を促進し、寒くなると水分が用紙の表面に結露します。暖房装置や空調システムは室内の湿気の大部分を取り除きます。用紙は、パッケージを開くと、しだいに湿気を失い、縞やしみの原因になります。湿度の高い気候や冷水器は室内の湿度を高くします。用紙が空中の余分な水分を吸収すると、印刷のかすれや飛びの原因となります。用紙は水分を失ったり吸収したりすると、ねじれる場合もあります。これは紙詰まりの原因になります。

したがって、用紙の保管や取り扱いが用紙の製造工程と同様に重要です。用紙の保管環境は紙送り操作に直接影響を与えます。

用紙は短期間（約 3 か月）で使い切れる量以上購入しないようにする必要があります。用紙は長期間保管すると、極端な熱や湿気にさらされて、損傷を受ける可能性があります。用紙を大量に購入する場合は、用紙の損傷を予防するための計画を立てる必要があります。

パッケージに密封された用紙は数か月間そのままだけの状態が保たれます。パッケージを開いた後は環境要因による損傷を受けやすくなります。防湿性の包装材で包まれていない場合は特にその可能性が高くなります。

用紙保管環境を適切に維持して、MFP のパフォーマンスを最適化できるようにする必要があります。必要な条件は、温度が 20 ~ 24° C (68 ~ 75° F)、相対湿度が 45 ~ 55% です。次のガイドラインを用紙保管環境の評価に役立ててください。

- 用紙は室温に近い温度で保管する必要があります。
- 空気は乾燥しすぎも湿気の多すぎも良くありません（紙は吸湿性が高いので）。
- パッケージを開いた後の用紙を保管するには、元の防湿性包装材できつく包装し直すのが最上の方法です。MFP の稼働環境が極端な条件下にある場合は、その日に必要な分量のみをパッケージから小出しにして、好ましくない湿度変化を予防してください。

封筒

封筒は形状が重要です。封筒の折り目はメーカーによって異なるばかりでなく、同じメーカーの同じ箱からのものでも同じとは限りません。封筒印刷が順調に行われるかどうかは、封筒の品質に依存します。封筒の選択には、次の点を考慮してください。

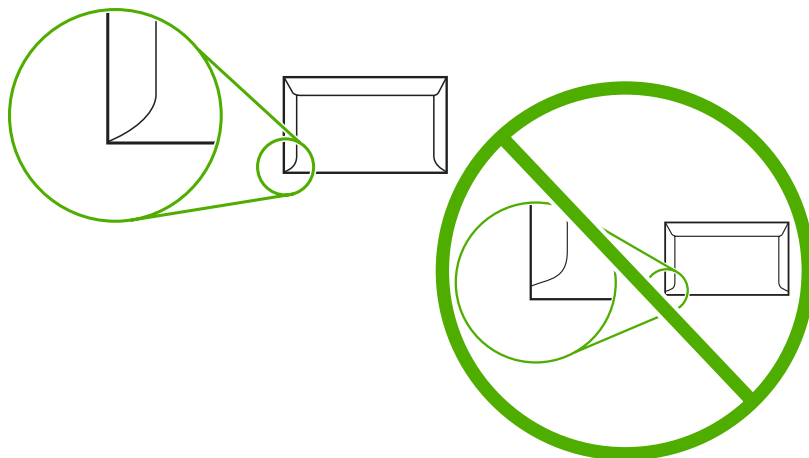
- **重量**：封筒用紙の重さは、105g/m² (28 ポンド) を超えないこと。超えると紙詰まりする可能性があります。
- **形状**：印刷前の封筒は、トレイに置いたとき平らで、そりが6mm 以下、空気を含まないこと。
- **状態**：封筒にはしわや傷その他の損傷がないこと。
- **温度**：MFP の熱と圧力に適した封筒を使用すること。
- **サイズ**：次の範囲のサイズの封筒のみを使用すること。
 - **最小**：76 x 127mm
 - **最大**：216 x 356mm



注記 封筒の印刷にはトレイ 1 のみを使用してください。178mm より短いメディアを使用すると紙詰まりする場合があります。これは環境条件の影響を受けた用紙が原因となっている可能性があります。パフォーマンスの最適化には、用紙の保管と取り扱いが適切であることを確認してください（「[印刷および用紙保管環境](#)」参照）。プリンタ ドライバで封筒を選択してください。

合わせ目が両側にある封筒

両側に合わせ目がある封筒は斜めの合わせ目がある封筒と違って、封筒の両側に縦の合わせ目があります。このスタイルの封筒はしわがでやすいようです。次の図にあるように、合わせ目が封筒の角に達していることを確認してください。



- | | |
|---|-------------|
| 1 | 利用可能な封筒の形状 |
| 2 | 利用できない封筒の形状 |

接着剤付きテープや蓋が付いた封筒

テープをはがして開封口を接着するようになっている封筒や複数の蓋を折って封じるようになっている封筒には、MFP の熱と圧力に適した接着剤を使用する必要があります。余分な蓋やテープがしわや折れ、紙詰まり、さらにはフューザの損傷の原因となる可能性があります。

封筒のマージン

次に 10 号封筒または DL 封筒の住所に使用する典型的なマージンを示します。

住所のタイプ	上部マージン	左マージン
差出人の住所	15mm	15mm
宛先の住所	51mm	89mm



注記 最良の印刷品質を得るためには、マージンを封筒のエッジから 15mm 以上空けるようにしてください。封筒の合わせ目に印刷されないようにしてください。

封筒の保管

封筒の適切な保管は印刷品質の維持に役立ちます。封筒は平らに保管する必要があります。封筒に空気が入って膨らむと、印刷中にしわが寄る可能性があります。

詳細については、「[封筒](#)」を参照してください。

ラベル紙



注意 MFP への損傷を避けるには、レーザー プリンタ用のラベル紙のみを使うようにしてください。同じラベル用紙を繰り返して印刷したり、ラベルが一部はがされている用紙を印刷したりすることは禁物です。

ラベル紙の形状

ラベル紙を選ぶときは、各構成要素の品質を考慮してください。

- **接着剤**：接着剤は MFP の溶解温度 200° C (392° F) で安定している必要があります。
- **配列**：ラベル間で裏紙が露出していないものを使用してください。間が空いていると、ラベルが剥がれて紙詰まりの原因になる可能性があります。
- **そり**：印刷前のラベル紙は、トレイに置いたとき平らで、どの方向にも 13mm 以上のそりが無いことを確認してください。
- **状態**：しわ、浮き、その他の剥がれが見られるラベル紙は使わないでください。

詳細については、「[ラベル紙](#)」を参照してください。



注記 プリンタ ドライバでラベル紙を選択してください。

OHP フィルム

MFP で使用する OHP フィルムは、MFP の溶解温度 200° C (392° F) に耐えられることを確認してください。



注意 MFP への損傷を避けるために、HP 製 OHP フィルムなど、HP LaserJet プリンタ用の OHP フィルムのみを使用してください (注文情報については、「製品番号」を参照してください)。

詳細については、「[OHP フィルム](#)」を参照してください。



注記 プリンタ ドライバで OHP フィルムを選択してください。

印刷メディアの重量とサイズ

最良の結果を得るには、通常の 75g/m² コピー用紙を使用してください。用紙が良質であること、および傷、裂け目、しみ、ほぐれ、ほこり、しわがなく、端がめくれていたり折れたりしていないことを確認します。

- 米国からサプライ品を注文するには、<http://www.hp.com/go/ljsupplies> にアクセスしてください。
- その他の国/地域からサプライ品を注文するには、<http://www.hp.com/ghp/buyonline.html> にアクセスしてください。



注記 カスタム メディアの場合は特に、大量に購入するメディアについては、購入前に必ずテストして満足な結果が得られることを確認してください。

使用可能なメディアの重量とサイズ

表 E-1 トレイ 1 のメディア サイズ

トレイ 1	寸法	重量または厚さ	容量
標準サイズ (レター/A4、リーガル、エグゼクティブ、JIS B5、A5) またはカスタム サイズの用紙およびカードストック	範囲 : 76 x 127mm ~ 216 x 356mm	範囲 : 60g/m ² ボンド紙 ~ 220g/m ² ボンド紙	最大スタック高 : 10mm 75g/m ² のボンド紙 100 枚相当
光沢紙 (レター/A4、リーガル、エグゼクティブ、JIS B5、A5)	範囲 : 76 x 127mm ~ 216 x 356mm	範囲 : 75g/m ² ボンド紙 ~ 220g/m ² ボンド紙	最大スタック高 : 10mm
注記 この MFP ではインクジェット プリンタ用の用紙は使用しないでください。	OHP フィルム (レター/A4) (レーザー プリンタでの使用に最適)	レター : 216 x 279mm A4: 210 x 297mm	最小厚さ 0.13mm 最大スタック高 : 10mm
	HP 耐久紙 (レター/A4)	レター : 216 x 279mm A4: 210 x 297mm	厚さ 0.13mm 最大スタック高 : 10mm
注記 HP 耐久紙はステイブルで留めることができません。	HP カラー レーザー プリンタ用光沢フォト用紙 (レター/A4)	レター : 216 x 279mm A4: 210 x 297mm	220g/m ² ボンド紙 最大スタック高 : 10mm
	注記 この MFP ではインクジェット プリンタ用の用紙は使用しないでください。		
封筒 (10 号商用、モノコ、C5、DL、B5)		範囲 : 60g/m ² ボンド紙 ~ 90g/m ² ボンド紙	封筒 20 枚
ラベル (レター/A4、リーガル、エグゼクティブ、JIS)	範囲 :	最大厚さ 0.23mm	最大スタック高 : 10mm

表 E-1 トレイ 1 のメディア サイズ (続き)

トレイ 1	寸法	重量または厚さ	容量
B5、A5)(レーザー プリンタでの使用に最適)	76 x 127mm ~ 216 x 356mm		

表 E-2 トレイ 2、3、4 のメディア サイズ¹

トレイ 2、3、4	寸法	重量または厚さ	容量
標準サイズ (レター/A4、リーガル、エグゼクティブ、JIS B5、A5) またはカスタム サイズの用紙	範囲 : 148 x 210mm ~ 216 x 356mm	範囲 : 60g/m ² ボンド紙 ~ 120g/m ² ボンド紙	最大スタック高 : 56mm 75g/m ² のボンド紙 530 枚相当
光沢紙 (レター/A4、リーガル、エグゼクティブ、JIS B5、A5)	範囲 : 148 x 210mm ~ 216 x 356mm	範囲 : 75g/m ² ボンド紙 ~ 120g/m ² ボンド紙	最大スタック高 : 56mm
 注記 この MFP ではインクジェットプリンタ用の用紙は使用しないでください。			
HP カラー レーザー プリンタ用光沢フォト イメージング用紙 (レター/A4)	レター : 216 x 279mm A4 : 210 x 297mm	120g/m ² ボンド紙	最大スタック高 : 56mm
 注記 この MFP ではインクジェットプリンタ用の用紙は使用しないでください。			
OHP フィルム (レター/A4)(レーザー プリンタでの使用に最適)	レター : 216 x 279mm A4 : 210 x 297mm	最小 : 厚さ 0.13mm	最大スタック高 : 56mm
HP 耐久紙 (レター/A4)	レター : 216 x 279mm A4 : 210 x 297mm	最大 : 厚さ 0.13mm	最大スタック高 : 56mm
ラベル (レター/A4 およびカスタム サイズ)(レーザー プリンタでの使用に最適)	範囲 : 148 x 210mm ~ 216 x 356mm	最大 : 厚さ 0.13mm	最大スタック高 : 56mm

¹ トレイ 2、3、および 4 では、B5 ISO のカスタム サイズが使用されます。これらのトレイは、トレイ 1 で使用可能なカスタム サイズ範囲をサポートしません。

表 E-3 自動両面印刷

自動両面印刷	寸法	重量または厚さ
用紙	標準サイズ : レター : 216 x 279mm A4: 210 x 297 mm 8.5 x 13: 216 x 330.2mm	範囲 : 60g/m ² ボンド紙 ~ 120g/m ² ボンド紙

表 E-3 自動両面印刷 (続き)



自動両面印刷	寸法	重量または厚さ
	リーガル : 216 x 356mm	
	エグゼクティブ : 184.2 x 266.7mm	
	JIS B5 : 182 x 257mm	
光沢紙 (A4/レター、 13 x 8.5、リーガル、エグゼ クティブ、JIS B5)	使用可能な標準サイズについ ては上記を参照	範囲 : 75g/m ² ボンド紙 ~ 120g/m ² ボンド紙
 注記 この MFP で はインクジェット プ リント用の用紙は使 用しないでください。		
HP カラー レーザー プリンタ 用光沢フォト イメージング用 紙 (A4/レター)	標準サイズ : レター : 216 x 279mm A4 : 210 x 297mm	
 注記 この MFP で はインクジェット プ リント用の用紙は使 用しないでください。		

表 E-4 オプションの 3 ビン メールボックスまたはステイブラ/スタッカのスタッカで使用可能なサイズ

サイズ	寸法 ¹	重量	容量 ²
レター	216 x 279mm	普通紙 : 60g/m ² ~ 120g/m ² 厚手メディア : 128g/m ² ~ 199g/m ²	ステイブル/スタッカのスタッ カまたは 3 ビン メールボック スの一番下のビン : 75g/m ² 用 紙 500 枚 3 ビン メールボックスの上 部 2 ビン : それぞれ 75g/m ² 用紙 100 枚
A4	210 x 297mm		
エグゼクティブ	184.2 x 266.7mm		
リーガル	216 x 356mm		
B5 (JIS)	182 x 257mm		
A5	148 x 210mm		
ステートメント	140 x 216mm		
8.5x13	216 x 330mm		
エグゼクティブ (JIS)	216 x 330mm		
往復はがき (JIS)	148 x 200mm		
16K	197 x 273mm		
封筒 10 号 ³	105 x 241mm		

表 E-4 オプションの 3 ビン メールボックスまたはステイプラ/スタッカのスタッカで使用可能なサイズ (続き)

サイズ	寸法 ¹	重量	容量 ²
封筒モノコ 7 号-3/4 ³	98 x 191mm		
封筒 C5 ISO ³	162 x 229mm		
封筒 DL ISO ³	110 x 220mm		
封筒 B5 ISO ³	176 x 250mm		
カスタム	最小 : 76 x 127mm 最大 : 216 x 356mm		
カードストック、OHP フィルム、およびラベル紙は 3 ビンメールボックスの 3 番目のピンでのみ使用できます。			

¹ MFP では広範囲のサイズがサポートされています。サポートされているサイズは MFP ソフトウェアで確認できます。

² 容量は用紙の重さ、厚さ、さらには環境条件に左右されます。

³ 上向き給紙のみ

表 E-5 ステイプラ/スタッカのステイプラで使用可能なサイズ

サイズ	寸法	重量	容量
レター	216 x 279mm	普通紙 : 60g/m ² ~ 120g/m ² 厚手メディア : 128g/m ² ~ 199g/m ²	普通紙 : 75g/m ² 用紙 30 枚 光沢メディア : 20 枚 厚手メディア : スタックの高さは 7mm を超えないこと
A4	210 x 297mm		
リーガル	216 x 356mm		
8.5x13	216 x 330mm		
エグゼクティブ (JIS)	216 x 330mm		

F 規制に関する情報

はじめに

このセクションには次の法的規制に関する情報が含まれています。

- [FCC 規格](#)
- [環境製品スチュワードシップ プログラム](#)
- [テスト構成 \(HP Color LaserJet 4730mfp\)](#)
- [レーザーの安全規定](#)
- [カナダ DOC 規定](#)
- [Korean EMI statement](#)
- [フィンランドのレーザー安全規定](#)

FCC 規格

Compliance with FCC regulations

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at his own expense. The end user of this product should be aware that any changes or modifications made to this equipment without the approval of Hewlett-Packard could result in the product not meeting the Class A limits, in which case the FCC could void the user's authority to operate the equipment.



注記 Any changes or modifications to the printer that are not expressly approved by HP could void the user's authority to operate this equipment.

テレコム

ファックス通信

この製品は EEA (European Economic Area) の国/地域のアナログ PSTN (Public Switched Telecommunication Networks) に接続するためのものです。この製品は EU R Directive 1999/5/EC (Annex II) の要件に準拠し、それに基づいて CE 認定マークを保有しています。詳細については、製造元発行の「[テスト構成 \(HP Color LaserJet 4730mfp\)](#)」を参照してください。

国/地域によって PSTN に違いがあるので、この製品がすべての PSTN 端末で機能するかどうかを無条件に保証することはできません。ネットワークの互換性は PSTN 接続の準備で正しい設定が選択されたかどうか依存します。マニュアルに説明されている手順に従ってください。ネットワークの互換性に問題が発生した場合は、使用装置の購入元、または居住する国/地域の HP ヘルプデスクにお問い合わせください。

PSTN 端末への接続は、現地の PSTN 業者によって設定されている要件にも左右されます。

環境製品スチュワードシップ プログラム

環境の保護

Hewlett-Packard 社は環境保全を考慮した上で、高品質の製品をお届けしています。この製品は、いくつかの点で環境への影響を最小限に抑えるように設計されています。

オゾン放出

この製品は、オゾン ガス (O₃) をほとんど発生しません。

消費電力

スリープ モードでは電力消費量がかなり低下します。このモードでは天然資源を節約し、コストを削減しますが、このプリンタの高いパフォーマンスには影響を与えません。この製品は、ENERGY STAR® (国際エネルギー スター プログラム、バージョン 3.0) の認定を受けています。このプログラムは、省エネルギーのオフィス機器の開発を奨励する自主的なプログラムです。



ENERGY STAR® および ENERGY STAR マークは米国における登録サービス マークです。Hewlett-Packard 社は、ENERGY STAR のパートナーとして、この製品がエネルギー効率に関する ENERGY STAR の基準に適合していると判断しました。詳細については、<http://www.energystar.gov> をご覧ください。

用紙の使用

本製品に装備されている自動両面印刷機能、および N-UP 印刷機能 (1 枚の用紙に複数ページを印刷する機能) は、用紙の使用量を削減し、最終的には自然資源の節約にも貢献します。

プラスチック

25g を超えるプラスチック部品には、国際規格に基づく材料識別マークが付いているため、プリンタを処分する際にプラスチックを正しく識別することができます。

HP LaserJet 用サプライ品

空の HP LaserJet プリント カートリッジの回収とリサイクルは、簡単な手続きで HP Planet Partners を介して無料で行われています。HP は、製品の設計から製造、流通、運用、リサイクルまで一貫して、環境保護を考慮した高品質の製品をお届けしています。回収された HP LaserJet プリント カートリッジは適切なリサイクル処理を経て、貴重なプラスチックや金属として再生され、新しい製品に利用されます。この回収プログラムによって、何百万トンものゴミが出るのを防いでいます。回収されたカートリッジは再生されて新しい材料の中で利用されるので、ユーザーの手元には戻りません。HP Planet Partners プログラムを利用すると、空の HP LaserJet プリント カートリッジは確実にリサイクルされます。環境保護にご協力いただきありがとうございます。

多くの国/地域では、この製品の印刷サプライ品 (プリント カートリッジ、フューザ、およびトランスファー ユニット) は、HP 印刷サプライ品回収およびリサイクル プログラム (HP Printing Supplies Returns and Recycling Program) を通じて HP に返却することができます。利用しやすい無料の回収

プログラムは 35 か国/地域以上で実施されています。新しい HP LaserJet プリント カートリッジおよびサプライ品の箱には多言語によるプログラムの説明が同梱されています。

HP 印刷サプライ品回収およびリサイクルプログラムの説明

1992 年以来、HP は HP LaserJet サプライ品回収およびリサイクルを無料で実施しています。2004 年には、HP LaserJet サプライ品が販売されている世界市場の 85% で HP Planet Partners が利用可能でした。HP LaserJet プリント カートリッジの箱にはリサイクルの手順の説明と共に、宛先記入済み郵送料前払いラベルが同封されています。ラベルと箱はまとめて、Web サイト <http://www.hp.com/recycle> から入手できます。

提供されているラベルは、空の純正 HP LaserJet プリント カートリッジを送るためにのみ使用してください。HP 以外のカートリッジ、トナーの再充填や改ざんが行われたカートリッジ、保証適用製品などには使用しないでください。間違って HP Planet Partners に送られた印刷サプライ品その他の物品は送り返すことができません。

2004 年には 1 千万個を超える HP LaserJet プリント カートリッジが HP Planet Partners のサプライ品リサイクル プログラムによってリサイクルされました。この記録的な数値は、1,135 万 kg のプリント カートリッジがゴミにならずにすんだことを意味します。世界的には、2004 年に HP がリサイクルしたプリント カートリッジは重さに換算して平均 59% になります。プリント カートリッジは主にプラスチックと金属から作られています。プラスチックと金属は、プラスチック トレイやスプールなど新しい HP 製品に使用されます。その他の物質は環境保護にかなった方法で廃棄処分されます。

- **米国におけるリサイクル品の回収**： 使用済みトナー カートリッジとサプライ品の環境保護に役立つようリサイクルを目指し、HP 社は一括回収を推奨しています。複数のカートリッジをまとめて、カートリッジのパッケージに同封されている宛先記入済み郵送料前払いの UPS ラベルを 1 枚貼って送付してください。米国内での詳細は、フリーダイヤル 1-800-340-2445 に電話でお問い合わせになるか、HP LaserJet サプライ品 Web サイト <http://www.hp.com/recycle> をご覧ください。
- **米国以外でのリサイクル品の回収**： 米国以外では、HP サプライ品回収およびリサイクル プログラムについて、Web サイト <http://www.hp.com/go/recycle> をご覧ください。

再生紙

この製品では、用紙が EN 12281:2002 に記載されている基準に適合している場合に限り、再生紙を使用することができます。HP では、HP オフィス再生紙のように 5% 以下の木質の材料が含まれている再生紙をお勧めします。

材料の制限

この製品には、回収時に特別な取り扱いが必要になるバッテリーが使用されている場合があります。

この製品に使用されているバッテリーの詳細は次のとおりです。

タイプ	単フッ化炭素リチウム バッテリー
重量	0.8g
場所	フォーマッタ ボード
ユーザーによる取り外し	不可



廢電池請回收

この HP 製品には水銀が使用されています。場所は、コントロール パネルの液晶ディスプレイで使用されている蛍光灯です。回収時には特別な取り扱いが必要になります。

リサイクル情報については、<http://www.hp.com/go/recycle> にアクセスするか、地元の管轄当局に問い合わせるか、あるいは電子業界連合の Web サイト <http://www.eiae.org> をご覧ください。

欧州連合における一般家庭ユーザーによる不要機器の廃棄

製品またはパッケージに付けられたこのマークは、この製品を一般家庭の他の廃棄物と共に廃棄してはならないことを示します。この機器が不要となった場合は、ユーザーの責任において、不要電機電子機器のリサイクル用に指定された収集場所に持ち込んで廃棄してください。廃棄時に、不要機器の分別収集およびリサイクルを行うことによって、天然資源の保護、および人の健康と環境保護を考慮した手段での再生利用が可能となります。不要機器をリサイクルするための収集場所については、お住まいの地方自治体、廃棄物処理サービス業者、または機器を購入した販売店にお問い合わせください。



材料の安全性データシート

材料の安全性データ シート (MSDS) は HP LaserJet サプライ品 Web サイト <http://www.hp.com/hpinfo/community/environment/productinfo/safety.htm> で入手することができます。

詳細について

次の環境保護トピックに関する情報は、<http://www.hp.com/go/environment> または <http://www.hp.com/hpinfo/community/environment/productinfo/safety> で入手できます。

- この製品や多くの関連 HP 製品についての製品環境プロフィール
- HP 社の環境への貢献
- HP 社の環境管理システム
- HP 社の製品回収およびリサイクル プログラム
- 材料の安全性データシート (MSDS)

テスト構成 (HP Color LaserJet 4730mfp)

適合宣言

ISO/IEC Guide 22 および EN 45014 に基づく

製造元 : Hewlett-Packard Company
製造元住所 : 11311 Chinden Boulevard,
Boise, Idaho 83714-1021, USA

次の製品の適合を宣言します。

製品名 : HP Color LaserJet 4730 MFP、4730x MFP、4730xs MFP、4730xm MFP
製品番号 : Q7517A、Q7518A、Q7519A、Q7520A

規制モデル番号 : 付属アクセサリ : Q7521A, Q7522A, Q7523A, BOISB-0308-00
製品オプション : BOISB-0503-00⁴⁾
すべて

トナー カートリッジ : Q6460A、Q6461A、Q6462A、Q6463A

次の製品仕様に準拠しています。

安全性 : IEC 60950-1:2001 / EN60950-1:2001
IEC 60825-1:1993 + A1 + A2 / EN 60825-1:1994 + A11 + A2 (クラス 1 レーザー/LED 製品)
GB4943-2001

EMC (電磁適合性) : CISPR 22:1997 / EN 55022:1998 - クラス A¹⁾
EN 61000-3-2:2000
EN 61000-3-3:1995 + A1:2001
EN 55024:1998+A1:2001
FCC タイトル 47 CFR、パート 15 クラス A / ICES-003、Issue 4²⁾
GB9254-1998

テレコム : TBR-21:1998; EG 201 121:1998

補足情報 :

さらに、この製品は EMC Directive 89/336/EEC、Low Voltage Directive 73/23/EEC および R&TTE Directive 1999/5/EC (Annex II) の要件に準拠し、それに基づいて CE 認定マークを保有しています。

1) この製品は、Hewlett-Packard 社のパーソナル コンピュータを使った典型的な構成のもとにテストされました。基準に対する適合性テストでは、施行前の 9.5 条項を除外。

2) このデバイスは、FCC 規制の Part 15 に準拠します。操作には次の 2 つの条件が適用されます。(1) このデバイスが妨害とならないこと (2) このデバイスが、望ましくない操作の原因となる妨害を含め、被った妨害を受け入れる必要があること

3) 規制の目的で、この製品には規制モデル番号 (BOISB-0503-00) が割り当てられています。この番号は、製品名や製造番号とは異なるので注意してください。

4) 規制モデル番号 BOISB-0308-00 のもとで Hewlett-Packard が取得した Analog Fax Accessory に対する世界的モジュラ認定はすべて Multi-Tech Systems MT5634SMI Socket Modem Module を組み込んだものです。

Boise, Idaho , USA

2004 年 12 月 21 日

規制に関する問い合わせ先 :

オーストラリア国内の問い合わせ先 : Product Regulations Manager, Hewlett-Packard Australia Ltd., 31-41 Joseph Street, Blackburn, Victoria 3130, Australia

ヨーロッパでの問い合わせ先 : 最寄りの Hewlett-Packard 販売代理店およびサービス事務所、または Hewlett-Packard GmbH, Department HQ-TRE / Standards Europe, Herrenberger Straße 140, D-71034 Böblingen, Germany, (FAX : +49-7031-14-3143)

米国内の問い合わせ先 : Product Regulations Manager, Hewlett-Packard Company, PO Box 15, Mail Stop 160, Boise, Idaho 83707-0015, USA, (電話番号 : 208-396-6000)

国/地域ごとの安全規定

レーザーの安全規定

米国食品医薬品局の医療機器・放射線製品センタ (CDRH) では、1976 年 8 月 1 日以降に生産されたレーザー製品の規定を定めています。米国で販売される製品では規定への準拠が必須です。このプリンタは、1968 年の放射線規制法に基づく米国保健社会福祉省 (DHHS) の放射線性能基準のもと、「クラス 1」のレーザー製品に認定されています。

プリンタ内で放射される放射線は保護用の筐体および外部カバー内に密封されるので、ユーザーの通常の使用状況ではレーザー ビームが漏れることはありません。



警告！ このユーザーズ ガイドに指定されていない制御を使用したり、調整を行ったり、手順を実行したりすると、危険な放射線が漏れる場合があります。

カナダ DOC 規定

Complies with Canadian EMC Class A requirements.

« Conforme à la classe A des normes canadiennes de compatibilité électromagnétiques (CEM). »

日本 VCCI 規格

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づく クラスA 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

日本コードセット宣言

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。
同梱された電源コードは、他の製品では使用出来ません。

Korean EMI statement

사용시 안내문 (A급 기기)

이 기기는 업무용으로 전자파장애감정을 받은
기기이오니, 만약 잘못 구입하셨을 때에는 구입
한 곳에서 비입무용으로 교환하시기 바랍니다.

台灣レーザー安全規定

警告使用者：

這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，
可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會
被要求採取某些適當的對策。

フィンランドのレーザー安全規定

LASERTURVALLISUUS

LUOKAN 1 LASERLAITE

KLASS 1 LASER APPARAT

HP LaserJet 4370mfp, HP LaserJet 4730x mfp, HP LaserJet 4730xs mfp, HP LaserJet 4730xm mfp -laserkirjoitin on käyttäjän kannalta turvallinen luokan 1 laserlaite. Normaalisessa käytössä kirjoittimen suojakoteloitinta estää lasersäteiden pääsyn laitteen ulkopuolelle.

Laitteen turvallisuusluokka on määritetty standardin EN60825-1 (1994) mukaisesti.

VAROITUS!

Laitteen käyttäminen muulla kuin käyttöohjeessa mainitulla tavalla saattaa altistaa käyttäjän turvallisuusluokan 1 ylittävälle näkymättömälle lasersäteilylle.

VARNING!

Om apparaten används på annat sätt än i bruksanvisning specificerats, kan användaren utsättas för osynlig laserstrålning, som överskrider gränsen för laserklass 1.

HUOLTO

HP LaserJet 4370mfp, HP LaserJet 4730x mfp, HP LaserJet 4730xs mfp, HP LaserJet 4730xm mfp -kirjoittimen sisällä ei ole käyttäjän huollettavissa olevia kohteita. Laitteen saa avata ja huoltaa ainoastaan sen huoltamiseen koulutettu henkilö. Tällaiseksi huoltotoimenpiteeksi ei katsota väriainekasetin vaihtamista, paperiradan puhdistusta tai muita käyttäjän käsikirjassa lueteltuja, käyttäjän tehtäväksi tarkoitettuja ylläpitotoimia, jotka voidaan suorittaa ilman erikoistyökaluja.

VARO!

Mikäli kirjoittimen suojakotelo avataan, olet alttiina näkymättömälle lasersäteilylle laitteen ollessa toiminnassa. Älä katso säteeseen.

VARNING!

Om laserprinterns skyddshölje öppnas då apparaten är i funktion, utsättas användaren för osynlig laserstrålning. Betrakta ej strålen.

Tiedot laitteessa käytettävän laserdiodin säteilyominaisuuksista:

Aallonpituus 770-800 nm

Teho 5 mW

Luokan 3B laser

Australia

この装置はオーストラリアの EMC 要件に準拠しています。

索引

記号/数字

- 1 分あたりのページ数 5
- 1 枚に複数ページ 126
- 1 枚の用紙に印刷するページ数 126
- 3 ビン メールボックス
 - 製品番号 10
 - 設定する 181
 - 選択する 116
 - 付属しているモデル 4
 - モード 181
 - 容量 7
 - ランプのステータス 312
- 3 ビン メールボックス
 - 仕様、物理的 369
 - 製品番号 359
- 500 枚給紙トレイ
 - 使用状況ページ 223
 - 製品番号 10
 - 設定内容 44
 - 選択の設定 56
 - 追加 10
 - モデル 2
- 500 枚給紙トレイ 500 枚給紙トレイ
 - 仕様、物理的 369

A

ADF

- イメージのずれのトラブルシューティング 325
- 給紙システムのクリーニング 241
- 空白ページ 324
- コピー 139
- コピー上の線 324
- ページのずれ 324
- 保守キット 239
- 容量 7

- ADF 給紙トレイ
 - 位置 9
- ADF 排紙ビン
 - 選択する 116
- ADF 排紙ビン
 - 容量 7
- Apple Macintosh. を参照 Macintosh
- AUX 接続 7

B

- Bluetooth 79

C

- Copittrak デバイス 191

D

- DHCP サーバー 213
- [Digital Sending] タブ、内蔵 Web サーバー 202
- DIMM (デュアル インライン メモリ モジュール)
 - 製品番号 360
- DIMM (デュアル インライン メモリ モジュール)
 - 取り付ける 341
- DLC/LLC の設定 61
- DSL 接続 8

E

- EIO カード
 - 製品番号 360
 - 取り付ける 354
- ENERGY STAR 準拠 389
- EPS ファイル、問題の解決 333, 336
- Equitrac デバイス 191
- Ethernet カード 7
- Explorer、サポートされているバージョン
 - HP Web Jetadmin 206

- 内蔵 Web サーバー 200

F

- fax accessory
 - 取り付ける 158
- FCC 規格 387
- Foreign Interface Harness (FIH) 11
- Foreign Interface Harness (FIH) 7, 191
- FTP、送信先 156

H

- HP Digital Sending Software (HP DSS) 156
- HP DSS (Digital Sending Software) 156
- HP Easy Printer Care Software
 - を使用する 19, 204, 233
- HP Instant Support Professional Edition (ISPE) iii
- HP Jetdirect プリント サーバー
 - IP アドレス 213
 - 設定内容 61
 - 設定ページ 221
 - 取り付ける 351, 354
 - ファームウェアの更新 229
 - モデル 2
 - ランプ 315
- HP Jetdirect プリント サーバー 78
- HP OpenVMS ドライバ 24
- HP Web Jetadmin
 - IP アドレス、変更する 213
 - サポートされているブラウザ 206
 - ダウンロードする 206

トナー残量の確認 233
ファームウェアの更新 228
HP 印刷サプライ品回収およびリサイクル プログラム 389
HP 認定販売店 iv
HP メディア、注文方法 360

I

I/O サブメニュー 60
I/O 設定
 ネットワークの設定 72
IBM OS/2 ドライバ 24
IEEE 802.11 規格 79
Internet Explorer、サポートされているバージョン
 HP Web Jetadmin 206
Internet Explorer、サポートされているバージョン
 内蔵 Web サーバー 200
IPX/SPX の設定 61
IP アドレス
 Macintosh、問題の解決 332, 335
IP アドレス 72
IP アドレス、設定する 213
ISPE (HP Instant Support Professional Edition) iii

J

Jetadmin
 IP アドレス、変更する 213
 サポートされているブラウザ 206
 ダウンロードする 206
 ファームウェアの更新 228
Jetdirect プリントサーバー
 IP アドレス 213
 設定内容 61
 設定ページ 221
 取り付ける 354
 ファームウェアの更新 229
 モデル 2
 ランプ 315

K

Kensington ロック 197

L

LAN コネクタ 7
LAN ファックス 164

LDAP servers
 設定内容 48
LDAP サーバー
 ゲートウェイ アドレスの確認 329
 接続先 147
 内蔵 Web サーバーの設定 202
Linux ドライバ 24

M

Macintosh
 USB カード、問題の解決 333
 フォント、問題の解決 333
Macintosh
 USB カード、問題の解決 336
 サポート Web サイト iv
 サポートされているオペレーティング システム 13
 ドライバ、アクセスする 26
 ドライバ、アクセス 28
 ドライバ、問題の解決 334
 バックグラウンド印刷 333
 問題、問題の解決 332
Menu ボタン 34
MFP 情報ページ
 トラブルシューティング 253
Microsoft Windows. を参照
 Windows
 MOPIER モード 121
Mylar フィルム
 クリーニング 245

N

Netscape Navigator、サポートされているバージョン
 HP Web Jetadmin 206
 内蔵 Web サーバー 200
N-UP 印刷 126, 132

O

OHP フィルム
 仕様 379
OHP フィルム
 HP、注文方法 362
OS/2 ドライバ 24

P

PCL サブメニュー 52
PCL ドライバ

 選択する 25
PCL フォント リスト 224
PIN (暗証番号)
 プライベート ジョブ 119
PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイル
 問題の解決 332
PPD
 問題の解決 332
PS ドライバ
 選択する 25
PS フォント リスト 224

R

Reset ボタン 34
Reset ボタン 35

S

Secure Disk Erase 193
[Settings] タブ、内蔵 Web サーバー 201
Show me how ヘルプ 37
sleep settings
 スリープ復帰時刻 217
Sleep ボタン 34
SMTP サーバー
 接続先 146
SMTP サーバー
 ゲートウェイ アドレスの確認 329
Software
 HP Easy Printer Care 19
Start ボタン 34, 35
Status ボタン 34
Stop ボタン 34, 35

T

TCP/IP の設定 61, 213

U

UNIX ドライバ 24
USB 構成 76
USB ポート
 Macintosh の問題の解決 333, 336

W

Web Jetadmin
 IP アドレス、変更する 213

- サポートされているブラウザ
 - 206
- ダウンロードする 206
- ファームウェアの更新 228
- Web サイト
 - 環境保護情報 392
- Web サイト
 - HP Web Jetadmin、ダウンロードする 206
 - Macintosh のサポート iv
 - カスタマ サポート iii
 - サービス契約 iv
 - 材料の安全性データシート (MSDS) 391
 - サプライ品の注文 iii, 358
 - ソフトウェアのダウンロード iii
 - 用紙の仕様 376
- Web ブラウザ要件
 - 内蔵 Web サーバー 200
- What is this? ヘルプ 37
- Windows 2000 ファックス 164
- Windows
 - サポートされているバージョン 13
 - ドライバ、アクセスする 25

あ

- アクセサリ
 - 製品番号 10, 359
 - 注文 358
 - トラブルシューティング 313
 - ランプ 312
- アドレス帳、電子メール
 - LDAP サポート 147
 - オートコンプリート機能 153
 - 受信者一覧、作成する 154
- アドレスブック、電子メール
 - インポートする 202
- アドレス、プリンタ
 - Macintosh、問題の解決 332, 335

い

- イベント ログ 66
- 今すぐ更新 14
- イメージトランスファー (ETB) キット
 - 製品番号 360
- イメージフューザキット (110V)

- 製品番号 360
- イメージフューザキット (220V)
 - 製品番号 360
- 色
 - グレー中間色 173, 175
 - 調整 172
 - ハーフトーン オプション 172
- 印刷作業 81
- 印刷サブメニュー 49
- 印刷出力品質
 - トラブルシューティング 319
- 印刷ジョブの制御 82
- 印刷、封筒 92
- 印刷メディア
 - OHP フィルム 103
 - 厚手用紙 105
 - 印刷済みフォーム 106
 - カラー印刷用 167
 - カラー用紙 104
 - 光沢紙 103
 - 再生紙 106
 - 使用可能なサイズ 380
 - 使用可能な重量 380
 - 使用可能な種類 380
 - 仕様対象外のメディア 84
 - 仕様 380
 - 選択する 84
 - 耐久紙 105
 - トレイ 1 にセットする 91
 - 封筒 104
 - ラベル紙 104
 - レターヘッド用紙 106
- 印刷要求の取り消し 115
- 印刷
 - キャンセル 115
 - 使用状況ページ 223
 - 速度の仕様 5
 - 特殊な条件 114
 - 特殊なメディア 103
 - 排紙ビン、選択する 116
 - ブックレット 110
- 印字品質サブメニュー 53
- 印字品質
 - トラブルシューティング 319
- インターネット ファックス 164
- インタフェース ポート
 - 位置 11
 - 装備 7

え

- エラー メッセージ
 - イベント ログの印刷 66
 - 設定内容 57
 - トラブルシューティング 311

お

- オーストラリアの EMC 規定 396
- オゾン仕様 389
- オン/オフ スイッチ、位置 9
- 温度条件 373
- 温度
 - 条件 232
- オンライン カスタマ サポート iii
- オンライン ヘルプ
 - コントロール パネル 37

か

- カートリッジ
 - ステータス、内蔵 Web サーバーによる表示 201
- カートリッジ、ステイプル
 - 空、停止または継続の設定 186
 - 製品番号 10, 359
 - セット 112
- カートリッジ、プリント
 - サプライ品ステータス ページ、印刷する 222
 - 製品番号 359
 - 注文 iii
 - 保証 365
 - リサイクル 389
- 解除可能な警告 57
- 解像度
 - 仕様 5
 - トラブルシューティング、品質 319
- 課金ハードウェア 191
- 拡張 I/O カード
 - 製品番号 360
- カスタマ ケア センタ 231
- カスタマ サポート
 - HP Instant Support Professional Edition (ISPE) iii
 - Macintosh iv
 - オンライン iii
 - サービス販売店 iv
 - 電話 iii

内蔵 Web サーバーのリンク 203
保守契約 368
画像処理サブメニュー 48
稼動音仕様 372
稼動環境仕様 232, 373
カナダ DOC 規定 394
カバー、位置 9
紙詰まり用レバー、位置 9
紙詰まり
3 ビン メールボックス 300
ADF 304
位置 288
解除の設定 58
解除 289
ステイプラ/スタッカ 297
詰まったステイプル 298
トレイ 1 295
トレイ 2、3、4 295
排紙アクセサリ ブリッジ 302
封筒 309
右カバー 290
カラー
4 色印刷 168
CMYK インクセット エミュレーション 168
HP ImageREt 3600 166
Pantone® マッチング 169
sRGB 167
色見本のカラー マッチング 169
オブション 167
カラー サンプルの印刷 170
カラー ロックアウト 166
使用する 166
プリンタとモニタ 169
マッチング 169
カラー用紙、コピー 141
ガラス
クリーニング 240
コピー 139
カラー
エッジ コントロール 172
オブションを管理する 171
グレースケールで印刷する 171
グレースケールでの印刷 175
グレー中間色 175
ハーフトーン オブション 175
品質の管理 175

輪郭コントロール 176
カラー タブ設定 133
[カラー] タブの設定 129
環境、仕様 232, 373
環境スチュワードシップ 389
Korean EMI statement 395

き
技術サポート
保守契約 368
規制
FCC 387
オーストラリアの EMC 396
カナダ DOC 規定 394
Korean EMI statement 395
材料の安全性データシート (MSDS) 391
台湾レーザー安全規定 395
適合宣言 393
テレコム 388
日本 VCCI 規格 394
日本コードセット宣言 394
フィンランドのレーザー安全規定 396
レーザーの安全性 394
キット、保守
サプライ品ステータス ページ、印刷する 222
機能別モード、3 ビンメールボックス" 181
機能 2, 5
キャビネット/スタンド
仕様、物理的 369
キャビネット/スタンド
製品番号 10
付属しているモデル 3
給紙トレイ
設定する 88
容量 380

く
クイック設定 123
空間要件 369
空白ページのトラブルシューティング 324
グラフィック ディスプレイ、コントロール パネル 34, 36
クリーニング
ADF 給紙システム 241
ADF ローラー 242

MFP の外側 240
Mylar フィルム 245
ガラス 240
説明 240, 242
タッチスクリーン 240
グレースケール印刷 171, 175
クロック
設定する 216

け
契約、保守 368
gateways
設定内容 48
ゲートウェイ アドレスの確認 329
ゲートウェイ
アドレスの確認 329
検索する 149
設定する 148
ケーブル、USB
製品番号 360
ケーブル、パラレル
製品番号 360
欠陥、連続 327
原稿サブメニュー 46
原稿設定の説明 137
言語、コントロール パネル 252
言語、プリンタ 6, 57

こ
交換する
ステイプル カートリッジ 112
工場出荷時のデフォルト設定、復元 64
構成、モデル 2
コピーおよび送信の設定 58
コピー
ADF の使用 139
カスタム設定の使用 137
機能 6, 135
原稿の設定 46
コントラスト設定 141
コントロール パネルの操作 136
縮小または拡大 141
ジョブの保存 143
ジョブ モード 139
スキャナ ガラスの使用 139
鮮明度 141
速度の仕様 5

- デフォルト設定の使用 137
- 背景の削除 141
- 品質のトラブルシューティング 319
- 複数部原稿 139
- コピー サブメニュー 47
- コピーする
 - 使用状況ページ 223
- コピーの自動倍率変更 141
- コピー部数 49
- コントラスト、コピー 141
- コントロール パネル
 - I/O サブメニュー 60
 - PCL サブメニュー 52
 - 位置 9
 - 移動 36
 - 印刷サブメニュー 49
 - 印字品質サブメニュー 53
 - 画像処理サブメニュー 48
 - 原稿サブメニュー 46
 - コピーおよび送信の設定 58
 - コピー画面 136
 - コピー サブメニュー 47
 - サービス メニュー 70
 - システムのセットアップ サブメニュー 54
 - 情報メニュー 40
 - ジョブ取得メニュー 39
 - 診断メニュー 66
 - 送信サブメニュー 48
 - タッチスクリーンのクリーニング 240
 - デバイスの設定メニュー 46
 - 電子メール画面 150
 - トラブルシューティング 252
 - 内蔵 Jetdirect サブメニュー 61
 - ファックス メニュー 42
 - help 37
 - ボタン 34, 35
 - メッセージ、設定 57
 - メッセージ、トラブルシューティング 311
 - メニューのロック 196
 - メニュー マップ 38
 - 用紙処理メニュー 43
 - ランプ 34
 - リセット サブメニュー 64
- コントロール パネルのメッセージ 256
- さ**
- サービス
 - HP 認定販売店 iv
 - 契約 iv, 368
- サービス メニュー 70
- 最初のページ、別の用紙の使用 131
- 最初のページ
 - 白紙 125
 - 別の用紙を使用する 125
- サイズ、メディア
 - デフォルト設定 50
 - トレイの設定 43
- 材料の安全性データシート (MSDS) 391
- サブネット マスク 73
- サプライ品
 - 位置 237
 - 交換時期 238
 - 交換する 237
 - ステータス、内蔵 Web サーバーによる表示 201
 - 製品番号 10, 359
 - 注文 iii, 358
 - リサイクル 389
- サプライ品の注文 iii
- サポート
 - HP Instant Support Professional Edition (ISPE) iii
 - Macintosh iv
 - オンライン iii
 - サービス販売店 iv
 - 電話 iii
 - 内蔵 Web サーバーのリンク 203
 - 保守契約 368
- サポートされているオペレーティング システム 13
- サポートされているプラットフォーム 13
- [サービス] タブ 130
- し**
- 時刻、設定する 216
- システムのセットアップ サブメニュー 54
- システム要件
 - HP Web Jetadmin 206
 - 印刷ソフトウェア 13
 - 内蔵 Web サーバー 200
- システム要件、電子メール 8
- 湿度条件 232, 373
- 自動感知モード 53
- 自動継続 57
- 定規、連続した欠陥 327
- 使用状況ページ 223
- 消費電力 389
- 上部カバー
 - 位置 9
- 情報タブ、内蔵 Web サーバー 201
- 情報ページ 220
- 情報メニュー 40
- 仕様
 - OHP フィルム 379
 - 音響雑音 372
 - 稼動環境 232, 373
 - 機能 5
 - ずれ 324
 - 封筒 377
 - 物理的 369
 - 用紙 376
 - ラベル紙 378
- 書体
 - 内蔵 6
 - フォント リスト 224
- ジョブ取得メニュー 39
- ジョブの保存
 - 印刷 118
 - クイック コピー 119
 - 消去 118
 - ジョブの試し刷りと保留 118
 - プライベート ジョブ 119
 - 保管 120
- 保存、ジョブ
 - ジョブ取得メニュー 39
- ジョブ モード、コピー 139
- 診断メニュー 66
- 紙
 - 最初のページ 131
- す**
- 水銀仕様 390
- 透かし印刷
 - 表紙 131
- 透かし 124
- スキャナ ガラス
 - クリーニング 240
 - コピー 139

スキャナのキャリブレーション 247
スキャナのテスト 66
スキャン
 速度の仕様 5
スタッカモード、3ビンメールボックス" 181
ステイプラ/スタッカ
 空、停止または継続の設定 186
 出力先 184
 仕様、物理的 369
 ステイプル留め 111
 ステイプルのセット 112
 製品番号 10, 359
 選択する 116
 付属しているモデル 3
 容量 7
 ランプのステータス 312
ステイプルカートリッジ
 空、停止または継続の設定 186
 製品番号 10, 359
 セット 112
ステイプル留めオプション 128
ステイプル留め 111
ステータス
 [Information] タブ、内蔵 Web サーバー 201
 ランプ 312
スリープの設定
 遅延 218
スリープ復帰時刻、設定する 217

せ

製品番号
 プリントカートリッジ 359
 メディア、HP 360
 メモリ 360
セキュリティ機能 8
セキュリティ
 Foreign Interface Harness (FIH) 191
 コントロールパネルメニューのロック 196
 ディスク消去 193
 電子メール 156
 フォーマッタ ケージのロック 197

接続機能 7
接着剤付きラベル紙. を参照ラベル紙
設定する
 クイック設定 123
設定内容
 設定ページ 220
 デフォルトの復元 64
設定ページ
 印刷 253
設定
 ドライバプリセット 131
セット
 ステイプル 112
センサのテスト 66
線のトラブルシューティング 324
鮮明度、コピー設定 141

そ

騒音仕様 372
送信サブメニュー 48
速度の仕様 5
その他のサービス iv
その他のリンク
 内蔵 Web サーバー 203
ソフトウェア
 Macintosh 21
ソフトウェア
 Macintosh iv
 アプリケーション 20
 アンインストール 17
 サポートされているオペレーティングシステム 13
 ダウンロード iii
 デジタル送信 (HP DSS) 156
 取り付ける 14
 ネットワーク 18
 ユーティリティ 19
ソフトウェアのダウンロード iii

た

ダイヤルアップ接続 8
台湾レーザー安全規定 395
タッチスクリーン、クリーニング 240
縦向き
 原稿の設定 46

ち

遅延、スリープ 218
注文
 サプライ品とアクセサリ 358
 製品番号 359
 メディア、HP 360

つ

詰まったステイプル 298

て

ディスク消去機能 193
適合宣言 393
テクニカルサポート
 HP Instant Support Professional Edition (ISPE) iii
 Macintosh iv
 オンライン iii
 サービス販売店 iv
 電話 iii
 内蔵 Web サーバーのリンク 203
デジタル設定
 説明 152
デジタル送信
 LDAP サポート 147
 SMTP サーバー 146
 アドレス帳 154
 ゲートウェイ アドレスの確認 329
 原稿の設定 46
 コントロールパネル設定 150
 セカンダリ電子メール オプション 156
 設定内容 48
 説明 145
 電子メールを設定する 148
 ドキュメントをセットする 152
 ドキュメントを送信する 152
 トラブルシューティング 252
 内蔵 Web サーバーの設定 202
 フォルダ 156
 ワークフロー 156
デジタルファックス送信 164
デスクトッププリンタユーティリティ、問題の解決 332
テスト 66
デバイスの設定メニュー 46

- デフォルト設定の復元 64
- デフォルト設定、復元 64
- デューティ サイクル 5
- テレコム規格 388
- 電圧、トラブルシューティング 252
- 電源確認 LED 315
- 電源スイッチ、位置 9
- 電源
 - トラブルシューティング 250
- 電子メールのスキャン
 - ゲートウェイ アドレスの確認 329
- 電子メールへのスキャン
 - 原稿の設定 46
 - 設定内容 48
 - トラブルシューティング 252
 - 内蔵 Web サーバーの設定 202
- sending to e-mail
 - 設定内容 48
- 電子メールへの送信
 - ゲートウェイ アドレスの確認 329
 - 原稿の設定 46
 - トラブルシューティング 252
 - 内蔵 Web サーバーの設定 202
- デンシメールをスキャンする
 - アドレス帳 154
- 電子メールをスキャンする
 - LDAP サポート 147
 - SMTP サーバー 146
 - コントロール パネル設定 150
 - セカンダリ オプション、セキュリティ 156
 - 設定する 148
 - 説明 145, 152
 - ドキュメントをセットする 152
 - ドキュメントを送信する 152
- デンシメールを送信する
 - アドレス帳 154
- 電子メールを送信する
 - about 148
 - LDAP サポート 147
 - SMTP サーバー 146
 - セカンダリ オプション、セキュリティ 156
 - 設定内容 150
- 説明 145, 152
- ドキュメントをセットする 152
- ドキュメントを送信する 152
- 電子メール
 - LDAP サポート 147
 - SMTP サーバー 146
 - アドレス帳 154
 - オートコンプリート機能 153
 - ゲートウェイ アドレスの確認 329
 - 原稿の設定 46
 - コントロール パネル設定 150
 - システム要件 8
 - セカンダリ オプション、セキュリティ 156
 - 設定する 148
 - 設定内容 48
 - 説明 145, 152
 - ドキュメントをセットする 152
 - ドキュメントを送信する 152
 - トラブルシューティング 252
 - 内蔵 Web サーバーの設定 202
- 電力
 - 消費 389
- 電話回線、ファックス アクセサリの接続 162
- 電話番号
 - サービス契約 iv
 - サプライ品の注文 iii
 - サポート iii
- と**
 - ドキュメントの拡大コピー 141
 - ドキュメントのサイズ変更コピー 141
 - ドキュメントの縮小コピー 141
 - ドキュメントのステイプル留め 184
 - ドキュメントの倍率変更コピー 141
- 特殊な条件
 - 印刷 114
 - カスタムサイズ メディア 114
 - 最初のページ (個別) 114
 - ブランクのバック カバー 114
- 特殊なメディア
 - 印刷 103
- トナー残量の確認
 - HP Easy Printer Care Software 233
- トナー
 - 使用状況ページ 223
- ドライバ
 - Macintosh, 問題の解決 334
 - アクセス 28
 - アクセスする 25
 - クイック設定 123
 - 選択する 25
 - プリセット 131
 - ヘルプ 25
- ドライバ
 - Macintosh iv
 - ダウンロード iii
- ドライバの自動設定 14
- トラブルシューティング
 - ADF の印刷出力品質 324
 - OHP フィルム 319
 - OHP フィルム 308
 - アクセサリ 312, 313
 - 紙詰まり 288
 - カラー印刷の問題 317
 - 空白ページ 324
 - ゲートウェイ アドレス 329
 - コントロール パネル 252
 - コントロールパネルのメッセージ 311
 - 線 324
 - チェックリスト 250
 - デジタル送信 252
 - ネットワーク印刷 330
 - 品質 319
 - ページのずれ 324
 - メディアの取り扱いに関する問題 306
 - 両面印刷 310
 - 連続した欠陥 327
- 取り付ける
 - EIO カード 354
 - ファックス アクセサリ 158
- トレイ 1 127, 133
- トレイ 1
 - 位置 9
 - 使用状況ページ 223
 - 選択の設定 56
- トレイ 1

設定内容 43
トレイ 2、3、または 4 を使用した
印刷 94
トレイ
両面印刷 127, 133
トレイ
使用状況ページ 223
仕様、物理的 369
設定内容 43, 44
選択の設定 56
付属品 2
トレイの設定
カスタム用紙サイズ 90

な

内蔵 Jetdirect サブメニュー 61
内蔵 TrueType フォント 6
内蔵 Web サーバー
[Digital Sending] タブ 202
[Information] タブ 201
IP アドレス、変更する 214
ネットワーク タブ 202
[Settings] タブ 201
起動する 200
機能 200
その他のリンク タブ 203
トナー残量の確認 232
パスワードの割り当て 190
内蔵 Web サーバー
説明 19

に

日本 VCCI 規格 394
日本コードセット宣言 394

ね

ネットワーク タブ、内蔵 Web サー
バー 202
ネットワーク
AppleTalk 78
DLC/LLC の無効化 74
EIO カードの取り付け 354
HP Jetdirect の設定ページ
221
IP アドレス 72, 213
Novell NetWare 78
SMTP サーバー 147
TCP/IP パラメータ 72
UNIX/Linux 78
Windows 78

印刷のトラブルシューティング
330
管理ツール 20
ゲートウェイ アドレスの確認
329
サブネット マスク 73
接続機能 7
設定する 72
設定内容 61
ソフトウェア 18
デフォルト ゲートウェイ 73
電子メールのシステム要件 8
付属のプリントサーバー 2
プロトコルの無効化 74

は

パーソナリティの設定 57
ハードディスクの消去 193
ハードディスク
消去 193
フォント リスト 224
背景の削除、コピー 141
排紙ビン
位置 9
使用状況ページ 223
選択する 116
容量 7
バックグラウンド印刷、問題の解決
333
バッテリー仕様 390
パラレル設定 75
パラレル ポート
位置 11
機能 7

ひ

日付、設定する 216
標準の排紙ビン
選択する 116
標準排紙ビン
位置 9
容量 7
表紙 125, 131
表 131
品質
トラブルシューティング 319
ビン
位置 9
使用状況ページ 223
選択する 116

容量 7

ふ

ファームウェア、アップグレードす
る 226
ファームウェアのアップグレード
226
ファックス アクセサリ
製品番号 10, 359
設定ページ 220
電話回線の接続 162
モデル 3
ユーザズ ガイド 157
ランプのステータス 316
ファックス送信、デジタル 164
ファックス メニュー 42
ファン、トラブルシューティング
252
フィンランドのレーザー安全規定
396
封筒フィーダ
仕様、物理的 369
製品番号 10
設定内容 43
封筒
紙詰まり 309
仕様 377
トレイ 1 にセットする 93
保管 378
マージン 378
フォーマッタ カバー、位置 9
フォーマッタのランプ 315
フォルダに送信 156
フォルダ
送信先 156
フォント
EPS ファイル、問題の解決
333, 336
Macintosh、問題の解決 333
フォント
内蔵 6
リスト、印刷する 224
複数のページ/枚 132
ブックレットの印刷 110
物理的仕様 369
プライベート ジョブ
印刷 120
消去 120
ブラウザ要件
HP Web Jetadmin 206

内蔵 Web サーバー 200
フラッシュ メモリ カード
取り付ける 345
プリセット 131
プリンタ言語 6, 57
プリンタ ドライバ
[サービス] タブ 130
プリンタ
ドライバ 24, 28
プリンタ保守キット
サプライ品ステータス ページ、
印刷する 222
プリント カートリッジ
HP 以外 231
HP 純正品 231
管理 231
交換する 233
サプライ品ステータス ページ、
印刷する 222
寿命 232
ステータス、内蔵 Web サーバー
による表示 201
製品番号 359
注文 iii
トナー残量の確認 232
認証 231
保管 232
保証 365
リサイクル 389
プリントサーバー カード
取り付ける 351
プレコンフィギュレーション 14
プロセッサの速度 5
プロトコルの設定 61
文書のサイズを拡大する 124
文書のサイズを縮小拡大する
124
文書のサイズを縮小する 124
文書のサイズを変更する 124
文書フィーダ キット、交換する
239
文書を印刷する用紙 124

へ

ページのずれ 324
ページの向き
原稿の設定 46
ページの歪み 324
別の用紙/表紙を使用する 125
ヘルプ、プリンタ ドライバ 25

ヘルプ
コントロール パネル 37
ページ数/枚 132

ほ

ポート
位置 11
装備 7
保管キャビネット
仕様、物理的 369
製品番号 10
付属しているモデル 3
保管
封筒 378
用紙 376
保守キット
サプライ品ステータス ページ、
印刷する 222
保守契約 iv, 368
保障期間延長 368
保証
MFP 364
延長 368
その他 iv
プリント カートリッジ 365
補助接続構成 77
保存、ジョブ
コピー 143
ジョブ取得メニュー 39
設定内容 54
ボタン、コントロール パネル 34,
35
保留、ジョブ
コピー 143
ジョブ取得メニュー 39
ポート
Macintosh の問題の解決 333,
336

ま

マージン、封筒 378
毎月のデューティ サイクル 5
間違ったプリンタ、送信 332
マップ、メニュー 38

む

向き、ページ
原稿の設定 46

め

メールボックス、3 ビン
仕様、物理的 369
製品番号 10, 359
設定する 181
選択する 116
付属しているモデル 4
モード 181
容量 7
ランプのステータス 312
メールボックス モード 181
メッセージ、コントロール パネル
イベント ログの印刷 66
メッセージ
エラー 255
警告 255
ステータス 255
設定内容 57
トラブルシューティング 311
メディアの感知 53
メディア
1 枚の用紙に印刷するページ数
126
最初のページ 125
文書のサイズ、選択する 124
ユーザー定義サイズ、設定する
125
メディア
HP、注文方法 360
使用状況ページ 223
仕様 376
ステイブル留め 184
設定内容 49
トレイ 2、3、および 4 にセッ
トする 97
トレイ 2、3、または 4 にセッ
トする 94
トレイ 2 にセットする 100
トレイの設定 43
保管 376
メニュー、コントロール パネル
I/O 60
PCL 52
印刷 49
印字品質 53
画像処理 48
原稿 46
コピーおよび送信の設定 58
コピー 47
サービス 70

- システムのセットアップ 54
- 情報 40
- ジョブ取得 39
- 診断 66
- 送信 48
- デバイスの設定 46
- 内蔵 Jetdirect 61
- ファックス 42
- 用紙処理 43
- リセット 64
- メニュー、コントロール パネル
 - ロック 196
- メニュー マップ、コントロール パネル 38
- メモリ
 - 管理 122
 - 機能 5
 - 製品番号 360
 - 付属品 2
 - 有効化 349
 - 追加 122, 339

も

- モデル、機能 2
- 問題の解決
 - EPS ファイル 333, 336
 - Macintosh の問題 332

ゆ

- 優先オンサイト サービス 368
- ユーザー定義用紙サイズ
 - ドライバの設定 125

よ

- 用紙経路テスト ページ印刷 253
- 用紙処理メニュー 43
- 用紙の経路
 - テスト 66
- 用紙の仕様 380
- 用紙
 - 1 枚の用紙に印刷するページ数 126
 - 最初のページ 125, 131
 - 文書のサイズ、選択する 124
 - ページ数/枚 132
 - ユーザー定義サイズ、設定する 125
- 用紙
 - HP、注文方法 360

- 使用状況ページ 223
- 仕様 376
- ステイプル留め 184
- 設定内容 49
- トレイの設定 43
- 保管 376

容量

- 3 ビン メールボックス 7
- ADF 7
- ステイブラ/スタッカ 7
- 排紙ビン 7

横向き

- 原稿の設定 46

ら

- ラベル紙
 - 仕様 378

ランプ

- アクセサリ 312
- コントロール パネル 34
- ファックス アクセサリ 316
- フォーマッタ 315

り

- リサイクル
 - プラスチック 389
 - プリント カートリッジ 389
- リセット サブメニュー 64
- リモート ファームウェア アップデート (RFU) 226
- 両面印刷アクセサリ
 - セットする 126, 132
- 両面印刷アクセサリ
 - 位置 9
 - 使用可能なメディアの重量とサイズ 381
 - 使用状況ページ 223
 - 仕様、物理的 369
 - 製品番号 10
- 両面、印刷する 126
- 両面、印刷 132
- 両面印刷 126, 127, 132, 133
- 両面印刷
 - コントロール パネル設定 108
 - 手差し 109
 - 綴じ込みオプション 109
- リンク速度、ネットワーク 61
- リンク
 - 内蔵 Web サーバー 203

れ

- レーザーの安全規定 394
- レジストレーション ページ印刷 253
- 連続した欠陥のトラブルシューティング 327

ろ

- ローラー
 - ADF のクリーニング 242
- ログ、イベント 66
- ロック、フォーマッタ ケージ 197
- ロック
 - コントロール パネル メニュー 196
 - フォーマッタ ケージ 197

わ

- ワークフロー、送信先 156
- ワークフローに送信 156
- ワイヤレス印刷
 - 802.11 規格 79
 - Bluetooth 79

© 2005 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

www.hp.com



Q7517-91001